
浦安市

**子ども・子育て支援総合計画に関する
基礎調査報告書**

平成 31（2019）年 3 月

浦 安 市

目次

| | |
|--|-----|
| 第1章 基礎調査概要 | 1 |
| 1. 調査の目的 | 1 |
| 2. 調査の種類と実施方法 | 1 |
| 3. アンケート調査の配布と回収状況 | 1 |
| 4. アンケート調査結果の見方 | 2 |
| 第2章 アンケート調査結果 | 3 |
| I 就学前児童保護者調査 | 3 |
| 1. お子さんご家族の状況について | 3 |
| 2. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について | 17 |
| 3. 地域の子育て支援事業の利用状況について | 37 |
| 4. 病気やケガの際の保育等対応について | 42 |
| 5. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりの利用について | 47 |
| 6. 小学校就学後における放課後の過ごし方について【5歳児限定】 | 53 |
| 7. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について | 55 |
| 8. 子育てに関する意識について | 62 |
| II 就学児童保護者調査 | 78 |
| 1. お子さんご家族の状況について | 78 |
| 2. お子さんの放課後や土曜日の過ごし方について | 92 |
| 3. 児童育成クラブの利用状況について | 94 |
| 4. 地域の子育て支援事業の利用状況について | 102 |
| 5. 病気やケガの際の対応について | 105 |
| 6. 不定期の子育て支援事業の利用について | 109 |
| 7. 子育てに関する意識について | 113 |
| III 市民調査 | 125 |
| 1. 回答者ご家族の状況について | 125 |
| 2. 回答者の仕事や生活について | 132 |
| 3. 回答者の結婚や子育てなどについて | 137 |
| 4. 少子化などについて | 145 |
| 5. 子どもや子育てなどについて | 148 |
| 6. 子育て環境などについて | 153 |
| 7. 浦安市子育て支援総合計画について | 157 |
| 第3章 グループヒアリング結果 | 161 |
| 資料編 | 172 |

第1章 基礎調査概要

1. 調査の目的

本調査は、平成32年度(2020年度)から5年間を計画期間とする「第2期 浦安市子ども・子育て支援総合計画」策定にあたり、子育て家庭における教育・保育、その他地域子育て支援事業の需要量や子育てに関する意識、意向等を把握し、計画策定の基礎資料とする目的から本調査を実施しました。

2. 調査の種類と実施方法

本調査においては、対象者別に次の3種類のアンケート調査とヒアリング調査を実施しました。

| 調査の種類 | 調査の対象(母集団) | 実施方法 |
|------------|------------------------------|----------------------------|
| 就学前児童保護者調査 | 市内の就学前児童(0~5歳)の保護者 9,801人 | 無作為抽出 1,200人 郵送による配布・回収 |
| 就学児童保護者調査 | 市内の小学生(1~4年生)の保護者 6,360人 | 無作為抽出 800人 郵送による配布・回収 |
| 市民調査 | 市内にお住まいの18歳以上の方 111,264人 | 無作為抽出 2,000人 郵送による配布・回収 |
| ヒアリング調査 | 子育てケアマネジャー、主催事業参加者、施設利用者 | グループヒアリング |

【調査基準日】平成30年10月1日

【調査期間】

就学前児童保護者：平成30年12月14日~12月28日

小学生保護者調査：平成30年12月14日~12月26日

市民調査：平成30年12月14日~12月26日

ヒアリング調査：平成30年11月7日~平成31年2月4日

3. アンケート調査の配布と回収状況

調査票の配布と回収の状況は次のとおりです。

| | 配布数 | 回収数 | 回収率 |
|------------|--------|------|-------|
| 就学前児童保護者調査 | 1,200票 | 692票 | 57.6% |
| 就学児童保護者調査 | 800票 | 450票 | 56.3% |
| 市民調査 | 2,000票 | 706票 | 35.3% |

調査対象母集団規模に対して、信頼度95%の条件の下で今回の回収数(標本数)での標本誤差について検証してみると就学前児童保護者調査との最大標本誤差は±3.6%、小学生児童保護者調査では±4.5%、市民調査では±3.7%で、一般的に許容される最大標本誤差±5.0%の範囲内にあることから、統計的有意性は十分に確保されていると言えます。

※標本誤差とは：母集団のすべてを調査しないで、一部の標本を無作為抽出して調査した結果に伴う誤差のこと。

4. アンケート調査結果の見方

- 各設問ごとにその設問内容を示すタイトルを付けています。
- タイトルの横には、次の2つのデータを並べています。
 - ①当該設問の回答対象者（限定設問である場合）。
 - ②質問形態

単 回 答：「1つに○」など選択肢を1つ選ぶ質問形態

複数回答：「あてはまるものすべてに○」など2つ以上の選択を選ぶ質問形態

数量回答：日数や時間、回数などの数値を記入してもらう質問形態

自由回答：文章や単語などを自由に記載する質問形態

- 集計結果のグラフ・表における“無回答”は、当該設問への無回答のほか、回答方法の誤り等を含んでいます。
- 表やグラフにおいては、原則として各集計数の総回答対象者数に対する比率を表示しています。
- 集計は、小数点第二位以下を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。
- クロス集計表は、トップ1項目のセルに  で着色しています。
- 各設問の選択肢等について、その意味を損なわない程度に表現を簡略化している場合があります。

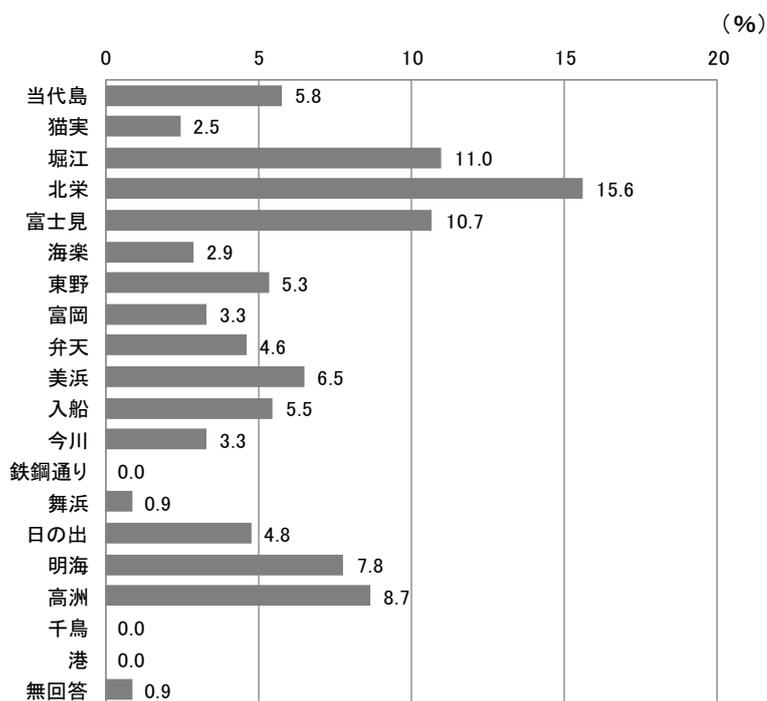
第2章 アンケート調査結果

Ⅰ 就学前児童保護者調査

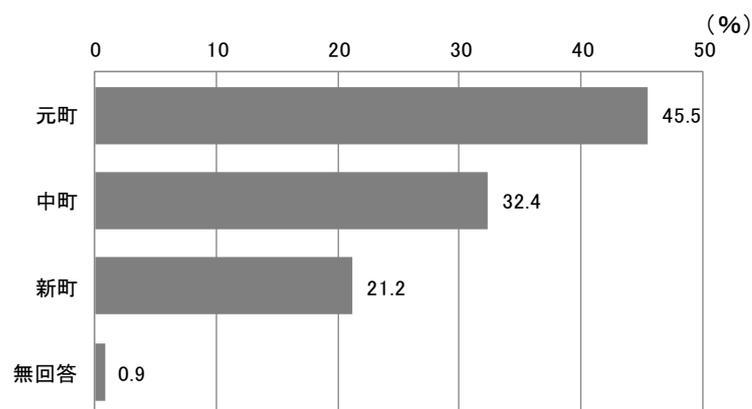
1. お子さんご家族の状況について

問1① 住まいの地区（単回答）

- ・19地区別にみると「北栄」が15.6%で最も高く、次いで「堀江」が11.0%、「富士見」が10.7%の順となっています。
- ・3地域別にみると、「元町」が45.5%、「中町」が32.4%、「新町」が21.2%となっています。



n=692



n=692

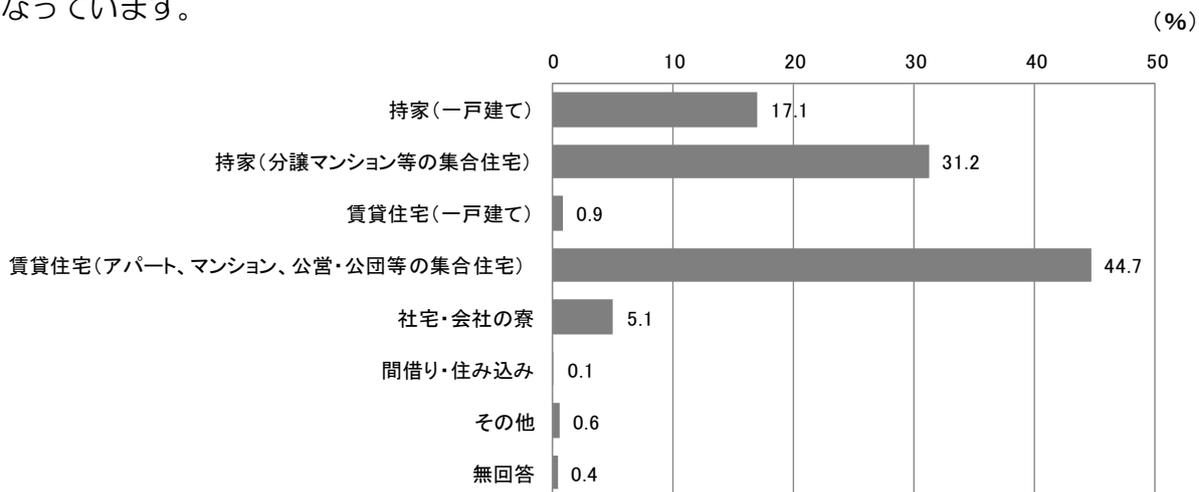
元町地域・・・当代島、猫実、堀江、富士見地区

中町地域・・・海楽、美浜、入船、今川、富岡、東野、弁天、舞浜地区

新町地域・・・日の出、明海、高洲地区

問1② 住まいの種類（単回答）

- 「賃貸住宅（アパート、マンション、公営・公団等の集合住宅）」が44.7%で最も高く、次いで「持家（分譲マンション等の集合住宅）」が31.2%、「持家（一戸建て）」が17.1%の順となっています。
- 居住地域別にみると、“中町”と“新町”は、「持家（分譲マンション等の集合住宅）」が最も高くなっています。

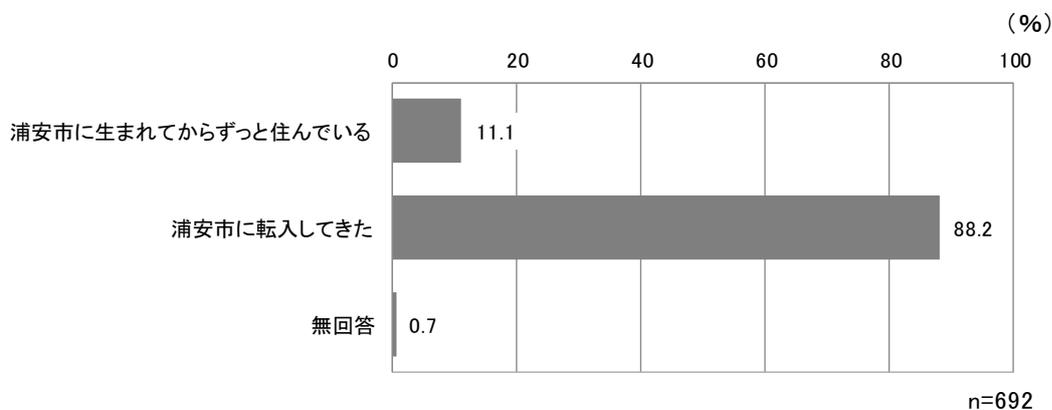


n=692

| | | 合計 | 問1②住まいの種類 | | | | | | | |
|------|-------|-------|-----------|-------------------|------------|------------------------------|---------|----------|-----|-----|
| | | | 持家（一戸建て） | 持家（分譲マンション等の集合住宅） | 賃貸住宅（一戸建て） | 賃貸住宅（アパート、マンション、公営・公団等の集合住宅） | 社宅・会社の寮 | 間借り・住み込み | その他 | 無回答 |
| 全体 | | 692 | 118 | 216 | 6 | 309 | 35 | 1 | 4 | 3 |
| | | 100.0 | 17.1 | 31.2 | 0.9 | 44.7 | 5.1 | 0.1 | 0.6 | 0.4 |
| 居住地域 | 元町 | 315 | 48 | 63 | 2 | 192 | 10 | 0 | 0 | 0 |
| | | 100.0 | 15.2 | 20.0 | 0.6 | 61.0 | 3.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 中町 | 224 | 52 | 77 | 4 | 72 | 15 | 1 | 3 | 0 |
| | 100.0 | 23.2 | 34.4 | 1.8 | 32.1 | 6.7 | 0.4 | 1.3 | 0.0 | |
| | 新町 | 147 | 17 | 75 | 0 | 44 | 10 | 0 | 1 | 0 |
| | 100.0 | 11.6 | 51.0 | 0.0 | 29.9 | 6.8 | 0.0 | 0.7 | 0.0 | |

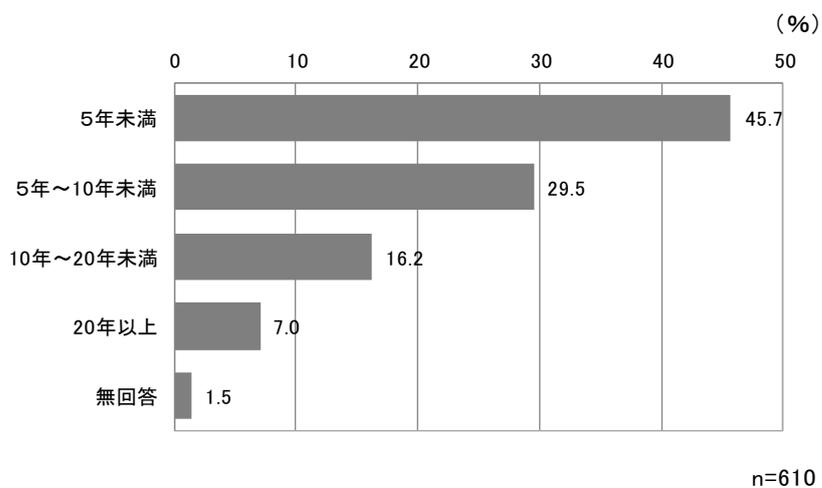
問1③ 居住歴（単回答）

- ・「浦安市に転入してきた」が 88.2%、「浦安市に生まれてからずっと住んでいる」が 11.1%となっています。
- ・居住地域別にみると、「浦安市に転入してきた」は“新町”で 94.6%と高くなっています。



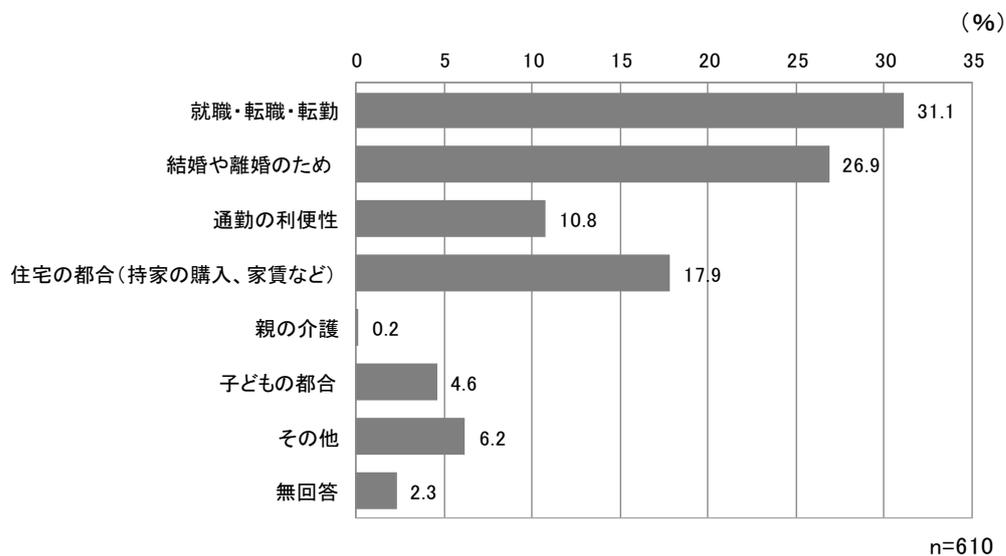
| | | 合計 | 問1③居住歴 | | |
|------|----|--------------|--------------------|-------------|----------|
| | | | 浦安市に生まれてからずっと住んでいる | 浦安市に転入してきた | 無回答 |
| 全体 | | 692 100.0 | 77 11.1 | 610 88.2 | 5 0.7 |
| 居住地域 | 元町 | 315 100.0 | 41 13.0 | 272 86.3 | 2 0.6 |
| | 中町 | 224 100.0 | 29 12.9 | 195 87.1 | 0 0.0 |
| | 新町 | 147 100.0 | 7 4.8 | 139 94.6 | 1 0.7 |

- ・転入者の居住歴は、「5年未満」が 45.7%で最も高く、次いで「5年～10年未満」が 29.5%となっており、合わせた『10年未満』が 75.2%となっています。



問1④ 転入の理由（単回答）【問1③で「2. 浦安市に転入してきた」と回答した方限定】

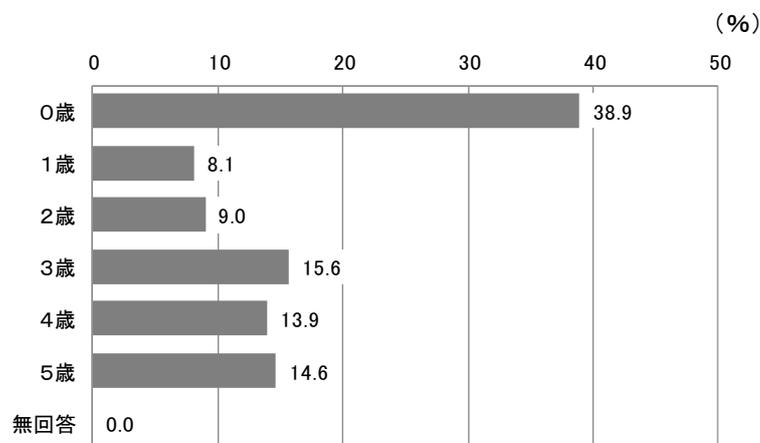
- ・転入理由は、「就職・転職・転勤」が31.1%で最も高く、次いで「結婚や離婚のため」が26.9%、「住宅の都合（持家の購入、家賃など）」が17.9%となっています。
- ・居住地域別・居住歴別にみると、居住歴5年未満は、“元町”のみ「結婚や離婚のため」が最も高い32.0%となっています。



| | 合計 | 問1④転入の理由 | | | | | | | | |
|-----------------|--------------|--------------|-------------|------------|--------------------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|
| | | 就職・転職・転勤 | 結婚や離婚のため | 通勤の利便性 | 住宅の都合 (持家の購入、家賃など) | 親の介護 | 子どもの都合 | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 610 100.0 | 190 31.1 | 164 26.9 | 66 10.8 | 109 17.9 | 1 0.2 | 28 4.6 | 38 6.2 | 14 2.3 | |
| 居住地域×転入してからの居住歴 | 元町-5年未満 | 125 100.0 | 38 30.4 | 40 32.0 | 14 11.2 | 15 12.0 | 0 0.0 | 10 8.0 | 7 5.6 | 1 0.8 |
| | 元町-5年～10年未満 | 89 100.0 | 33 37.1 | 29 32.6 | 9 10.1 | 12 13.5 | 0 0.0 | 1 1.1 | 2 2.2 | 3 3.4 |
| | 元町-10年～20年未満 | 37 100.0 | 16 43.2 | 9 24.3 | 6 16.2 | 2 5.4 | 0 0.0 | 1 2.7 | 2 5.4 | 1 2.7 |
| | 元町-20年以上 | 18 100.0 | 6 33.3 | 2 11.1 | 1 5.6 | 5 27.8 | 1 5.6 | 0 0.0 | 2 11.1 | 1 5.6 |
| | 中町-5年未満 | 90 100.0 | 25 27.8 | 14 15.6 | 10 11.1 | 22 24.4 | 0 0.0 | 7 7.8 | 10 11.1 | 2 2.2 |
| | 中町-5年～10年未満 | 57 100.0 | 13 22.8 | 32 56.1 | 4 7.0 | 5 8.8 | 0 0.0 | 1 1.8 | 1 1.8 | 1 1.8 |
| | 中町-10年～20年未満 | 25 100.0 | 7 28.0 | 4 16.0 | 8 32.0 | 3 12.0 | 0 0.0 | 1 4.0 | 2 8.0 | 0 0.0 |
| | 中町-20年以上 | 20 100.0 | 5 25.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 7 35.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 7 35.0 | 1 5.0 |
| | 新町-5年未満 | 63 100.0 | 31 49.2 | 9 14.3 | 1 1.6 | 12 19.0 | 0 0.0 | 5 7.9 | 5 7.9 | 0 0.0 |
| | 新町-5年～10年未満 | 34 100.0 | 4 11.8 | 8 23.5 | 6 17.6 | 14 41.2 | 0 0.0 | 2 5.9 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 新町-10年～20年未満 | 35 100.0 | 6 17.1 | 13 37.1 | 6 17.1 | 8 22.9 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 5.7 |
| | 新町-20年以上 | 4 100.0 | 1 25.0 | 2 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 25.0 |

問2 子どもの年齢（数量回答）

- ・「0歳」が38.9%、「3歳」が15.6%、「5歳」が14.6%となっています。
- ・居住地域別にみると、“元町”は「0歳」が43.8%と他の地域に比べ高くなっています。

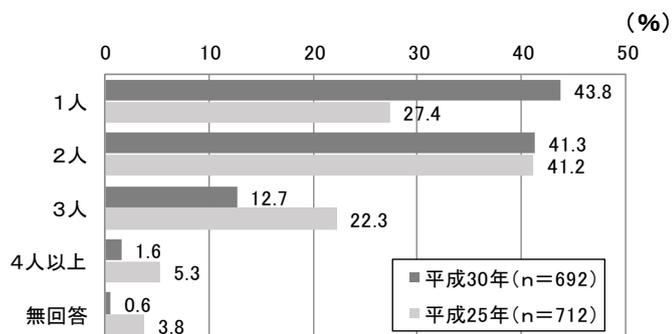


n=692

| | | 合計 | 問2 子どもの年齢 | | | | | | |
|------|-------|-------|-----------|------|------|------|------|------|-----|
| | | | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 無回答 |
| 全体 | | 692 | 269 | 56 | 62 | 108 | 96 | 101 | 0 |
| | | 100.0 | 38.9 | 8.1 | 9.0 | 15.6 | 13.9 | 14.6 | 0.0 |
| 居住地域 | 元町 | 315 | 138 | 26 | 23 | 50 | 36 | 42 | 0 |
| | | 100.0 | 43.8 | 8.3 | 7.3 | 15.9 | 11.4 | 13.3 | 0.0 |
| | 中町 | 224 | 78 | 18 | 17 | 46 | 33 | 32 | 0 |
| | 100.0 | 34.8 | 8.0 | 7.6 | 20.5 | 14.7 | 14.3 | 0.0 | |
| | 新町 | 147 | 50 | 12 | 22 | 12 | 25 | 26 | 0 |
| | 100.0 | 34.0 | 8.2 | 15.0 | 8.2 | 17.0 | 17.7 | 0.0 | |

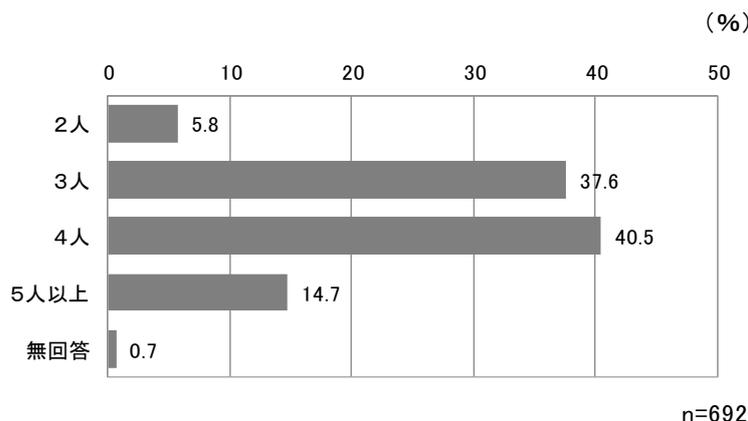
問3 子どもの人数（単回答）

- ・「1人」が43.8%、「2人」が41.3%、「3人」が12.7%で、平均では、1.73人となっています。
- ・平成25年調査と比較すると、「1人」が16.4ポイントの増加、「3人」が9.6ポイントの減少となっています。



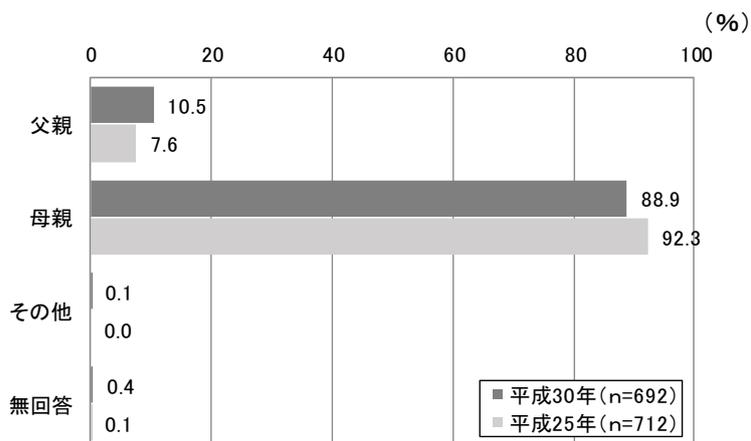
問4 世帯員の人数（数量回答）

・「4人」が40.5%、「3人」が37.6%、「5人以上」が14.7%で、平均では、3.68人となっています。



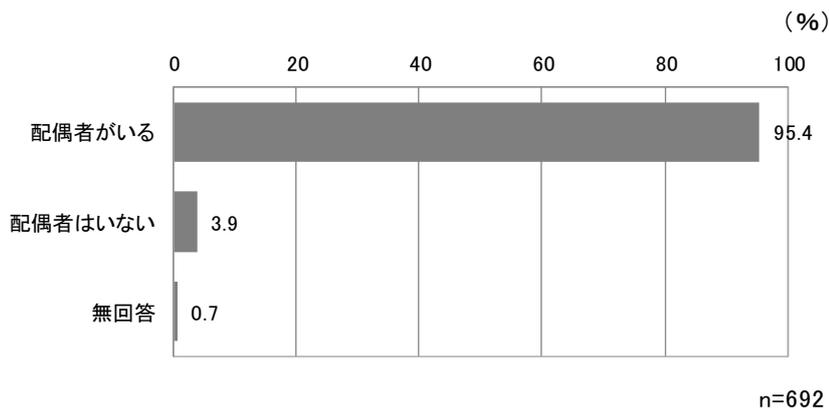
問5 回答者（単回答）

・「母親」が88.9%、「父親」が10.5%となっています。
・平成25年調査と比較すると、「父親」が2.9ポイント増加しています。



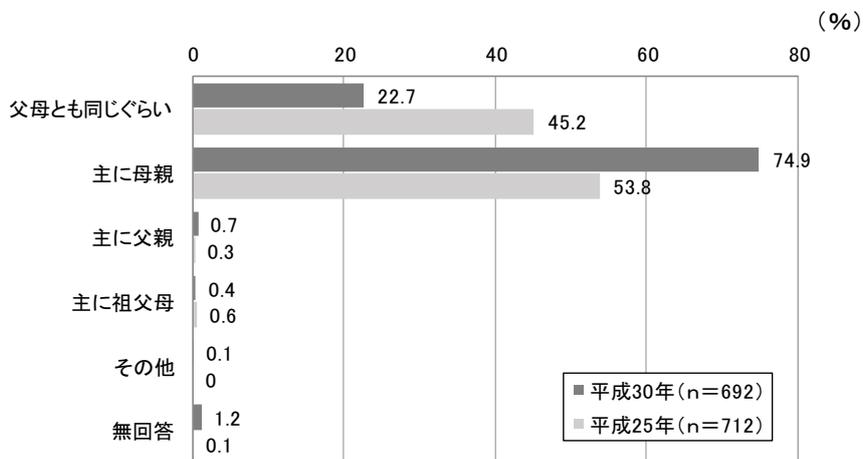
問6 回答者の配偶関係（単回答）

・「配偶者がいる」が95.4%、「配偶者がいない」が3.9%となっています。



問7 子育て（教育を含む）を主に行っている人（単回答）

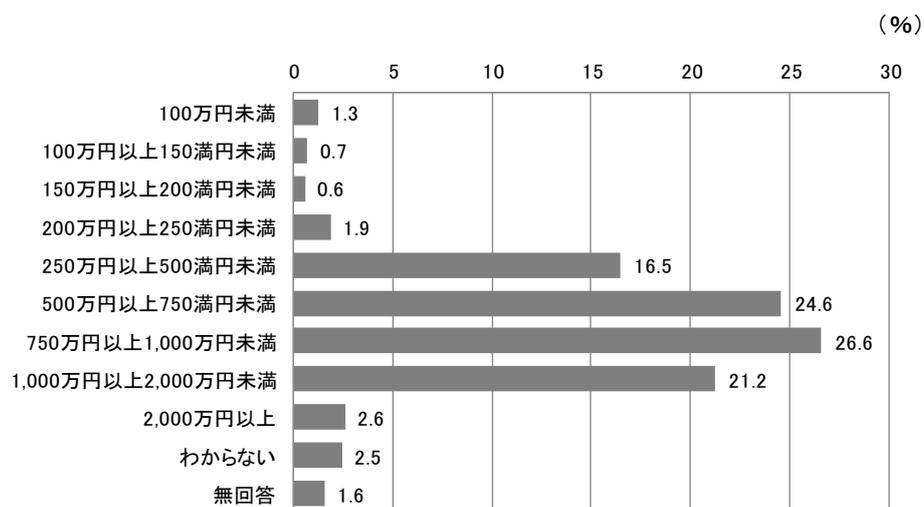
- 「主に母親」が74.9%で最も割合が高く、次いで「父母とも同じくらい」が22.7%となっています。
- 平成25年調査と比較すると、「主に母親」が21.1ポイント増加し、その反面「父母とも同じくらい」が22.5ポイント減少しています。



| | 合計 | 問7 子育て（教育を含む）を主に行っている人 | | | | | | |
|---------|---------------------|------------------------|--------------|-------------|-------------|----------|----------|----------|
| | | 父母とも同じくらい | 主に母親 | 主に父親 | 主に祖父母 | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 692 100.0 | 157 22.7 | 518 74.9 | 5 0.7 | 3 0.4 | 1 0.1 | 8 1.2 | |
| 子どもの年齢 | 0歳 | 269 100.0 | 57 21.2 | 206 76.6 | 2 0.7 | 0 0.0 | 1 0.4 | 3 1.1 |
| | 1歳 | 56 100.0 | 14 25.0 | 40 71.4 | 0 0.0 | 1 1.8 | 0 0.0 | 1 1.8 |
| | 2歳 | 62 100.0 | 18 29.0 | 43 69.4 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 1.6 |
| | 3歳 | 108 100.0 | 20 18.5 | 86 79.6 | 1 0.9 | 1 0.9 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 4歳 | 96 100.0 | 29 30.2 | 63 65.6 | 2 2.1 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 2.1 |
| | 5歳 | 101 100.0 | 19 18.8 | 80 79.2 | 0 0.0 | 1 1.0 | 0 0.0 | 1 1.0 |
| | 居住地域 | 元町 | 315 100.0 | 70 22.2 | 240 76.2 | 0 0.0 | 1 0.3 | 1 0.3 |
| 中町 | | 224 100.0 | 55 24.6 | 163 72.8 | 2 0.9 | 2 0.9 | 0 0.0 | 2 0.9 |
| 新町 | | 147 100.0 | 31 21.1 | 110 74.8 | 3 2.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 3 2.0 |
| 現在の家庭類型 | タイプA：ひとり親 | 26 100.0 | 0 0.0 | 24 92.3 | 0 0.0 | 1 3.8 | 1 3.8 | 0 0.0 |
| | タイプB：フルタイム×フルタイム | 284 100.0 | 84 29.6 | 196 69.0 | 1 0.4 | 2 0.7 | 0 0.0 | 1 0.4 |
| | タイプC：フルタイム×パートタイム | 127 100.0 | 36 28.3 | 89 70.1 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 1.6 |
| | タイプC'：フルタイム×パートタイム | 1 100.0 | 0 0.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | タイプD：専業主婦（夫） | 239 100.0 | 31 13.0 | 201 84.1 | 4 1.7 | 0 0.0 | 0 0.0 | 3 1.3 |
| | タイプE：パートタイム×パートタイム | 4 100.0 | 2 50.0 | 2 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | タイプE'：パートタイム×パートタイム | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | タイプF：無業×無業 | 4 100.0 | 2 50.0 | 2 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |

問8 世帯の年間収入（税込）（単回答）

- 「750万円以上 1,000万円未満」が26.6%でもっと高く、次いで「500万円以上 750万円未満」が24.6%、「1,000万円以上 2,000万円未満」が21.2%となっています。



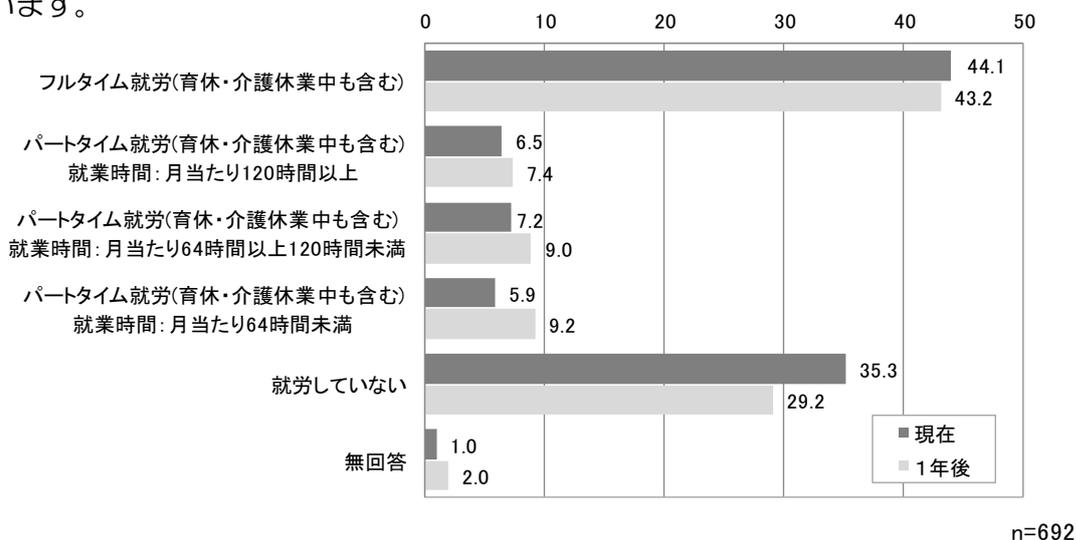
n=692

問9(1) 母親の現在の就労状況と1年後の就労予定(単回答)

- 現在、1年後ともに「フルタイム就労(産休・育休・介護休業中も含む)」が最も割合が高く、次いで、「就労していない」となっています。

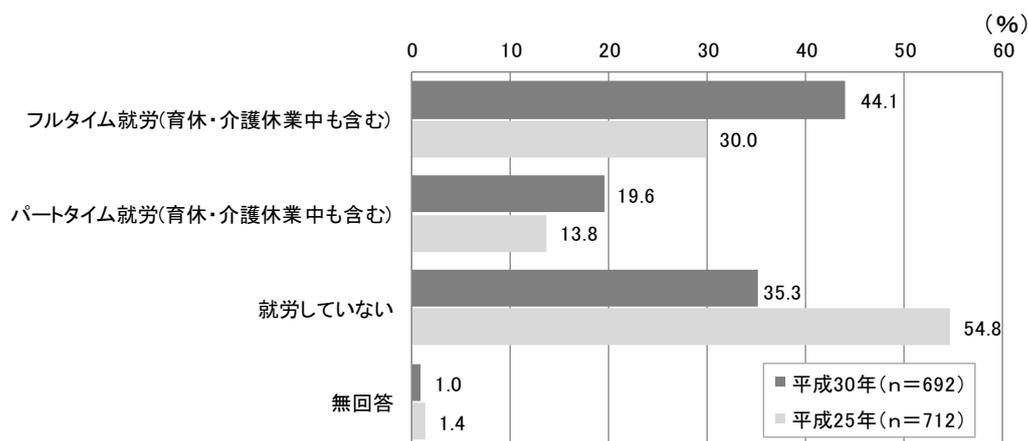
【現在と1年後の比較】

- 現在と1年後の就業率を比較すると、現在は63.7%、1年後は68.8%で5.1ポイント増加しています。



【現在と平成25年調査との比較】

- 平成25年調査と比較すると、「フルタイム就労」は14.1ポイントの増加、「就労していない」は19.5ポイントの減少となっており、平成30年調査の現在と比較すると、就業率は19.9ポイント増加しています。

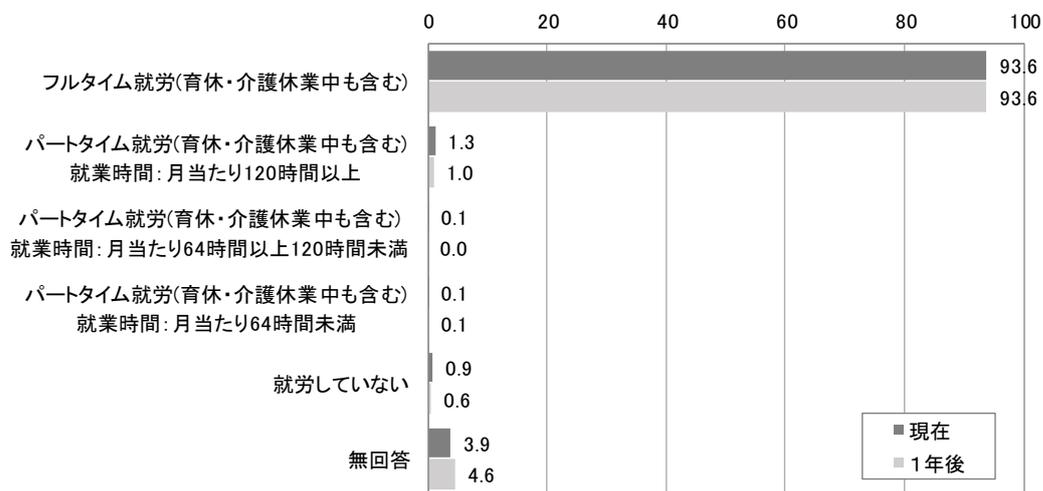


問9(2) 父親の現在の就労状況と1年後の就労予定(単回答)

- ・現在、1年後ともに「フルタイム就労(育休・介護休業中も含む)」の割合が最も高くなっており、大きな変化はみられません。
- ・平成25年調査と比較しても、大きな差異はみられません。

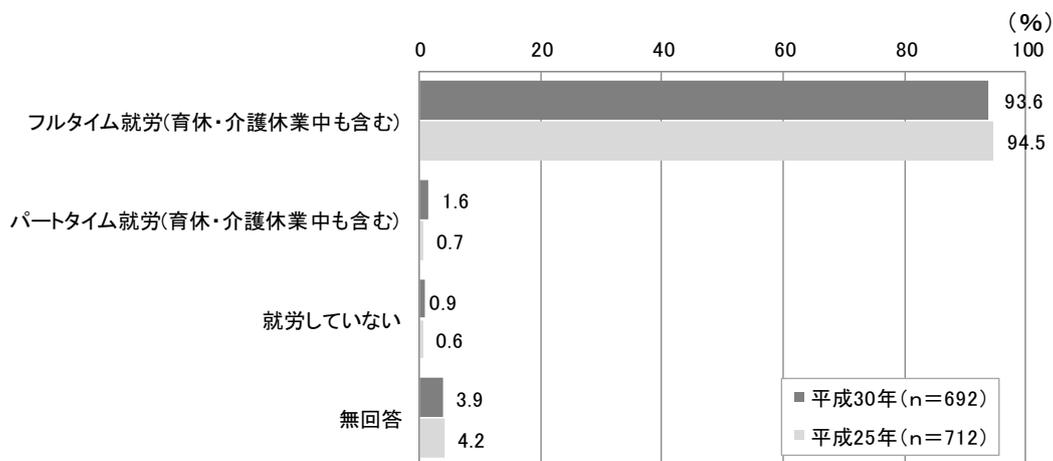
【現在と1年後の比較】

(%)



n=692

【現在と平成25年調査との比較】



(1) 家庭類型について

保護者の就労状況については、内閣府が提示する「市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き」をもとにした「家庭類型の分類」を行い、8タイプに分類しています。

| 母親 タイプA 父親 ひとり親 | | 1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中 | 3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中 | | | 5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない |
|-------------------------------|-------------------|---------------------------|----------------------------|-------------------|--------|-------------------------------|
| | | | 120時間以上 | 64時間以上 120時間未満 | 64時間未満 | |
| 1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中 | | タイプB | タイプC | タイプC' | | タイプD |
| 3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中 | 120時間以上 | タイプC | タイプE | タイプE' | | |
| | 64時間以上 120時間未満 | タイプC' | タイプE' | | | |
| | 64時間未満 | | | | | |
| 5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない | | タイプD | | | タイプF | |

※3～5歳：平日定期的に利用している教育・保育の事業で「幼稚園」を利用しており、今後の希望でも「認可保育所」「認定こども園を選択していない」方をタイプC'・E'に分類し、それ以外をタイプC・Eとした。

0～2歳：定期的に教育・保育の事業を利用している方については、「保育の事業」を利用している方をタイプC・Eとし、現在利用していない方は、今後の希望で「保育の事業」を希望した方について、タイプC・Eとし、それ以外をタイプC'・E'とした。

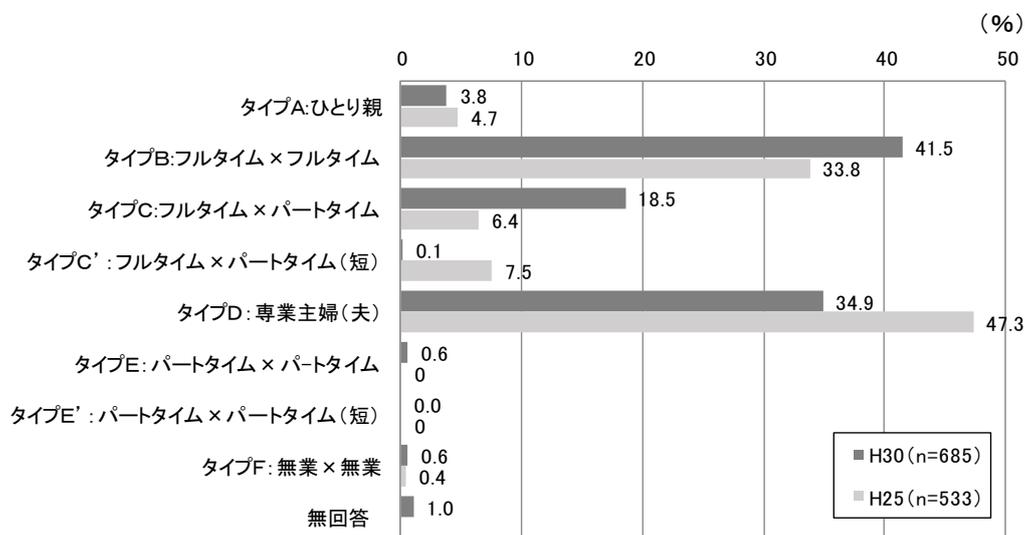
(2) 家庭類型割合

ニーズ調査の結果から家庭類型を分類すると、以下のとおりで、現在の共働き家庭（タイプB、C、C'、E、E'）が60.1%から、1年後に64.9%と4.8ポイント高くなっています。

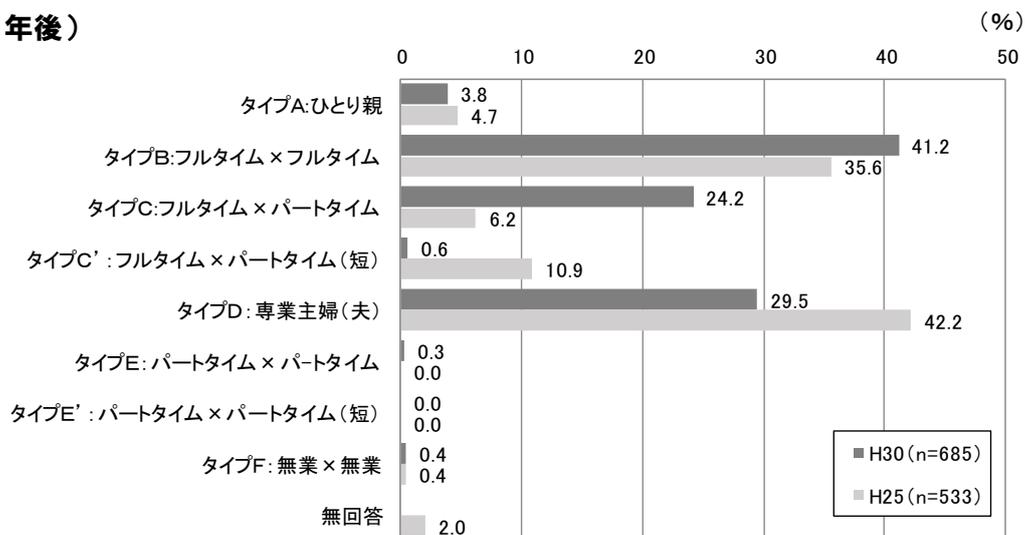
| 家庭類型 | | 現在 | | 潜在(1年後) | |
|-------|--------------------------------------|-----|-------|---------|-------|
| | | 実数 | 割合(%) | 実数 | 割合(%) |
| タイプA | ひとり親 | 26 | 3.8 | 26 | 3.8 |
| タイプB | フルタイム×フルタイム | 284 | 41.0 | 279 | 40.3 |
| タイプC | フルタイム×パートタイム(月120時間以上+64時間～120時間の一部) | 127 | 18.4 | 164 | 23.7 |
| タイプC' | フルタイム×パートタイム(月64時間未満+64時間～120時間の一部) | 1 | 0.1 | 4 | 0.6 |
| タイプD | 専業主婦(夫) | 239 | 34.5 | 200 | 28.9 |
| タイプE | パート×パート(双方月120時間以上+64時間～120時間の一部) | 4 | 0.6 | 2 | 0.3 |
| タイプE' | パート×パート(いずれかが月64時間未満+64時間～120時間の一部) | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| タイプF | 無業×無業 | 4 | 0.6 | 3 | 0.4 |
| 無回答 | | 7 | 1.0 | 14 | 2.0 |
| 全体 | | 692 | 100.0 | 692 | 100.0 |

- 現在、潜在（1年後）ともに、平成 25 年から 30 年にかけて、「タイプB：フルタイム×フルタイム」「タイプC：フルタイム×パートタイム」が増加傾向となっており、「タイプC'：フルタイム×パートタイム（短）」「タイプD：専業主婦（夫）」が減少傾向となっています。

現在



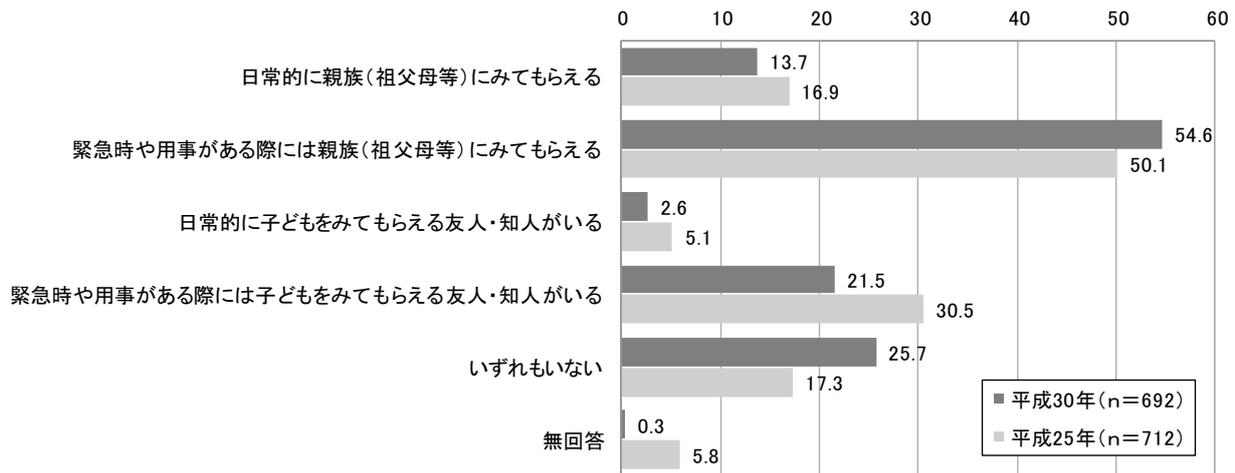
潜在（1年後）



問10 子どもをみてもらえる親族・友人の有無（複数回答）

- ・「緊急時や用事がある際には親族（祖父母等）にみてもらえる」が54.6%で最も高く、「いずれもない」が25.7%、「緊急時や用事がある際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が21.5%の順となっています。
- ・平成25年調査と比較すると、「いずれもない」は8.4ポイント増加しています。
- ・「いずれもない」の割合は、子どもの年齢別では“2歳”、現在の家庭類型別では、“タイプC（フルタイム×パートタイム）”で最も高くなっています。

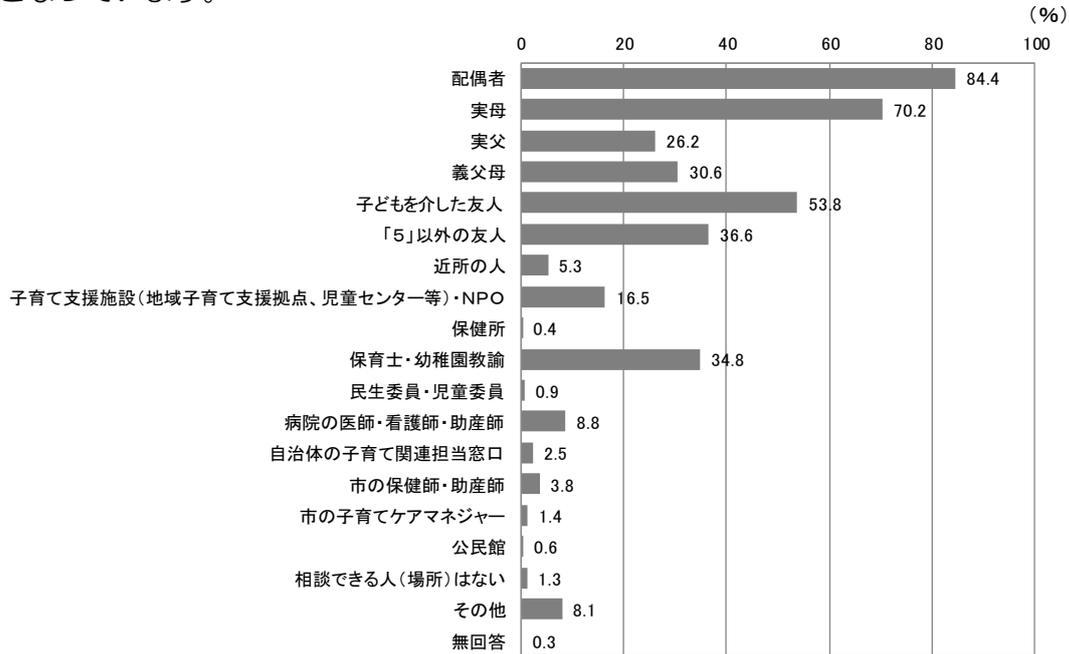
(%)



| | 合計 | 問10 子どもをみてもらえる親族・友人の有無 | | | | | | |
|--------|--------------|------------------------|-----------------------------|------------------------|--------------------------------|-------------|------------|-----------|
| | | 日常的に親族(祖父母等)にみてもらえる | 緊急時や用事がある際には親族(祖父母等)にみてもらえる | 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | 緊急時や用事がある際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | いずれもない | 無回答 | |
| 全体 | 692 100.0 | 95 13.7 | 378 54.6 | 18 2.6 | 149 21.5 | 178 25.7 | 2 0.3 | |
| 子どもの年齢 | 0歳 | 269 100.0 | 42 15.6 | 157 58.4 | 3 1.1 | 28 10.4 | 72 26.8 | 0 0.0 |
| | 1歳 | 56 100.0 | 6 10.7 | 33 58.9 | 0 0.0 | 9 16.1 | 14 25.0 | 0 0.0 |
| | 2歳 | 62 100.0 | 6 9.7 | 31 50.0 | 1 1.6 | 10 16.1 | 21 33.9 | 0 0.0 |
| | 3歳 | 108 100.0 | 14 13.0 | 63 58.3 | 2 1.9 | 33 30.6 | 23 21.3 | 0 0.0 |
| | 4歳 | 96 100.0 | 11 11.5 | 50 52.1 | 8 8.3 | 35 36.5 | 20 20.8 | 2 2.1 |
| | 5歳 | 101 100.0 | 16 15.8 | 44 43.6 | 4 4.0 | 34 33.7 | 28 27.7 | 0 0.0 |
| | 現在の家庭類型 | タイプA | 26 100.0 | 9 34.6 | 12 46.2 | 0 0.0 | 5 19.2 | 5 19.2 |
| タイプB | | 284 100.0 | 43 15.1 | 166 58.5 | 7 2.5 | 46 16.2 | 70 24.6 | 0 0.0 |
| タイプC | | 127 100.0 | 11 8.7 | 68 53.5 | 4 3.1 | 29 22.8 | 36 28.3 | 0 0.0 |
| タイプC' | | 1 100.0 | 0 0.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| タイプD | | 239 100.0 | 30 12.6 | 125 52.3 | 7 2.9 | 66 27.6 | 63 26.4 | 0 0.0 |
| タイプE | | 4 100.0 | 1 25.0 | 2 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 25.0 | 0 0.0 |
| タイプE' | | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| タイプF | | 4 100.0 | 0 0.0 | 2 50.0 | 0 0.0 | 2 50.0 | 1 25.0 | 0 0.0 |

問 11 子育て（教育を含む）に関して気軽に相談できる人や場所（複数回答）

・「配偶者」が84.4%で最も高く、次いで「実母」が70.2%、「子どもを介した友人」が53.8%の順となっています。



n=692

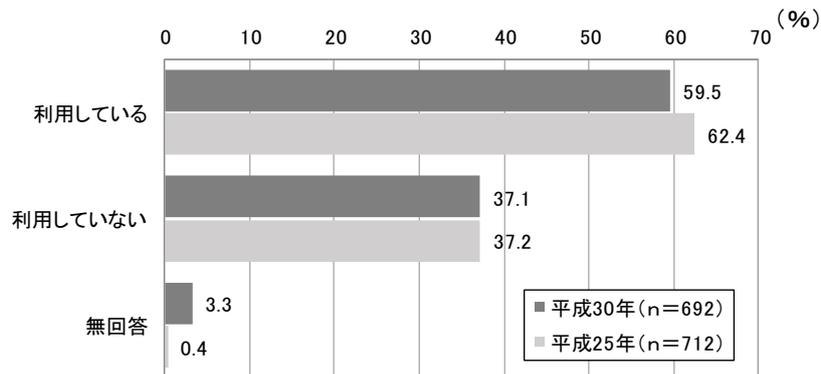
| | 合計 | 問11 子育て（教育を含む）に関して気軽に相談できる人や場所 | | | | | | | | | | |
|--------|--------------|--------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|------------|
| | | 配偶者 | 実母 | 実父 | 義父母 | 子どもを介した友人 | 「5」以外の友人 | 近所の人 | 子育て支援施設 | 保健所 | 保育士・幼稚園教諭 | |
| 全体 | 692 100.0 | 584 84.4 | 486 70.2 | 181 26.2 | 212 30.6 | 372 53.8 | 253 36.6 | 37 5.3 | 114 16.5 | 3 0.4 | 241 34.8 | |
| 子どもの年齢 | 0歳 | 269 100.0 | 230 85.5 | 211 78.4 | 84 31.2 | 88 32.7 | 115 42.8 | 107 39.8 | 10 3.7 | 64 23.8 | 3 1.1 | 63 23.4 |
| | 1歳 | 56 100.0 | 49 87.5 | 37 66.1 | 11 19.6 | 17 30.4 | 28 50.0 | 21 37.5 | 6 10.7 | 7 12.5 | 0 0.0 | 20 35.7 |
| | 2歳 | 62 100.0 | 52 83.9 | 44 71.0 | 16 25.8 | 23 37.1 | 34 54.8 | 24 38.7 | 4 6.5 | 7 11.3 | 0 0.0 | 27 43.5 |
| | 3歳 | 108 100.0 | 92 85.2 | 70 64.8 | 23 21.3 | 36 33.3 | 66 61.1 | 40 37.0 | 6 5.6 | 11 10.2 | 0 0.0 | 54 50.0 |
| | 4歳 | 96 100.0 | 83 86.5 | 64 66.7 | 29 30.2 | 21 21.9 | 62 64.6 | 35 36.5 | 3 3.1 | 15 15.6 | 0 0.0 | 42 43.8 |
| | 5歳 | 101 100.0 | 78 77.2 | 60 59.4 | 18 17.8 | 27 26.7 | 67 66.3 | 26 25.7 | 8 7.9 | 10 9.9 | 0 0.0 | 35 34.7 |

| | 合計 | 問11 子育て（教育を含む）に関して気軽に相談できる人や場所 | | | | | | | | | |
|--------|--------------|--------------------------------|---------------|---------------|-----------|--------------|----------|---------------|-----------|-----------|----------|
| | | 民生委員・児童委員 | 病院の医師・看護師・助産師 | 自治体の子育て関連担当窓口 | 市の保健師・助産師 | 市の子育てケアマネジャー | 公民館 | 相談できる人(場所)はない | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 692 100.0 | 6 0.9 | 61 8.8 | 17 2.5 | 26 3.8 | 10 1.4 | 4 0.6 | 9 1.3 | 56 8.1 | 2 0.3 | |
| 子どもの年齢 | 0歳 | 269 100.0 | 3 1.1 | 29 10.8 | 13 4.8 | 23 8.6 | 6 2.2 | 4 1.5 | 3 1.1 | 20 7.4 | 0 0.0 |
| | 1歳 | 56 100.0 | 1 1.8 | 2 3.6 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 1.8 | 0 0.0 | 0 0.0 | 8 14.3 | 0 0.0 |
| | 2歳 | 62 100.0 | 1 1.6 | 8 12.9 | 0 0.0 | 1 1.6 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 3.2 | 0 0.0 |
| | 3歳 | 108 100.0 | 0 0.0 | 7 6.5 | 3 2.8 | 2 1.9 | 1 0.9 | 0 0.0 | 1 0.9 | 8 7.4 | 0 0.0 |
| | 4歳 | 96 100.0 | 0 0.0 | 8 8.3 | 1 1.0 | 0 0.0 | 2 2.1 | 0 0.0 | 3 3.1 | 9 9.4 | 2 2.1 |
| | 5歳 | 101 100.0 | 1 1.0 | 7 6.9 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 2.0 | 9 8.9 | 0 0.0 |

2. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 12 幼稚園や保育所などの教育・保育事業の定期的利用の有無（単回答）

- ・「利用している」が59.5%、「利用していない」が37.1%となっています。
- ・子どもの年齢別でみると、“4歳”“5歳”は9割以上の利用率となっており、居住地域別でみると、“中町”での割合が最も高くなっています。

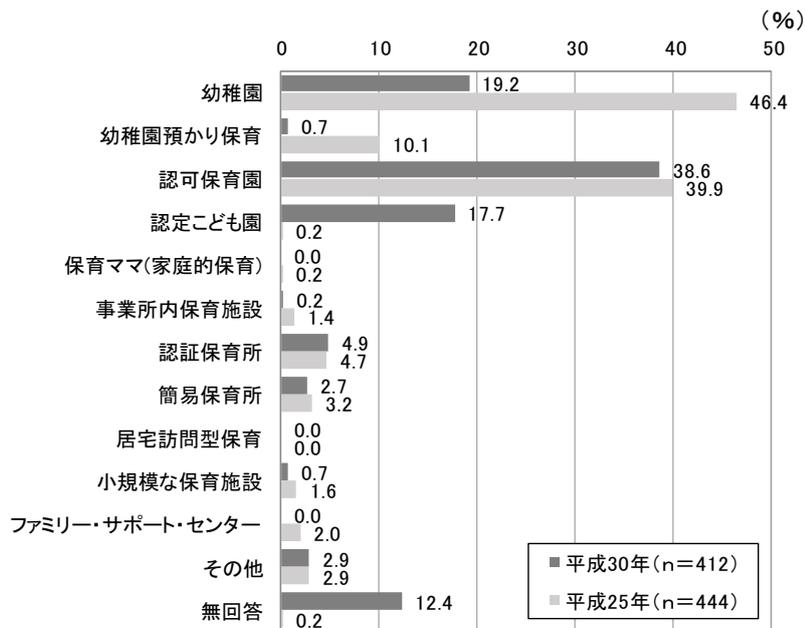


| | | 合計 | 問12 幼稚園や保育所などの教育・保育事業の定期的利用の有無 | | |
|--------|----|--------------|--------------------------------|-------------|-----------|
| | | | 利用している | 利用していない | 無回答 |
| 全体 | | 692 100.0 | 412 59.5 | 257 37.1 | 23 3.3 |
| 子どもの年齢 | 0歳 | 269 100.0 | 58 21.6 | 201 74.7 | 10 3.7 |
| | 1歳 | 56 100.0 | 32 57.1 | 21 37.5 | 3 5.4 |
| | 2歳 | 62 100.0 | 38 61.3 | 22 35.5 | 2 3.2 |
| | 3歳 | 108 100.0 | 93 86.1 | 11 10.2 | 4 3.7 |
| | 4歳 | 96 100.0 | 93 96.9 | 2 2.1 | 1 1.0 |
| | 5歳 | 101 100.0 | 98 97.0 | 0 0.0 | 3 3.0 |
| 居住地域 | 元町 | 315 100.0 | 169 53.7 | 137 43.5 | 9 2.9 |
| | 中町 | 224 100.0 | 151 67.4 | 67 29.9 | 6 2.7 |
| | 新町 | 147 100.0 | 87 59.2 | 52 35.4 | 8 5.4 |

問 12-1 (1) 定期的に利用している教育・保育事業（複数回答）

【問 12 で「1. 利用している」と回答した方限定】

- ・「認可保育園」が 38.6% で最も高く、次いで「幼稚園」が 19.2%、「認定こども園」が 17.7% となっています。
- ・平成 25 年調査と比較すると、「幼稚園」は 27.2 ポイントの減少、「認定こども園」は 17.5 ポイントの増加となっています。



※H25 調査時「認定こども園」は市内に整備されていない。

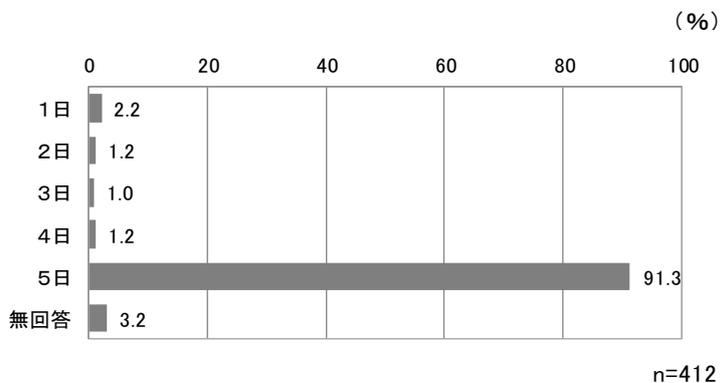
| | 合計 | 問12-1 ①(1)定期的に利用している教育・保育事業 | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--------------|-----------------------------|------------|-------------|-------------|-------------|----------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------------|-----------|------------|------------|
| | | 幼稚園 | 幼稚園預かり保育 | 認可保育園 | 認定こども園 | 保育ママ(家庭的保育) | 事業所内保育施設 | 認証保育所 | 簡易保育所 | 居宅訪問型保育 | 小規模な保育施設 | ファミリー・サポート・センター | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 412 100.0 | 79 19.2 | 3 0.7 | 159 38.6 | 73 17.7 | 0 0.0 | 1 0.2 | 20 4.9 | 11 2.7 | 0 0.0 | 3 0.7 | 0 0.0 | 12 2.9 | 51 12.4 | |
| 子どもの年齢 | 0歳 | 58 100.0 | 1 1.7 | 0 0.0 | 25 43.1 | 0 0.0 | 0 0.0 | 7 12.1 | 2 3.4 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 7 12.1 | 16 27.6 | |
| | 1歳 | 32 100.0 | 1 3.1 | 0 0.0 | 19 59.4 | 2 6.3 | 0 0.0 | 0 0.0 | 4 12.5 | 1 3.1 | 0 0.0 | 1 3.1 | 1 3.1 | 3 9.4 | |
| | 2歳 | 38 100.0 | 1 2.6 | 0 0.0 | 19 50.0 | 3 7.9 | 0 0.0 | 1 2.6 | 2 5.3 | 5 13.2 | 0 0.0 | 2 5.3 | 0 0.0 | 2 5.3 | 3 7.9 |
| | 3歳 | 93 100.0 | 22 23.7 | 0 0.0 | 39 41.9 | 19 20.4 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 1.1 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 1.1 | 11 11.8 |
| | 4歳 | 93 100.0 | 28 30.1 | 3 3.2 | 24 25.8 | 20 21.5 | 0 0.0 | 0 0.0 | 3 3.2 | 2 2.2 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 1.1 | 12 12.9 |
| | 5歳 | 98 100.0 | 26 26.5 | 0 0.0 | 33 33.7 | 29 29.6 | 0 0.0 | 0 0.0 | 3 3.1 | 1 1.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 6 6.1 |
| 現在の家庭類型 | タイプA | 21 100.0 | 1 4.8 | 0 0.0 | 16 76.2 | 1 4.8 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 4.8 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 9.5 | |
| | タイプB | 164 100.0 | 4 2.4 | 1 0.6 | 109 66.5 | 11 6.7 | 0 0.0 | 1 0.6 | 9 5.5 | 9 5.5 | 0 0.0 | 0 0.0 | 4 2.4 | 16 9.8 | |
| | タイプC | 103 100.0 | 14 13.6 | 1 1.0 | 29 28.2 | 26 25.2 | 0 0.0 | 0 0.0 | 9 8.7 | 1 1.0 | 0 0.0 | 2 1.9 | 0 1.9 | 19 18.4 | |
| | タイプC' | 1 100.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | |
| | タイプD | 112 100.0 | 58 51.8 | 1 0.9 | 3 2.7 | 32 28.6 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 0.9 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 0.9 | 0 0.0 | 6 5.4 | 10 8.9 |
| | タイプE | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 50.0 | |
| | タイプE' | 0 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | |
| | タイプF | 3 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 33.3 | 2 66.7 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | |

問 12-1 (2) 現在、定期的に利用している教育・保育事業の利用日数・時間（数量回答）

【問 12 で「1. 利用している」と回答した方限定】

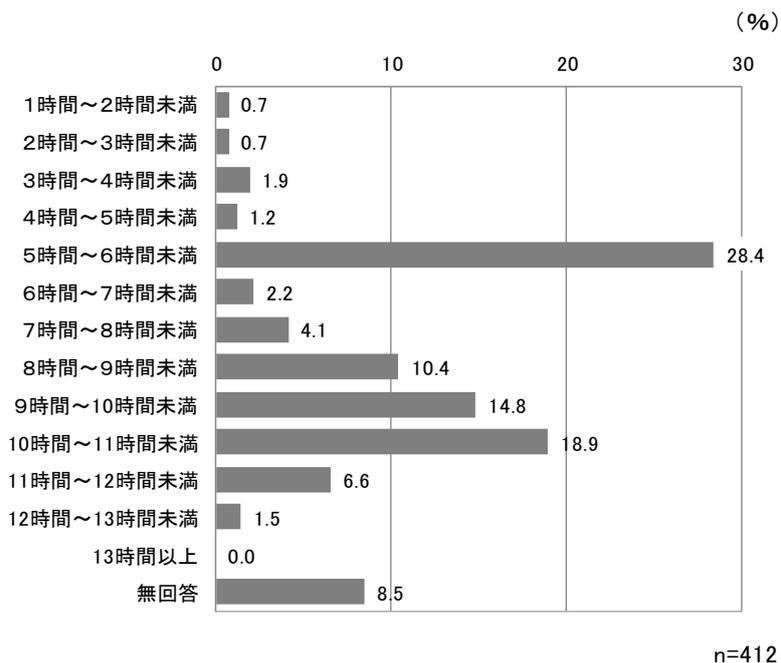
【日数】

・「5日」が91.3%となっています。



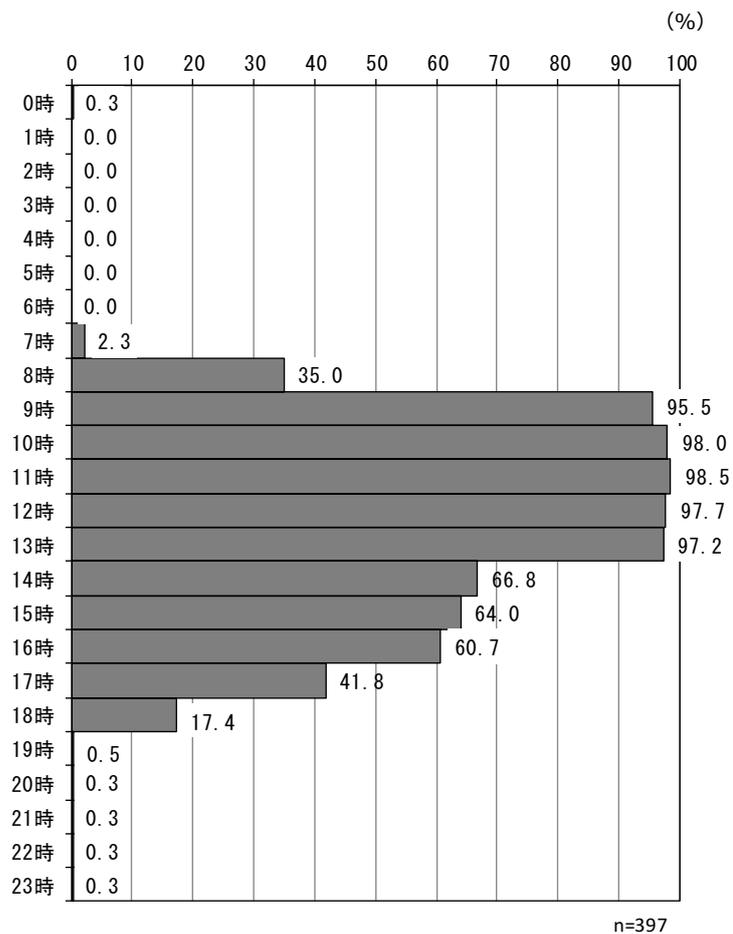
【1日当たりの利用時間】

・「5時間～6時間未満」が28.4%で最も高く、次いで「10時間～11時間未満」が18.9%となっています。



【利用時間帯】

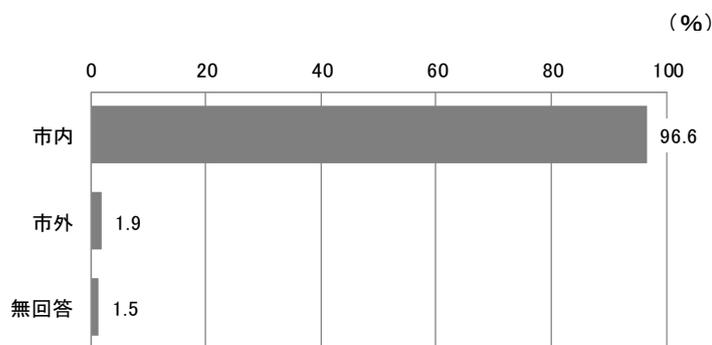
• 9時から14時までの利用が9割以上となっており、18時以降は2割以下となっています。



問 12-1 (3) 定期的に利用している教育・保育事業の利用場所 (単回答)

【問 12 で「1. 利用している」と回答した方限定】

- ・「市内」が96.6%、「市外」が1.9%となっています。
- ・利用している事業別にみると、「市外」は“幼稚園” “事業所内保育施設” “認証保育所” “その他” となっています。



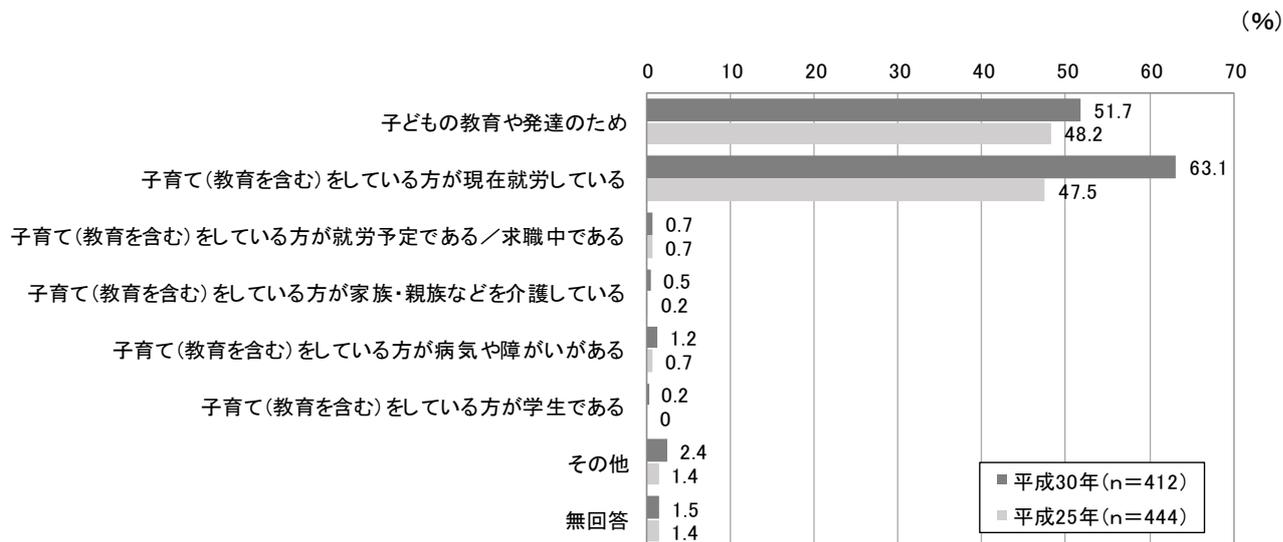
n=412

| | | 合計 | 問12-1 (3) 定期的に利用している教育・保育事業の利用場所 | | |
|-----------------|-------------|-------|----------------------------------|-------|-----|
| | | | 市内 | 市外 | 無回答 |
| 全体 | | 412 | 398 | 8 | 6 |
| | | 100.0 | 96.6 | 1.9 | 1.5 |
| 平日に定期利用している事業 | 幼稚園 | 79 | 78 | 1 | 0 |
| | | 100.0 | 98.7 | 1.3 | 0.0 |
| | 幼稚園預かり保育 | 3 | 3 | 0 | 0 |
| | | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 認可保育園 | 159 | 155 | 0 | 4 |
| | | 100.0 | 97.5 | 0.0 | 2.5 |
| | 認定こども園 | 73 | 72 | 0 | 1 |
| | | 100.0 | 98.6 | 0.0 | 1.4 |
| | 保育ママ(家庭的保育) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 事業所内保育施設 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 |
| | 認証保育所 | 20 | 18 | 2 | 0 |
| | 100.0 | 90.0 | 10.0 | 0.0 | |
| 簡易保育所 | 11 | 11 | 0 | 0 | |
| | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 居宅訪問型保育 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 小規模な保育施設 | 3 | 3 | 0 | 0 | |
| | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | |
| ファミリー・サポート・センター | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| その他 | 12 | 11 | 1 | 0 | |
| | 100.0 | 91.7 | 8.3 | 0.0 | |

問 12-2 定期的に教育・保育事業を利用している理由（複数回答）

【問 12 で「1. 利用している」と回答した方限定】

- 「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が63.1%で最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が51.7%となっています。
- 家庭類型別にみると、“タイプD（専業主婦（夫））”は「子どもの教育や発達のため」が最も高くなっています。（タイプC’、タイプFは回答者が少ないため参考）

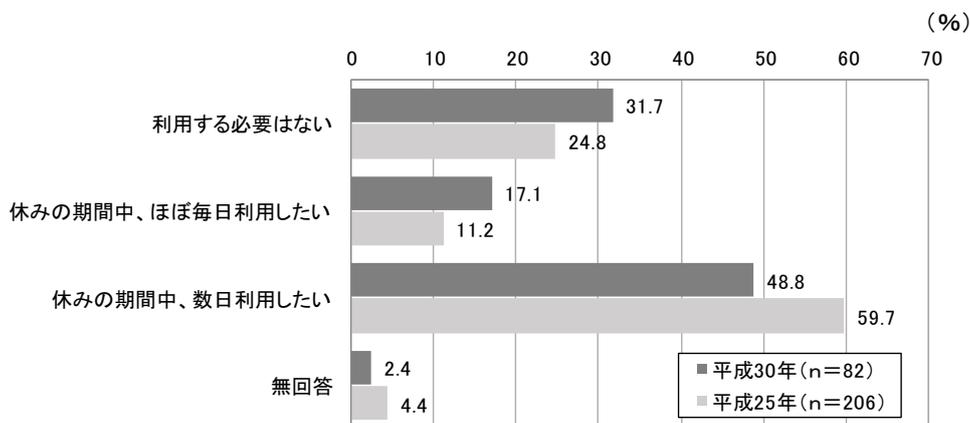


| | 合計 | 問12-2 定期的に教育・保育事業を利用している理由 | | | | | | | | |
|---------|--------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------------|---------------------------------|----------------------------|------------------------|-----------|----------|----------|
| | | 子どもの教育や発達のため | 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している | 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定である／求職中である | 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している | 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障がいがある | 子育て（教育を含む）をしている方が学生である | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 412 100.0 | 213 51.7 | 260 63.1 | 3 0.7 | 2 0.5 | 5 1.2 | 1 0.2 | 10 2.4 | 6 1.5 | |
| 現在の家庭類型 | タイプA | 21 100.0 | 4 19.0 | 19 90.5 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 4.8 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | タイプB | 164 100.0 | 44 26.8 | 153 93.3 | 3 1.8 | 2 1.2 | 0 0.0 | 0 0.0 | 4 2.4 | 2 1.2 |
| | タイプC | 103 100.0 | 51 49.5 | 78 75.7 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 1.0 | 0 0.0 | 2 1.9 | 0 0.0 |
| | タイプC' | 1 100.0 | 1 100.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | タイプD | 112 100.0 | 106 94.6 | 3 2.7 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 1.8 | 1 0.9 | 4 3.6 | 4 3.6 |
| | タイプE | 2 100.0 | 1 50.0 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | タイプE' | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | タイプF | 3 100.0 | 3 100.0 | 1 33.3 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 33.3 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |

| 家庭類型 | |
|-------|--------------------------------------|
| タイプA | ひとり親 |
| タイプB | フルタイム×フルタイム |
| タイプC | フルタイム×パートタイム(月120時間以上+64時間~120時間の一部) |
| タイプC' | フルタイム×パートタイム(月64時間未満+64時間~120時間の一部) |
| タイプD | 専業主婦(夫) |
| タイプE | パート×パート(双方月120時間以上+64時間~120時間の一部) |
| タイプE' | パート×パート(いずれかが月64時間未満+64時間~120時間の一部) |
| タイプF | 無業×無業 |

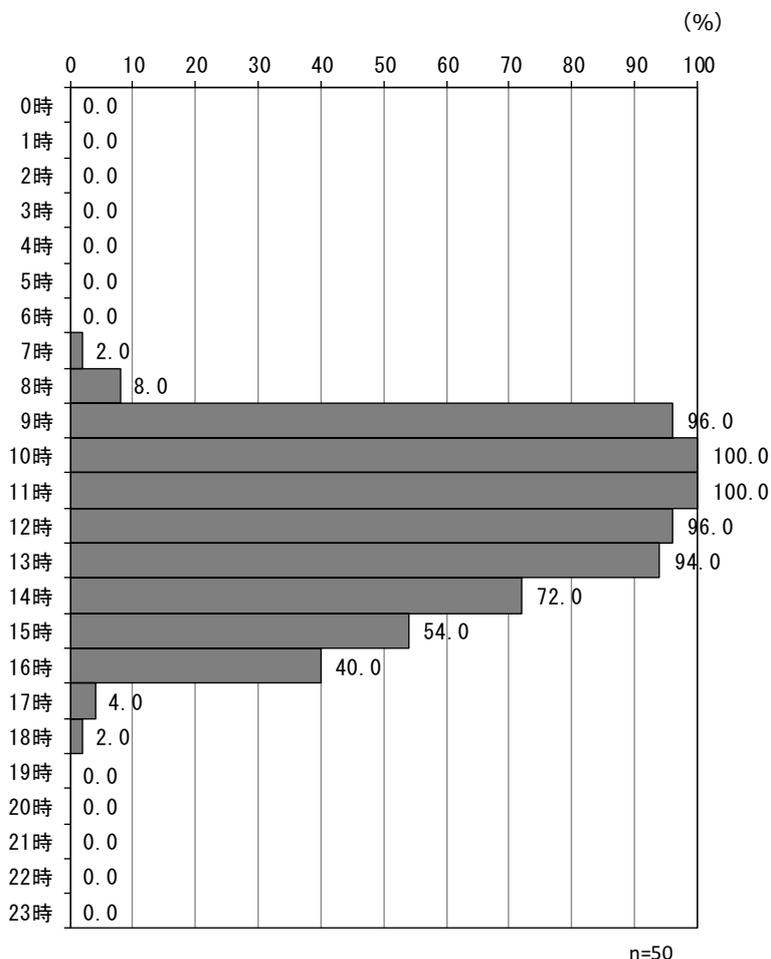
**問 12-3 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望・時間
（単回答、数量回答） 【問 12-1 で「1. 幼稚園」と回答した方限定】**

- ・「休みの期間中、数日利用したい」が48.8%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が17.1%で、合わせると『利用したい』は65.9%となっています。
- ・平成25年調査と比較すると、『利用したい』は、5.0ポイントの減少となっています。



【利用時間帯】

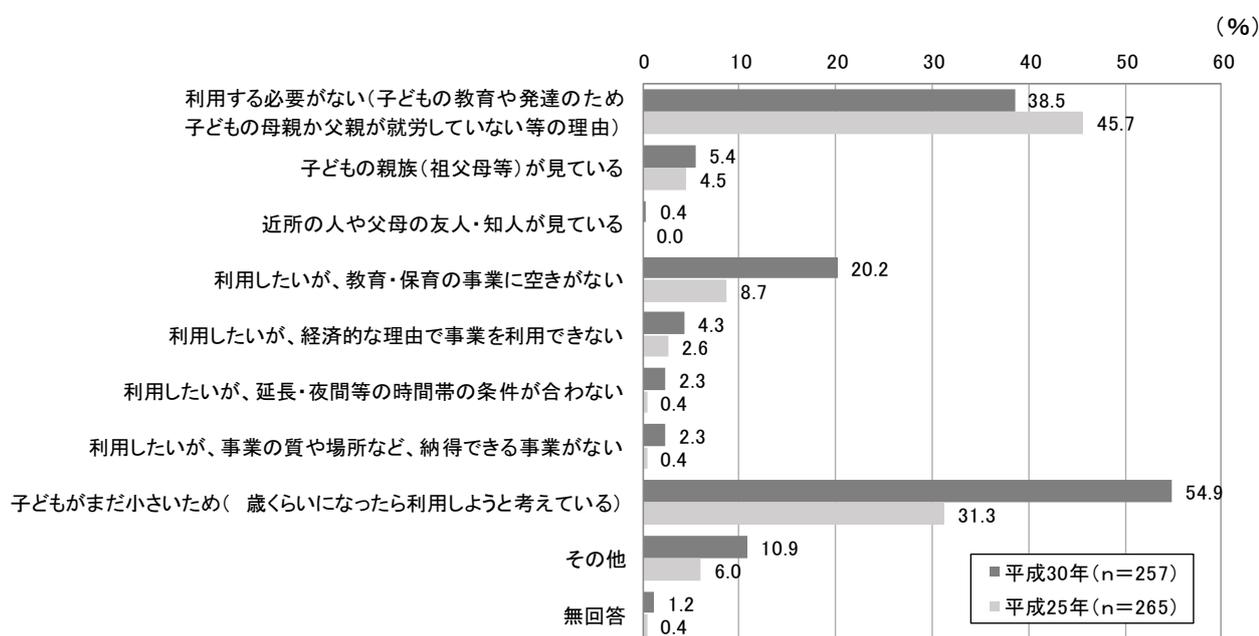
- ・9時～14時が9割以上となっており、17時以降は4%未満となっています。



問 12-4 定期的に教育・保育事業を利用していない理由（複数回答）

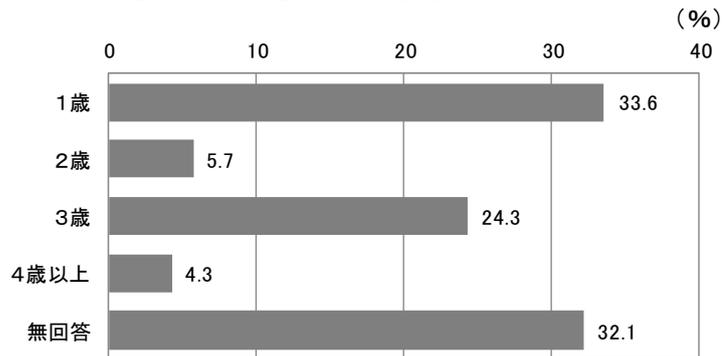
【問 12 で「2. 利用していない」と回答した方限定】

- ・「子どもがまだ小さいため（歳くらいになったら利用しようと考えている）」が 54.9% で最も高く、次いで「利用する必要がない（子どもの教育や発達のため子どもの母親か父親が就労していない等の理由）」が 38.5% となっています。
- ・平成 25 年調査と比較すると、「子どもがまだ小さいため（歳くらいになったら利用しようと考えている）」と「利用したいが教育・保育の事業に空きがない」が大きく増加となっています。
- ・子どもの年齢別にみると、“1 歳” “2 歳” “3 歳” は「利用する必要がない（子どもの教育や発達のため子どもの母親か父親が就労していない等の理由）」が最も高くなっています。
- ・「子どもがまだ小さいため（歳くらいになったら利用しようと考えている）」と回答した方の、利用しようと考えている子どもの年齢は、「1 歳」が 33.6% となっています。



| | 合計 | 問12-4 定期的に教育・保育事業を利用していない理由 | | | | | | | | | | |
|--------|--------------|-----------------------------|-------------------|--------------------|-----------------------|-------------------------|---------------------------|-----------------------------|-------------|-------------|------------|----------|
| | | 利用する必要がない | 子どもの親族(祖父母等)が見ている | 近所の人や父母の友人・知人が見ている | 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない | 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない | 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない | 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない | 子どもがまだ小さいため | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 257 100.0 | 99 38.5 | 14 5.4 | 1 0.4 | 52 20.2 | 11 4.3 | 6 2.3 | 6 2.3 | 141 54.9 | 28 10.9 | 3 1.2 | |
| 子どもの年齢 | 0歳 | 201 100.0 | 67 33.3 | 13 6.5 | 1 0.5 | 39 19.4 | 10 5.0 | 6 3.0 | 4 2.0 | 124 61.7 | 25 12.4 | 0 0.0 |
| | 1歳 | 21 100.0 | 13 61.9 | 0 0.0 | 0 0.0 | 5 23.8 | 1 4.8 | 0 0.0 | 0 0.0 | 11 52.4 | 1 4.8 | 0 0.0 |
| | 2歳 | 22 100.0 | 13 59.1 | 0 0.0 | 0 0.0 | 3 13.6 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 9.1 | 4 18.2 | 1 4.5 | 2 9.1 |
| | 3歳 | 11 100.0 | 5 45.5 | 0 0.0 | 0 0.0 | 5 45.5 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 9.1 | 1 9.1 |
| | 4歳 | 2 100.0 | 1 50.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 5歳 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |

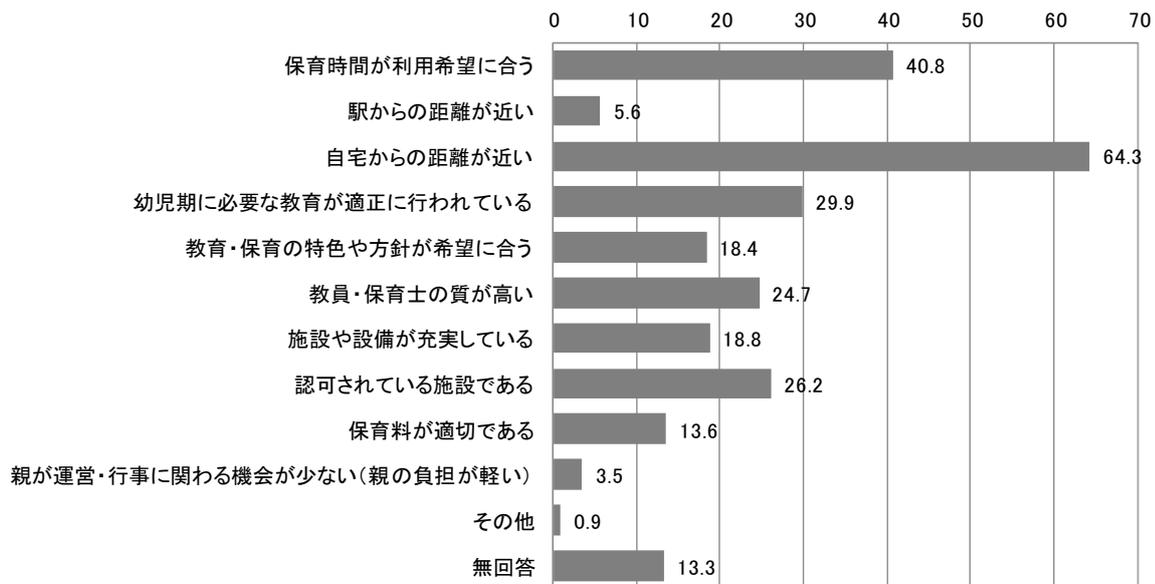
【教育・保育事業を利用しようと考えている子どもの年齢】



n=140

問 13 教育・保育事業を選ぶうえで重視する条件（複数回答）

- ・「自宅からの距離が近い」が64.3%で最も高く、次いで「保育時間が利用希望に合う」が40.8%、「幼児期に必要な教育が適正に行われている」が29.9%の順となっています。
- ・家庭類型別にみると、“タイプA（ひとり親家庭）は、「保育時間が利用希望に合う」「自宅からの距離が近い」がともに53.8%と高くなっています。（タイプC’は回答者が少ないため参考）



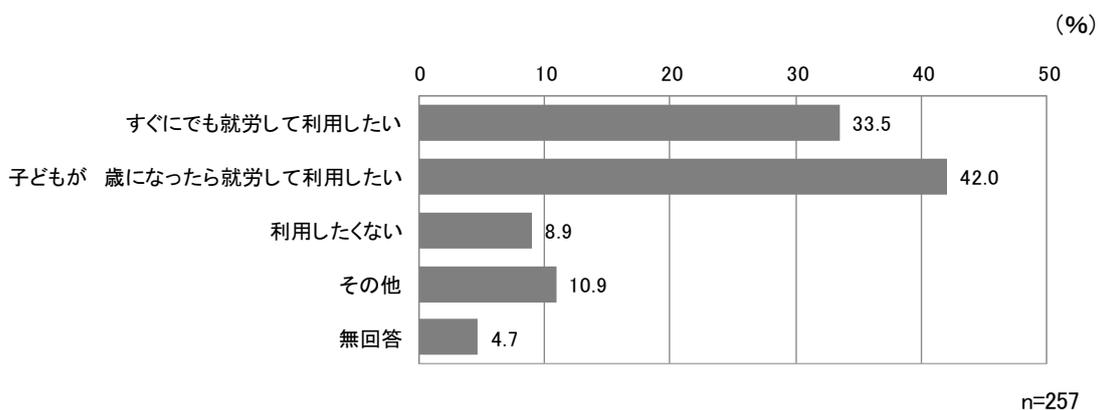
n=692

| | 合計 | 問13 教育・保育事業を選ぶうえで重視する条件 | | | | | | | | | | | | |
|---------|-------|-------------------------|-----------|------------|---------------------|-------------------|-------------|--------------|--------------|-----------|-------------------|-----|------|------|
| | | 保育時間が利用希望に合う | 駅からの距離が近い | 自宅からの距離が近い | 幼児期に必要な教育が適正に行われている | 教育・保育の特色や方針が希望に合う | 教員・保育士の質が高い | 施設や設備が充実している | 認可されている施設である | 保育料が適切である | 親が運営・行事に関わる機会が少ない | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 692 | 282 | 39 | 445 | 207 | 127 | 171 | 130 | 181 | 94 | 24 | 6 | 92 | |
| | 100.0 | 40.8 | 5.6 | 64.3 | 29.9 | 18.4 | 24.7 | 18.8 | 26.2 | 13.6 | 3.5 | 0.9 | 13.3 | |
| 現在の家庭類型 | タイプA | 26 | 14 | 1 | 14 | 6 | 4 | 5 | 4 | 11 | 1 | 1 | 2 | 4 |
| | | 100.0 | 53.8 | 3.8 | 53.8 | 23.1 | 15.4 | 19.2 | 15.4 | 42.3 | 3.8 | 3.8 | 7.7 | 15.4 |
| | タイプB | 284 | 137 | 29 | 184 | 58 | 48 | 78 | 70 | 83 | 16 | 6 | 4 | 35 |
| | | 100.0 | 48.2 | 10.2 | 64.8 | 20.4 | 16.9 | 27.5 | 24.6 | 29.2 | 5.6 | 2.1 | 1.4 | 12.3 |
| | タイプC | 127 | 57 | 6 | 84 | 31 | 20 | 20 | 23 | 39 | 16 | 6 | 0 | 21 |
| | | 100.0 | 44.9 | 4.7 | 66.1 | 24.4 | 15.7 | 15.7 | 18.1 | 30.7 | 12.6 | 4.7 | 0.0 | 16.5 |
| | タイプC’ | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | タイプD | 239 | 70 | 3 | 151 | 106 | 51 | 64 | 30 | 45 | 60 | 11 | 0 | 29 |
| | | 100.0 | 29.3 | 1.3 | 63.2 | 44.4 | 21.3 | 26.8 | 12.6 | 18.8 | 25.1 | 4.6 | 0.0 | 12.1 |
| タイプE | 4 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | |
| | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | |
| タイプE’ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| タイプF | 4 | 0 | 0 | 4 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 25.0 | 25.0 | 50.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |

問 14 幼児教育・保育の無償化実施の際の保育所等の利用意向（単回答、数量回答）

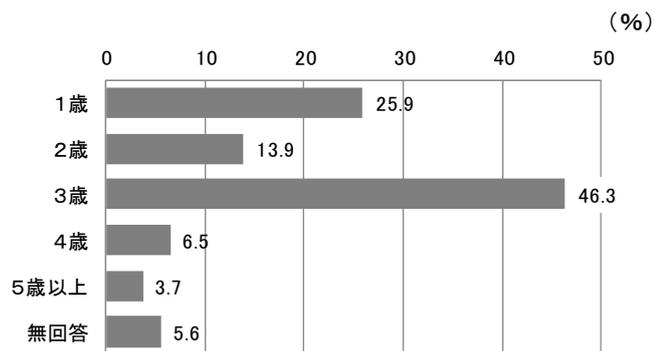
【現在、定期的な教育・保育事業を利用していない方限定】

- 「子どもが 歳になったら就労して利用したい」が42.0%で最も高く、次いで「すぐにでも就労して利用したい」が33.5%となっています。
- 子どもの年齢別にみると、“2歳”“3歳”の「すぐにでも就労して利用したい」が高くなっています。
- 就労して保育所等を利用したい子どもの年齢としては、「3歳」が46.3%と最も高く、次いで「1歳」が25.9%となっています。



| | | 問14 幼児教育・保育の 無償化実施の際の保育所等の利用意向 | | | | | |
|--------|--------------|--------------------------------|----------------------|------------|------------|------------|----------|
| 合計 | | すぐにでも就労して利用したい | 子どもが 歳になったら就労して利用したい | 利用したくない | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 257 100.0 | 86 33.5 | 108 42.0 | 23 8.9 | 28 10.9 | 12 4.7 | |
| 子どもの年齢 | 0歳 | 201 100.0 | 67 33.3 | 93 46.3 | 12 6.0 | 21 10.4 | 8 4.0 |
| | 1歳 | 21 100.0 | 5 23.8 | 6 28.6 | 5 23.8 | 4 19.0 | 1 4.8 |
| | 2歳 | 22 100.0 | 10 45.5 | 5 22.7 | 3 13.6 | 2 9.1 | 2 9.1 |
| | 3歳 | 11 100.0 | 4 36.4 | 2 18.2 | 3 27.3 | 1 9.1 | 1 9.1 |
| | 4歳 | 2 100.0 | 0 0.0 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 5歳 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |

【就労して保育所等を利用したい子どもの年齢】



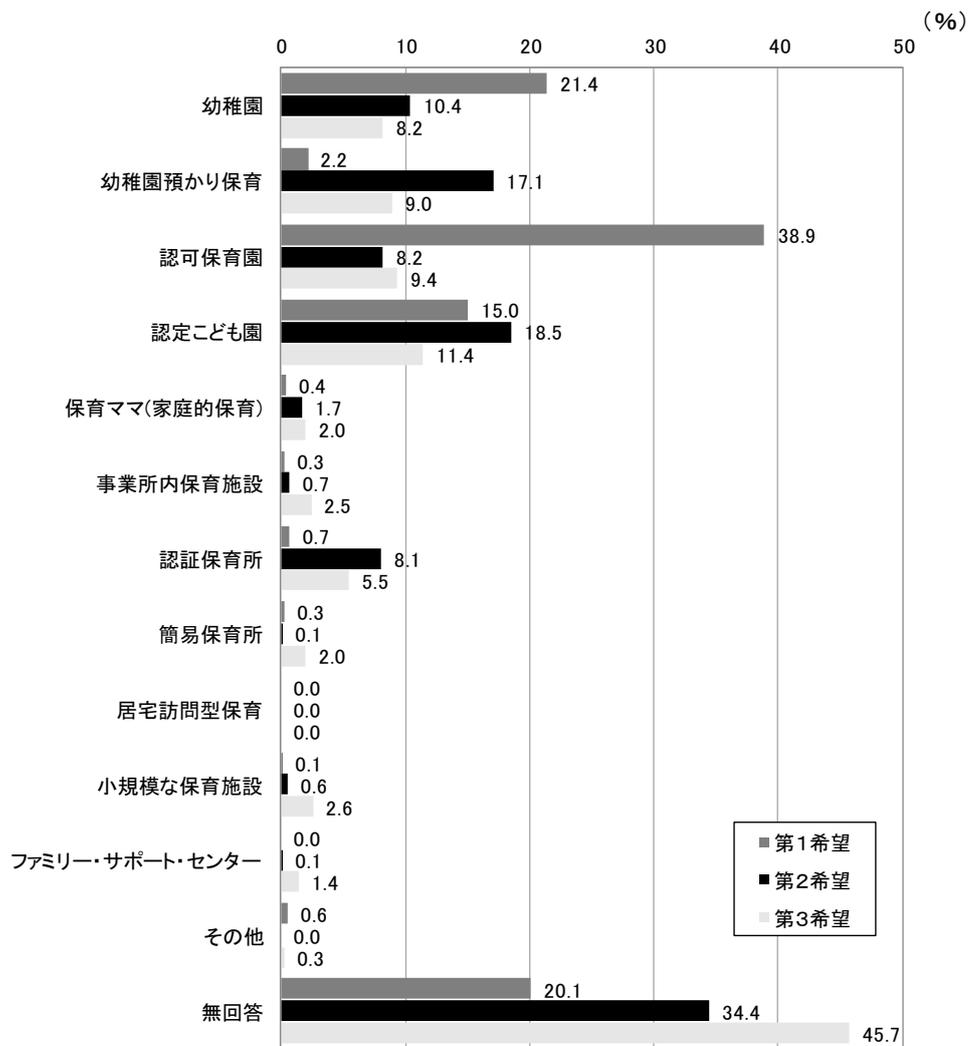
n=108

| | | 合計 | 2. 就労して保育所等を利用したい子どもの年齢 | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------------------------|------|------|------|-----|------|-----|
| | | | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳 | 無回答 |
| 全体 | | 108 | 29 | 14 | 50 | 5 | 2 | 2 | 6 |
| | | 100.0 | 26.9 | 13.0 | 46.3 | 4.6 | 1.9 | 1.9 | 5.6 |
| 子どもの年齢 | 0歳 | 93 | 29 | 14 | 41 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| | | 100.0 | 31.2 | 15.1 | 44.1 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 6.5 |
| | 1歳 | 6 | 0 | 0 | 4 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 66.7 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 2歳 | 5 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 60.0 | 20.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 |
| 3歳 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | |
| | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 4歳 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | |
| | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 5歳 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |

問 15 (1) 定期的に利用したい教育・保育の事業（無償化されなかった場合）

（複数回答）

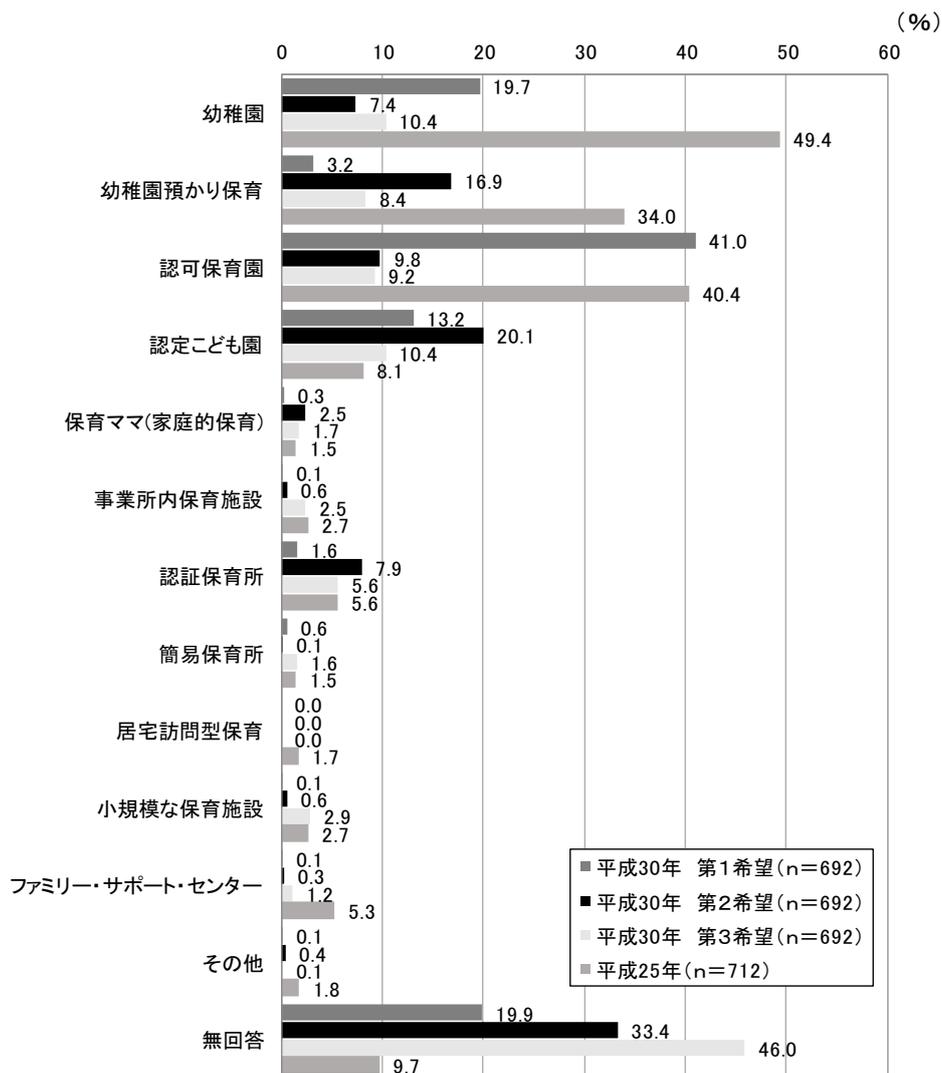
- 第1希望は「認可保育園」が38.9%で最も高く、次いで「幼稚園」が21.4%、「認定こども園」が15.0%の順となっています。
- 第2希望は、「認定こども園」が18.5%、「幼稚園預かり保育」が17.1%、第3希望は「認定こども園」が11.4%となっています。



n=692

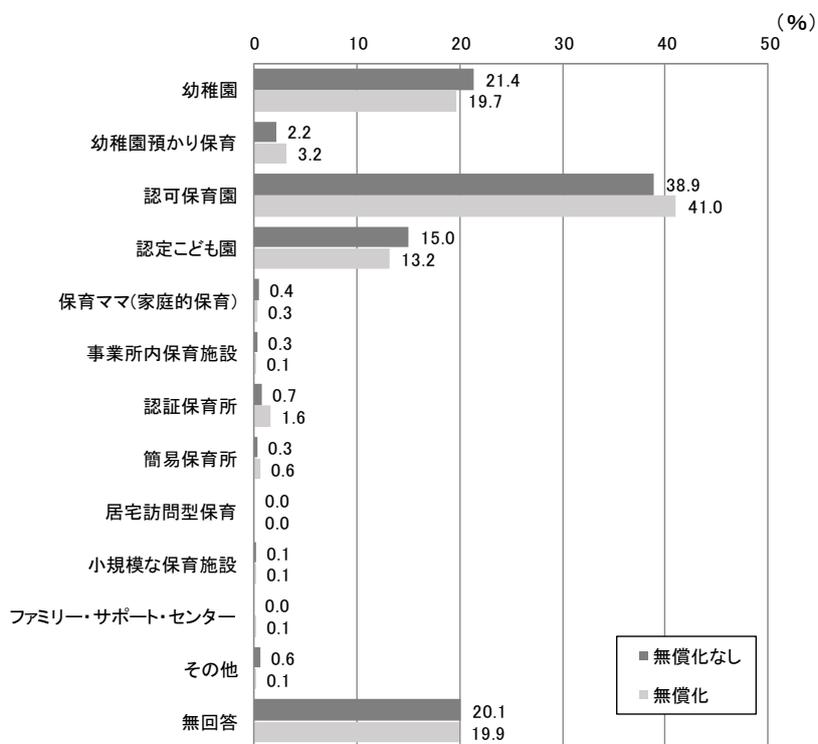
問 15 (2) ① 定期的に利用したい教育・保育の事業（無償化された場合）（複数回答）

- 第1希望は「認可保育園」が41.0%で最も高く、次いで「幼稚園」が19.7%、「認定こども園」が13.2%の順となっています。
- 第2希望は、「認定こども園」が20.1%、「幼稚園預かり保育」が16.9%、第3希望は「幼稚園」と「認定こども園」がともに10.4%となっています。
- 平成25年調査の利用したい施設・事業と第1希望の利用したい施設・事業とを比較すると、「幼稚園」は29.7ポイントの減少、「認定こども園」は5.1ポイントの増加となっています。



【無償化による利用意向の比較】

- 無償化による第1希望の教育・保育事業の利用意向は、「認可保育園」が2.1ポイント、「幼稚園預かり保育」が1.0ポイント増加しており、逆に「幼稚園」は1.7ポイント、「認定こども園」は1.8ポイント減少しています。

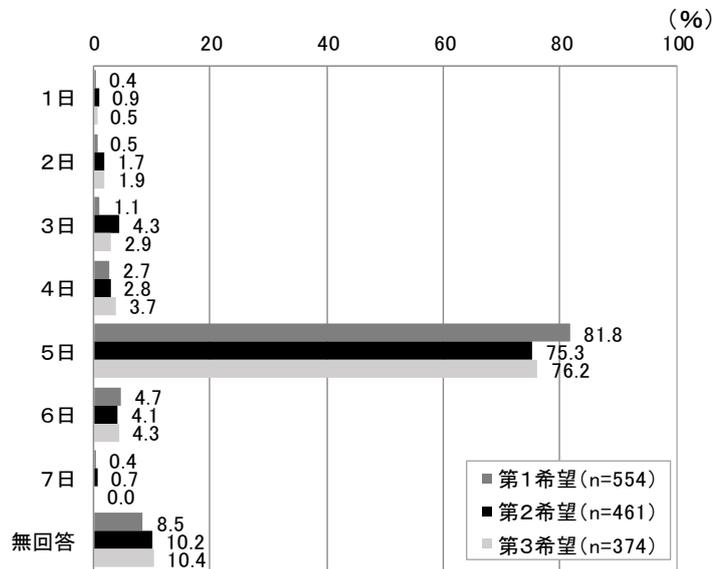


n=692

問 15 (2) ② 定期的に利用したい教育・保育事業の利用日数・時間（無償化された場合）
（数量回答）

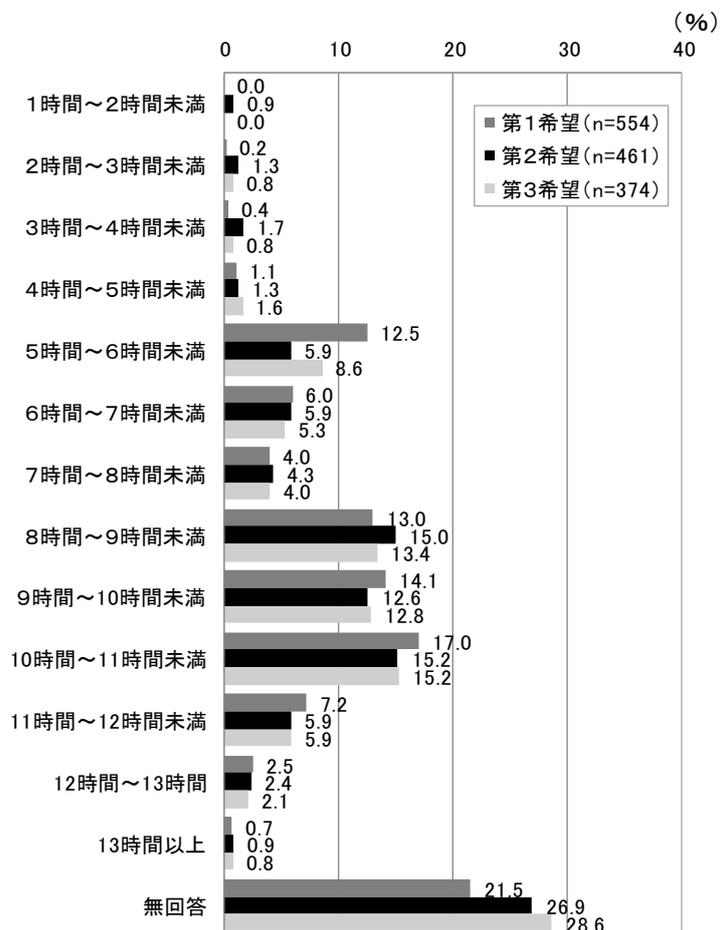
【希望日数】

- ・利用希望日数は、第1希望、第2希望、第3希望ともに「5日」が最も高くなっています。



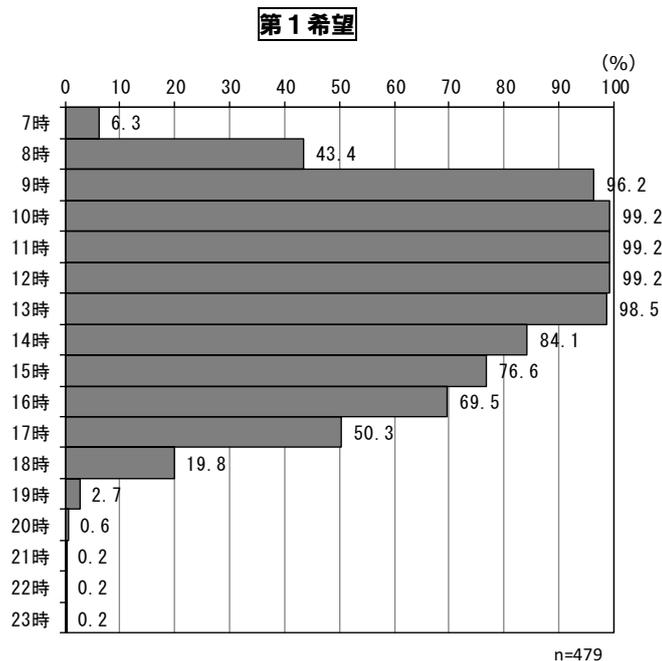
【希望時間】

- ・利用希望時間は、第1希望は、「10時間～11時間未満」が17.0%で最も高く、次いで「9時間～10時間未満」が14.1%となっています。
- ・第2希望、第3希望は「10時間～11時間未満」が最も高くなっています。

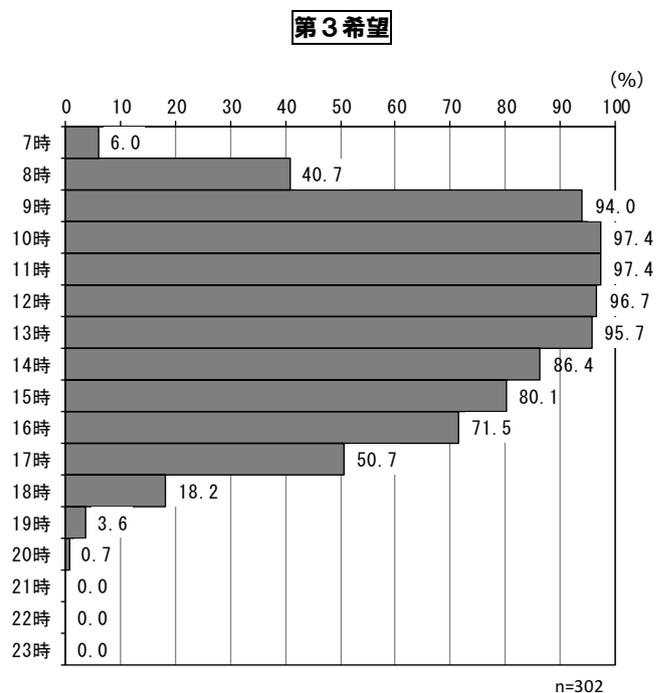
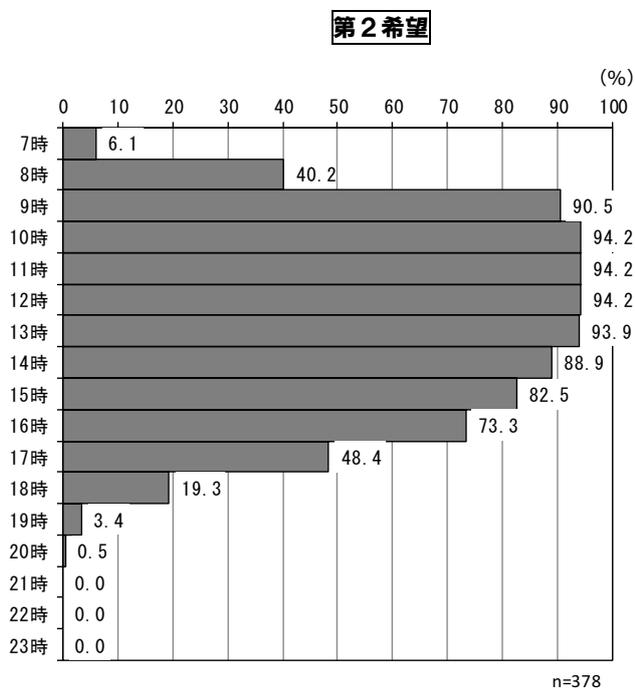


【利用希望時間帯】

- 第1希望の利用時間帯は9時～14時が9割以上、18時以降は23.7%の利用意向がみられます。



- 第2希望、第3希望ともに9時～14時が9割以上となっています。



問 15 (2) ③ 定期的に利用したい教育・保育事業の希望する利用場所（無償化された場合）（単回答）

- ・第1希望、第2希望、第3希望ともに「市内」が最も高くなっています。
- ・平成25年調査と比較しても、大きな変化はありません。



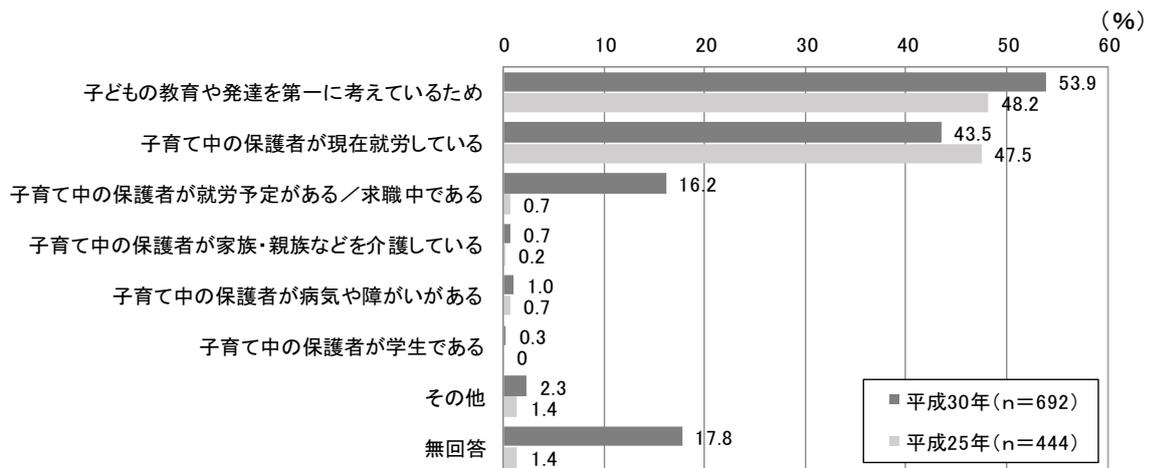
| | 合計 | 第15 (2) 無償化：第1希望事業の希望する利用場所 | | | |
|-----------------|-------------|-----------------------------|-------|-----|-------|
| | | 市内 | 市外 | 無回答 | |
| 全体 | 554 | 507 | 6 | 41 | |
| | 100.0 | 91.5 | 1.1 | 7.4 | |
| 無償化の場合の第1希望の事業 | 幼稚園 | 136 | 122 | 2 | 12 |
| | | 100.0 | 89.7 | 1.5 | 8.8 |
| | 幼稚園預かり保育 | 22 | 22 | 0 | 0 |
| | | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 認可保育園 | 284 | 261 | 1 | 22 |
| | | 100.0 | 91.9 | 0.4 | 7.7 |
| | 認定こども園 | 91 | 83 | 2 | 6 |
| | | 100.0 | 91.2 | 2.2 | 6.6 |
| | 保育ママ(家庭的保育) | 2 | 2 | 0 | 0 |
| | | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 事業所内保育施設 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |
| | 認証保育所 | 11 | 10 | 1 | 0 |
| | 100.0 | 90.9 | 9.1 | 0.0 | |
| 簡易保育所 | 4 | 4 | 0 | 0 | |
| | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 居宅訪問型保育 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 小規模な保育施設 | 1 | 1 | 0 | 0 | |
| | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | |
| ファミリー・サポート・センター | 1 | 1 | 0 | 0 | |
| | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | |
| その他 | 1 | 1 | 0 | 0 | |
| | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | |

| | 合計 | 第15 (2) 無償化：第2希望事業の希望する利用場所 | | | |
|-----------------|-------------|-----------------------------|------|------|------|
| | | 市内 | 市外 | 無回答 | |
| 全体 | 461 | 407 | 3 | 51 | |
| | 100.0 | 88.3 | 0.7 | 11.1 | |
| 無償化の場合の第2希望の事業 | 幼稚園 | 51 | 46 | 0 | 5 |
| | | 100.0 | 90.2 | 0.0 | 9.8 |
| | 幼稚園預かり保育 | 117 | 109 | 0 | 8 |
| | | 100.0 | 93.2 | 0.0 | 6.8 |
| | 認可保育園 | 68 | 58 | 1 | 9 |
| | | 100.0 | 85.3 | 1.5 | 13.2 |
| | 認定こども園 | 139 | 121 | 1 | 17 |
| | | 100.0 | 87.1 | 0.7 | 12.2 |
| | 保育ママ(家庭的保育) | 17 | 13 | 0 | 4 |
| | | 100.0 | 76.5 | 0.0 | 23.5 |
| | 事業所内保育施設 | 4 | 3 | 1 | 0 |
| | | 100.0 | 75.0 | 25.0 | 0.0 |
| | 認証保育所 | 55 | 49 | 0 | 6 |
| | 100.0 | 89.1 | 0.0 | 10.9 | |
| 簡易保育所 | 1 | 1 | 0 | 0 | |
| | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 居宅訪問型保育 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 小規模な保育施設 | 4 | 3 | 0 | 1 | |
| | 100.0 | 75.0 | 0.0 | 25.0 | |
| ファミリー・サポート・センター | 2 | 1 | 0 | 1 | |
| | 100.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | |
| その他 | 3 | 3 | 0 | 0 | |
| | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | |

| | 合計 | 第15 (2) 無償化：第3希望事業の希望する利用場所 | | | |
|-----------------|-------------|-----------------------------|------|------|------|
| | | 市内 | 市外 | 無回答 | |
| 全体 | 374 | 329 | 5 | 40 | |
| | 100.0 | 88.0 | 1.3 | 10.7 | |
| 無償化の場合の第3希望の事業 | 幼稚園 | 72 | 62 | 0 | 10 |
| | | 100.0 | 86.1 | 0.0 | 13.9 |
| | 幼稚園預かり保育 | 58 | 49 | 0 | 9 |
| | | 100.0 | 84.5 | 0.0 | 15.5 |
| | 認可保育園 | 64 | 62 | 0 | 2 |
| | | 100.0 | 96.9 | 0.0 | 3.1 |
| | 認定こども園 | 72 | 66 | 0 | 6 |
| | | 100.0 | 91.7 | 0.0 | 8.3 |
| | 保育ママ(家庭的保育) | 12 | 11 | 0 | 1 |
| | | 100.0 | 91.7 | 0.0 | 8.3 |
| | 事業所内保育施設 | 17 | 11 | 4 | 2 |
| | | 100.0 | 64.7 | 23.5 | 11.8 |
| | 認証保育所 | 39 | 35 | 1 | 3 |
| | 100.0 | 89.7 | 2.6 | 7.7 | |
| 簡易保育所 | 11 | 8 | 0 | 3 | |
| | 100.0 | 72.7 | 0.0 | 27.3 | |
| 居宅訪問型保育 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 小規模な保育施設 | 20 | 17 | 0 | 3 | |
| | 100.0 | 85.0 | 0.0 | 15.0 | |
| ファミリー・サポート・センター | 8 | 7 | 0 | 1 | |
| | 100.0 | 87.5 | 0.0 | 12.5 | |
| その他 | 1 | 1 | 0 | 0 | |
| | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | |

問 15-1 定期的な教育・保育サービスの利用を希望する理由（複数回答）

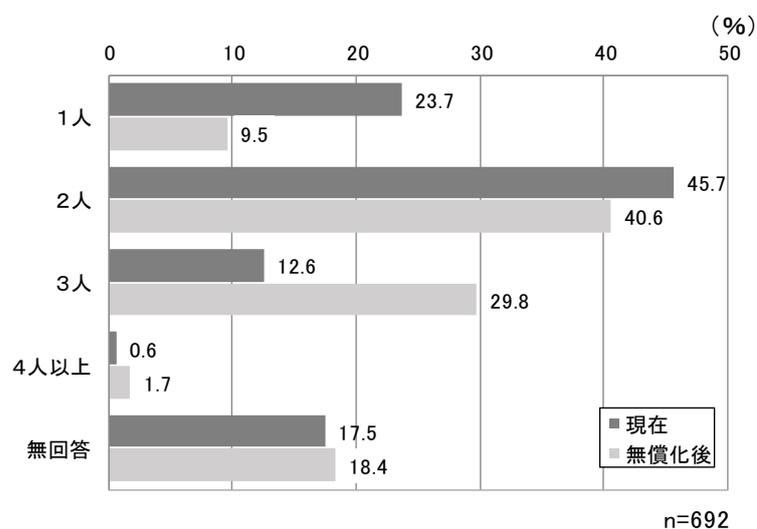
- 「子どもの教育や発達を第一に考えているため」が53.9%で最も高く、次いで「子育て中の保護者が現在就労している」が43.5%、「子育て中の保護者が就労予定がある／求職中である」が16.2%の順となっています。
- 現在の家庭類型別にみると、“タイプD（専業主婦（夫））”は、「子どもの教育や発達を第一に考えているため」が84.5%と高くなっています。（“タイプC’”と“タイプF”は回答者が少ないため参考）
- 平成25年調査と比較すると、「子どもの教育や発達を第一に考えているため」が5.7ポイント、「子育て中の保護者が就労予定がある／求職中である」が15.5ポイントの増加となっています。



| | 合計 | 問15-1 定期的な教育・保育サービスの利用を希望する理由 | | | | | | | | |
|---------|--------------|-------------------------------|-------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------|----------------|-----------|-------------|------------|
| | | 子どもの教育や発達を第一に考えているため | 子育て中の保護者が現在就労している | 子育て中の保護者が就労予定がある／求職中である | 子育て中の保護者が家族・親族などを介護している | 子育て中の保護者が病気や障がいがある | 子育て中の保護者が学生である | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 692 100.0 | 373 53.9 | 301 43.5 | 112 16.2 | 5 0.7 | 7 1.0 | 2 0.3 | 16 2.3 | 123 17.8 | |
| 現在の家庭類型 | タイプA | 26 100.0 | 5 19.2 | 16 61.5 | 2 7.7 | 0 0.0 | 1 3.8 | 0 0.0 | 0 0.0 | 7 26.9 |
| | タイプB | 284 100.0 | 98 34.5 | 190 66.9 | 36 12.7 | 0 0.0 | 1 0.4 | 0 0.0 | 2 0.7 | 60 21.1 |
| | タイプC | 127 100.0 | 61 48.0 | 67 52.8 | 13 10.2 | 0 0.0 | 1 0.8 | 0 0.0 | 1 0.8 | 33 26.0 |
| | タイプC’ | 1 100.0 | 1 100.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | タイプD | 239 100.0 | 202 84.5 | 21 8.8 | 61 25.5 | 4 1.7 | 3 1.3 | 2 0.8 | 13 5.4 | 18 7.5 |
| | タイプE | 4 100.0 | 1 25.0 | 2 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 50.0 |
| | タイプE’ | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | タイプF | 4 100.0 | 3 75.0 | 1 25.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 25.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 25.0 |

問 15-2 理想とする子どもの人数（数量回答）

- 現在は、「2人」が45.7%で最も高く、次いで「1人」が23.7%、「3人」が12.6%で、平均1.88人となっています。
- 無償化後は、「2人」が40.6%で最も高く、次いで「3人」が29.8%、「1人」が9.5%で、平均2.30人となっています。
- 現在と無償化後を比較すると、無償化後は平均で0.42人の増加となっています。

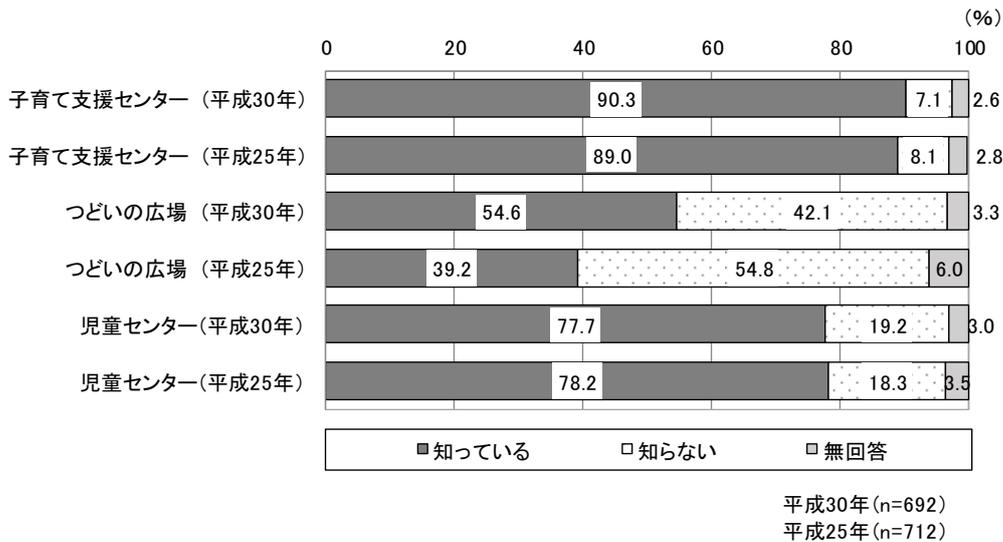


3. 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 16 地域子育て支援事業の認知状況や利用状況、今後の利用希望（単回答、数量回答）

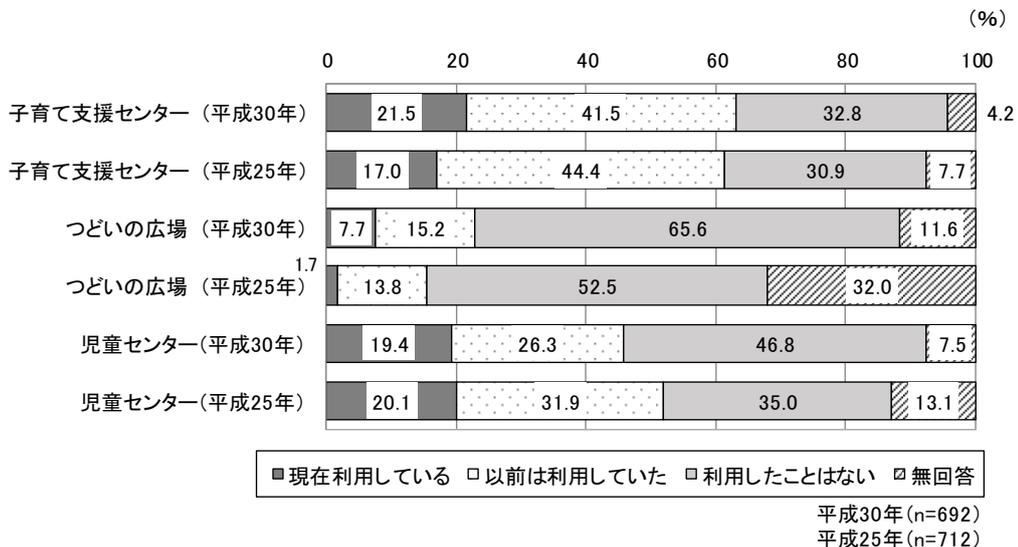
【認知状況】

- 「子育て支援センター」が 90.3%、「児童センター」が 77.7%、「つどいの広場」が 54.6%となっています。
- 平成 25 年調査と比較すると、「子育て支援センター」は 1.3 ポイントの増加、「つどいの広場」は 15.4 ポイントの増加、「児童センター」は 0.5 ポイントの減少となっています。



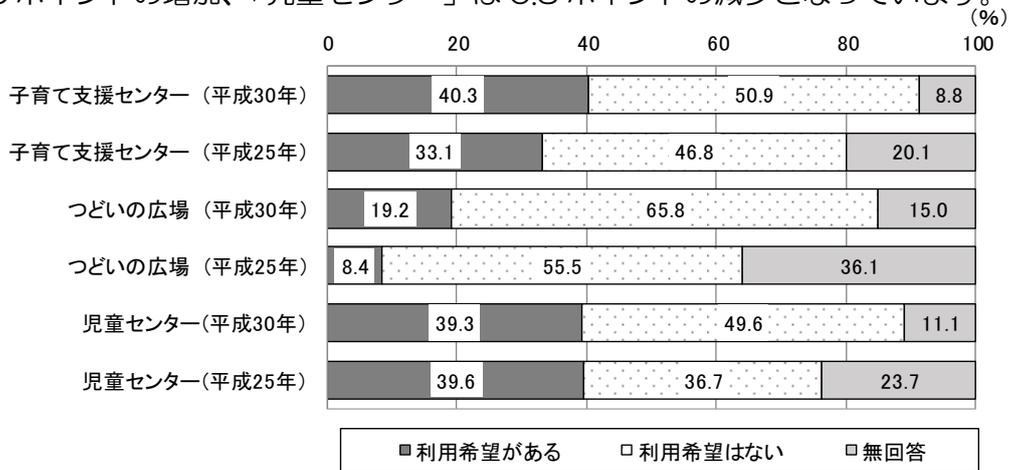
【利用状況】

- 「子育て支援センター」が 21.5%、「児童センター」が 19.4%、「つどいの広場」が 7.7%となっています。
- 平成 25 年調査と比較すると、「子育て支援センター」は 4.5 ポイントの増加、「つどいの広場」は 6.0 ポイントの増加、「児童センター」は 0.7 ポイントの減少となっています。



【今後の利用希望】

- 「子育て支援センター」が 40.3%、「児童センター」が 39.3%、「つどいの広場」が 19.2%となっています。
- 平成 25 年調査と比較すると、「子育て支援センター」は 7.2 ポイントの増加、「つどいの広場」は 10.8 ポイントの増加、「児童センター」は 0.3 ポイントの減少となっています。



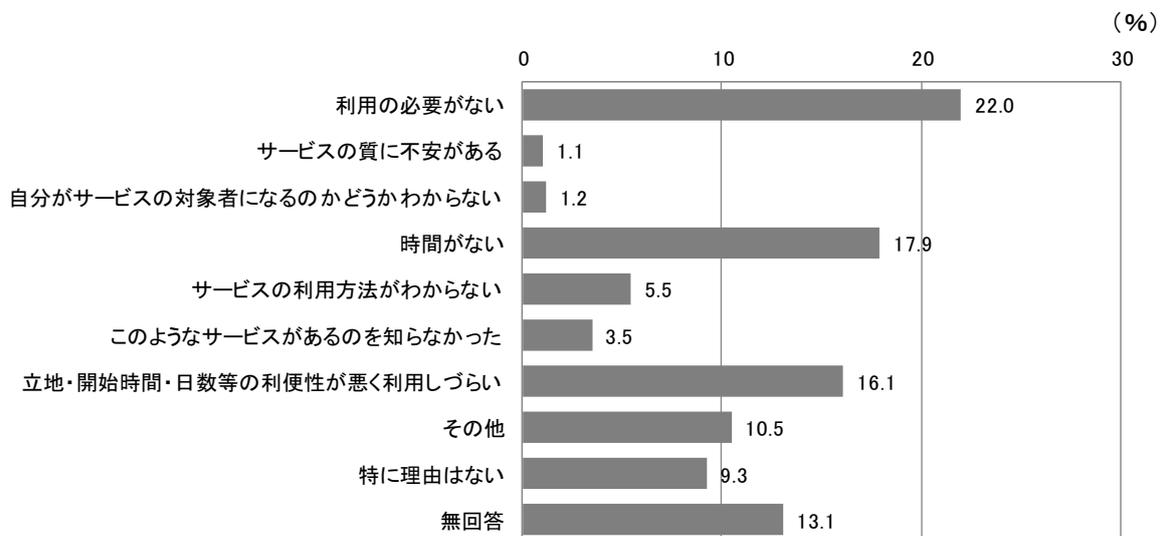
平成30年 (n=692)
平成25年 (n=712)

【利用回数】

| 事業名 | 現在の平均 利用回数/月 | 今後の平均 利用希望回数/月 |
|-----------|-----------------|-------------------|
| 子育て支援センター | 3.1 | 3.0 |
| つどいの広場 | 4.1 | 3.1 |
| 児童センター | 2.4 | 2.2 |

問 16-1 地域子育て支援事業を利用していない理由（単回答）

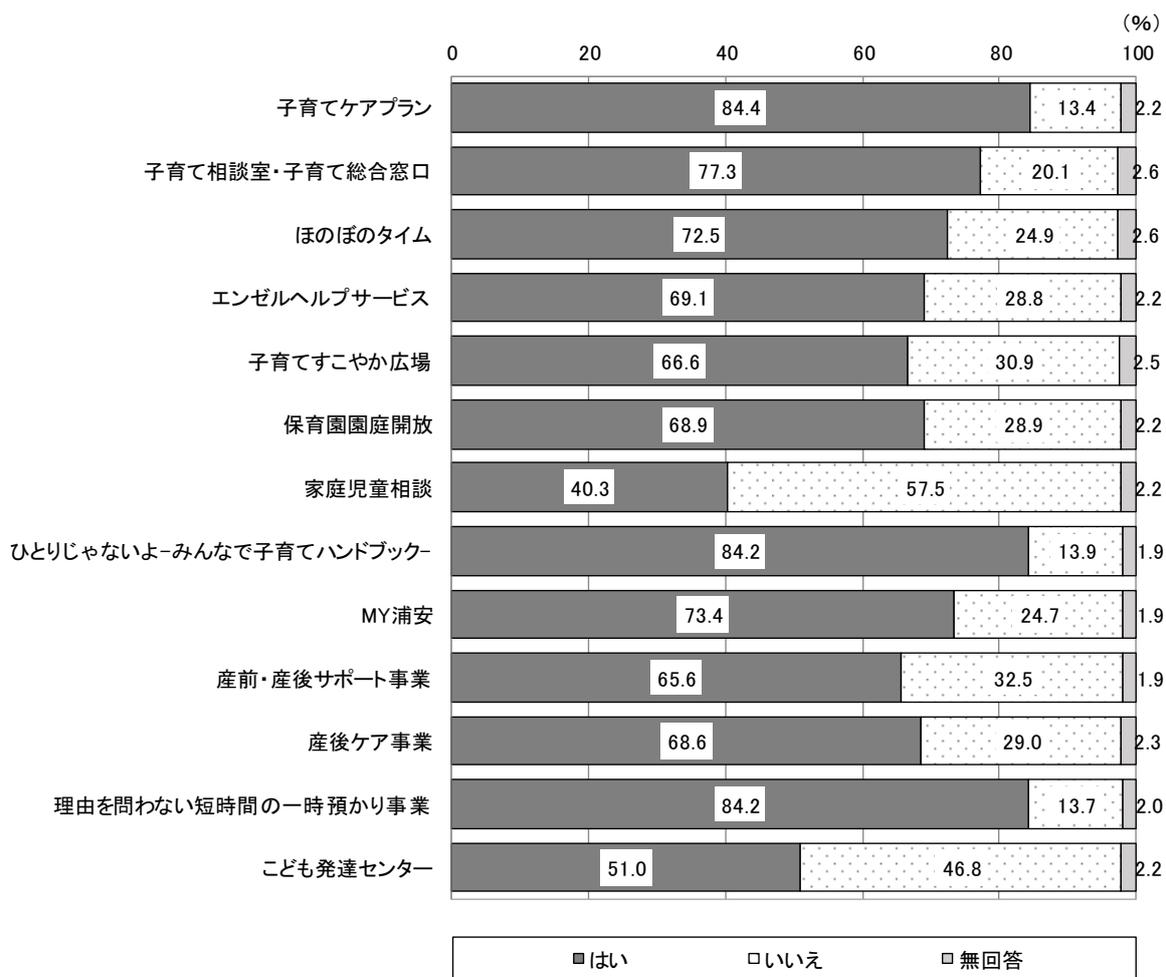
- 「利用の必要がない」が 22.0%と最も高く、次いで「時間がない」が 17.9%、「立地・開始時間・日数等の利便性が悪く利用しづらい」が 16.1%となっています。



n=659

問 17(A) 地域子育て支援事業の認知度（単回答）

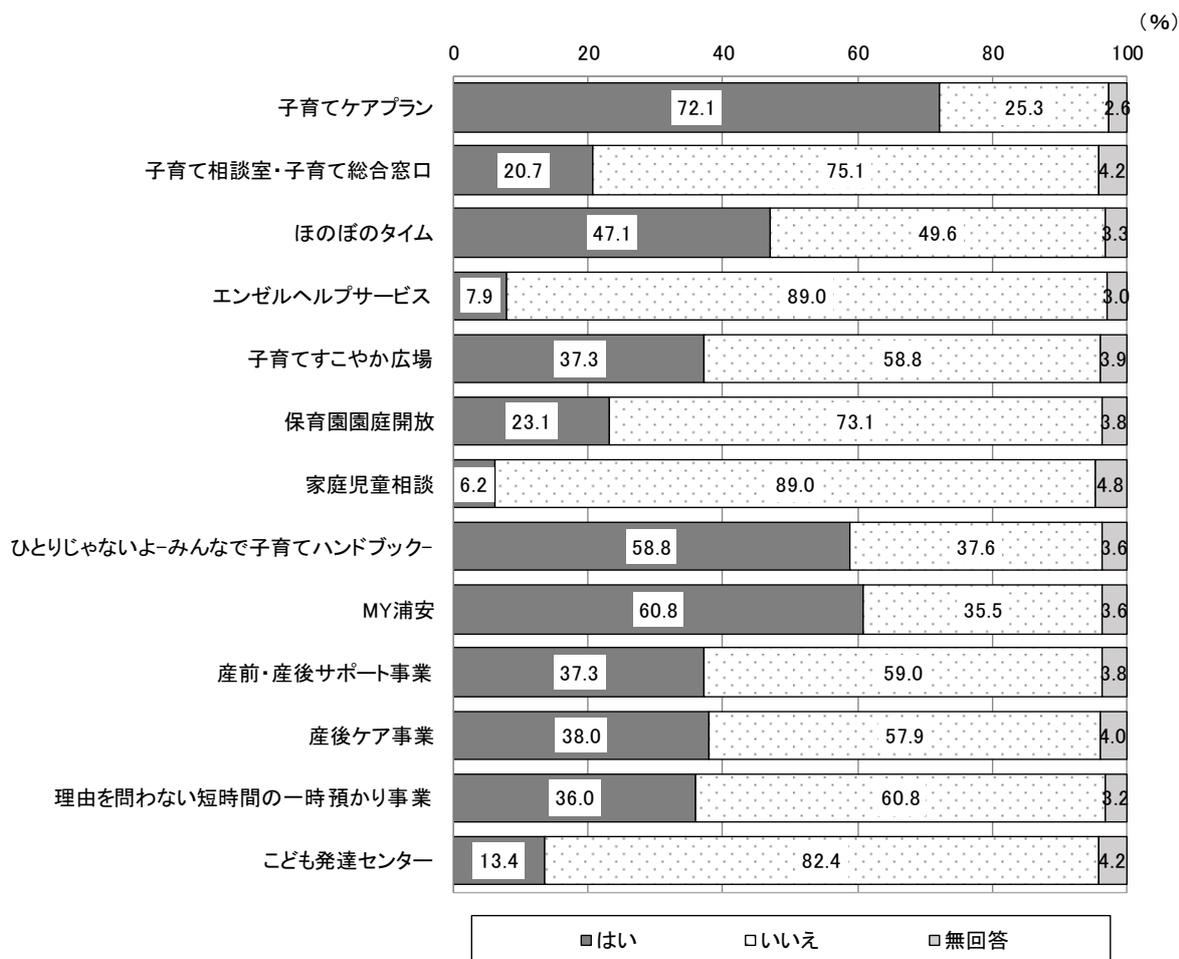
- 認知度が高い事業は、「子育てケアプラン」が 84.4%で最も高く、次いで「ひとりじゃないよ-みんなで子育てハンドブック-」と「理由を問わない短時間の一時預かり事業」が 84.2%となっています。
- 認知度が低い事業は、「家庭児童相談」が 40.3%で最も低く、次いで「こども発達センター」が 51.0%となっています。



n=692

問 17(B) 地域子育て支援事業の利用経験（単回答）

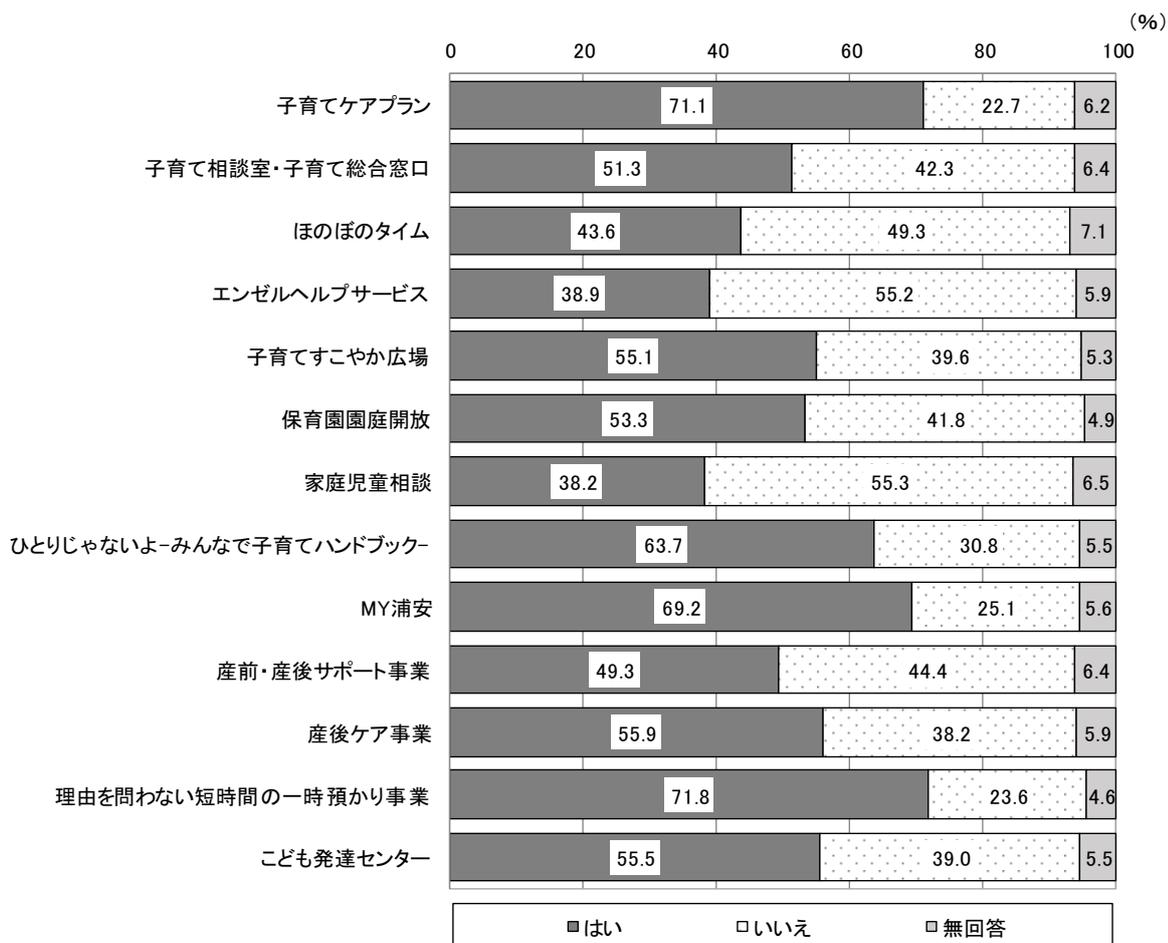
- ・利用経験が高い事業は、「子育てケアプラン」が72.1%で最も高く、次いで「MY浦安」が60.8%となっています。
- ・利用経験が低い事業は、「家庭児童相談」が6.2%で最も低く、次いで「エンゼルヘルプサービス」が7.9%となっています。
- ・認知度と比較すると、「エンゼルヘルプサービス」は61.1ポイント、「子育て相談室・子育て総合窓口」は56.6ポイント利用経験が少なくなっています。



n=692

問 17(C) 地域子育て支援事業の今後の利用意向（単回答）

- 利用意向が高い事業は、「理由を問わない短時間の一時預かり事業」が71.8%で最も高く、次いで「子育てケアプラン」が71.1%となっています。
- 利用意向が低い事業は、「家庭児童相談」が38.2%で最も低く、次いで「エンゼルヘルプサービス」が38.9%となっています。
- 利用経験と比較すると、「こども発達センター」は42.1ポイント、「理由を問わない短時間の一時預かり事業」は35.8ポイント利用意向が高くなっています。



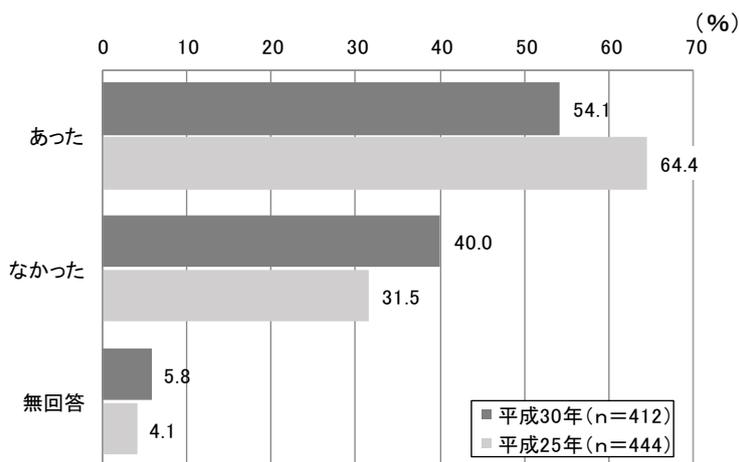
n=692

4. 病気やケガの際の保育等対応について

問 18 この1年間の病気やケガで利用できなかったことの有無（単回答）

【定期的な施設・事業を利用している方限定】

- ・「あった」が54.1%、「なかった」が40.0%となっています。
- ・子どもの年齢別にみると、「あった」は“1歳”の71.9%が最も高くなっています。
- ・平成25年調査と比較すると、「あった」は10.3ポイント減少、「なかった」が8.5ポイント増加となっています。

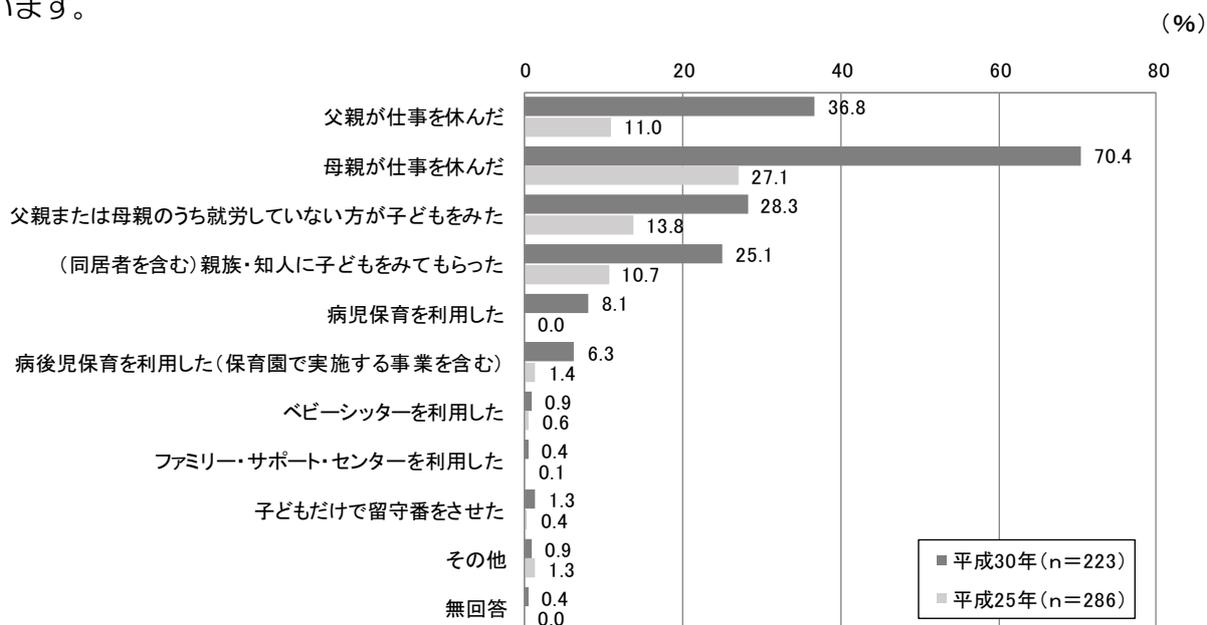


| | | 合計 | 問18 この1年間の病気やケガの経験の有無 | | |
|--------|----|--------------|-----------------------|-------------|-----------|
| | | | あった | なかった | 無回答 |
| 全体 | | 412 100.0 | 223 54.1 | 165 40.0 | 24 5.8 |
| 子どもの年齢 | 0歳 | 58 100.0 | 35 60.3 | 20 34.5 | 3 5.2 |
| | 1歳 | 32 100.0 | 23 71.9 | 8 25.0 | 1 3.1 |
| | 2歳 | 38 100.0 | 26 68.4 | 9 23.7 | 3 7.9 |
| | 3歳 | 93 100.0 | 51 54.8 | 37 39.8 | 5 5.4 |
| | 4歳 | 93 100.0 | 46 49.5 | 42 45.2 | 5 5.4 |
| | 5歳 | 98 100.0 | 42 42.9 | 49 50.0 | 7 7.1 |

問 18-1 病気やケガの場合の対処方法と日数（複数回答、数量回答）

【問 18 で「1. あった」と回答した方限定】

- 「母親が仕事を休んだ」が 70.4%で最も高く、次いで「父親が休んだ」が 36.8%、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が 28.3%となっています。
- 平成 25 年調査と比較すると、「母親が仕事を休んだ」が 43.3 ポイントと大きく増加となっています。



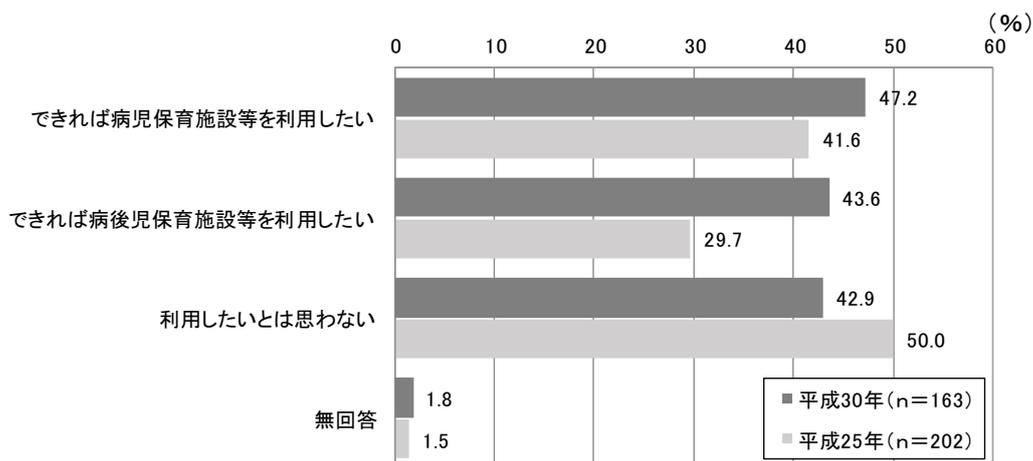
【対処方法別日数】

| 対処方法 | 年間の平均日数 |
|---------------------------|---------|
| 父親が仕事を休んだ | 3.1 |
| 母親が仕事を休んだ | 8.3 |
| 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた | 7.4 |
| (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった | 11.1 |
| 病児保育を利用した | 4.3 |
| 病後児保育を利用した(保育園で実施する事業を含む) | 3.8 |
| ベビーシッターを利用した | - |
| ファミリー・サポート・センターを利用した | 1.0 |
| 子どもだけで留守番をさせた | 2.5 |
| その他 | 2.0 |

問 18-2 病児・病後児保育の利用希望（複数回答、数量回答）

【問 18-1 で「1.」「2.」と回答した方限定】

- 「できれば病児保育施設等を利用したい」が 47.2%、「できれば病後児保育施設等を利用したい」が 43.6%、「利用したいとは思わない」が 42.9%となっています。
- 子どもの年齢別にみると、年齢が上がると、「利用したいと思わない」の割合も高くなっています。
- 平成 25 年調査と比較すると、「利用したいと思わない」が 7.1 ポイント減少しています。



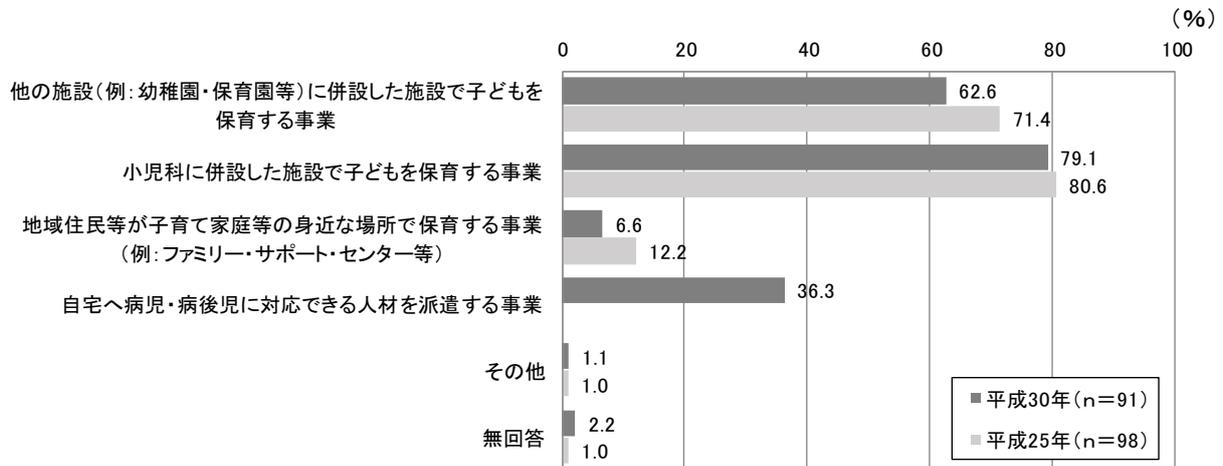
| | 合計 | 問18-2 病児・病後児保育の利用希望 | | | | |
|--------|--------------|---------------------|--------------------|-------------|------------|----------|
| | | できれば病児保育施設等を利用したい | できれば病後児保育施設等を利用したい | 利用したいとは思わない | 無回答 | |
| 全体 | 163 100.0 | 77 47.2 | 71 43.6 | 70 42.9 | 3 1.8 | |
| 子どもの年齢 | 0歳 | 33 100.0 | 15 45.5 | 11 33.3 | 13 39.4 | 1 3.0 |
| | 1歳 | 21 100.0 | 12 57.1 | 10 47.6 | 8 38.1 | 1 4.8 |
| | 2歳 | 23 100.0 | 10 43.5 | 10 43.5 | 10 43.5 | 0 0.0 |
| | 3歳 | 33 100.0 | 17 51.5 | 16 48.5 | 13 39.4 | 0 0.0 |
| | 4歳 | 27 100.0 | 12 44.4 | 14 51.9 | 12 44.4 | 1 3.7 |
| | 5歳 | 26 100.0 | 11 42.3 | 10 38.5 | 14 53.8 | 0 0.0 |

【対処方法別日数】

| 利用したい事業 | 年間の平均日数 |
|--------------------|---------|
| できれば病児保育施設等を利用したい | 5.3 |
| できれば病後児保育施設等を利用したい | 4.8 |

問 18-3 望ましい事業形態（複数回答）【問 18-2 で「1.」「2.」と回答した方限定】

・「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 79.1% で最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が 62.6%、「自宅へ病児・病後児に対応できる人材を派遣する事業」が 36.3% の順となっています。

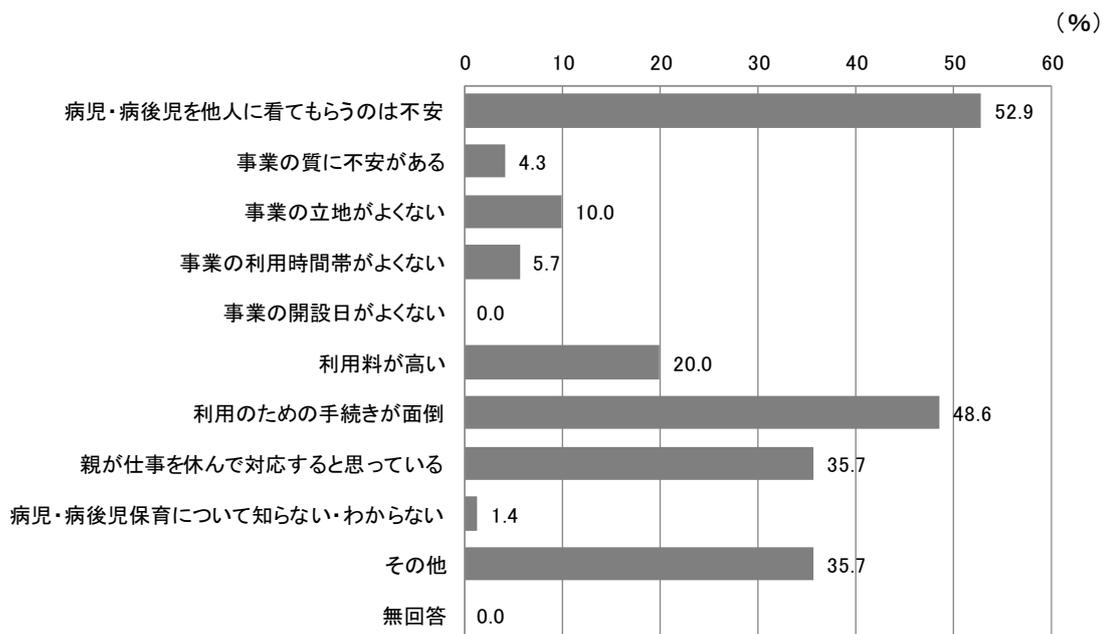


※平成 25 年調査では「自宅へ病児・病後児に対応できる人材を派遣する事業」の選択肢無し

問 18-4 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由（複数回答）

【問 18-2 で「3. 利用したいとは思わない」と回答した方限定】

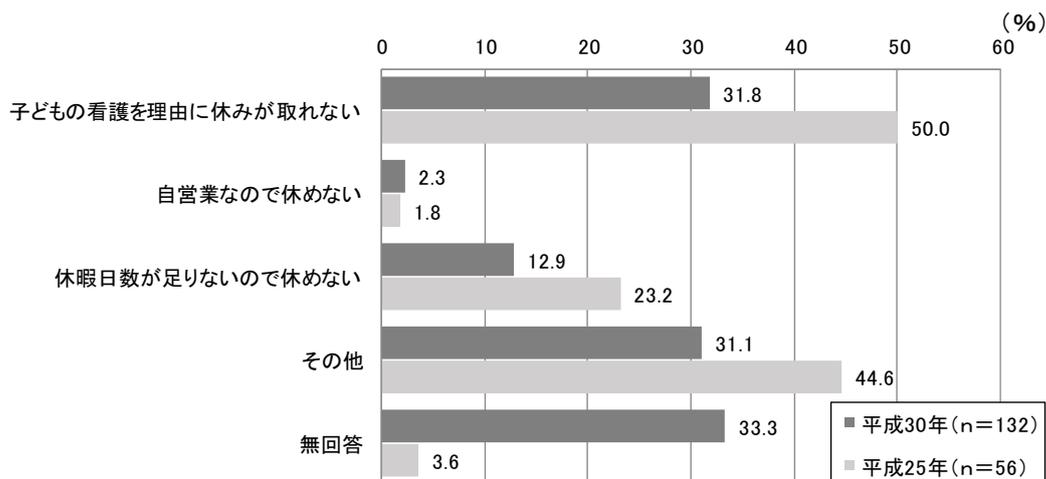
・「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 52.9% で最も高く、次いで「利用のための手続きが面倒」が 48.6%、「親が仕事を休んで対応すると思っている」と「その他」がそれぞれ 35.7% となっています。



n=70

**問 18-5 病気やケガの対処方法で父親または母親が仕事を休んだ以外の対応をした理由
(複数回答)【問 18-1 で「3.」～「10.」と回答した方限定】**

- 「子どもの看護を理由に休みが取れない」が31.8%で最も高く、次いで「その他」が31.1%となっています。
- 平成25年調査と比較すると、「子どもの看護を理由に休みが取れない」は、18.2ポイント減少しています。
- 現在の家庭類型別にみると、“タイプA（ひとり親家庭）”より“タイプC（フルタイム×パートタイム）”の方が、「子どもの看護を理由に休みが取れない」の割合が高くなっています。

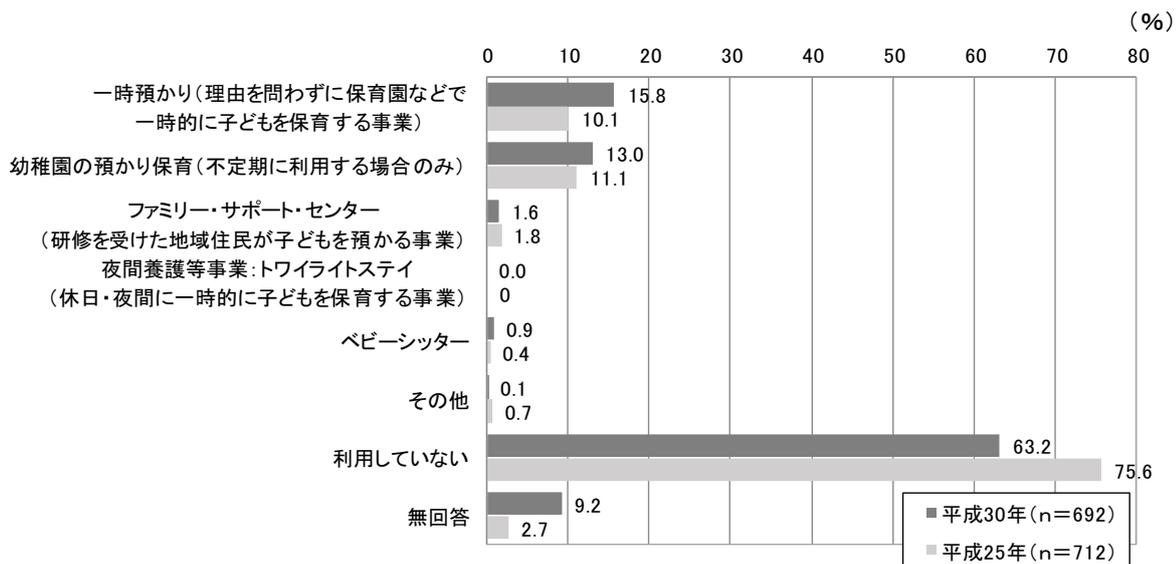


| | | 合計 | 問18-5 父親または母親が仕事を休んだ以外の対応をした理由 | | | | |
|---------|-------|--------------|--------------------------------|------------|-----------------|------------|------------|
| | | | 子どもの看護を理由に休みが取れない | 自営業なので休めない | 休暇日数が足りないので休めない | その他 | 無回答 |
| 全体 | | 132 100.0 | 42 31.8 | 3 2.3 | 17 12.9 | 41 31.1 | 44 33.3 |
| 現在の家庭類型 | タイプA | 5 100.0 | 1 20.0 | 0 0.0 | 1 20.0 | 0 0.0 | 3 60.0 |
| | タイプB | 56 100.0 | 17 30.4 | 2 3.6 | 12 21.4 | 18 32.1 | 15 26.8 |
| | タイプC | 23 100.0 | 12 52.2 | 0 0.0 | 3 13.0 | 7 30.4 | 7 30.4 |
| | タイプC' | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | タイプD | 46 100.0 | 12 26.1 | 1 2.2 | 1 2.2 | 14 30.4 | 19 41.3 |
| | タイプE | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | タイプE' | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | タイプF | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 100.0 | 0 0.0 |

5. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりの利用について

問 19 不定期に利用している事業（複数回答、数量回答）

- 「利用していない」が63.2%で最も高くなっています。
- 利用している事業では、「一時預かり（理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業）」が15.8%、「幼稚園の預かり保育（不定期に利用する場合のみ）」が13.0%となっています。
- 利用している事業を平成25年調査と比較すると、「一時預かり（理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業）」が5.7ポイント、「幼稚園の預かり保育（不定期に利用する場合のみ）」が1.9ポイントの増加となっています。



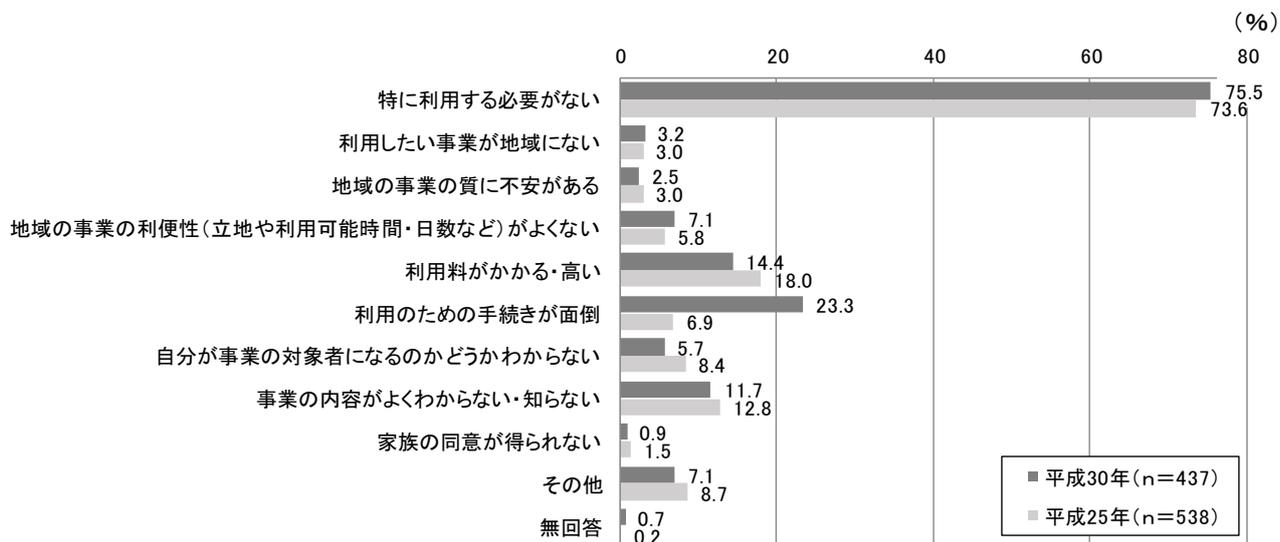
【利用日数】

| 利用している事業 | 年間の平均日数 |
|---|---------|
| 一時預かり(理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業) | 14.9 |
| 幼稚園の預かり保育(不定期に利用する場合のみ) | 29.6 |
| ファミリー・サポート・センター(研修を受けた地域住民が子どもを預かる事業) | 8.8 |
| 夜間養護等事業:トワイライトステイ(休日・夜間に一時的に子どもを保育する事業) | - |
| ベビーシッター | 3.2 |
| その他 | 15.0 |

問 19-1 一時的な預かり事業を利用していない理由（複数回答）

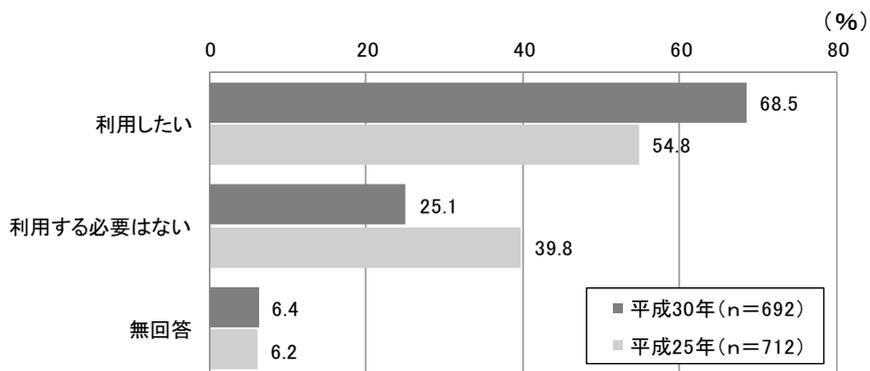
【問 19 で「7. 利用していない」と回答した方限定】

- ・「特に利用する必要がない」が 75.5% で最も高く、次いで「利用のための手続きが面倒」が 23.3%、「利用料がかかる・高い」が 14.4% となっています。
- ・平成 25 年調査と比較すると、「利用のための手続きが面倒」が 16.4 ポイントの増加となっています。



問 20① 一時的な預かり事業の利用希望（単回答）

- ・「利用したい」が 68.5%、「利用する必要はない」が 25.1% となっています。
- ・現在の家庭類型別にみると、“タイプA（ひとり親家庭）”のみ「利用する必要はない」が高い割合となっています。
- ・平成 25 年調査と比較すると、「利用したい」が 13.7 ポイントの増加、「利用する必要はない」が 14.7 ポイントの減少となっています。

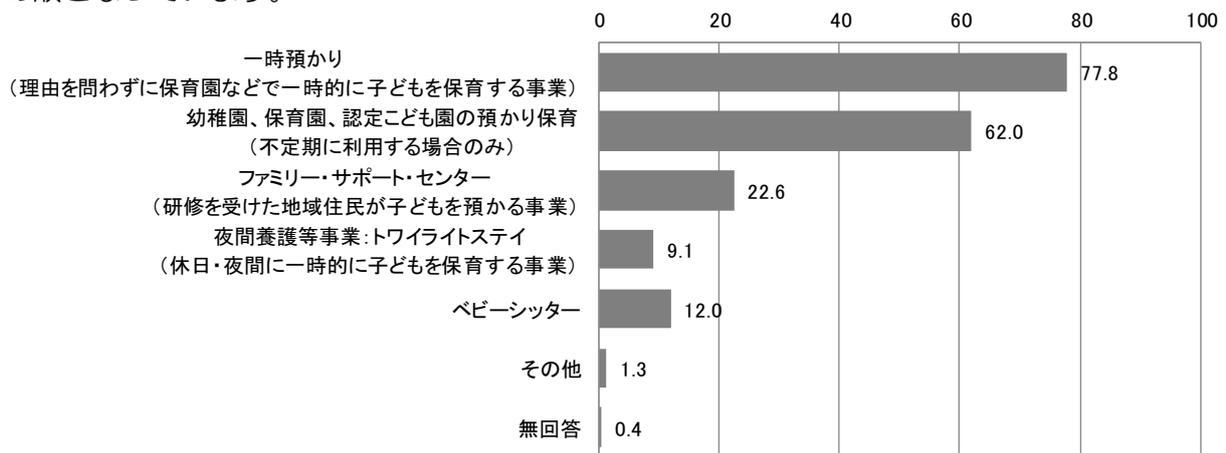


| | 合計 | 問20 一時的な預かり事業の利用希望 | | | |
|---------|------------------------|--------------------|-------------|------------|-----------|
| | | 利用したい | 利用する必要はない | 無回答 | |
| 全体 | 692 100.0 | 474 68.5 | 174 25.1 | 44 6.4 | |
| 現在の家庭類型 | タイプA:ひとり親 | 26 100.0 | 11 42.3 | 12 46.2 | 3 11.5 |
| | タイプB:フルタイム×フルタイム | 284 100.0 | 187 65.8 | 75 26.4 | 22 7.7 |
| | タイプC:フルタイム×パートタイム | 127 100.0 | 74 58.3 | 47 37.0 | 6 4.7 |
| | タイプC':フルタイム×パートタイム(短) | 1 100.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | タイプD:専業主婦(夫) | 239 100.0 | 192 80.3 | 35 14.6 | 12 5.0 |
| | タイプE':パートタイム×パートタイム(短) | 4 100.0 | 4 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | タイプF:無業×無業 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | タイプF | 4 100.0 | 3 75.0 | 1 25.0 | 0 0.0 |

問 20② 不定期に利用したい事業（複数回答）

【問 20①で「1. 利用したい」と回答した方限定】

- ・「一時預かり（理由を問わずに保育園などで子どもを保育する事業）」が 77.8%で最も高く、次いで「幼稚園、保育園、認定こども園の預かり保育（不定期に利用する場合のみ）」が 62.0%、「ファミリー・サポート・センター（研修を受けた地域住民が子どもを預かる事業）」が 22.6%の順となっています。（%）

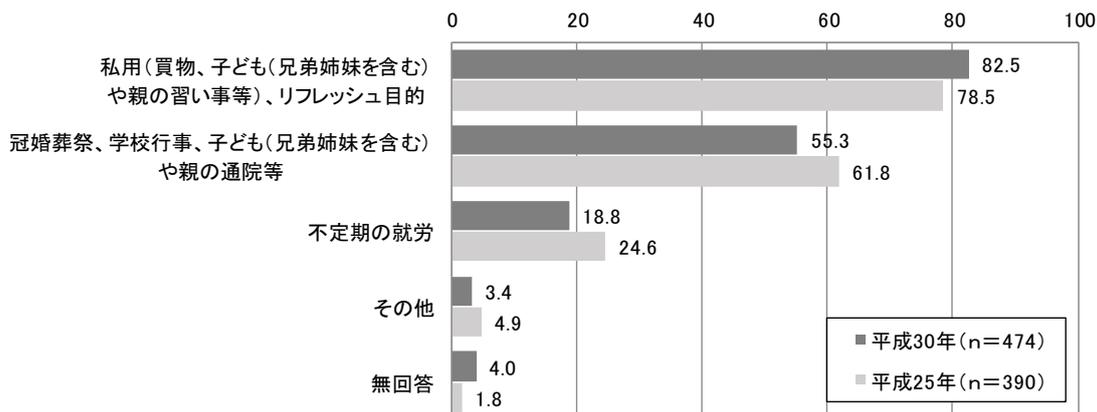


n=474

問 20③ 一時的な預かり事業の利用目的・日数（複数回答、数量回答）

【問 20①で「1. 利用したい」と回答した方限定】

- ・「私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 82.5%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が 55.3%、「不定期の就労」が 18.8%となっています。
- ・平成 25 年調査と比較すると、「私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 4.0 ポイントの増加、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が 6.5 ポイントの減少、「不定期の就労」が 5.8 ポイントの減少となっています。

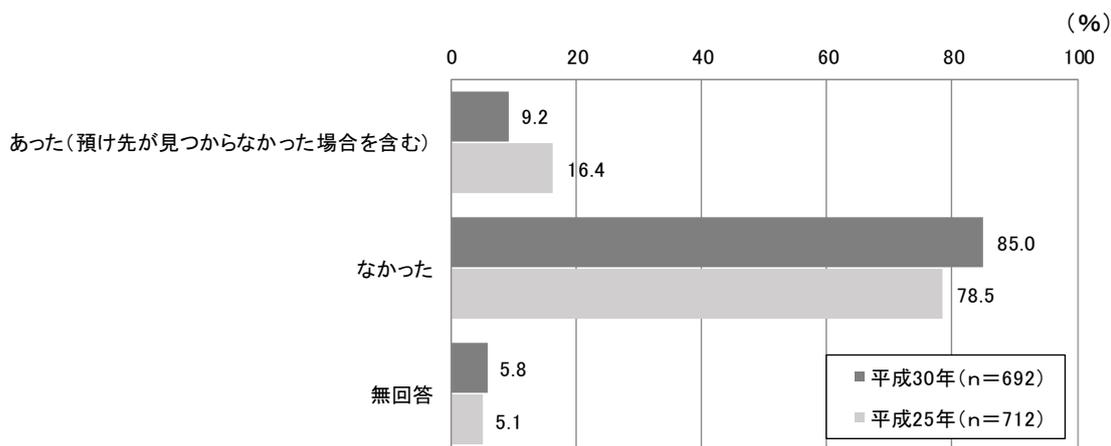


【利用したい日数】

| 利用目的 | 年間の平均日数 |
|-------------------------------------|---------|
| 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的 | 19.4 |
| 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等 | 9.3 |
| 不定期の就労 | 53.8 |
| その他 | 29.6 |

問 21① この1年間の宿泊を伴う一時預かり等の必要性の有無（単回答）

- ・「あった（預け先が見つからなかった場合を含む）」が 9.2%、「なかった」が 85.0%となっています。
- ・子どもの年齢別にみると、“4歳”の「なかった」が 91.7%と他の年齢に比べ高くなっています。
- ・平成 25 年調査と比較すると、「あった（預け先が見つからなかった場合を含む）」が 7.2 ポイントの減少、「なかった」が 6.5 ポイントの増加となっています。

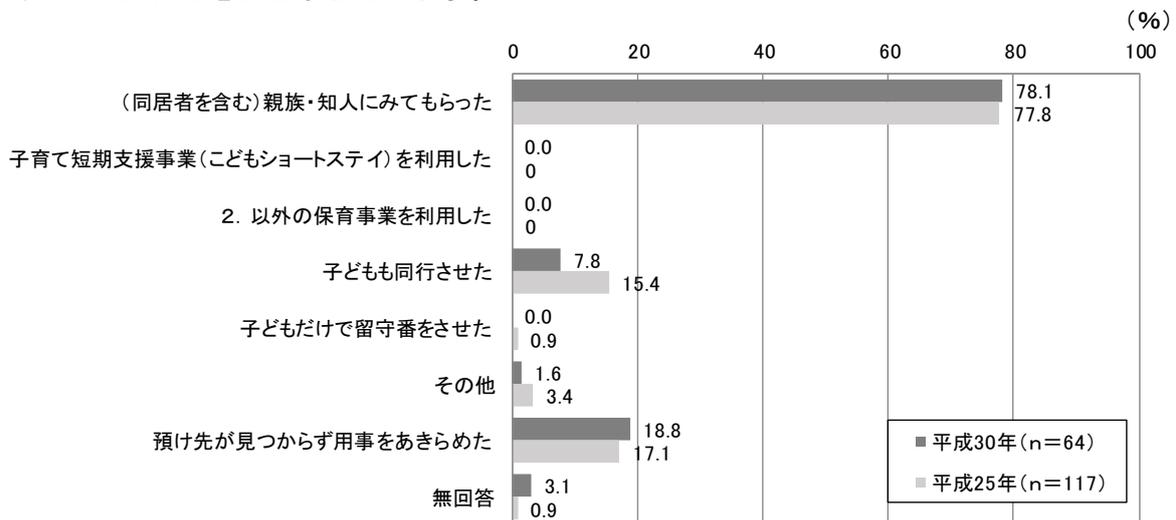


| | 合計 | 問21 ①この1年間の 宿泊を伴う一時預かり等の必要性の有無 | | | |
|--------|--------------|--------------------------------|-------------|-------------|-----------|
| | | あった (預け先が見つからなかった場合を含む) | なかった | 無回答 | |
| 全体 | 692 100.0 | 64 9.2 | 588 85.0 | 40 5.8 | |
| 子どもの年齢 | 0歳 | 269 100.0 | 22 8.2 | 229 85.1 | 18 6.7 |
| | 1歳 | 56 100.0 | 7 12.5 | 47 83.9 | 2 3.6 |
| | 2歳 | 62 100.0 | 8 12.9 | 51 82.3 | 3 4.8 |
| | 3歳 | 108 100.0 | 14 13.0 | 90 83.3 | 4 3.7 |
| | 4歳 | 96 100.0 | 4 4.2 | 88 91.7 | 4 4.2 |
| | 5歳 | 101 100.0 | 9 8.9 | 83 82.2 | 9 8.9 |

問 21② 宿泊を伴う一時預かりが必要となった場合の対処方法（複数回答、数量回答）

【問 21①で「1. あった」と回答した方限定】

- ・「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が 78.1%で最も高く、次いで「預け先が見つからず用事をあきらめた」が 18.8%、「子どもも同行させた」が 7.8%となっています。
- ・平成 25 年調査と比較すると、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が 0.3 ポイントの増加、「子どもも同行させた」が 7.6 ポイントの減少、「預け先が見つからず用事をあきらめた」が 1.7 ポイントの増加となっています。



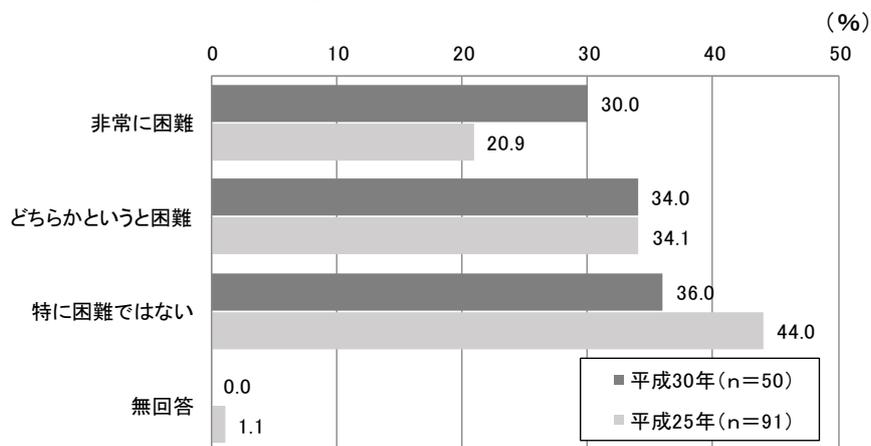
【対処方法別日数】

| 対処方法 | 年間の平均日数 |
|----------------------------|---------|
| (同居者を含む)親族・知人にみてもらった | 6.6 |
| 子育て短期支援事業(こどもショートステイ)を利用した | - |
| 2. 以外の保育事業を利用した | - |
| 子どもも同行させた | - |
| 子どもだけで留守番をさせた | 2.0 |
| その他 | - |
| 預け先が見つからず用事をあきらめた | 15.0 |

問 21-1 親族・知人に預かってもらった際の困難度（単回答）

【問 21②で「1.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と回答した方限定】

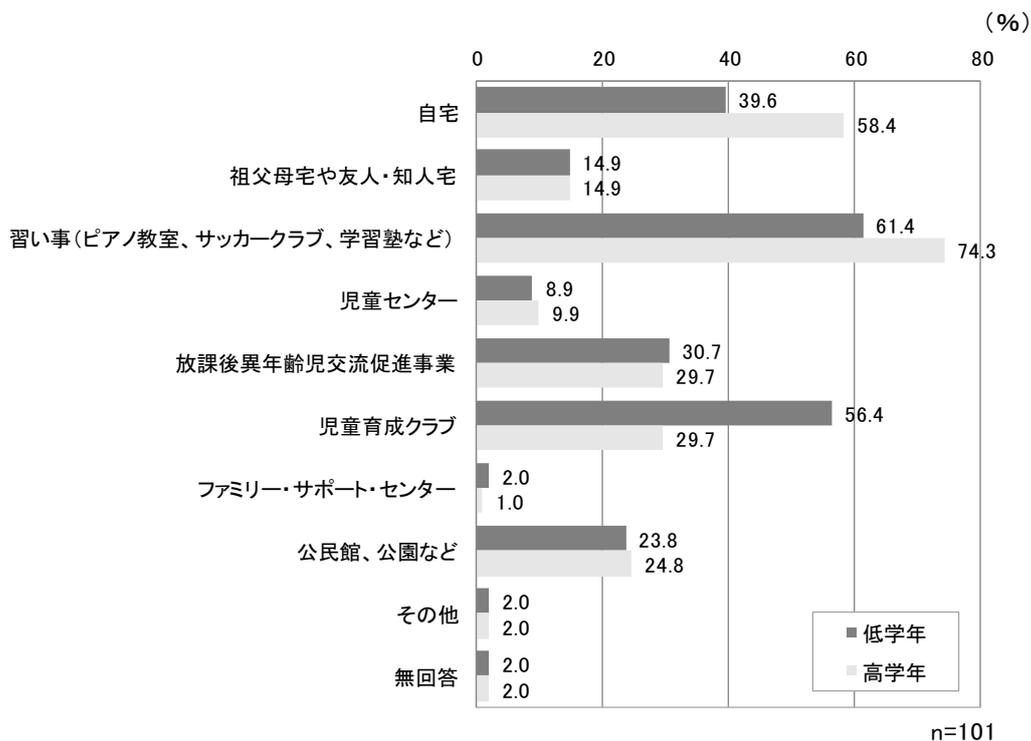
- 「非常に困難」が30.0%、「どちらかという困難」が34.0%で合わせた『困難』は64.0%となっています。
- 平成25年調査と比較すると、『困難』が9.0ポイントの増加となっています。



6. 小学校就学後における放課後の過ごし方について【5歳児限定】

問 22 (1) 小学校就学後の放課後に希望する居場所（複数回答、数量回答）

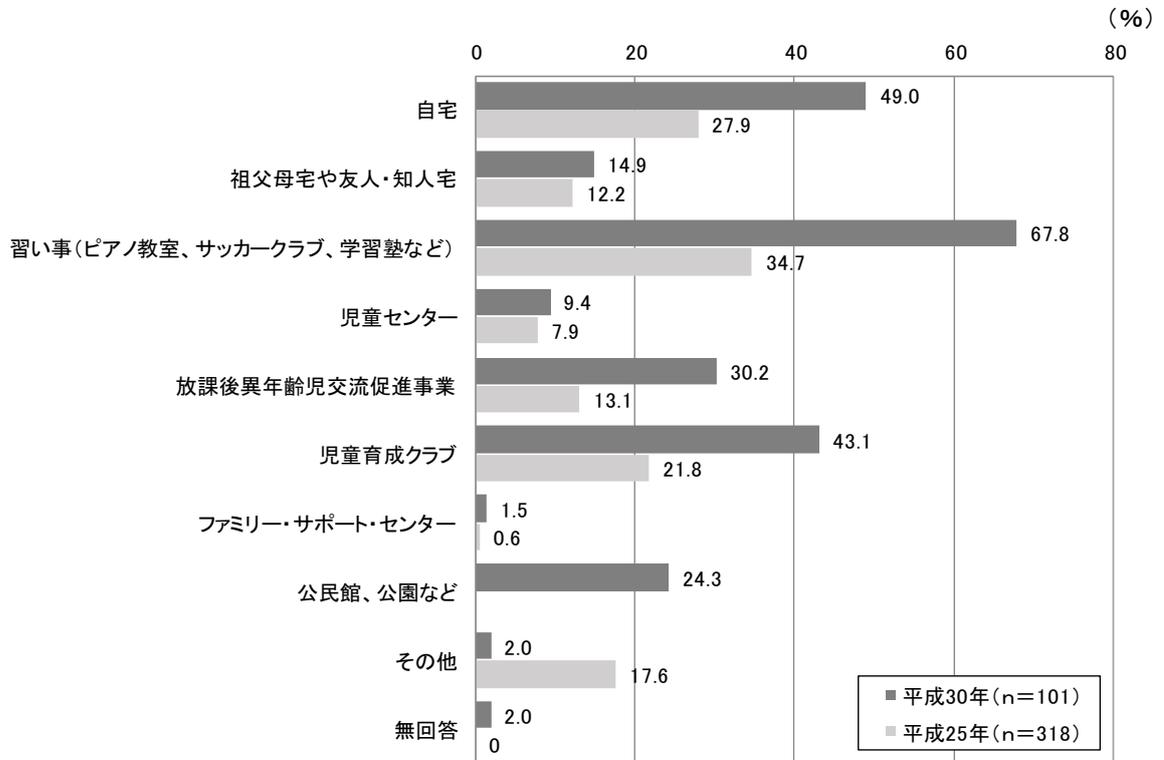
- 低学年時は、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 61.4%で最も高く、次いで「児童育成クラブ」が 56.4%、「自宅」が 39.6%となっています。
- 高学年時は、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 74.3%で最も高く、次いで「自宅」が 58.4%、「放課後異年齢児交流促進事業」と「児童育成クラブ」がそれぞれ 29.7%となっています。
- 低学年と高学年を比較すると、高学年では「自宅」が 18.8 ポイント増加、「児童育成クラブ」が 26.7 ポイント減少しています。



| 居場所 | 低学年 週当たりの平均 日数 | 高学年 週当たりの平均 日数 |
|--------------------------|----------------------|----------------------|
| 自宅 | 2.9 | 2.7 |
| 祖父母宅や友人・知人宅 | 1.7 | 2.1 |
| 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) | 2.1 | 2.8 |
| 児童センター | 2.1 | 2.1 |
| 放課後異年齢児交流促進事業 | 2.4 | 2.3 |
| 児童育成クラブ | 4.4 | 3.7 |
| ファミリー・サポート・センター | 1.0 | 1.0 |
| 公民館、公園など | 2.0 | 2.2 |
| その他 | 2.5 | 3.0 |

【平成 25 年調査との比較】

- 平成 25 年調査と比較すると、「自宅」で 21.1 ポイント、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」で 33.1 ポイント、「放課後異年齢児交流促進事」で 17.1 ポイント、「児童育成クラブ」で 21.3 ポイント、大きく増加となっています。



※平成 25 年調査では「公民館、公園など」の選択肢無し

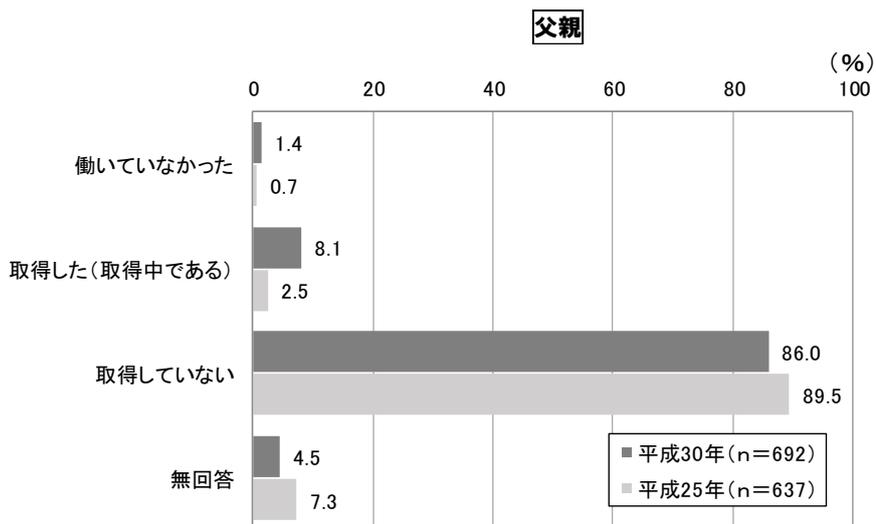
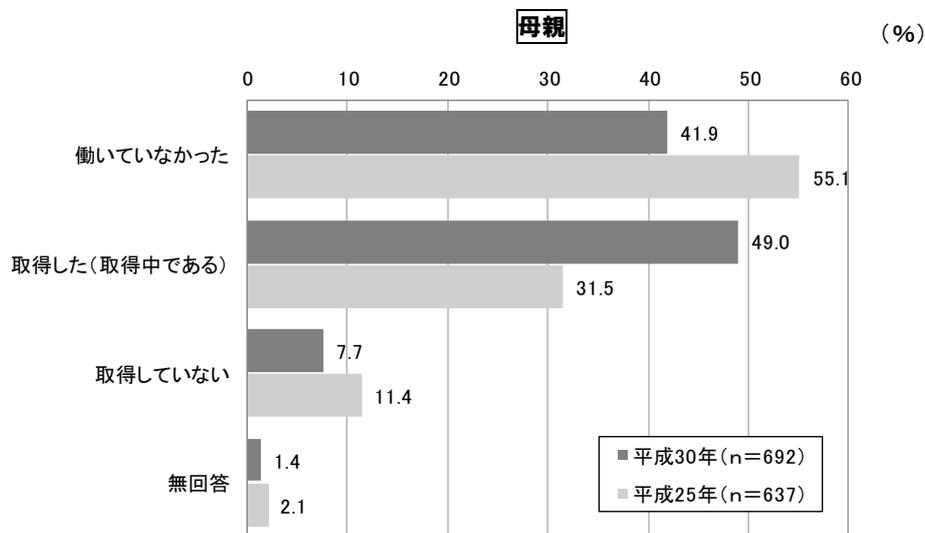
※平成 30 年の調査は低学年と高学年の平均値

7. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 23 (1) 両親の育児休業の取得状況 (単回答、複数回答)

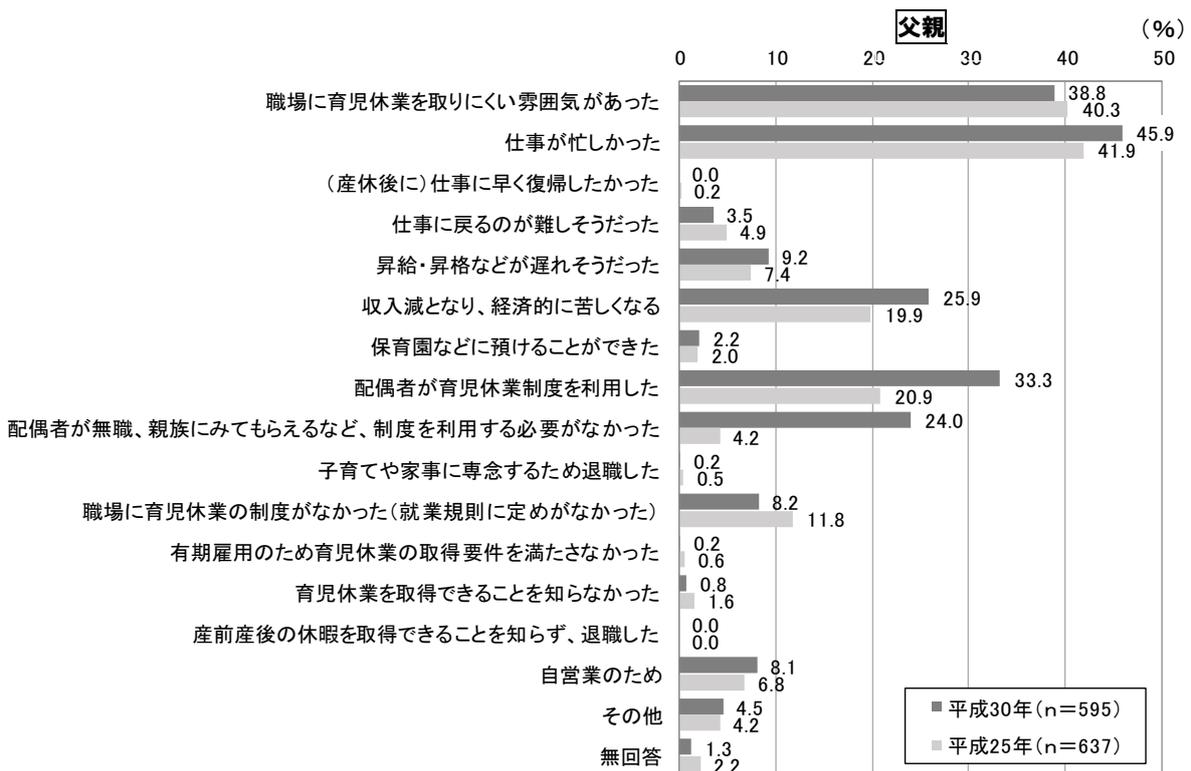
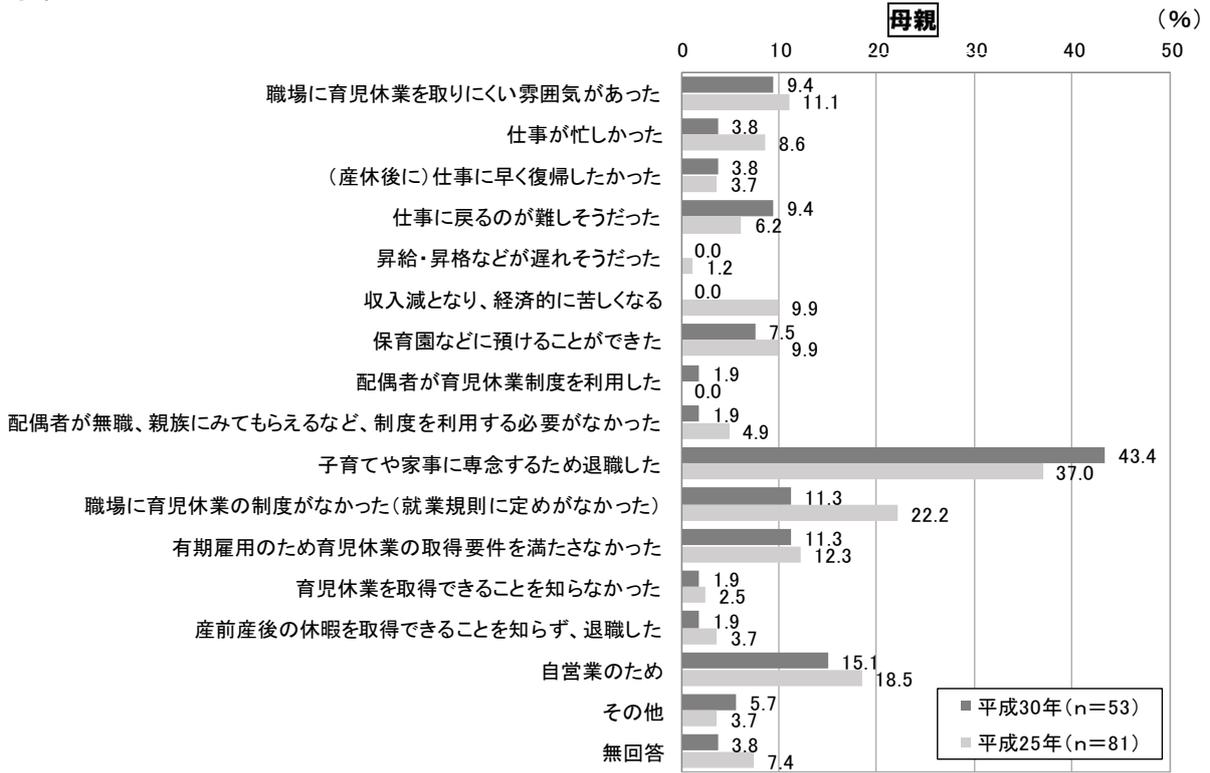
[取得状況]

- 母親は、「取得した (取得中である)」が 49.0%、「働いていなかった」が 41.9%、「取得していない」は 7.7%となっている。
- 父親は、「取得していない」が 86.0%、「取得した (取得中である)」は 8.1%となっている。
- 平成 25 年調査と比較すると、「取得した (取得中である)」は、母親で 17.5 ポイント、父親で 5.6 ポイントの増加となっています。



[取得していない理由]

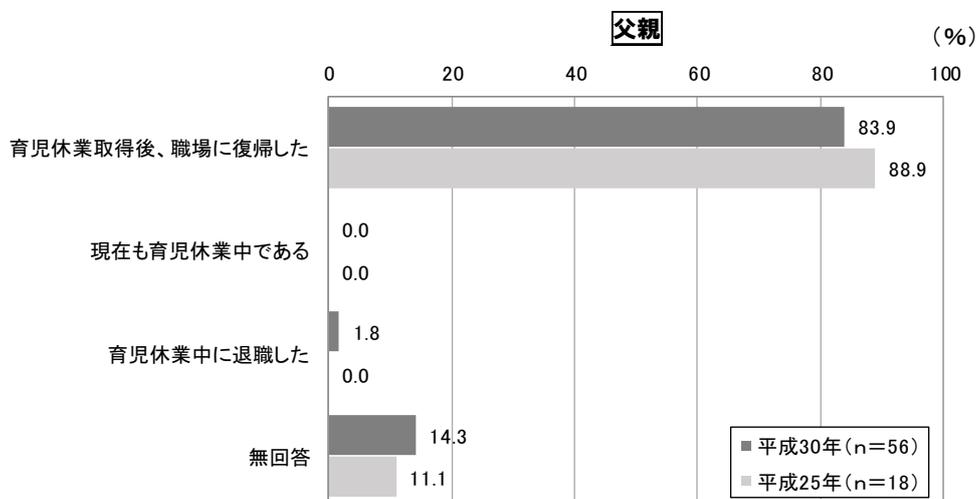
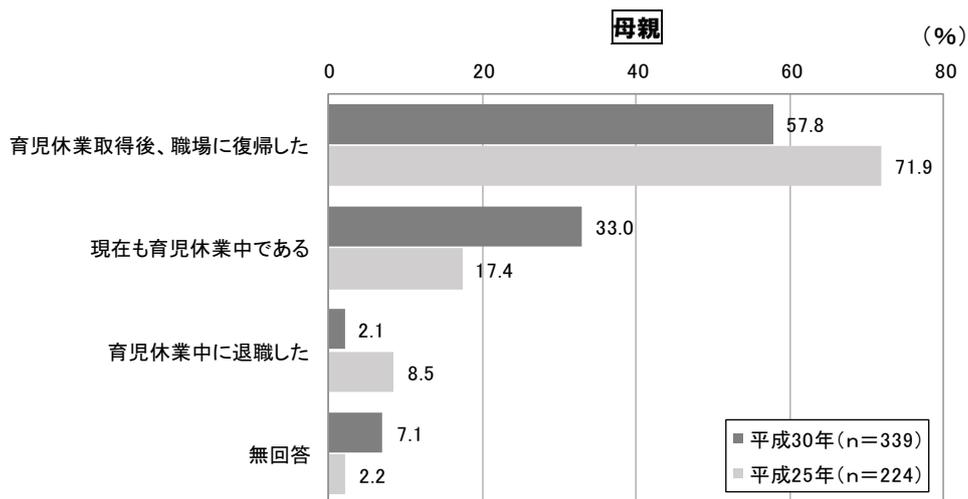
- 母親は、「子育てや家事に専念するために退職した」が43.4%で最も高く、次いで「自営業のため」が15.1%、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」と「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」がそれぞれ11.3%となっています。
- 父親は、「仕事が忙しかった」が45.9%で最も高く、次いで「職場に育児休業を取得しにくい雰囲気があった」が38.8%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が33.3%の順となっています。
- 平成25年調査と比較すると、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が、父親では「配偶者が無職、親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が最も増加しています。



問 23-1 育児休業後の職場への復帰の状況（単回答）

【問 23 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方限定】

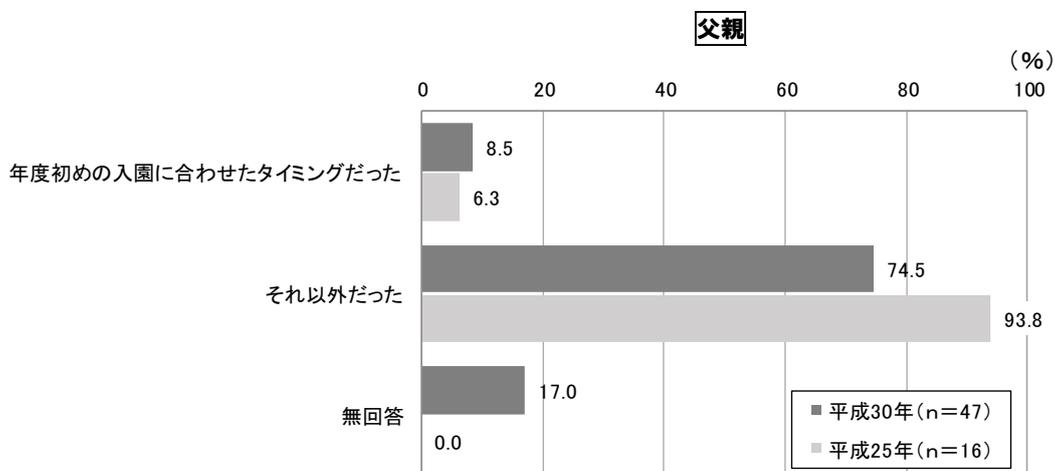
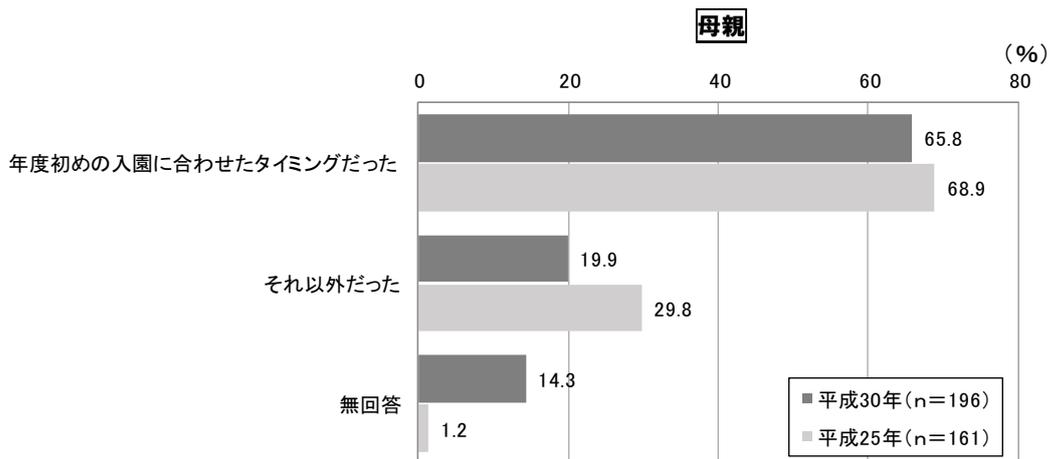
- 母親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 57.8%、「現在も育児休業中である」が 33.0% となっています。
- 父親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 83.9% となっています。
- 平成 25 年調査と比較すると、「育児休業取得後、職場に復帰した」割合は母親で 14.1 ポイント、父親で 5.0 ポイントの減少となっています。



問 23-2 育児休業後、職場へ復帰したタイミング（単回答）

【問 23-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方限定】

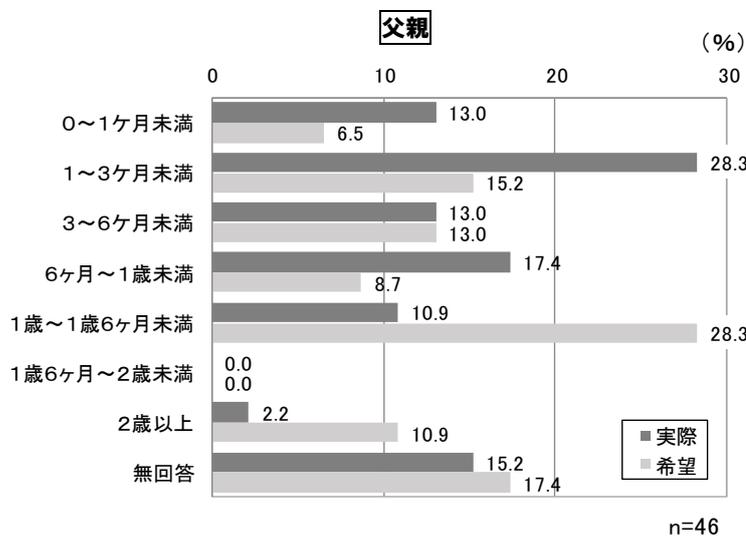
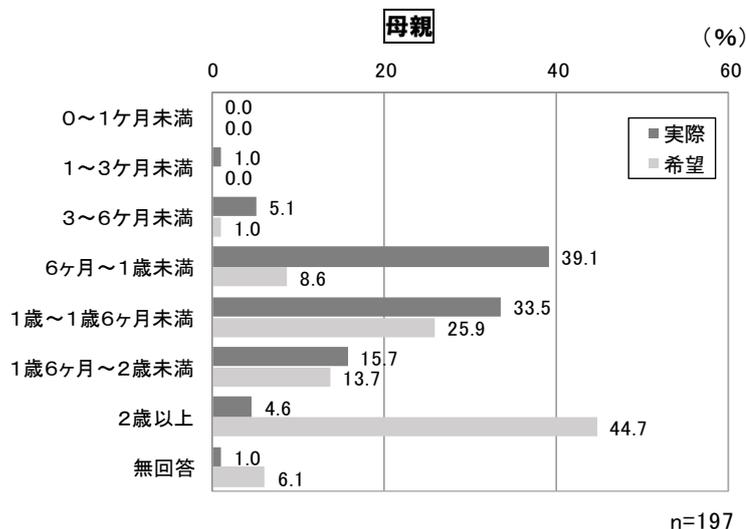
- 母親は、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 65.8%、「それ以外だった」が 19.9% となっています。
- 父親は、「それ以外だった」が 74.5%、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 8.5% となっています。
- 平成 25 年調査と比較すると、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が母親で 3.1 ポイントの減少、父親で 2.2 ポイントの増加となっています。



問 23-3 育児休業後の職場復帰の実際の時期と希望する時期（数量回答）

【問 23-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方限定】

- 母親は、実際は「6ヶ月～1歳未満」が 39.1%で最も高く、希望は「2歳以上」が 44.7%と最も高くなっている。
- 父親は、実際は「1～3ヶ月未満」が 28.3%と最も高く、希望は「1歳～1歳6ヶ月未満」28.3%が最も多い。

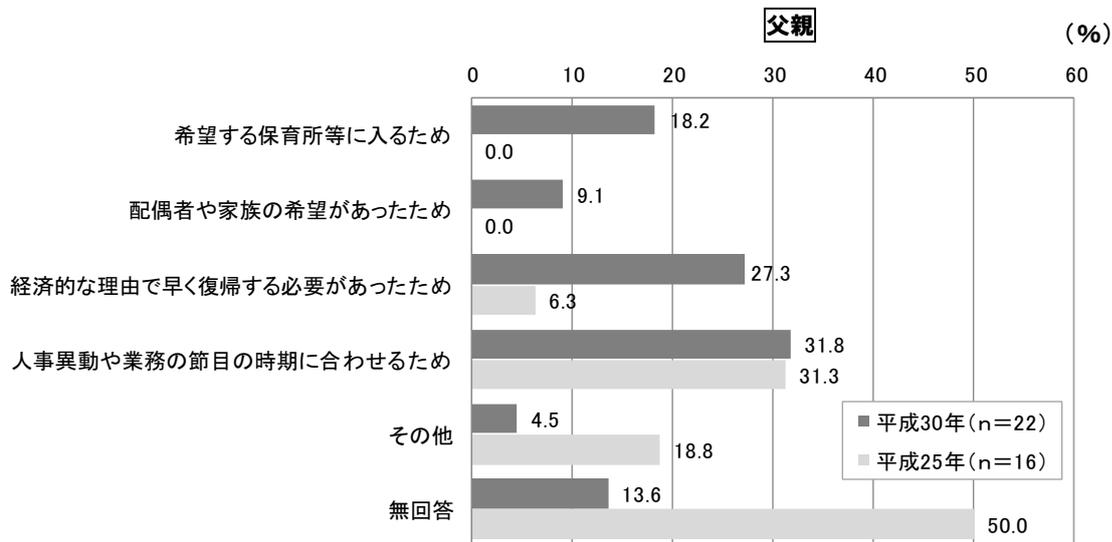
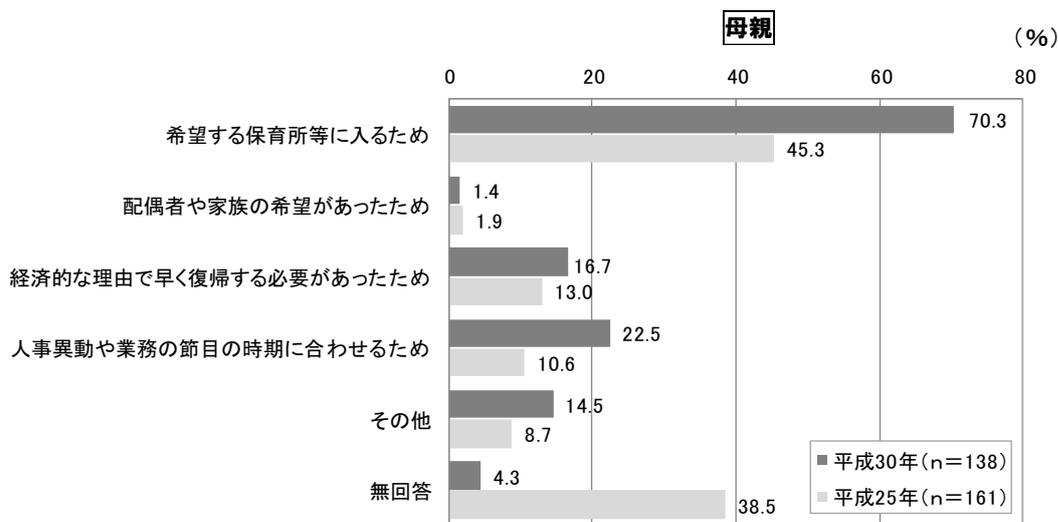


問 23-4 職場復帰の実際の時期と希望する時期が異なる理由（複数回答）

【問 23-3 で実際の時期と希望する時期が異なる方限定】

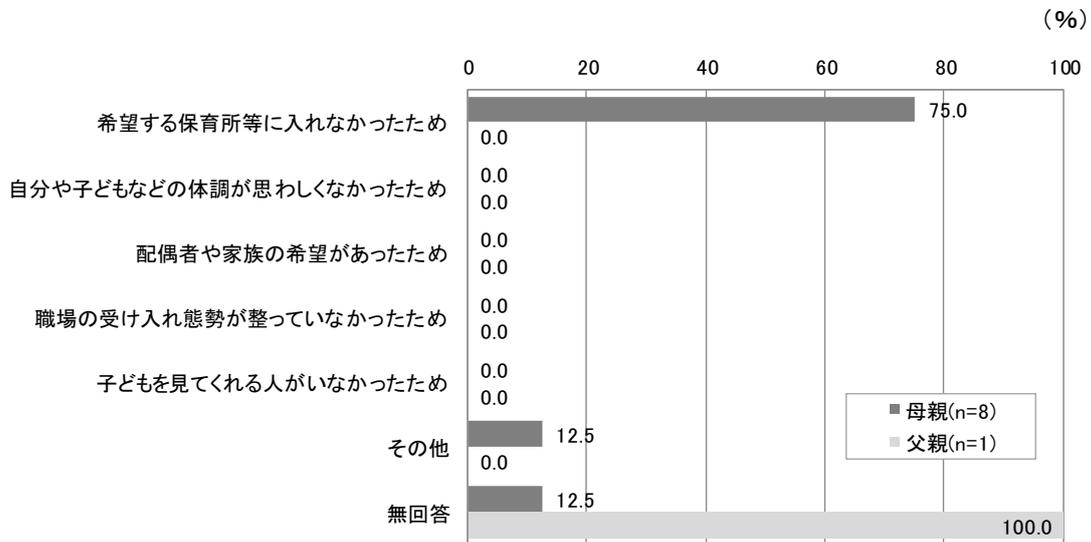
〔①希望より「早く」復帰した理由〕

- 母親は、「希望する保育所に入るため」が70.3%で最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が22.5%となっています。
- 父親は、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が31.8%で最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が27.3%となっています。
- 平成25年調査と比較すると、母親では「希望する保育所に入るため」で25.0ポイントと最も増加、父親では「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」で21.0ポイントと最も増加しています。



[②希望より「遅く」復帰した理由]

- 母親は、「希望する保育所に入れなかったため」が 75.0%で最も高く、父親は、対象が1人で、無回答となっています。

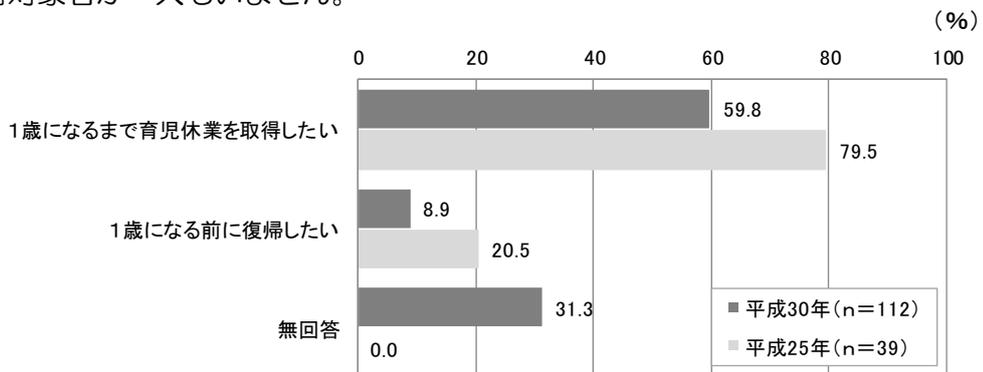


問 23-5 子どもを預けられる施設がある場合の1歳までの育児休業の取得について

(単回答)

【問 23-1で「2. 現在も育児休業中である」と回答し、子どもが1歳未満の方限定】

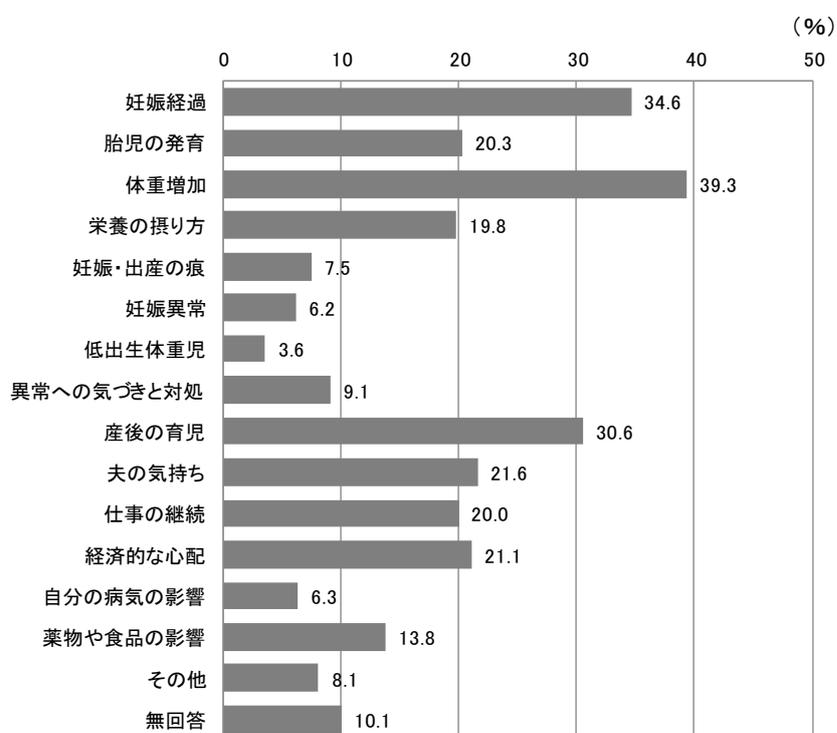
- 「1歳になるまで育児休業を取得したい」は、母親が 59.8%、「1歳になる前に復帰したい」は 8.9%となっています。
- 平成 25 年調査と比較すると、「1歳になるまで育児休業を取得したい」は 19.7 ポイント、「1歳になる前に復帰したい」は 11.6 ポイントの減少となっています
- 父親は、回答対象者が一人もいません。



8. 子育てに関する意識について

問 24 妊娠中に感じたストレス（複数回答）【母親限定】

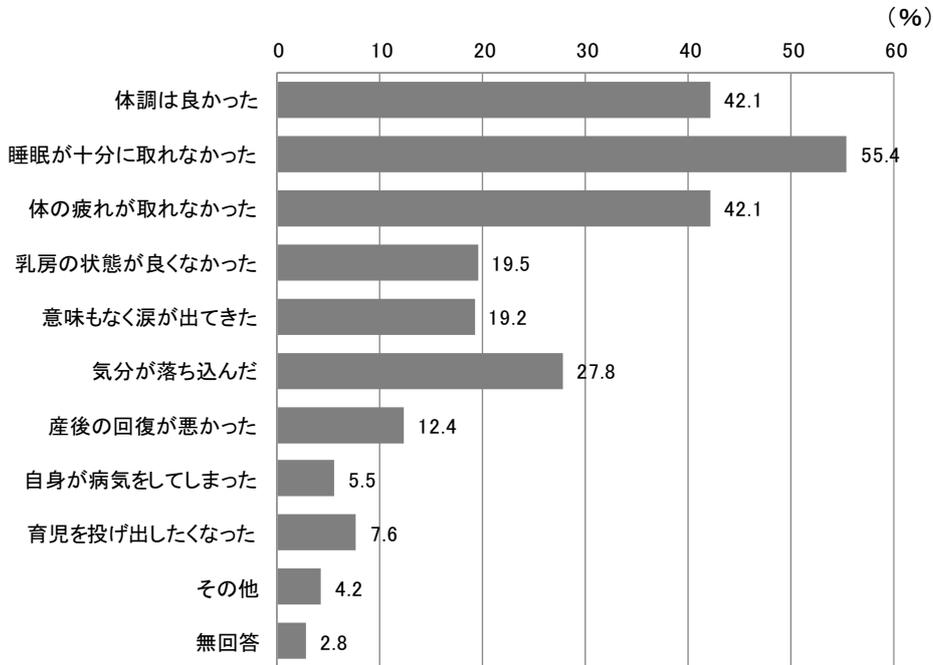
・「体重増加」が39.3%で最も高く、次いで「妊娠経過」が34.6%、「産後の育児」が30.6%となっています。



n=615

問 25 産後の母親の身体面、精神面の体調（複数回答）【母親限定】

- 「睡眠が十分に取れなかった」が55.4%で最も高く、次いで「体調は良かった」と「体の疲れが取れなかった」がそれぞれ42.1%となっています。
- 子どもをみてもらえる親族、友人の有無別にみると、“日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる”で「体調は良かった」が最も高い70.6%となっています。



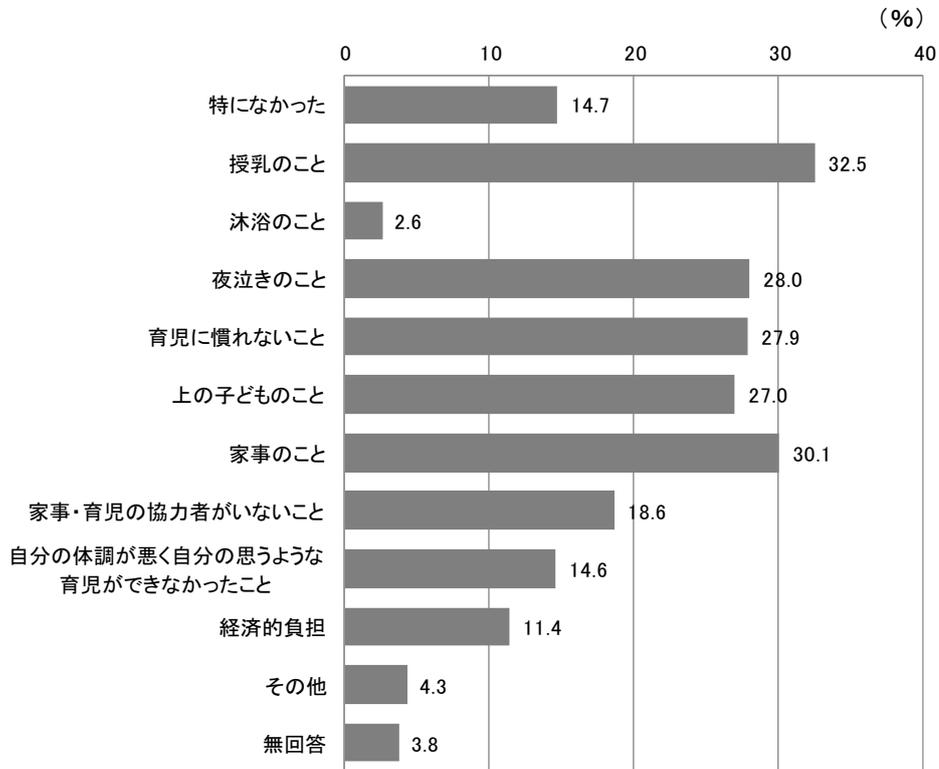
n=615

| | 合計 | 問25 産後の母親の身体面、精神面の体調 | | | | | | | | |
|--------------------|-------------------------|----------------------|--------------|-------------|--------------|-------------|----------|------------|--------------|------|
| | | 体調は良かった | 睡眠が十分に取れなかった | 体の疲れが取れなかった | 乳房の状態が良くなかった | 意味もなく涙が出てきた | 気分が落ち込んだ | 産後の回復が悪かった | 自身が病気をしてしまった | |
| 全体 | 615 | 259 | 341 | 259 | 120 | 118 | 171 | 76 | 34 | |
| | 100.0 | 42.1 | 55.4 | 42.1 | 19.5 | 19.2 | 27.8 | 12.4 | 5.5 | |
| 子どもをみてもらえる親族、友人の有無 | 日常的に親族（祖父母等）にみてもらえる | 82 | 34 | 43 | 38 | 16 | 20 | 19 | 15 | 9 |
| | | 100.0 | 41.5 | 52.4 | 46.3 | 19.5 | 24.4 | 23.2 | 18.3 | 11.0 |
| | 緊急時や用事がある際には親族にみてもらえる | 334 | 155 | 186 | 151 | 57 | 56 | 90 | 35 | 15 |
| | | 100.0 | 46.4 | 55.7 | 45.2 | 17.1 | 16.8 | 26.9 | 10.5 | 4.5 |
| | 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | 17 | 12 | 7 | 6 | 0 | 3 | 1 | 0 | 0 |
| | | 100.0 | 70.6 | 41.2 | 35.3 | 0.0 | 17.6 | 5.9 | 0.0 | 0.0 |
| | 緊急時等に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | 143 | 72 | 78 | 52 | 20 | 15 | 22 | 13 | 3 |
| | 100.0 | 50.3 | 54.5 | 36.4 | 14.0 | 10.5 | 15.4 | 9.1 | 2.1 | |
| いずれもない | 159 | 57 | 88 | 61 | 40 | 40 | 55 | 23 | 9 | |
| | 100.0 | 35.8 | 55.3 | 38.4 | 25.2 | 25.2 | 34.6 | 14.5 | 5.7 | |

| | 合計 | 問25 産後の母親の身体面、精神面の体調 | | | |
|--------------------|-------------------------|----------------------|-----|------|-----|
| | | 育児を投げ出したくなった | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 615 | 47 | 26 | 17 | |
| | 100.0 | 7.6 | 4.2 | 2.8 | |
| 子どもをみてもらえる親族、友人の有無 | 日常的に親族（祖父母等）にみてもらえる | 82 | 5 | 1 | 3 |
| | | 100.0 | 6.1 | 1.2 | 3.7 |
| | 緊急時や用事がある際には親族にみてもらえる | 334 | 28 | 11 | 8 |
| | | 100.0 | 8.4 | 3.3 | 2.4 |
| | 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | 17 | 0 | 3 | 1 |
| | | 100.0 | 0.0 | 17.6 | 5.9 |
| | 緊急時等に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | 143 | 7 | 11 | 4 |
| | 100.0 | 4.9 | 7.7 | 2.8 | |
| いずれもない | 159 | 14 | 7 | 3 | |
| | 100.0 | 8.8 | 4.4 | 1.9 | |

問 26 産後の育児に関して困ったことや辛かったこと（複数回答）

- ・「授乳のこと」が32.5%で最も高く、次いで「家事のこと」が30.1%、「夜泣きのこと」が28.0%の順となっています。
- ・子どもをみてもらえる親族、友人の有無別にみると、“日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる”で困ったことや辛かったことが「特になかった」が最も高い38.9%となっています。



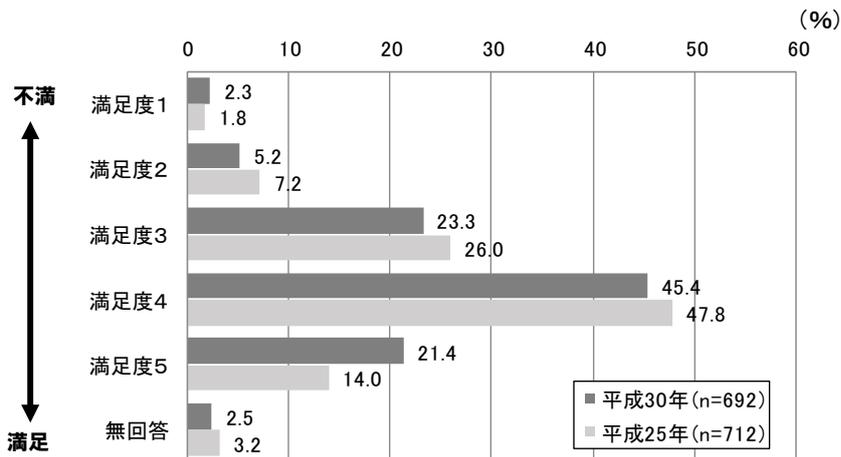
n=692

| | 合計 | 問26 産後の育児に関して困ったことや辛かったこと | | | | | | | |
|--------------------|-------------------------|---------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | | 特になかった | 授乳のこと | 沐浴のこと | 夜泣きのこと | 育児に慣れないこと | 上の子どものこと | 家事のこと | |
| 全体 | 692 100.0 | 102 14.7 | 225 32.5 | 18 2.6 | 194 28.0 | 193 27.9 | 187 27.0 | 208 30.1 | |
| 子どもをみてもらえる親族、友人の有無 | 日常的に親族（祖父母等）にみてもらえる | 95 100.0 | 21 22.1 | 25 26.3 | 2 2.1 | 25 26.3 | 22 23.2 | 15 15.8 | 20 21.1 |
| | 緊急時や用事がある際には親族にみてもらえる | 378 100.0 | 56 14.8 | 128 33.9 | 10 2.6 | 111 29.4 | 102 27.0 | 115 30.4 | 124 32.8 |
| | 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | 18 100.0 | 7 38.9 | 2 11.1 | 1 5.6 | 4 22.2 | 4 22.2 | 4 22.2 | 3 16.7 |
| | 緊急時等に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | 149 100.0 | 33 22.1 | 38 25.5 | 5 3.4 | 26 17.4 | 21 14.1 | 51 34.2 | 35 23.5 |
| | いずれもない | 178 100.0 | 18 10.1 | 59 33.1 | 6 3.4 | 54 30.3 | 58 32.6 | 41 23.0 | 55 30.9 |

| | 合計 | 問26 産後の育児に関して困ったことや辛かったこと | | | | | |
|--------------------|-------------------------|---------------------------|-----------------------------|------------|------------|-----------|-----------|
| | | 家事・育児の協力者がいないこと | 自分の体調が悪く自分の思うような育児ができなかったこと | 経済的負担 | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 692 100.0 | 129 18.6 | 101 14.6 | 79 11.4 | 30 4.3 | 26 3.8 | |
| 子どもをみてもらえる親族、友人の有無 | 日常的に親族（祖父母等）にみてもらえる | 95 100.0 | 2 2.1 | 22 23.2 | 14 14.7 | 5 5.3 | 3 3.2 |
| | 緊急時や用事がある際には親族にみてもらえる | 378 100.0 | 57 15.1 | 45 11.9 | 48 12.7 | 12 3.2 | 14 3.7 |
| | 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | 18 100.0 | 2 11.1 | 0 0.0 | 2 11.1 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 緊急時等に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | 149 100.0 | 23 15.4 | 13 8.7 | 9 6.0 | 6 4.0 | 4 2.7 |
| | いずれもない | 178 100.0 | 60 33.7 | 33 18.5 | 19 10.7 | 12 6.7 | 6 3.4 |

問 27 子育て支援の満足度（単回答）

- 満足度を高い方から5段階で表すと、「満足度4」が45.4%で最も高く、次いで「満足度3」が23.3%となっており、全体の平均値が3.80となっています。
- 平成25年調査と比較すると、「満足度5」の割合が7.4ポイント増加し、平均値も3.55から0.25増加しています。
- 平均値は、子どもの年齢別では“4歳”の3.88、地域別では“新町”の3.89が最も高くなっています。

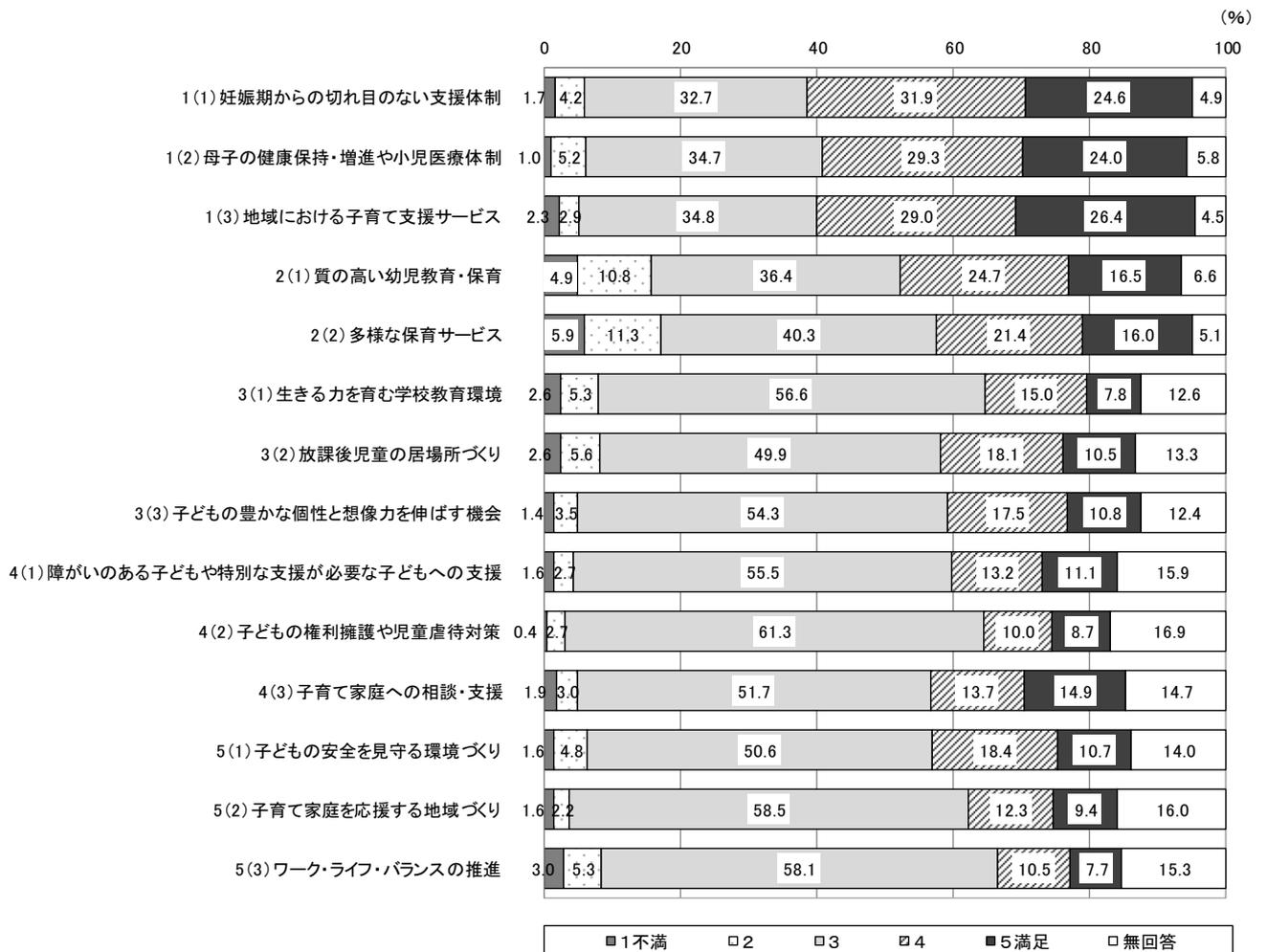


| | 合計 | 問27 子育て支援の満足度 | | | | | | |
|--------|--------------|---------------|-----------|-------------|-------------|-------------|------------|-----------|
| | | 満足度1 | 満足度2 | 満足度3 | 満足度4 | 満足度5 | 無回答 | |
| 全体 | 692 100.0 | 16 2.3 | 36 5.2 | 161 23.3 | 314 45.4 | 148 21.4 | 17 2.5 | |
| 子どもの年齢 | 0歳 | 269 100.0 | 8 3.0 | 12 4.5 | 56 20.8 | 119 44.2 | 64 23.8 | 10 3.7 |
| | 1歳 | 56 100.0 | 2 3.6 | 1 1.8 | 12 21.4 | 28 50.0 | 12 21.4 | 1 1.8 |
| | 2歳 | 62 100.0 | 1 1.6 | 6 9.7 | 14 22.6 | 30 48.4 | 10 16.1 | 1 1.6 |
| | 3歳 | 108 100.0 | 2 1.9 | 8 7.4 | 28 25.9 | 46 42.6 | 24 22.2 | 0 0.0 |
| | 4歳 | 96 100.0 | 0 0.0 | 2 2.1 | 26 27.1 | 46 47.9 | 19 19.8 | 3 3.1 |
| | 5歳 | 101 100.0 | 3 3.0 | 7 6.9 | 25 24.8 | 45 44.6 | 19 18.8 | 2 2.0 |
| 居住地 | 元町 | 315 100.0 | 10 3.2 | 19 6.0 | 72 22.9 | 149 47.3 | 61 19.4 | 4 1.3 |
| | 中町 | 224 100.0 | 4 1.8 | 9 4.0 | 59 26.3 | 89 39.7 | 54 24.1 | 9 4.0 |
| | 新町 | 147 100.0 | 2 1.4 | 8 5.4 | 27 18.4 | 74 50.3 | 33 22.4 | 3 2.0 |

問 28 子育て施策への評価（単回答）

【満足度】

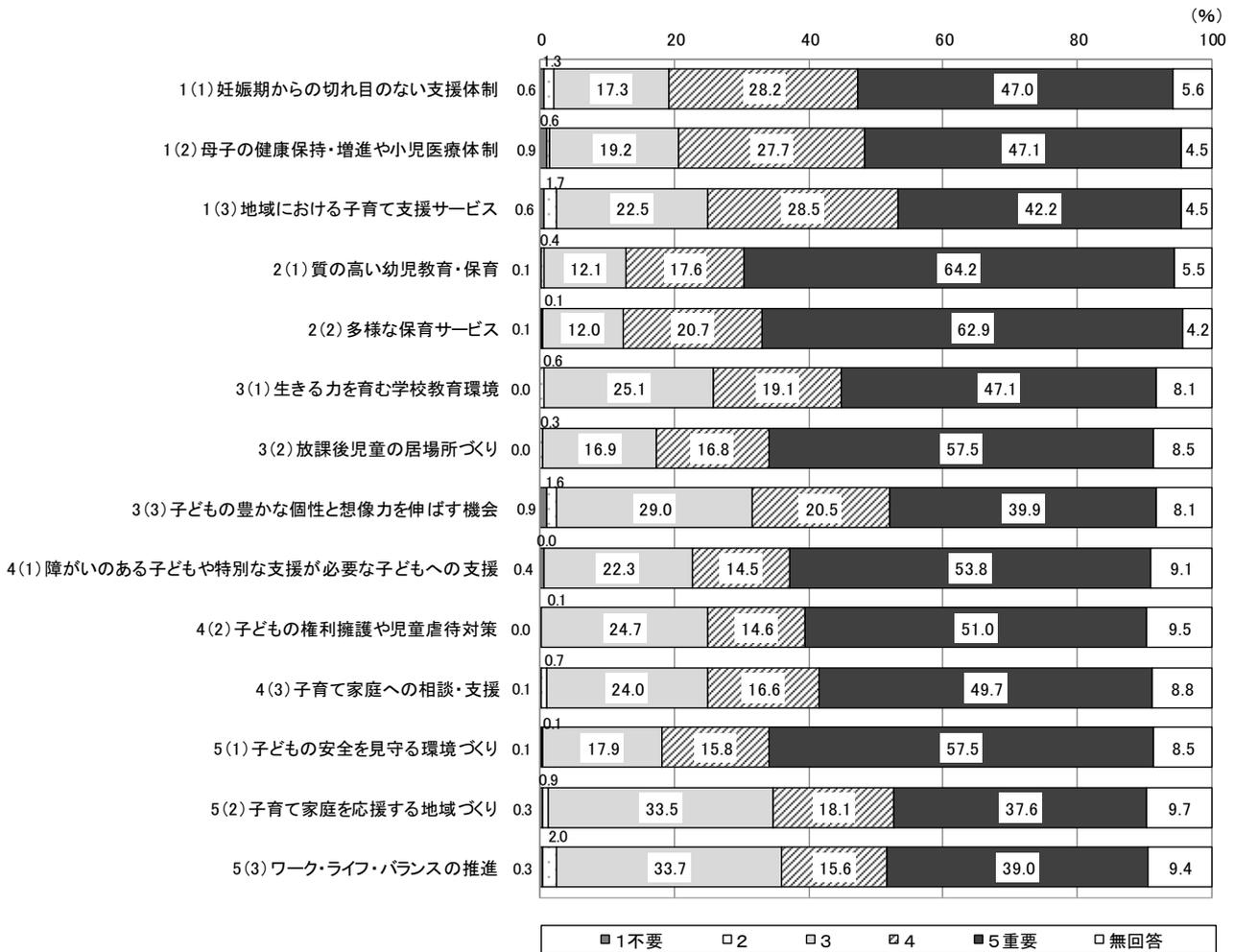
- ・「満足度5」の割合が最も高い施策は「1（3）地域における子育て支援サービス」で、「満足度1」の割合が最も高い施策は「2（2）多様な保育サービス」です。



n=692

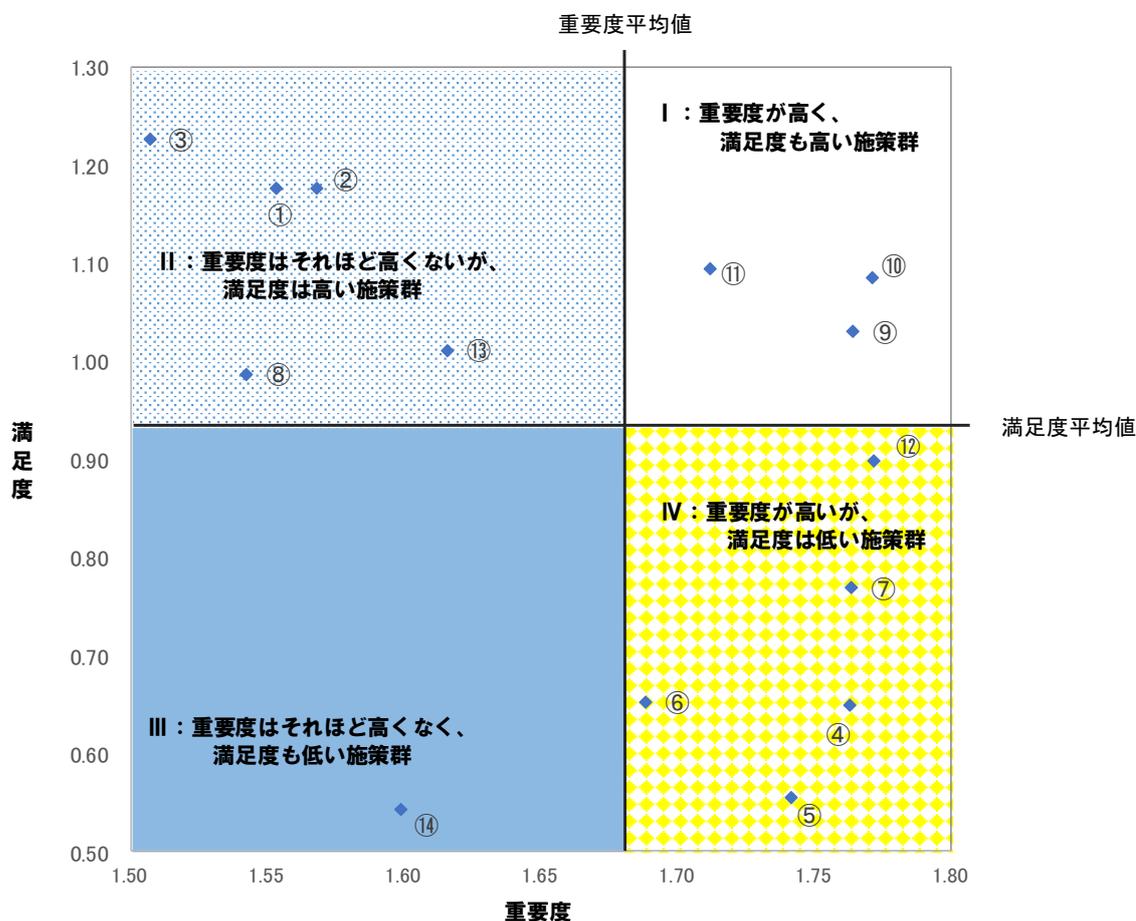
【重要度】

・「重要度5」の割合が最も高い施策は「2（1）質の高い幼児教育・保育」で、「重要度1」の割合が最も高い施策は「1（2）母子の健康保持・増進や小児医療体制」と「施策3（3）子どもの豊かな個性と想像力を伸ばす機会」です。



n=692

- 重要度は高いが、満足度は低い施策は、「2（1）質の高い幼児教育・保育」「2（2）多様な保育サービス」「3（1）生きる力を育む学校教育環境」「3（2）放課後児童の居場所づくり」「5（1）子どもの安全を見守る環境づくり」です。



| | | | |
|---|-----------------------|---|--------------------------------|
| ① | 1（1）妊娠期からの切れ目のない支援体制 | ⑧ | 3（3）子どもの豊かな個性と想像力を伸ばす機会 |
| ② | 1（2）母子の健康保持・増進や小児医療体制 | ⑨ | 4（1）障がいのある子どもや特別な支援が必要な子どもへの支援 |
| ③ | 1（3）地域における子育て支援サービス | ⑩ | 4（2）子どもの権利擁護や児童虐待対策 |
| ④ | 2（1）質の高い幼児教育・保育 | ⑪ | 4（3）子育て家庭への相談・支援 |
| ⑤ | 2（2）多様な保育サービス | ⑫ | 5（1）子どもの安全を見守る環境づくり |
| ⑥ | 3（1）生きる力を育む学校教育環境 | ⑬ | 5（2）子育て家庭を応援する地域づくり |
| ⑦ | 3（2）放課後児童の居場所づくり | ⑭ | 5（3）ワーク・ライフ・バランスの推進 |

評価点数の算出方法

$$\text{満足度} = \frac{(\text{満足} \times 2 \text{点} + \text{やや満足} \times 1 \text{点} + \text{やや不満} \times -1 \text{点} + \text{不満} \times -2 \text{点})}{(\text{満足} + \text{やや満足} + \text{やや不満} + \text{不満}) \text{の回答数}}$$

$$\text{重要度} = \frac{(\text{重要} \times 2 \text{点} + \text{やや重要} \times 1 \text{点} + \text{やや不要} \times -1 \text{点} + \text{不要} \times -2 \text{点})}{(\text{重要} + \text{やや重要} + \text{やや不要} + \text{不要}) \text{の回答数}}$$

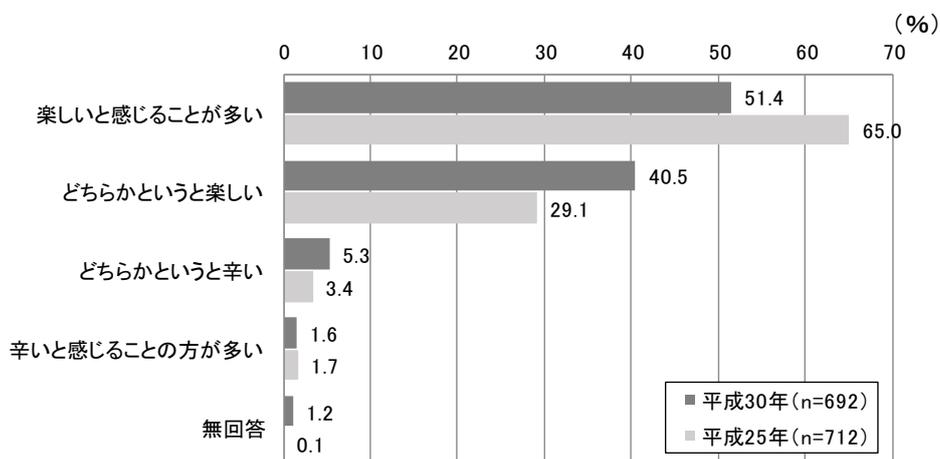
※加重平均にて評価値を算出

- 5. 満足（重要） 2点
- 4. やや満足（重要） 1点
- 3. どちらでも 0点
- 2. やや不満（不要） -1点
- 1. 不満（不要） -2点

※「無回答」を除いて算出している。

問 29 子育ての感想（単回答）

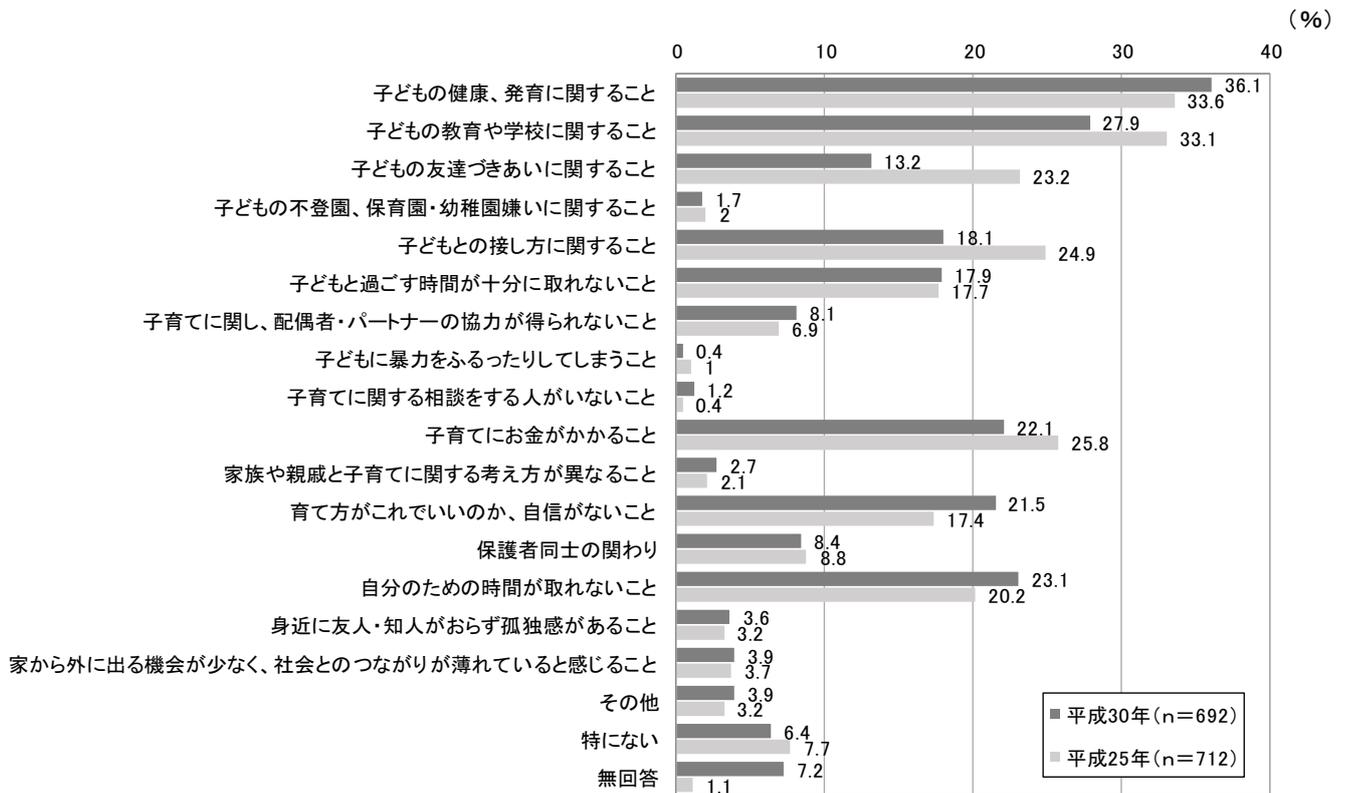
- 「楽しいと感じることが多い」が51.4%、「どちらかという楽しい」が40.5%で合わせた『楽しい』は91.9%となっています。
- 平成25年調査と比較すると、『楽しい』は2.2ポイント減少しています。
- 子どもの年齢別にみると、『楽しい』は“0歳”、居住地別では“元町”で高くなっています。



| | 合計 | 問29 子育ての感想 | | | | | |
|--------|--------------|--------------|-------------|-------------|---------------|----------|----------|
| | | 楽しいと感じることが多い | どちらかという楽しい | どちらかという辛い | 辛いと感じることの方が多い | 無回答 | |
| 全体 | 692 100.0 | 356 51.4 | 280 40.5 | 37 5.3 | 11 1.6 | 8 1.2 | |
| 子どもの年齢 | 0歳 | 269 100.0 | 156 58.0 | 100 37.2 | 8 3.0 | 4 1.5 | 1 0.4 |
| | 1歳 | 56 100.0 | 25 44.6 | 27 48.2 | 2 3.6 | 2 3.6 | 0 0.0 |
| | 2歳 | 62 100.0 | 25 40.3 | 29 46.8 | 6 9.7 | 2 3.2 | 0 0.0 |
| | 3歳 | 108 100.0 | 53 49.1 | 46 42.6 | 6 5.6 | 0 0.0 | 3 2.8 |
| | 4歳 | 96 100.0 | 48 50.0 | 40 41.7 | 4 4.2 | 2 2.1 | 2 2.1 |
| | 5歳 | 101 100.0 | 49 48.5 | 38 37.6 | 11 10.9 | 1 1.0 | 2 2.0 |
| 居住地 | 元町 | 315 100.0 | 163 51.7 | 133 42.2 | 13 4.1 | 5 1.6 | 1 0.3 |
| | 中町 | 224 100.0 | 112 50.0 | 90 40.2 | 13 5.8 | 4 1.8 | 5 2.2 |
| | 新町 | 147 100.0 | 78 53.1 | 55 37.4 | 10 6.8 | 2 1.4 | 2 1.4 |

問 30 子育てに関する悩みや困っていること（複数回答）

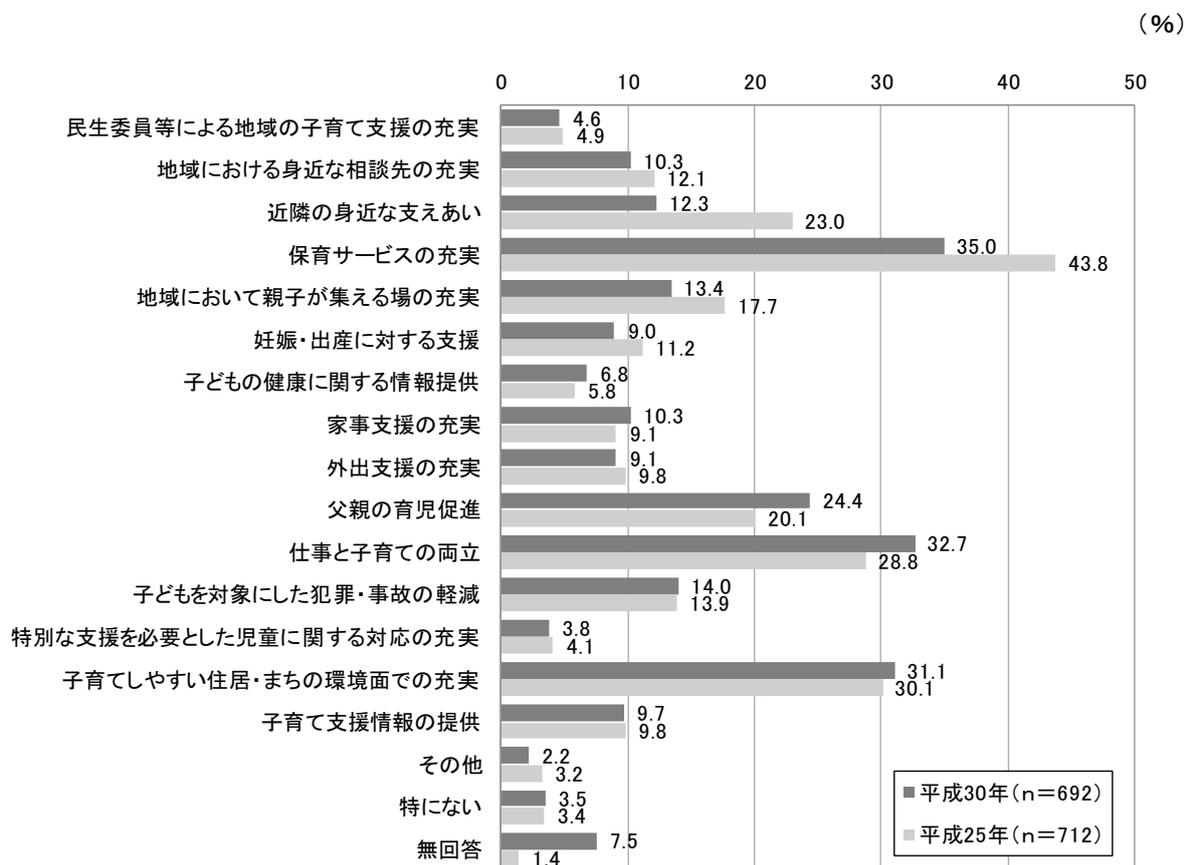
- 「子どもの健康、発育に関すること」が36.1%で最も高く、次いで「子どもの教育や学校に関すること」が27.9%、「自分のための時間が取れないこと」が23.1%の順となっています。
- 平成25年と比較すると、「育て方がこれでいいのか、自信がないこと」が最も多い4.1ポイントの増加、「子どもの友達つきあいに関すること」が10.0ポイントの減少となっています。



n=692

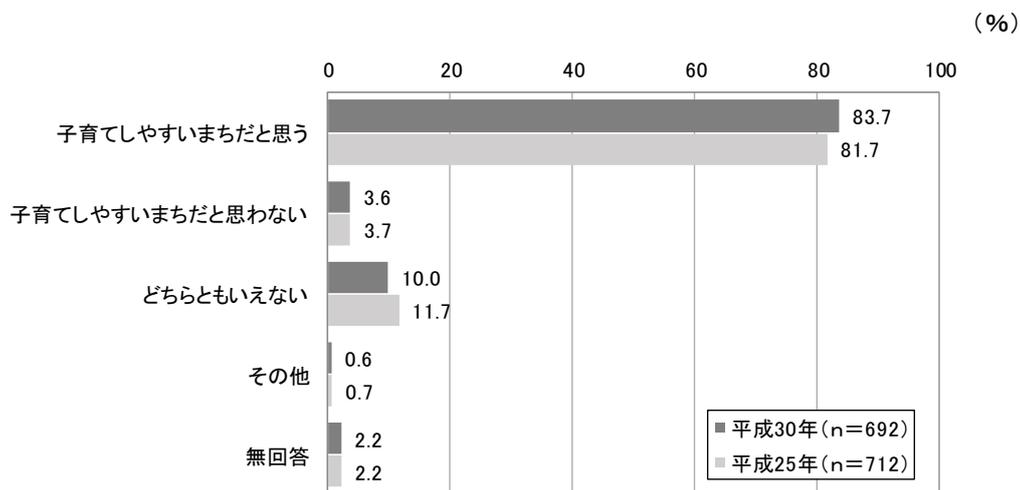
問 31 子育てに関する悩み等解消のために必要な支援・対策（複数回答）

- 「保育サービスの充実」が 35.0%で最も高く、次いで「仕事と子育ての両立」が 32.7%、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が 31.1%となっています。
- 平成 25 年調査と比較すると、「父親の育児促進」が最も多い 4.3 ポイントの増加、「近隣の身近な支えあい」が 10.7 ポイントの減少となっています。



問 32 浦安市は子育てしやすいまちか（単回答）

- 「子育てしやすいまちだと思う」が 83.7%、「子育てしやすいまちだと思わない」が 3.6%となっています。
- 平成 25 年調査と比較すると、「子育てしやすいまちだと思う」が 2.0 ポイント増加しています。
- 子どもの年齢別にみると、“1 歳”、居住地別にみると“新町”で「子育てしやすいまちだと思う」が高くなっています。

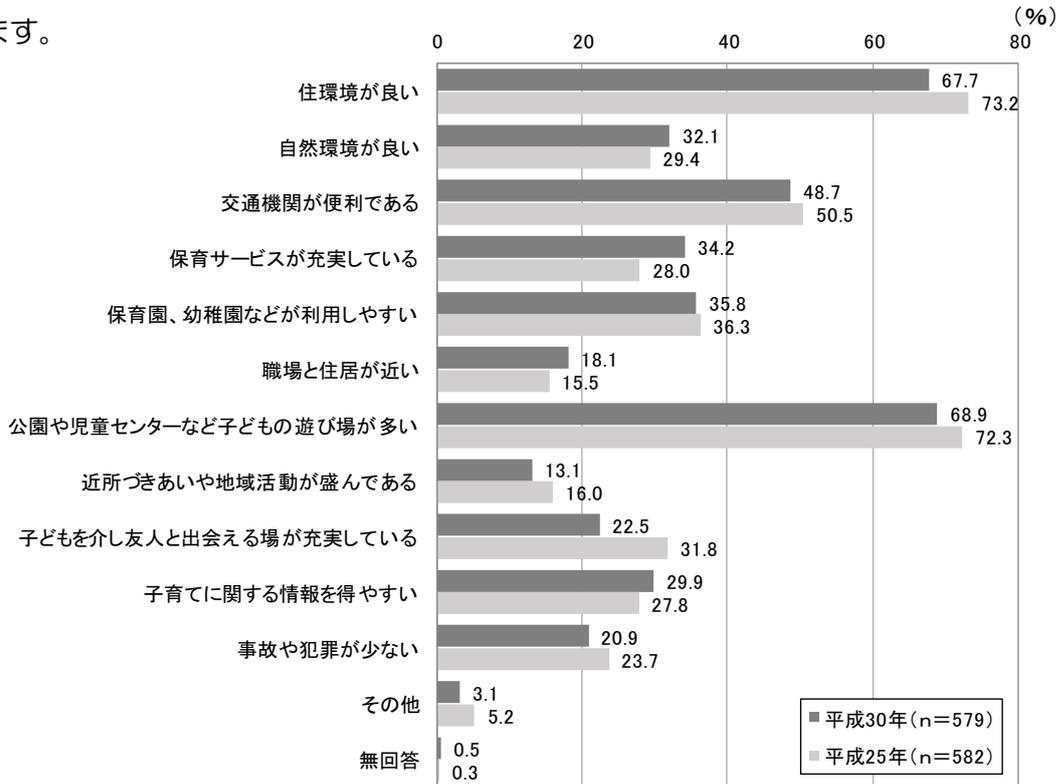


| | 合計 | 問32 浦安市は子育てしやすいまちか | | | | | |
|--------|--------------|--------------------|-----------------|------------|------------|-----------|----------|
| | | 子育てしやすいまちだと思う | 子育てしやすいまちだと思わない | どちらともいえない | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 692 100.0 | 579 83.7 | 25 3.6 | 69 10.0 | 4 0.6 | 15 2.2 | |
| 子どもの年齢 | 0歳 | 269 100.0 | 223 82.9 | 12 4.5 | 27 10.0 | 3 1.1 | 4 1.5 |
| | 1歳 | 56 100.0 | 52 92.9 | 1 1.8 | 2 3.6 | 0 0.0 | 1 1.8 |
| | 2歳 | 62 100.0 | 51 82.3 | 6 9.7 | 4 6.5 | 0 0.0 | 1 1.6 |
| | 3歳 | 108 100.0 | 90 83.3 | 4 3.7 | 11 10.2 | 0 0.0 | 3 2.8 |
| | 4歳 | 96 100.0 | 81 84.4 | 0 0.0 | 10 10.4 | 1 1.0 | 4 4.2 |
| | 5歳 | 101 100.0 | 82 81.2 | 2 2.0 | 15 14.9 | 0 0.0 | 2 2.0 |
| 居住地 | 元町 | 315 100.0 | 255 81.0 | 8 2.5 | 44 14.0 | 2 0.6 | 6 1.9 |
| | 中町 | 224 100.0 | 187 83.5 | 12 5.4 | 18 8.0 | 1 0.4 | 6 2.7 |
| | 新町 | 147 100.0 | 131 89.1 | 5 3.4 | 7 4.8 | 1 0.7 | 3 2.0 |

問 32-1 浦安市は子育てしやすいまちと思う理由（複数回答）

【問 32 で「1. 子育てしやすいまちだと思う」と回答した方限定】

- ・「公園や児童センターなど子どもの遊び場が多い」が 68.9%で最も高く、次いで「住環境が良い」が 67.7%、「交通機関が便利である」が 48.7%となっています。
- ・地域別にみると、“元町”と“新町”は、「住環境が良い」が最も高くなっています。
- ・平成 25 年調査と比較すると、「保育サービスが充実している」が 6.2 ポイントと最も増加しています。



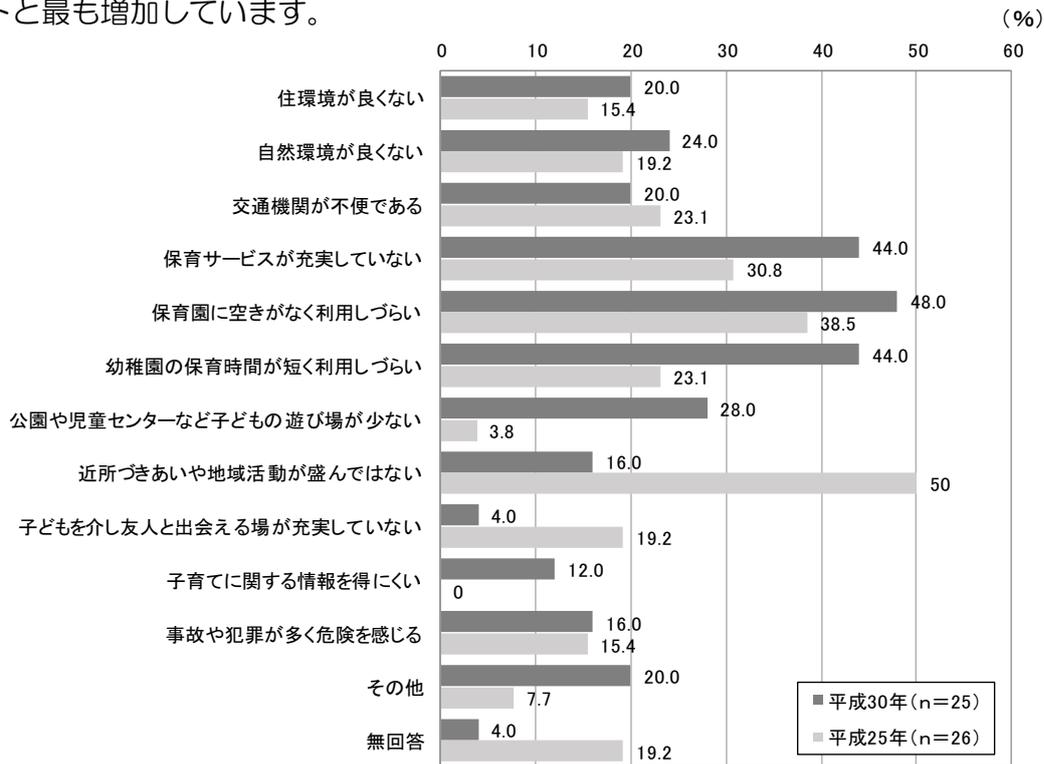
| | 合計 | 問32-1 浦安市は子育てしやすいまちだと思う理由 | | | | | | | | |
|------|--------------|---------------------------|-------------|-------------|---------------|------------------|-------------|-----------------------|-------------------|------------|
| | | 住環境が良い | 自然環境が良い | 交通機関が便利である | 保育サービスが充実している | 保育園、幼稚園などが利用しやすい | 職場と住居が近い | 公園や児童センターなど子どもの遊び場が多い | 近所づきあいや地域活動が盛んである | |
| 全体 | 579 100.0 | 392 67.7 | 186 32.1 | 282 48.7 | 198 34.2 | 207 35.8 | 105 18.1 | 399 68.9 | 76 13.1 | |
| 居住地域 | 元町 | 255 100.0 | 147 57.6 | 53 20.8 | 144 56.5 | 74 29.0 | 82 32.2 | 53 20.8 | 147 57.6 | 35 13.7 |
| | 中町 | 187 100.0 | 134 71.7 | 68 36.4 | 93 49.7 | 63 33.7 | 75 40.1 | 35 18.7 | 140 74.9 | 21 11.2 |
| | 新町 | 131 100.0 | 108 82.4 | 62 47.3 | 42 32.1 | 61 46.6 | 50 38.2 | 16 12.2 | 107 81.7 | 20 15.3 |

| | 合計 | 問32-1 浦安市は子育てしやすいまちだと思う理由 | | | | | |
|------|--------------|---------------------------|----------------|-------------|------------|-----------|----------|
| | | 子どもを介し友人と出会う場が充実している | 子育てに関する情報を得やすい | 事故や犯罪が少ない | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 579 100.0 | 130 22.5 | 173 29.9 | 121 20.9 | 18 3.1 | 3 0.5 | |
| 居住地域 | 元町 | 255 100.0 | 59 23.1 | 80 31.4 | 30 11.8 | 10 3.9 | 2 0.8 |
| | 中町 | 187 100.0 | 42 22.5 | 57 30.5 | 53 28.3 | 3 1.6 | 0 0.0 |
| | 新町 | 131 100.0 | 29 22.1 | 36 27.5 | 38 29.0 | 5 3.8 | 1 0.8 |

問 32-2 浦安市は子育てしやすいまちと思わない理由（複数回答）

【問 32 で「2. 子育てしやすいまちだと思わない」と回答した方限定】

- 「保育園に空きがなく利用しづらい」が 48.0%、「保育サービスが充実していない」と「幼稚園の保育時間が短く利用しづらい」がそれぞれ 44.0%となっています。
- 居住地域別にみると、「元町」は「住環境が良くない」や「自然環境が良くない」が他の地域に比べ高くなっています。
- 平成 25 年調査と比較すると、「公園や児童センターなど子どもの遊び場が少ない」24.2 ポイントと最も増加しています。

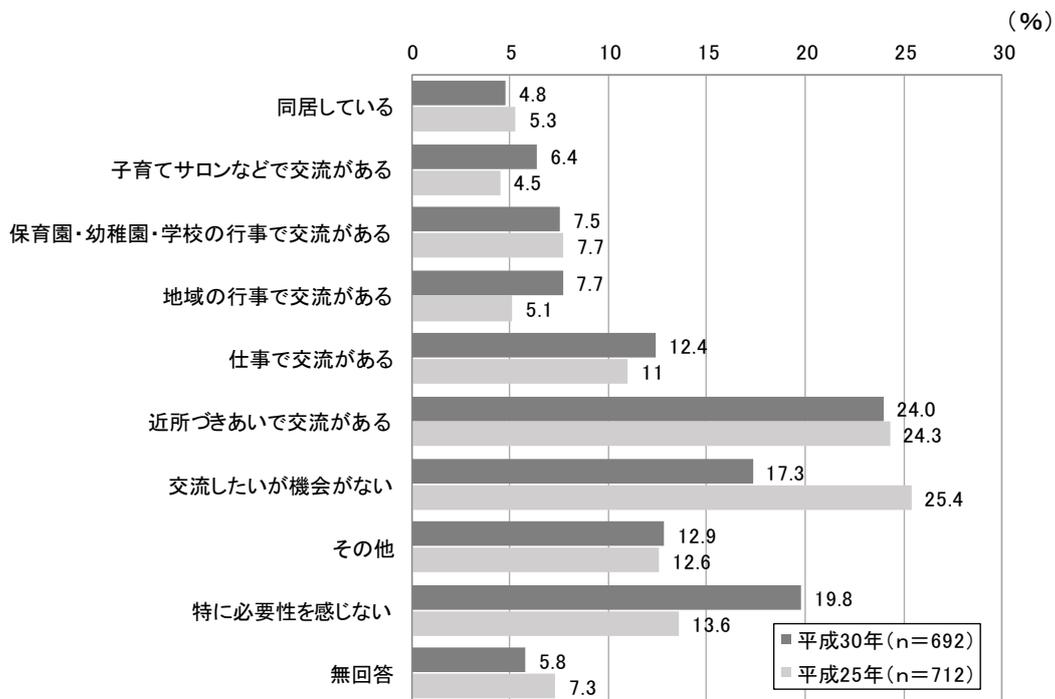


| | | 問32-2 浦安市は子育てしやすいまちだと思わない理由 | | | | | | | | |
|------|-------|-----------------------------|-----------|------------|----------------|-----------------|-------------------|------------------------|--------------------|--|
| 合計 | | 住環境が良くない | 自然環境が良くない | 交通機関が不便である | 保育サービスが充実していない | 保育園に空きがなく利用しづらい | 幼稚園の保育時間が短く利用しづらい | 公園や児童センターなど子どもの遊び場が少ない | 近所づきあいや地域活動が盛んではない | |
| 全体 | 25 | 5 | 6 | 5 | 11 | 12 | 11 | 7 | 4 | |
| | 100.0 | 20.0 | 24.0 | 20.0 | 44.0 | 48.0 | 44.0 | 28.0 | 16.0 | |
| 居住地域 | 元町 | 8 | 3 | 4 | 1 | 4 | 4 | 3 | 1 | |
| | | 100.0 | 37.5 | 50.0 | 12.5 | 50.0 | 50.0 | 37.5 | 12.5 | |
| | 中町 | 12 | 2 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | |
| | 100.0 | 16.7 | 16.7 | 8.3 | 41.7 | 33.3 | 33.3 | 25.0 | 16.7 | |
| 新町 | 5 | 0 | 0 | 3 | 2 | 4 | 3 | 1 | 1 | |
| | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 60.0 | 40.0 | 80.0 | 60.0 | 20.0 | 20.0 | |

| | | 問32-2 浦安市は子育てしやすいまちだと思わない理由 | | | | |
|------|-------|-----------------------------|----------------|----------------|------|-----|
| 合計 | | 子どもを介し友人と出会う場が充実していない | 子育てに関する情報を得にくい | 事故や犯罪が多く危険を感じる | その他 | 無回答 |
| 全体 | 25 | 1 | 3 | 4 | 5 | 1 |
| | 100.0 | 4.0 | 12.0 | 16.0 | 20.0 | 4.0 |
| 居住地域 | 元町 | 8 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| | | 100.0 | 0.0 | 12.5 | 12.5 | 0.0 |
| | 中町 | 12 | 0 | 2 | 2 | 1 |
| | 100.0 | 0.0 | 16.7 | 16.7 | 33.3 | 8.3 |
| 新町 | 5 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | 100.0 | 20.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 |

問 33 高齢者との交流の有無（複数回答）

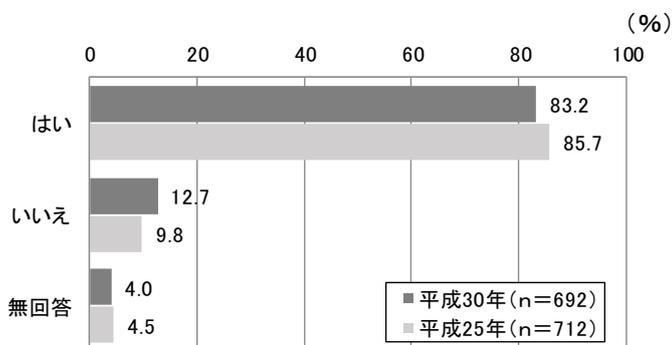
- ・「近所づきあいで交流がある」が 24.0%で最も高く、次いで「特に必要性を感じない」が 19.8%、「交流したいが機会がない」が 17.3%となっています。
- ・居住地域別にみると、「特に必要性を感じない」は“元町”では最も高くなっています。



| | 合計 | 問33 高齢者との交流の有無 | | | | | | | | | | |
|------|--------------|----------------|----------------|---------------------|-------------|------------|--------------|-------------|------------|-------------|------------|-----------|
| | | 同居している | 子育てサロンなどで交流がある | 保育園・幼稚園・学校の行事で交流がある | 地域の行事で交流がある | 仕事で交流がある | 近所づきあいで交流がある | 交流したいが機会がない | その他 | 特に必要性を感じない | 無回答 | |
| 全体 | 692 100.0 | 33 4.8 | 44 6.4 | 52 7.5 | 53 7.7 | 86 12.4 | 166 24.0 | 120 17.3 | 89 12.9 | 137 19.8 | 40 5.8 | |
| 居住地域 | 元町 | 315 100.0 | 9 2.9 | 19 6.0 | 14 4.4 | 14 4.4 | 43 13.7 | 58 18.4 | 52 16.5 | 47 14.9 | 77 24.4 | 18 5.7 |
| | 中町 | 224 100.0 | 17 7.6 | 15 6.7 | 23 10.3 | 30 13.4 | 31 13.8 | 77 34.4 | 34 15.2 | 28 12.5 | 32 14.3 | 12 5.4 |
| | 新町 | 147 100.0 | 6 4.1 | 10 6.8 | 14 9.5 | 9 6.1 | 12 8.2 | 28 19.0 | 33 22.4 | 14 9.5 | 27 18.4 | 10 6.8 |

問 34 高齢者との交流機会が必要と思うか（単回答）

- ・「はい」が83.2%、「いいえ」が12.7%となっている。
- ・平成25年調査と比較すると、「はい」が2.5ポイントの減少となっています。
- ・「はい」は、子どもの年齢別にみると“3歳”、居住地別にみると“中町”で高くなっています。



| | | 合計 | 問34 高齢者との交流機会が必要と思うか | | |
|--------|----|--------------|----------------------|------------|-----------|
| | | | はい | いいえ | 無回答 |
| 全体 | | 692 100.0 | 576 83.2 | 88 12.7 | 28 4.0 |
| 子どもの年齢 | 0歳 | 269 100.0 | 215 79.9 | 39 14.5 | 15 5.6 |
| | 1歳 | 56 100.0 | 48 85.7 | 7 12.5 | 1 1.8 |
| | 2歳 | 62 100.0 | 49 79.0 | 11 17.7 | 2 3.2 |
| | 3歳 | 108 100.0 | 97 89.8 | 8 7.4 | 3 2.8 |
| | 4歳 | 96 100.0 | 80 83.3 | 12 12.5 | 4 4.2 |
| | 5歳 | 101 100.0 | 87 86.1 | 11 10.9 | 3 3.0 |
| 居住地 | 元町 | 315 100.0 | 263 83.5 | 39 12.4 | 13 4.1 |
| | 中町 | 224 100.0 | 191 85.3 | 27 12.1 | 6 2.7 |
| | 新町 | 147 100.0 | 118 80.3 | 20 13.6 | 9 6.1 |

問 35 市の子育て環境に関する意見（自由回答）

- 自由記述については、269人（38.9%）から461件の意見がありました。意見分類ごとの意見数は以下のとおりです。

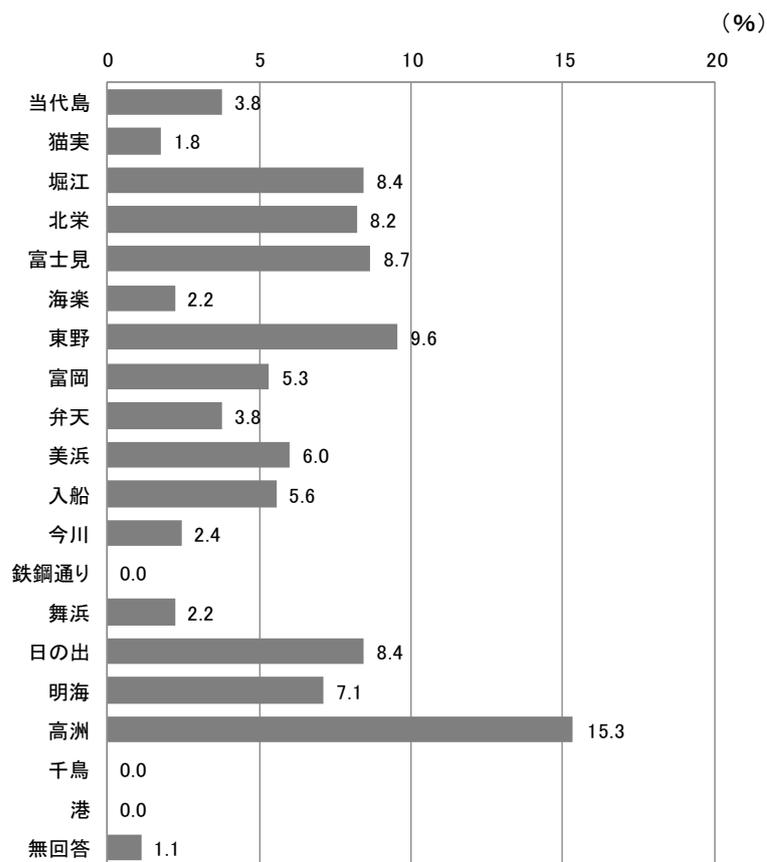
| 意見内容 | 件数 |
|------------------------------------|-----|
| 子育て支援事業・施策（ファミサポ、病児・病後児保育、一時預かり 等） | 88 |
| 保育・教育の事業・施設 | 86 |
| 子育て環境（買物、住宅環境） | 52 |
| 公園・遊び場 | 43 |
| 経済的支援（無償化） | 31 |
| 相談・情報 | 25 |
| 健康（医療機関、健診、医療費助成 等） | 25 |
| 安全（道路、不審者、治安） | 24 |
| 児童育成クラブ | 13 |
| 小学校・教育環境 等 | 11 |
| 児童館 | 7 |
| 特別な支援（障がい・ひとり親等） | 4 |
| その他 | 52 |
| 計 | 461 |

II 就学児童保護者調査

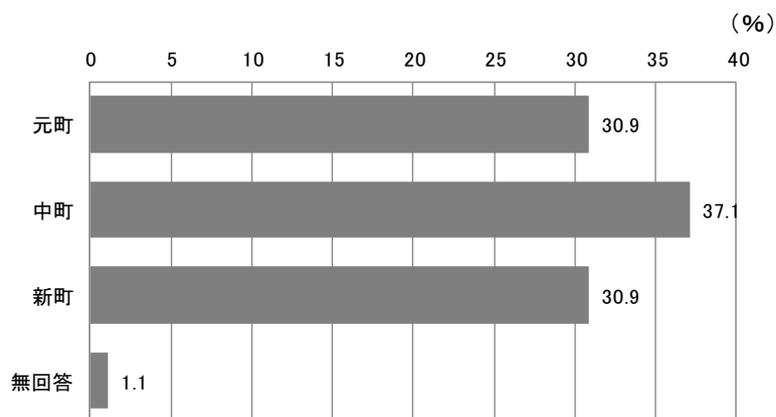
1. お子さんご家族の状況について

問1① 住まいの地区（単回答）

- 19地区別にみると「高洲」が15.3%で最も高く、次いで「東野」が9.6%、「富士見」が8.7%の順となっています。
- 3地域別にみると、「元町」が30.9%、「中町」が37.1%、「新町」が30.9%となっています。



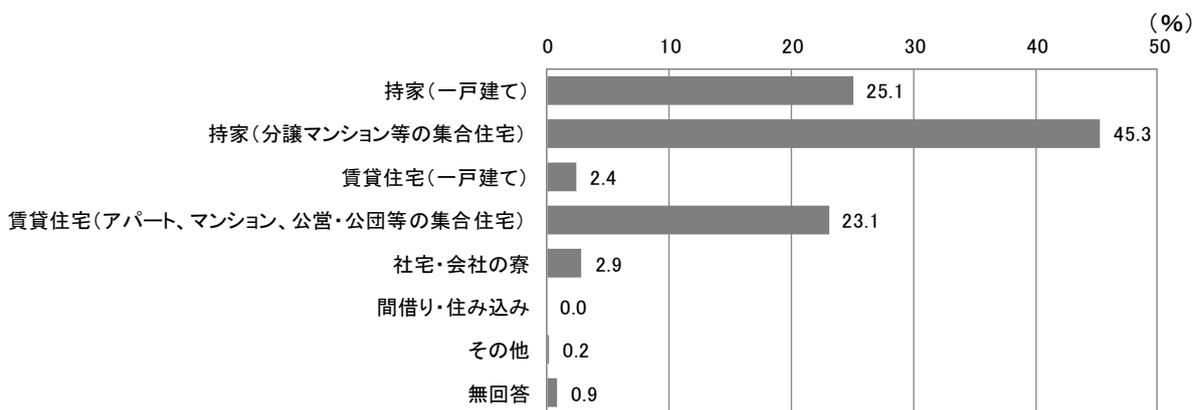
n=450



n=450

問1② 住まいの種類（単回答）

- ・「持家（分譲マンション等の集合住宅）」が 45.3%で最も高く、次いで「持家（一戸建て）」が 25.1%、「賃貸住宅（アパート、マンション、公営・公団等の集合住宅）」が 23.1%の順となっています。
- ・住まいの地域別にみると、“元町”で「賃貸住宅（アパート、マンション、公営・公団等の集合住宅）」、“新町”で、「持家（分譲マンション等の集合住宅）」が最も高くなっています。

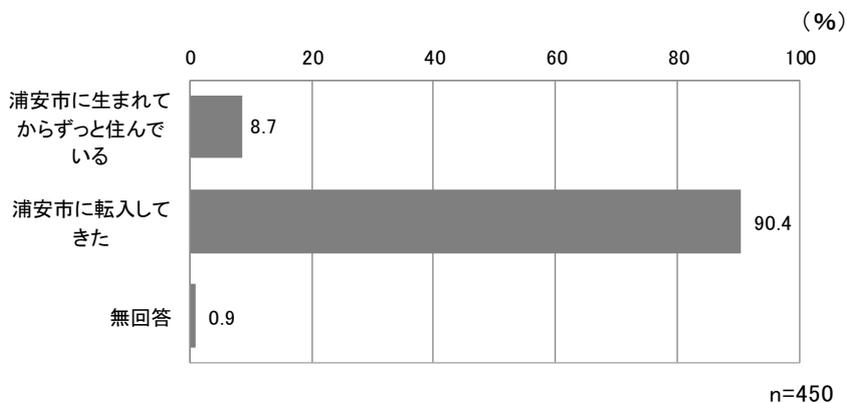


n=450

| | 合計 | 問1②住まいの種類 | | | | | | | |
|------|--------------|--------------|-------------------|-------------|------------------------------|------------|-----------|----------|----------|
| | | 持家（一戸建て） | 持家（分譲マンション等の集合住宅） | 賃貸住宅（一戸建て） | 賃貸住宅（アパート、マンション、公営・公団等の集合住宅） | 社宅・会社の寮 | 間借り・住み込み | その他 | 無回答 |
| 全体 | 450 100.0 | 113 25.1 | 204 45.3 | 11 2.4 | 104 23.1 | 13 2.9 | 0 0.0 | 1 0.2 | 4 0.9 |
| 居住地域 | 元町 | 139 100.0 | 47 33.8 | 38 27.3 | 5 3.6 | 48 34.5 | 1 0.7 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 中町 | 167 100.0 | 62 37.1 | 60 35.9 | 4 2.4 | 29 17.4 | 11 6.6 | 0 0.0 | 1 0.6 |
| | 新町 | 139 100.0 | 4 2.9 | 105 75.5 | 2 1.4 | 27 19.4 | 1 0.7 | 0 0.0 | 0 0.0 |

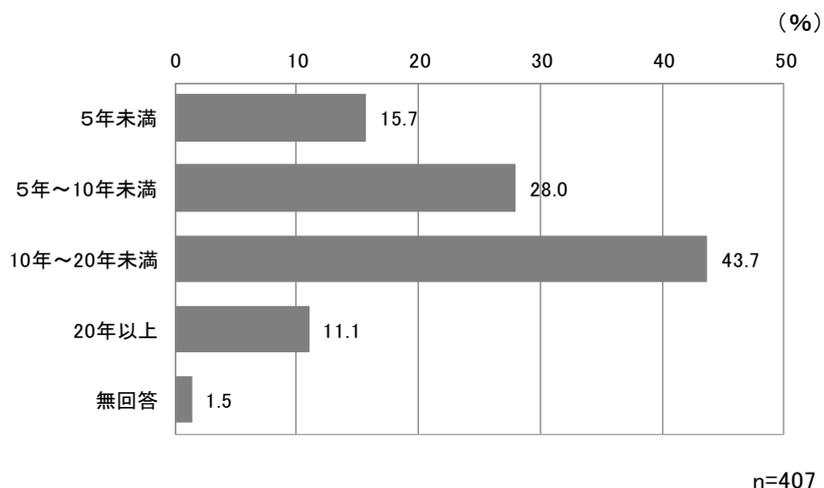
問1③ 居住歴（単回答）

- 「浦安市に転入してきた」が90.4%、「浦安市に生まれてからずっと住んでいる」が8.7%となっています。
- 住まいの地域別にみると、「浦安市に転入してきた」は新町” で94.2%と高くなっています。



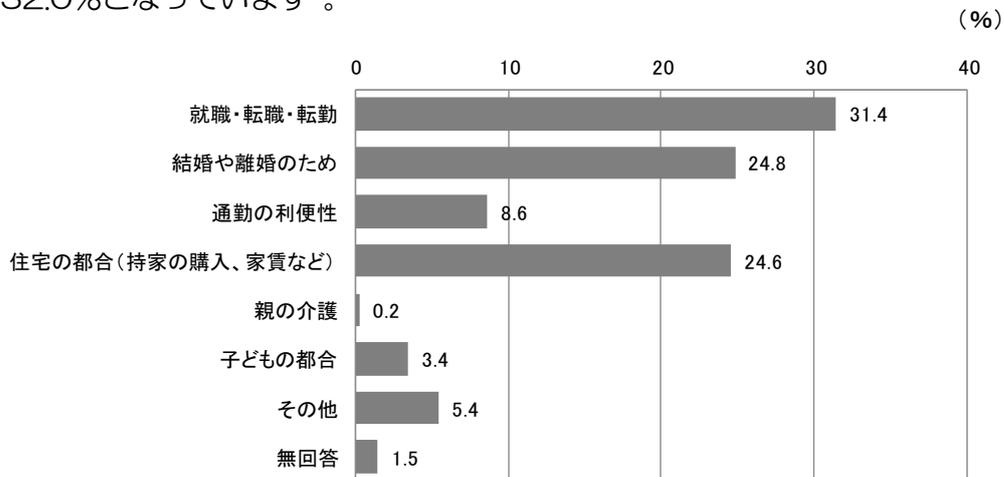
| | 合計 | 問1③居住歴 | | | |
|------|--------------|--------------------|-------------|-------------|----------|
| | | 浦安市に生まれてからずっと住んでいる | 浦安市に転入してきた | 無回答 | |
| 全体 | 450 100.0 | 39 8.7 | 407 90.4 | 4 0.9 | |
| 居住地域 | 元町 | 139 100.0 | 14 10.1 | 125 89.9 | 0 0.0 |
| | 中町 | 167 100.0 | 16 9.6 | 151 90.4 | 0 0.0 |
| | 新町 | 139 100.0 | 8 5.8 | 131 94.2 | 0 0.0 |

- 転入者の居住歴は、「10年～20年未満」が43.7%で最も高くなっています。



問1④ 転入の理由（単回答）【問1③で「2. 浦安市に転入してきた」と回答した方限定】

- ・転入理由は、「就職・転職・転勤」が31.4%で最も高く、次いで「結婚や離婚のため」が24.8%、「住宅の都合（持家の購入、家賃など）」が24.6%となっています。
- ・居住地域別・居住歴別にみると、居住歴5年未満は、“元町”のみ「結婚や離婚のため」が最も高い32.0%となっています。

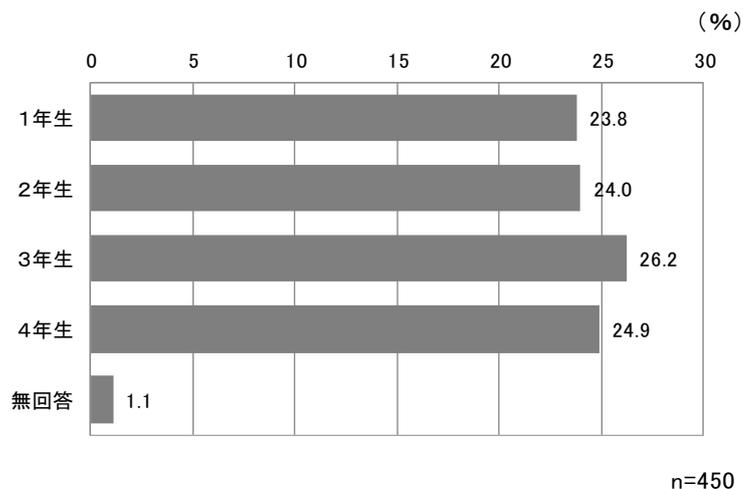


n=407

| | 合計 | 問1④転入の理由 | | | | | | | | |
|-----------------|--------------|-------------|-------------|------------|--------------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | 就職・転職・転勤 | 結婚や離婚のため | 通勤の利便性 | 住宅の都合 (持家の購入、家賃など) | 親の介護 | 子どもの都合 | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 407 100.0 | 128 31.4 | 101 24.8 | 35 8.6 | 100 24.6 | 1 0.2 | 14 3.4 | 22 5.4 | 6 1.5 | |
| 居住地域×転入してからの居住歴 | 元町-5年未満 | 22 100.0 | 15 68.2 | 1 4.5 | 1 4.5 | 3 13.6 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 4.5 | 1 4.5 |
| | 元町-5年～10年未満 | 30 100.0 | 12 40.0 | 8 26.7 | 1 3.3 | 5 16.7 | 0 0.0 | 2 6.7 | 2 6.7 | 0 0.0 |
| | 元町-10年～20年未満 | 61 100.0 | 14 23.0 | 24 39.3 | 11 18.0 | 8 13.1 | 0 0.0 | 1 1.6 | 2 3.3 | 1 1.6 |
| | 元町-20年以上 | 9 100.0 | 0 0.0 | 2 22.2 | 0 0.0 | 2 22.2 | 0 0.0 | 0 0.0 | 4 44.4 | 1 11.1 |
| | 中町-5年未満 | 27 100.0 | 18 66.7 | 1 3.7 | 1 3.7 | 5 18.5 | 0 0.0 | 1 3.7 | 1 3.7 | 0 0.0 |
| | 中町-5年～10年未満 | 39 100.0 | 15 38.5 | 10 25.6 | 3 7.7 | 10 25.6 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 2.6 | 0 0.0 |
| | 中町-10年～20年未満 | 62 100.0 | 10 16.1 | 26 41.9 | 8 12.9 | 14 22.6 | 0 0.0 | 0 0.0 | 3 4.8 | 1 1.6 |
| | 中町-20年以上 | 21 100.0 | 6 28.6 | 3 14.3 | 0 0.0 | 8 38.1 | 0 0.0 | 1 4.8 | 2 9.5 | 1 4.8 |
| | 新町-5年未満 | 15 100.0 | 11 73.3 | 1 6.7 | 0 0.0 | 1 6.7 | 0 0.0 | 2 13.3 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 新町-5年～10年未満 | 45 100.0 | 10 22.2 | 4 8.9 | 9 20.0 | 16 35.6 | 1 2.2 | 5 11.1 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 新町-10年～20年未満 | 55 100.0 | 13 23.6 | 16 29.1 | 1 1.8 | 21 38.2 | 0 0.0 | 1 1.8 | 2 3.6 | 1 1.8 |
| | 新町-20年以上 | 15 100.0 | 3 20.0 | 1 6.7 | 0 0.0 | 7 46.7 | 0 0.0 | 0 0.0 | 4 26.7 | 0 0.0 |

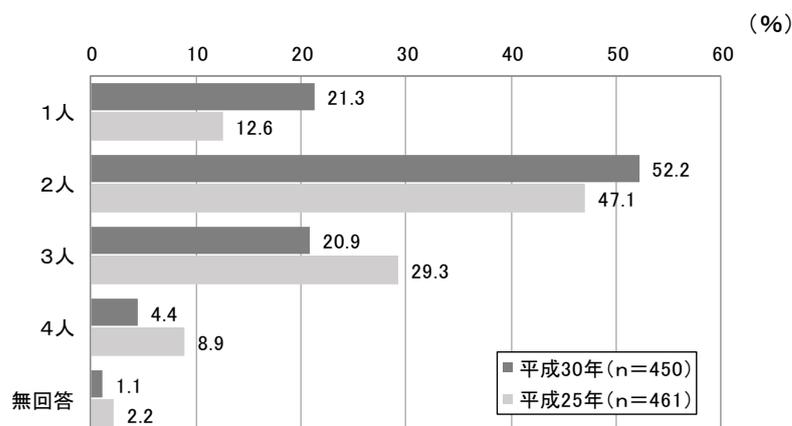
問2 子どもの学年（単回答）

・「1年生」が23.8%、「2年生」が24.0%、「3年生」が26.2%、「4年生」が24.9%となっています。



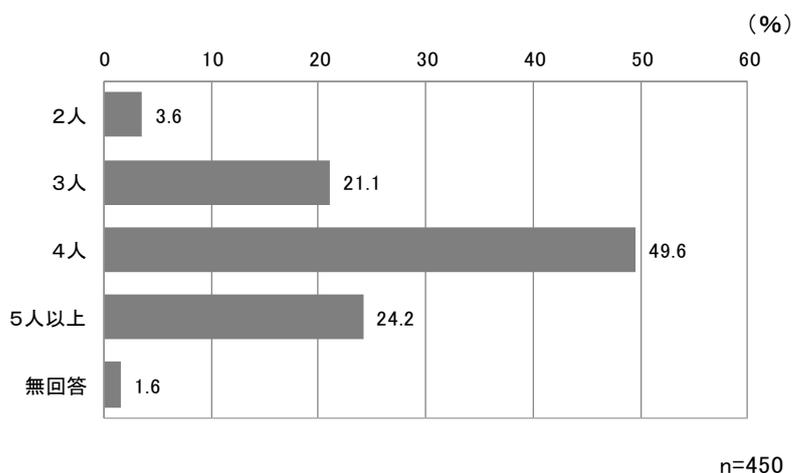
問3 子どもの人数（単回答）

・「1人」が21.3%、「2人」が52.2%、「3人」が20.9%で、平均では、2.09人となっています。
・平成25年調査と比較すると、「1人」と「2人」が増加しており、「3人」「4人」が減少しています。



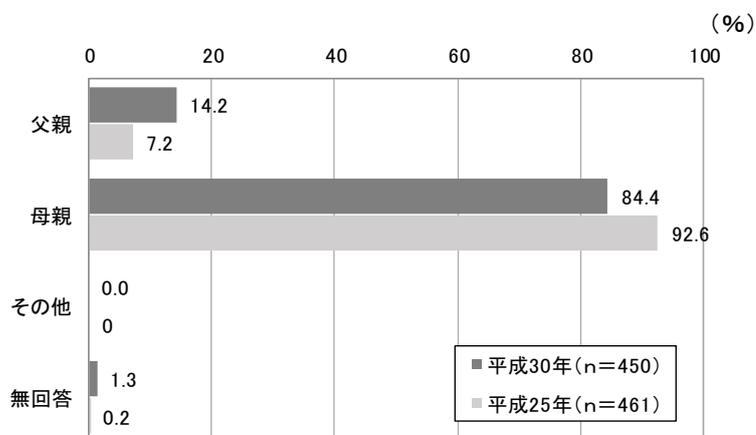
問4 世帯員の人数（数量回答）

・「4人」が49.6%、「5人以上」が24.2%、「3人」が21.1%で、平均では、4.01人となっています。



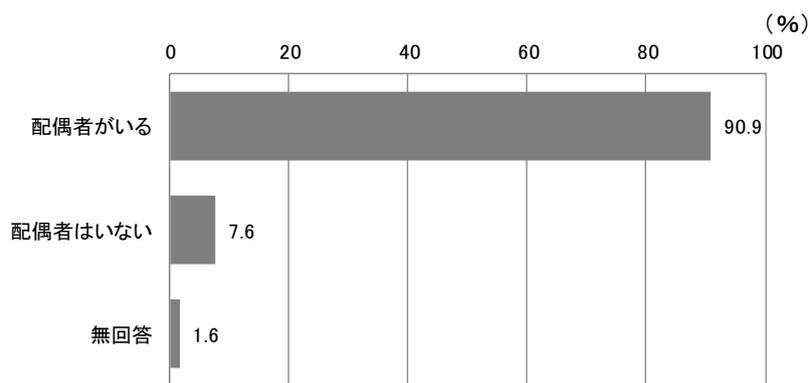
問5 回答者（単回答）

- 「母親」が84.4%、「父親」が14.2%となっています。
- 平成25年調査と比較すると、「父親」が7.0ポイント増加、「母親」が8.2ポイント減少しています。



問6 回答者の配偶関係（単回答）

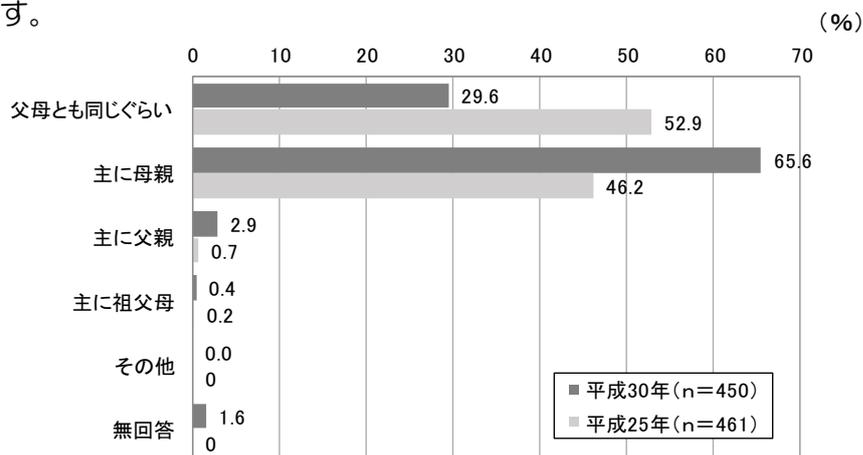
- 「配偶者がいる」が90.9%、「配偶者はいない」が7.6%となっています。



n=450

問7 子育て（教育を含む）を主に行っている人（単回答）

- 「主に母親」が65.6%で最も割合が高く、次いで「父母とも同じくらい」が29.6%となっています。
- 平成25年調査と比較すると、「主に母親」が19.4ポイント増加し、その反面「父母とも同じくらい」が23.3ポイント減少しています。
- 子どもの学年別では“2年生”、住まいの地域別では“中町”で「父母とも同じくらい」の割合が高くなっています。

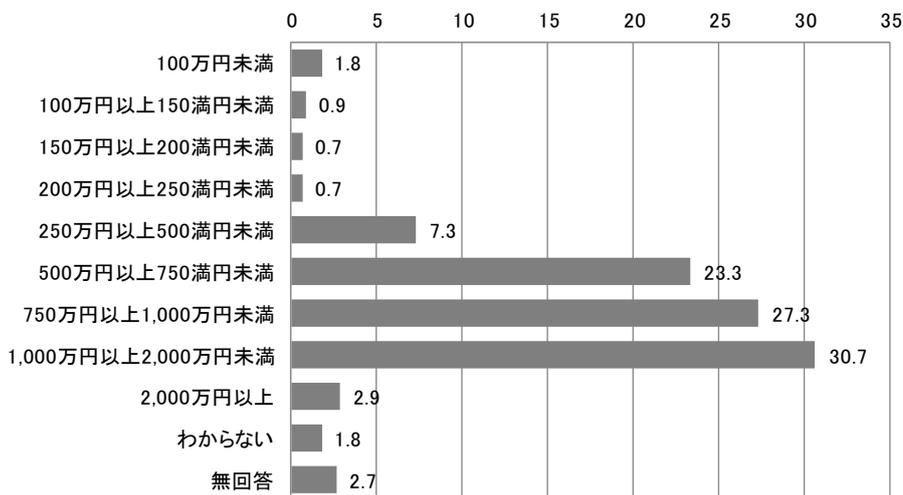


| | 合計 | 問7 子育て（教育を含む）を主に行っている人 | | | | | | |
|---------|--------------|------------------------|--------------|-------------|------------|----------|----------|----------|
| | | 父母とも同じくらい | 主に母親 | 主に父親 | 主に祖父母 | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 450 100.0 | 133 29.6 | 295 65.6 | 13 2.9 | 2 0.4 | 0 0.0 | 7 1.6 | |
| 子どもの学年 | 1年生 | 107 100.0 | 28 26.2 | 72 67.3 | 3 2.8 | 0 0.0 | 0 0.0 | 4 3.7 |
| | 2年生 | 108 100.0 | 42 38.9 | 62 57.4 | 3 2.8 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 0.9 |
| | 3年生 | 118 100.0 | 28 23.7 | 83 70.3 | 4 3.4 | 1 0.8 | 0 0.0 | 2 1.7 |
| | 4年生 | 112 100.0 | 32 28.6 | 76 67.9 | 3 2.7 | 1 0.9 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 居住地域 | 元町 | 139 100.0 | 39 28.1 | 92 66.2 | 5 3.6 | 1 0.7 | 0 0.0 |
| | 中町 | 167 100.0 | 50 29.9 | 110 65.9 | 4 2.4 | 1 0.6 | 0 0.0 | 2 1.2 |
| | 新町 | 139 100.0 | 41 29.5 | 91 65.5 | 4 2.9 | 0 0.0 | 0 0.0 | 3 2.2 |
| 現在の家庭類型 | タイプA | 33 100.0 | 0 0.0 | 26 78.8 | 5 15.2 | 2 6.1 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | タイプB | 115 100.0 | 52 45.2 | 61 53.0 | 1 0.9 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 0.9 |
| | タイプC | 138 100.0 | 46 33.3 | 88 63.8 | 4 2.9 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | タイプD | 151 100.0 | 31 20.5 | 117 77.5 | 3 2.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | タイプE | 4 100.0 | 2 50.0 | 2 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | タイプF | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | | | | | | | | |

問8 世帯の年間収入（税込）（単回答）

- 「1,000万円以上 2,000万円未満」が30.7%でもっと高く、次いで「750万円以上 1,000万円未満」が27.3%、「500万円以上 750万円未満」が23.3%となっています。
- 子どもの学年別では“3年生”、地域別では、“新町”で『1,000万円以上』が最も高くなっています。

(%)



n=450

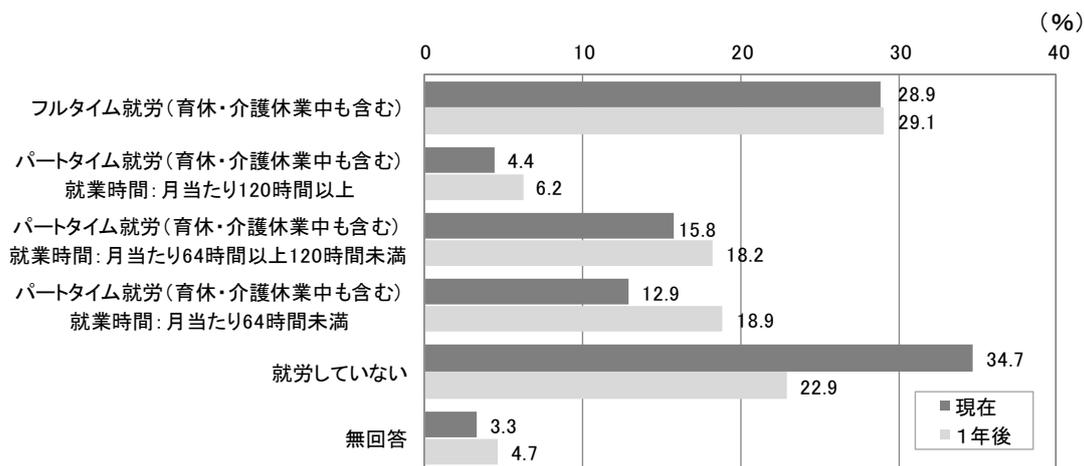
| | | 合計 | 問8 世帯の年間収入 | | | | | | | | | | |
|--------|-----|--------------|------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|------------------|--------------------|-----------|----------|-----------|
| | | | 100万円未満 | 100万円以上150万円未満 | 150万円以上200万円未満 | 200万円以上250万円未満 | 250万円以上500万円未満 | 500万円以上750万円未満 | 750万円以上1,000万円未満 | 1,000万円以上2,000万円未満 | 2,000万円以上 | わからない | 無回答 |
| 全体 | | 450 100.0 | 8 1.8 | 4 0.9 | 3 0.7 | 3 0.7 | 33 7.3 | 105 23.3 | 123 27.3 | 138 30.7 | 13 2.9 | 8 1.8 | 12 2.7 |
| 子どもの学年 | 1年生 | 107 100.0 | 2 1.9 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 10 9.3 | 22 20.6 | 38 35.5 | 23 21.5 | 3 2.8 | 3 2.8 | 6 5.6 |
| | 2年生 | 108 100.0 | 4 3.7 | 0 0.0 | 2 1.9 | 0 0.0 | 5 4.6 | 26 24.1 | 31 28.7 | 36 33.3 | 1 0.9 | 1 0.9 | 2 1.9 |
| | 3年生 | 118 100.0 | 1 0.8 | 1 0.8 | 0 0.0 | 1 0.8 | 10 8.5 | 28 23.7 | 25 21.2 | 41 34.7 | 6 5.1 | 2 1.7 | 3 2.5 |
| | 4年生 | 112 100.0 | 1 0.9 | 3 2.7 | 1 0.9 | 2 1.8 | 7 6.3 | 28 25.0 | 29 25.9 | 35 31.3 | 3 2.7 | 2 1.8 | 1 0.9 |
| | 計 | 139 100.0 | 5 3.6 | 1 0.7 | 2 1.4 | 2 1.4 | 16 11.5 | 46 33.1 | 41 29.5 | 18 12.9 | 1 0.7 | 3 2.2 | 4 2.9 |
| 居住地域 | 元町 | 167 100.0 | 2 1.2 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 0.6 | 13 7.8 | 38 22.8 | 43 25.7 | 58 34.7 | 8 4.8 | 1 0.6 | 3 1.8 |
| | 中町 | 139 100.0 | 1 0.7 | 3 2.2 | 1 0.7 | 0 0.0 | 3 2.2 | 19 13.7 | 39 28.1 | 60 43.2 | 4 2.9 | 4 2.9 | 5 3.6 |
| | 新町 | 139 100.0 | 5 3.6 | 1 0.7 | 2 1.4 | 2 1.4 | 16 11.5 | 46 33.1 | 41 29.5 | 18 12.9 | 1 0.7 | 3 2.2 | 4 2.9 |

問9(1) 母親の現在の就労状況と1年後の就労予定(単回答)

- ・現在は「就労していない」が最も高く、1年後は「フルタイム就労(産休・育休・介護休業中も含む)」が最も割合が高くなっています。

【現在と1年後の比較】

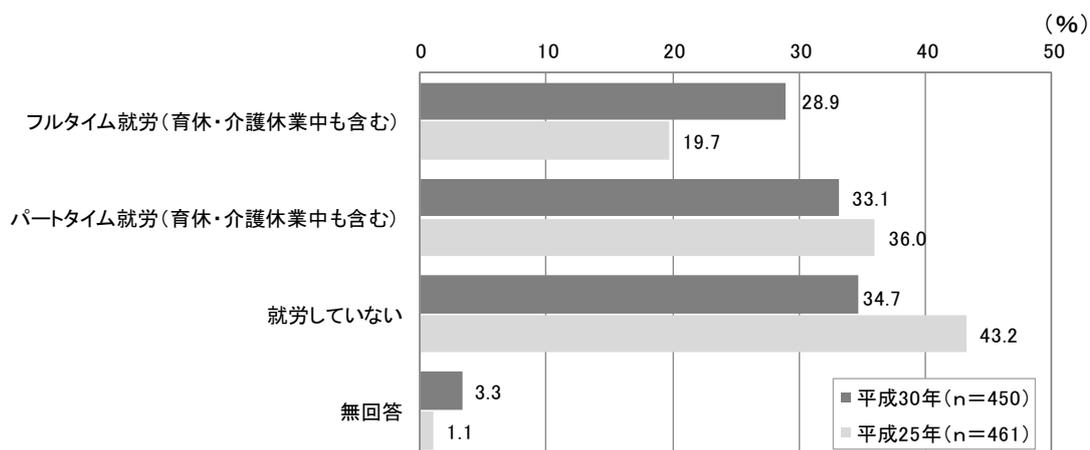
- ・現在と1年後の就業率を比較すると、現在は62.0%、1年後は72.4%で10.4ポイント増加しています。



n=450

【現在と平成25年調査との比較】

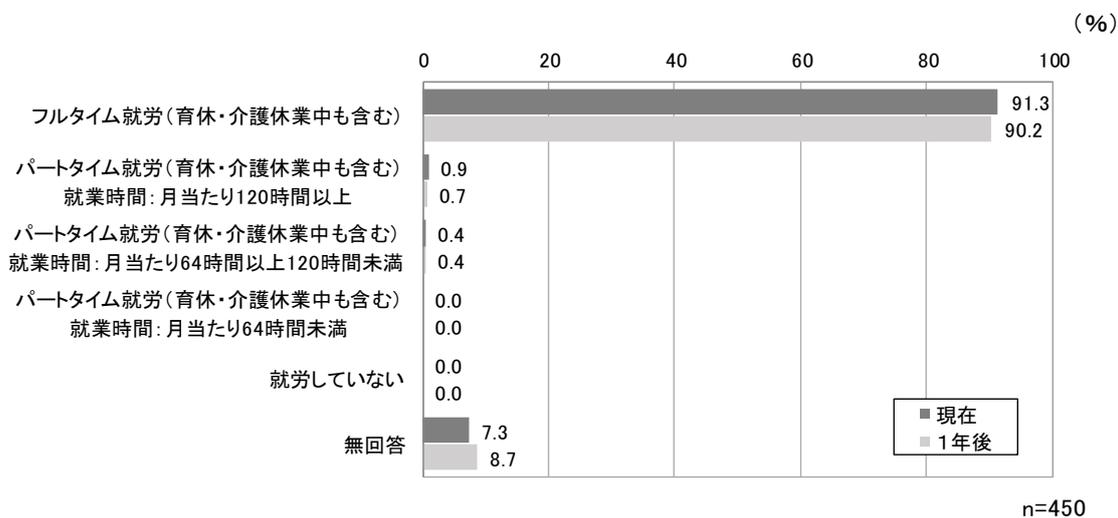
- ・平成25年調査と比較すると、「フルタイム就労(産休・育休・介護休業中も含む)」は9.2ポイントの増加、「就労していない」は8.5ポイントの減少となっており、平成30年調査の現在と比較すると、就業率は6.3ポイント増加しています。



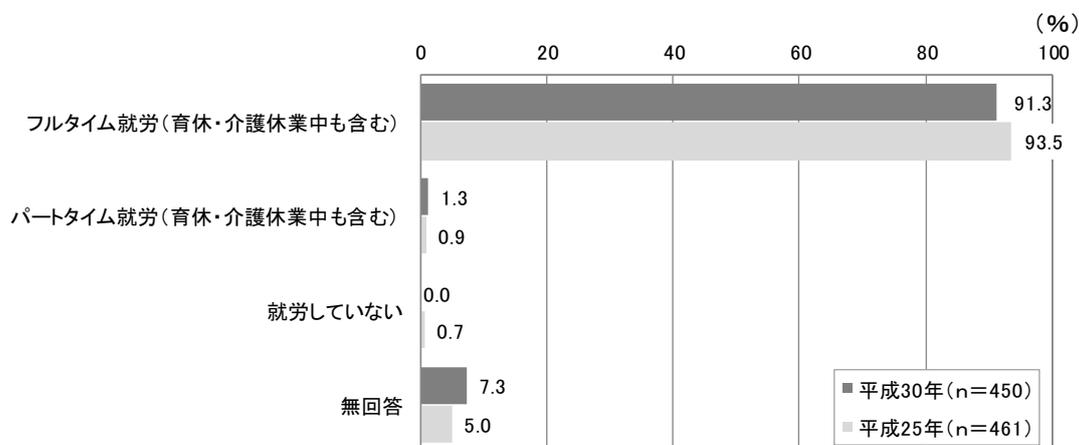
問9(2) 父親の現在の就労状況と1年後の就労予定(単回答)

- ・現在、1年後ともに「フルタイム就労(育休・介護休業中も含む)」の割合が最も高くなっており、大きな変化はみられません。
- ・平成25年調査と比較しても、大きな差異はみられません。

【現在と1年後の比較】



【現在と平成25年調査との比較】



(1) 家庭類型について

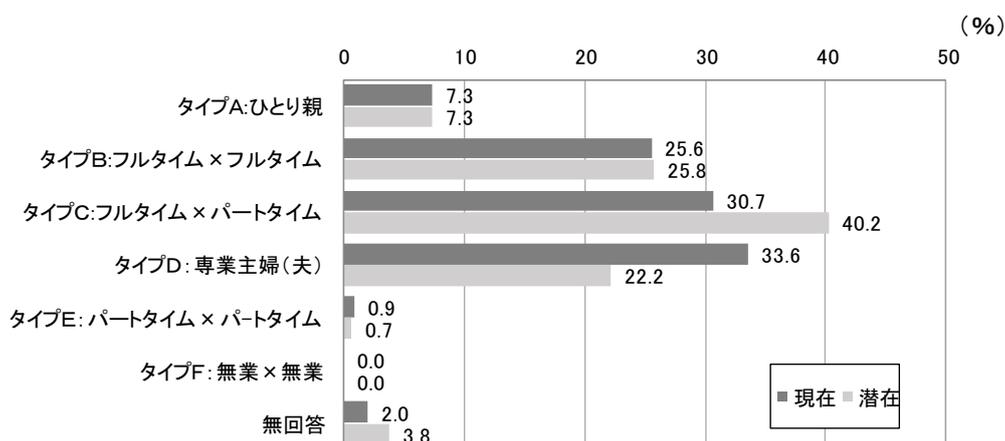
保護者の就労状況については、内閣府が提示する「市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き」をもとにした「家庭類型の分類」を行い、6タイプに分類しています。

| | | | |
|---------------------------------|---------------------------|----------------------------|-------------------------------|
| 母親 タイプA 父親 ひとり親 | 1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中 | 3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中 | 5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない |
| 1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中 | タイプB | タイプC | タイプD |
| 3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中 | タイプC | タイプE | |
| 5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない | タイプD | | タイプF |

(2) 家庭類型割合

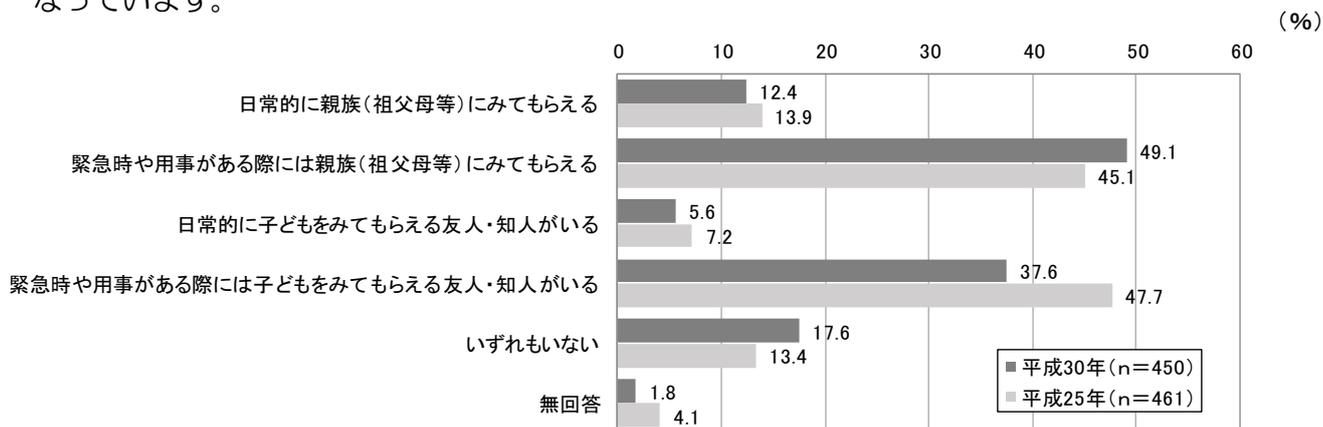
ニーズ調査の結果から、年齢区分ごとの家庭類型を分類すると、以下のとおりで、現在の共働き家庭（タイプB、C、E、）が57.2%から、1年後に66.7%と9.5ポイント高くなっています。

| 家庭類型 | | 現在 | | 潜在(1年後) | |
|------|--------------|-----|-------|---------|-------|
| | | 実数 | 割合(%) | 実数 | 割合(%) |
| タイプA | ひとり親 | 33 | 7.3 | 33 | 7.3 |
| タイプB | フルタイム×フルタイム | 115 | 25.6 | 116 | 25.8 |
| タイプC | フルタイム×パートタイム | 138 | 30.7 | 181 | 40.2 |
| タイプD | 専業主婦(夫) | 151 | 33.6 | 100 | 22.2 |
| タイプE | パート×パート | 4 | 0.9 | 3 | 0.7 |
| タイプF | 無業×無業 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 無回答 | | 9 | 2.0 | 17 | 3.8 |
| 全体 | | 450 | 100.0 | 450 | 100.0 |



問 10 子どもをみてもらえる親族・友人の有無（複数回答）

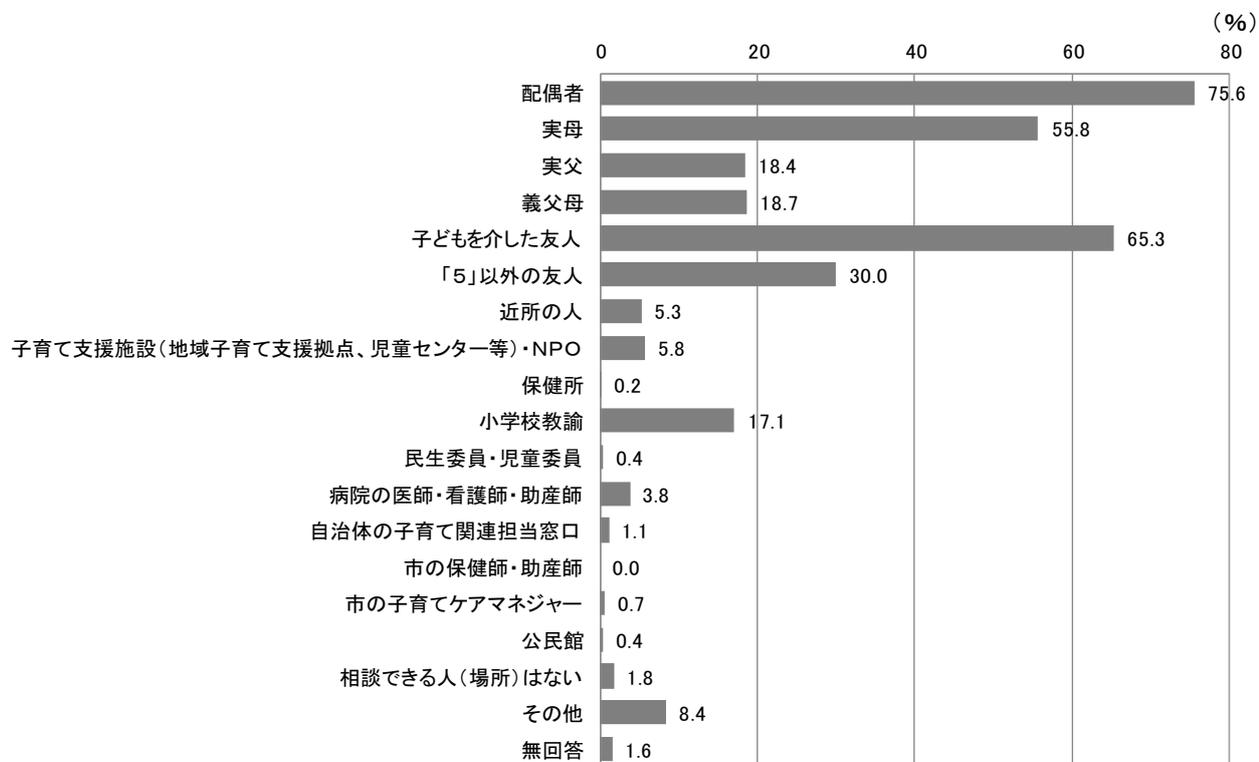
- ・「緊急時や用事がある際には親族（祖父母等）にみてもらえる」が 49.1%で最も高く、「緊急時や用事がある際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 37.6%、「いずれもない」が 17.6%の順となっています。
- ・平成 25 年調査と比較すると、「いずれもない」は 4.2 ポイント増加しています。
- ・「いずれもない」の割合は、子どもの学年別では“2年生”、地域別では、“元町”が最も高くなっています。



| | | 合計 | 問10 子どもをみてもらえる親族・友人の有無 | | | | | 無回答 |
|--------|-------|-------|------------------------|-----------------------------|------------------------|--------------------------------|--------|-----|
| | | | 日常的に親族(祖父母等)にみてもらえる | 緊急時や用事がある際には親族(祖父母等)にみてもらえる | 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | 緊急時や用事がある際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | いずれもない | |
| 全体 | | 450 | 56 | 221 | 25 | 169 | 79 | 8 |
| | | 100.0 | 12.4 | 49.1 | 5.6 | 37.6 | 17.6 | 1.8 |
| 子どもの学年 | 1年生 | 107 | 14 | 51 | 7 | 39 | 16 | 4 |
| | | 100.0 | 13.1 | 47.7 | 6.5 | 36.4 | 15.0 | 3.7 |
| | 2年生 | 108 | 13 | 53 | 4 | 37 | 22 | 1 |
| | | 100.0 | 12.0 | 49.1 | 3.7 | 34.3 | 20.4 | 0.9 |
| 3年生 | | 118 | 11 | 61 | 6 | 41 | 21 | 3 |
| | | 100.0 | 9.3 | 51.7 | 5.1 | 34.7 | 17.8 | 2.5 |
| | 4年生 | 112 | 15 | 55 | 8 | 51 | 18 | 0 |
| | 100.0 | 13.4 | 49.1 | 7.1 | 45.5 | 16.1 | 0.0 | |
| 居住地 | 元町 | 139 | 17 | 68 | 3 | 50 | 29 | 3 |
| | | 100.0 | 12.2 | 48.9 | 2.2 | 36.0 | 20.9 | 2.2 |
| | 中町 | 167 | 23 | 91 | 13 | 65 | 22 | 2 |
| | 100.0 | 13.8 | 54.5 | 7.8 | 38.9 | 13.2 | 1.2 | |
| 新町 | | 139 | 13 | 61 | 8 | 53 | 27 | 3 |
| | | 100.0 | 9.4 | 43.9 | 5.8 | 38.1 | 19.4 | 2.2 |

問 11 子育て（教育を含む）に関して気軽に相談できる人や場所（複数回答）

- 「配偶者」が75.6%で最も高く、次いで「子どもを介した友人」が65.3%、「実母」が55.8%の順となっています。
- 地域別では、“元町”で「子育てサークル・NPO・子育て支援施設（子育てすこやかセンター、児童館等）」の割合が低くなっています。



n=450

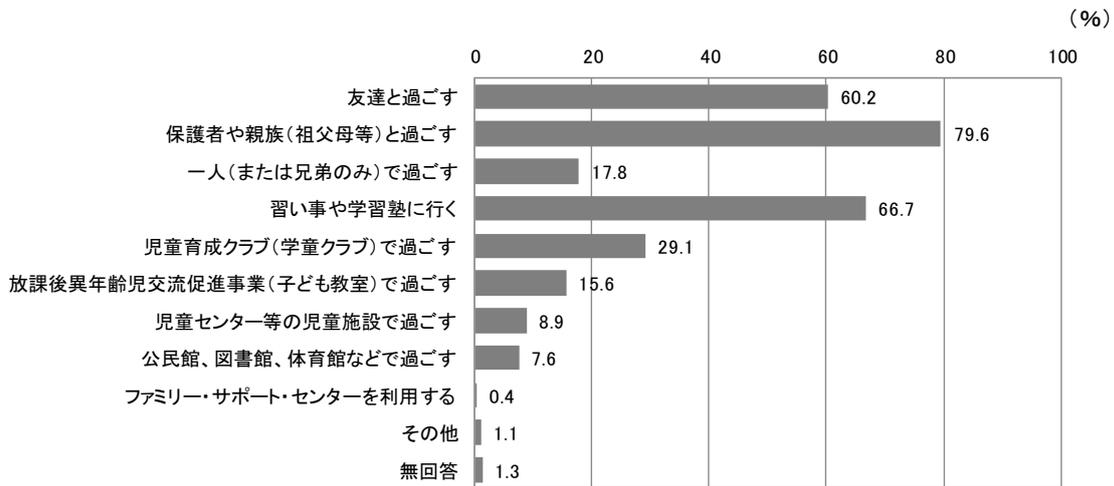
| | 合計 | 問11 子育て（教育を含む）に関して気軽に相談できる人や場所 | | | | | | | | | | |
|--------|--------------|--------------------------------|-------------|------------|------------|-------------|-------------|------------|--------------------------------|-----------|------------|------------|
| | | 配偶者 | 実母 | 実父 | 義父母 | 子どもを介した友人 | 「5」以外の友人 | 近所の人 | 子育て支援施設（地域子育て支援拠点、児童センター等）・NPO | 保健所 | 小学校教諭 | |
| 全体 | 450 100.0 | 340 75.6 | 251 55.8 | 83 18.4 | 84 18.7 | 294 65.3 | 135 30.0 | 24 5.3 | 26 5.8 | 1 0.2 | 77 17.1 | |
| 子どもの学年 | 1年生 | 107 100.0 | 84 78.5 | 65 60.7 | 20 18.7 | 24 22.4 | 71 66.4 | 32 29.9 | 6 5.6 | 6 5.6 | 1 0.9 | 16 15.0 |
| | 2年生 | 108 100.0 | 88 81.5 | 58 53.7 | 23 21.3 | 23 21.3 | 67 62.0 | 28 25.9 | 3 2.8 | 6 5.6 | 0 0.0 | 20 18.5 |
| | 3年生 | 118 100.0 | 80 67.8 | 67 56.8 | 18 15.3 | 11 9.3 | 73 61.9 | 33 28.0 | 6 5.1 | 5 4.2 | 0 0.0 | 10 8.5 |
| | 4年生 | 112 100.0 | 85 75.9 | 59 52.7 | 20 17.9 | 24 21.4 | 79 70.5 | 39 34.8 | 9 8.0 | 9 8.0 | 0 0.0 | 31 27.7 |
| 居住地域 | 元町 | 139 100.0 | 104 74.8 | 77 55.4 | 24 17.3 | 22 15.8 | 85 61.2 | 44 31.7 | 9 6.5 | 7 5.0 | 1 0.7 | 28 20.1 |
| | 中町 | 167 100.0 | 129 77.2 | 96 57.5 | 38 22.8 | 35 21.0 | 116 69.5 | 54 32.3 | 7 4.2 | 9 5.4 | 0 0.0 | 27 16.2 |
| | 新町 | 139 100.0 | 103 74.1 | 75 54.0 | 19 13.7 | 25 18.0 | 90 64.7 | 35 25.2 | 8 5.8 | 10 7.2 | 0 0.0 | 22 15.8 |

| | 合計 | 問11 子育て（教育を含む）に関して気軽に相談できる人や場所 | | | | | | | | | |
|--------|--------------|--------------------------------|---------------|---------------|-----------|--------------|----------|---------------|-----------|------------|----------|
| | | 民生委員・児童委員 | 病院の医師・看護師・助産師 | 自治体の子育て関連担当窓口 | 市の保健師・助産師 | 市の子育てケアマネジャー | 公民館 | 相談できる人（場所）はない | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 450 100.0 | 2 0.4 | 17 3.8 | 5 1.1 | 0 0.0 | 3 0.7 | 2 0.4 | 8 1.8 | 38 8.4 | 7 1.6 | |
| 子どもの学年 | 1年生 | 107 100.0 | 1 0.9 | 3 2.8 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 0.9 | 1 0.9 | 1 0.9 | 8 7.5 | 4 3.7 |
| | 2年生 | 108 100.0 | 0 0.0 | 5 4.6 | 1 0.9 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 0.9 | 2 1.9 | 9 8.3 | 1 0.9 |
| | 3年生 | 118 100.0 | 1 0.8 | 1 0.8 | 2 1.7 | 0 0.0 | 1 0.8 | 0 0.0 | 4 3.4 | 13 11.0 | 2 1.7 |
| | 4年生 | 112 100.0 | 0 0.0 | 8 7.1 | 2 1.8 | 0 0.0 | 1 0.9 | 0 0.0 | 1 0.9 | 8 7.1 | 0 0.0 |
| 居住地域 | 元町 | 139 100.0 | 2 1.4 | 8 5.8 | 2 1.4 | 0 0.0 | 1 0.7 | 1 0.7 | 4 2.9 | 11 7.9 | 3 2.2 |
| | 中町 | 167 100.0 | 0 0.0 | 4 2.4 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 0.6 | 1 0.6 | 3 1.8 | 12 7.2 | 2 1.2 |
| | 新町 | 139 100.0 | 0 0.0 | 5 3.6 | 3 2.2 | 0 0.0 | 1 0.7 | 0 0.0 | 1 0.7 | 15 10.8 | 2 1.4 |

2. お子さんの放課後や土曜日の過ごし方について

問12 子どもの放課後や土曜日の過ごし方（複数回答）

- ・「保護者や親族（祖父母等）と過ごす」が79.6%で最も高く、次いで「習い事や学習塾に行く」が66.7%、「友達と過ごす」が60.2%の順となっています。
- ・「一人（または兄弟のみ）で過ごす」の割合をみると、学年別では“4年生”で、地域別では、“元町”で、家庭類型別では“タイプB（フルタイム×フルタイム）”で高くなっています。

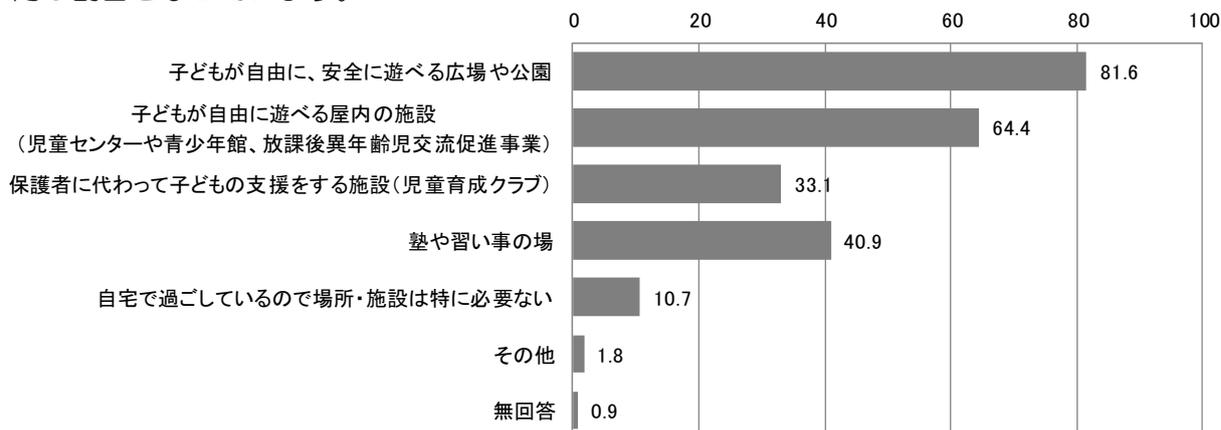


n=450

| | 合計 | 問12 子どもの放課後や土曜日の過ごし方 | | | | | | | | | | | |
|---------|--------------|----------------------|------------------|-----------------|-------------|--------------------|--------------------------|------------------|-------------------|----------------------|----------|----------|----------|
| | | 友達と過ごす | 保護者や親族(祖父母等)と過ごす | 一人(または兄弟のみ)で過ごす | 習い事や学習塾に行く | 児童育成クラブ(学童クラブ)で過ごす | 放課後異年齢児交流促進事業(子ども教室)で過ごす | 児童センター等の児童施設で過ごす | 公民館、図書館、体育館などで過ごす | ファミリー・サポート・センターを利用する | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 450 100.0 | 271 60.2 | 358 79.6 | 80 17.8 | 300 66.7 | 131 29.1 | 70 15.6 | 40 8.9 | 34 7.6 | 2 0.4 | 5 1.1 | 6 1.3 | |
| 子どもの学年 | 1年生 | 107 100.0 | 54 50.5 | 92 86.0 | 12 11.2 | 61 57.0 | 38 35.5 | 23 21.5 | 16 15.0 | 9 8.4 | 0 0.0 | 2 1.9 | 3 2.8 |
| | 2年生 | 108 100.0 | 58 53.7 | 78 72.2 | 13 12.0 | 69 63.9 | 39 36.1 | 13 12.0 | 6 5.6 | 4 3.7 | 2 1.9 | 0 0.0 | 1 0.9 |
| | 3年生 | 118 100.0 | 79 66.9 | 93 78.8 | 27 22.9 | 84 71.2 | 36 30.5 | 24 20.3 | 7 5.9 | 9 7.6 | 0 0.0 | 2 1.7 | 2 1.7 |
| | 4年生 | 112 100.0 | 77 68.8 | 90 80.4 | 27 24.1 | 82 73.2 | 16 14.3 | 9 8.0 | 11 9.8 | 12 10.7 | 0 0.0 | 1 0.9 | 0 0.0 |
| 居住地域 | 元町 | 139 100.0 | 78 56.1 | 115 82.7 | 31 22.3 | 90 64.7 | 35 25.2 | 20 14.4 | 8 5.8 | 11 7.9 | 0 0.0 | 2 1.4 | 2 1.4 |
| | 中町 | 167 100.0 | 100 59.9 | 131 78.4 | 22 13.2 | 117 70.1 | 55 32.9 | 31 18.6 | 21 12.6 | 11 6.6 | 2 1.2 | 3 1.8 | 2 1.2 |
| | 新町 | 139 100.0 | 90 64.7 | 107 77.0 | 27 19.4 | 90 64.7 | 39 28.1 | 18 12.9 | 11 7.9 | 12 8.6 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 1.4 |
| 現在の家庭類型 | タイプA | 33 100.0 | 13 39.4 | 21 63.6 | 7 21.2 | 15 45.5 | 16 48.5 | 4 12.1 | 2 6.1 | 1 3.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | タイプB | 115 100.0 | 60 52.2 | 87 75.7 | 25 21.7 | 79 68.7 | 74 64.3 | 11 9.6 | 5 4.3 | 3 2.6 | 2 1.7 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | タイプC | 138 100.0 | 87 63.0 | 106 76.8 | 29 21.0 | 93 67.4 | 36 26.1 | 23 16.7 | 14 10.1 | 11 8.0 | 0 0.0 | 1 0.7 | 0 0.0 |
| | タイプD | 151 100.0 | 106 70.2 | 137 90.7 | 17 11.3 | 108 71.5 | 5 3.3 | 31 20.5 | 19 12.6 | 17 11.3 | 0 0.0 | 4 2.6 | 0 0.0 |
| | タイプE | 4 100.0 | 3 75.0 | 4 100.0 | 0 0.0 | 2 50.0 | 0 0.0 | 1 25.0 | 0 0.0 | 2 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | タイプF | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |

問 13 子どもが放課後や土曜日に過ごす際に必要な場所・施設（複数回答）

- 「子どもが自由に、安全に遊べる広場や公園」が81.6%で最も高く、次いで「子どもが自由に遊べる屋内の施設（児童センターや青少年館、放課後異年齢児交流促進事業）」が64.4%、「塾や習い事の間」が40.9%の順となっています。
- 家庭類型別の“タイプ A（ひとり親家庭）”では、「子どもが自由に、安全に遊べる広場や公園」と「子どもが自由に遊べる屋内の施設（児童センターや青少年館、放課後異年齢児交流促進事業）」が同じ割合となっています。



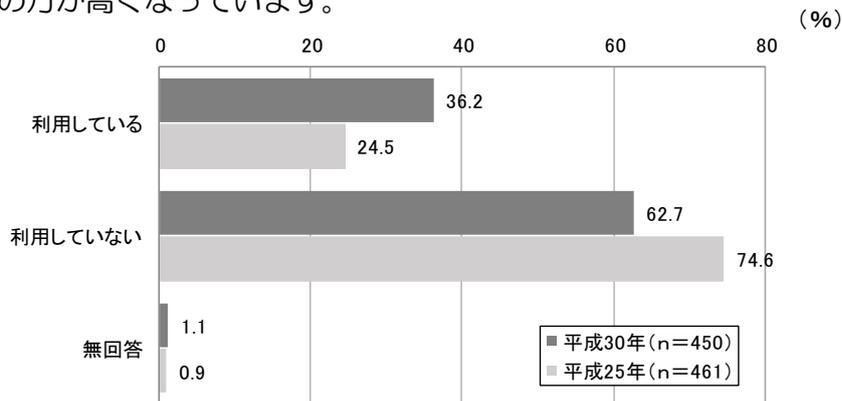
n=450

| | 合計 | 問13 子どもが放課後や土曜日に過ごす際に必要な場所・施設 | | | | | | | |
|---------|--------------|-------------------------------|--|----------------------------------|-------------|-------------------------|------------|----------|----------|
| | | 子どもが自由に、安全に遊べる広場や公園 | 子どもが自由に遊べる屋内の施設 (児童センターや青少年館、放課後異年齢児交流促進事業) | 保護者に代わって子どもの支援をする施設 (児童育成クラブ) | 塾や習い事の間 | 自宅で過ごしているため場所・施設は特に必要ない | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 450 100.0 | 367 81.6 | 290 64.4 | 149 33.1 | 184 40.9 | 48 10.7 | 8 1.8 | 4 0.9 | |
| 現在の家庭類型 | タイプA | 33 100.0 | 19 57.6 | 19 57.6 | 17 51.5 | 11 33.3 | 4 12.1 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | タイプB | 115 100.0 | 93 80.9 | 64 55.7 | 64 55.7 | 56 48.7 | 6 5.2 | 4 3.5 | 1 0.9 |
| | タイプC | 138 100.0 | 112 81.2 | 88 63.8 | 39 28.3 | 54 39.1 | 19 13.8 | 1 0.7 | 2 1.4 |
| | タイプD | 151 100.0 | 132 87.4 | 112 74.2 | 26 17.2 | 59 39.1 | 18 11.9 | 3 2.0 | 1 0.7 |
| | タイプE | 4 100.0 | 4 100.0 | 2 50.0 | 0 0.0 | 2 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | タイプF | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |

3. 児童育成クラブの利用状況について

問 14 児童育成クラブの利用状況（単回答）

- 「利用している」が 36.2%で、「利用していない」が 62.7%となっています。平成 25 年調査と比較すると「利用している」が 11.7 ポイント増加しています。
- 家庭類型別の“タイプ A（ひとり親家庭）”“タイプ B（フルタイム×フルタイム）”では、「利用している」割合の方が高くなっています。

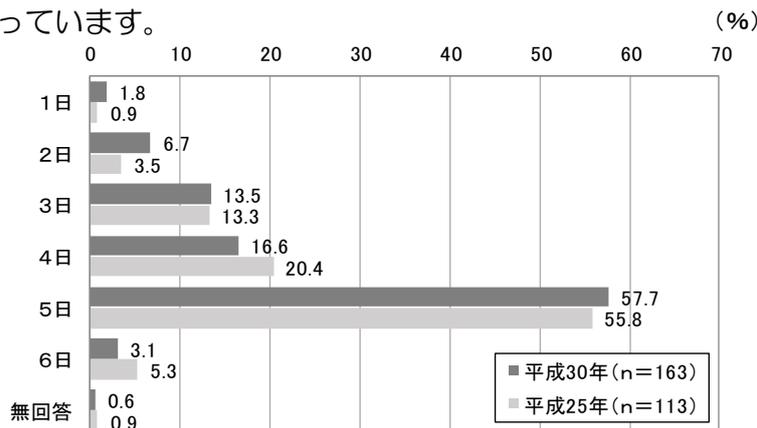


| | | 合計 | 問14 児童育成クラブの利用状況 | | |
|---------|------|--------------|------------------|-------------|----------|
| | | | 利用している | 利用していない | 無回答 |
| 全体 | | 450 100.0 | 163 36.2 | 282 62.7 | 5 1.1 |
| 現在の家庭類型 | タイプA | 33 100.0 | 20 60.6 | 13 39.4 | 0 0.0 |
| | タイプB | 115 100.0 | 90 78.3 | 25 21.7 | 0 0.0 |
| | タイプC | 138 100.0 | 44 31.9 | 92 66.7 | 2 1.4 |
| | タイプD | 151 100.0 | 6 4.0 | 142 94.0 | 3 2.0 |
| | タイプE | 4 100.0 | 1 25.0 | 3 75.0 | 0 0.0 |
| | タイプF | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 無回答 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |

問 14-1 児童育成クラブの利用日数と土曜日の利用状況（単回答）

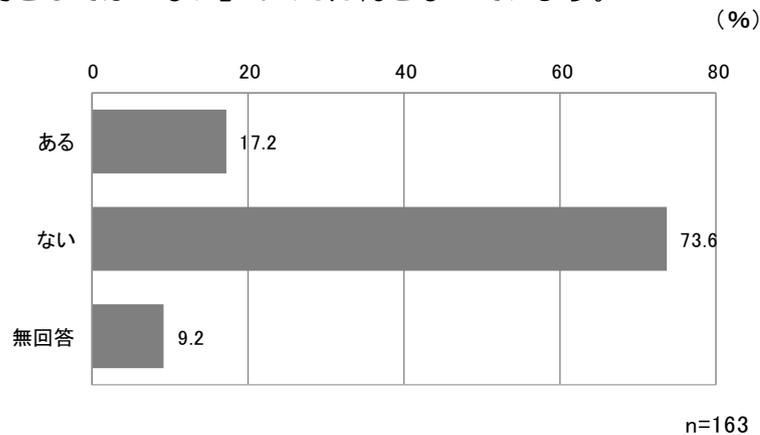
【問 14 で「1. 利用している」と回答した方限定】

- 「5日」が 57.7%で最も高く、次いで「4日」が 16.6%、「3日」が 13.5%の順となっています。
- 「6日」と回答した割合をみると子どもの学年別では“4年生”で、配偶関係別では“配偶者はいない”で高くなっています。



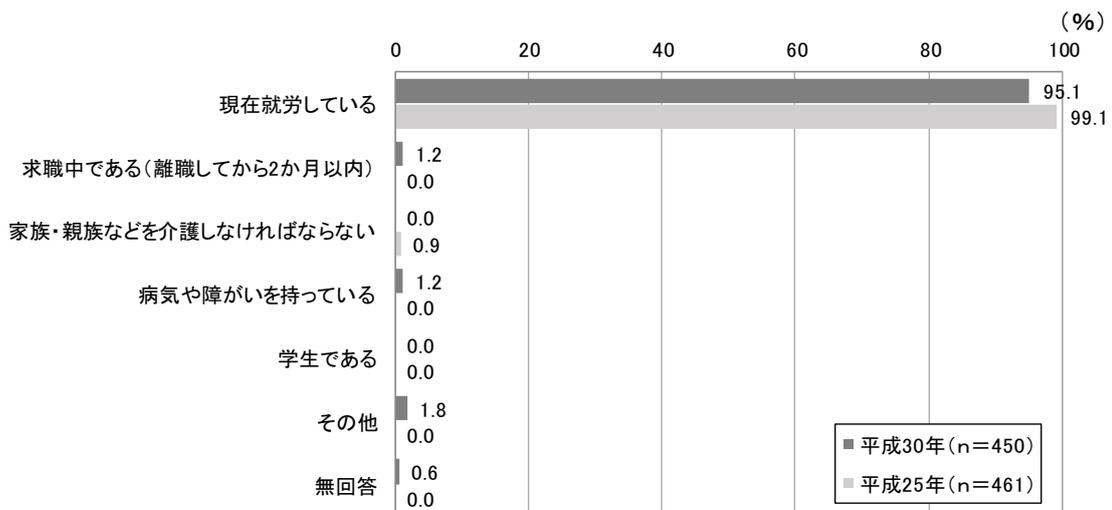
| | | 合計 | 問14-1 児童育成クラブの利用日数 | | | | | | 無回答 |
|--------|---------|--------------|--------------------|-----------|------------|------------|------------|-----------|----------|
| | | | 1日 | 2日 | 3日 | 4日 | 5日 | 6日 | |
| 全体 | | 163 100.0 | 3 1.8 | 11 6.7 | 22 13.5 | 27 16.6 | 94 57.7 | 5 3.1 | 1 0.6 |
| 子どもの学年 | 1年生 | 44 100.0 | 0 0.0 | 2 4.5 | 2 4.5 | 7 15.9 | 31 70.5 | 2 4.5 | 0 0.0 |
| | 2年生 | 47 100.0 | 0 0.0 | 4 8.5 | 8 17.0 | 6 12.8 | 28 59.6 | 1 2.1 | 0 0.0 |
| | 3年生 | 51 100.0 | 3 5.9 | 1 2.0 | 11 21.6 | 11 21.6 | 23 45.1 | 1 2.0 | 1 2.0 |
| | 4年生 | 19 100.0 | 0 0.0 | 3 15.8 | 1 5.3 | 3 15.8 | 11 57.9 | 1 5.3 | 0 0.0 |
| 配偶関係 | 配偶者がいる | 140 100.0 | 2 1.4 | 11 7.9 | 17 12.1 | 23 16.4 | 84 60.0 | 2 1.4 | 1 0.7 |
| | 配偶者はいない | 20 100.0 | 1 5.0 | 0 0.0 | 4 20.0 | 2 10.0 | 10 50.0 | 3 15.0 | 0 0.0 |

・そのうちの土曜の利用としては「ない」が73.6%となっています。



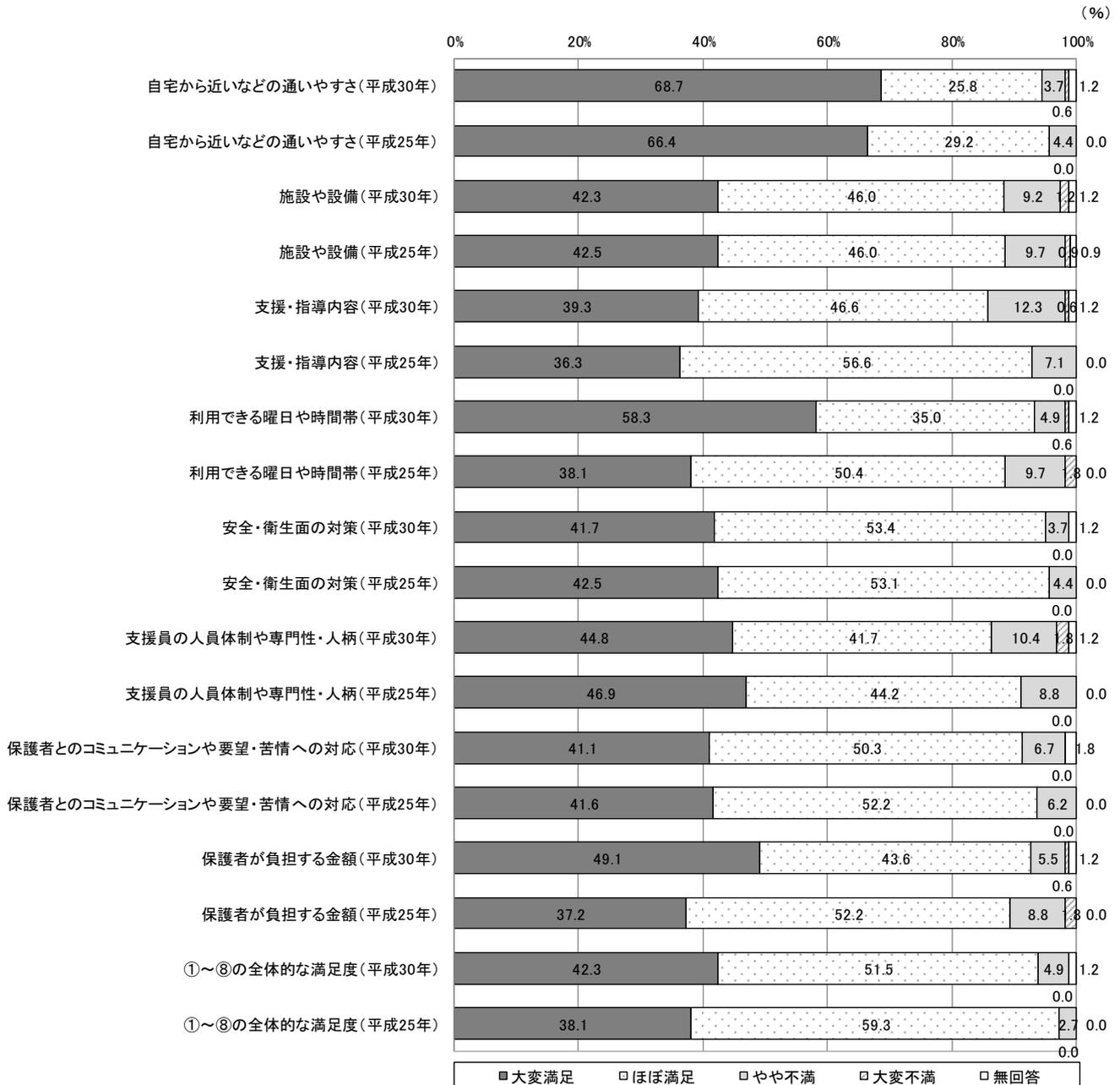
問 14-2 児童育成クラブを利用している理由（単回答）

・「現在就労している」が95.1%とほとんどを占めています。



問 14-3 児童育成クラブへの評価（単回答）

- ・「大変満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』の割合をみると、「安全・衛生面の対策」「自宅から近いなどの通いやすさ」「①～⑧の全体的な満足度」の順に高くなっています。
- ・平成 25 年調査と比較すると、「支援・指導内容」で 7.0 ポイント、「支援員の人員体制や専門性・人柄」で 4.6 ポイント、「①～⑧の全体的な満足度」で 3.6 ポイント減少しています。

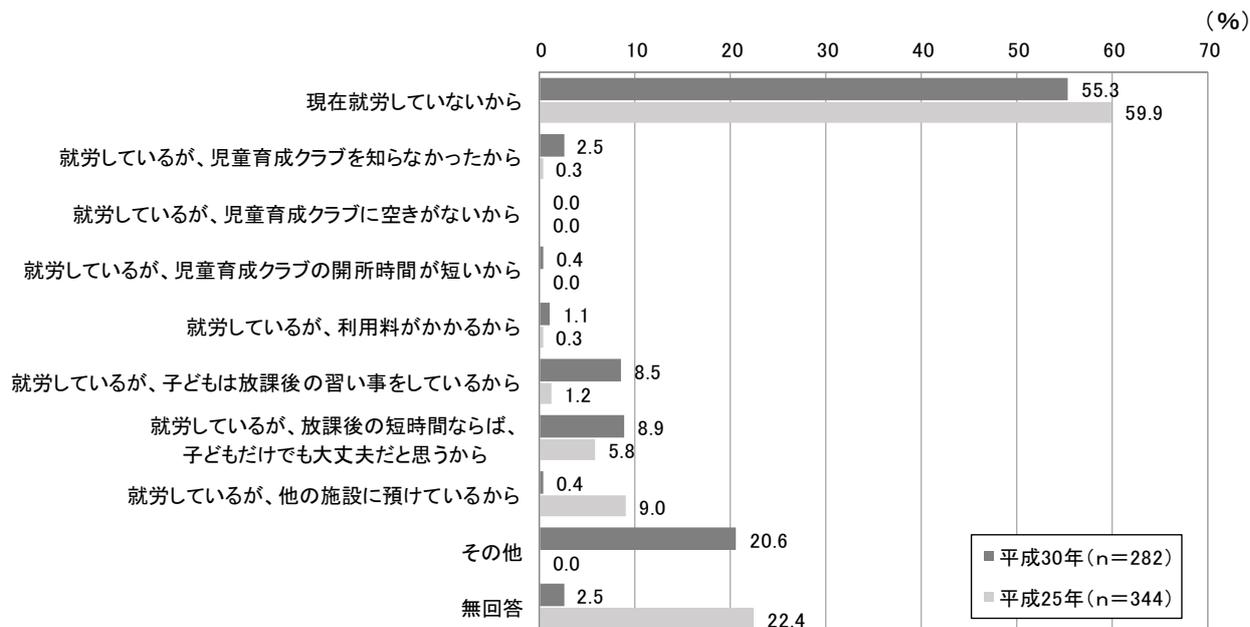


平成30年(n=163)
平成25年(n=113)

問 14-4 児童育成クラブを利用していない理由（単回答）

【問 14 で「2. 利用していない」と回答した方限定】

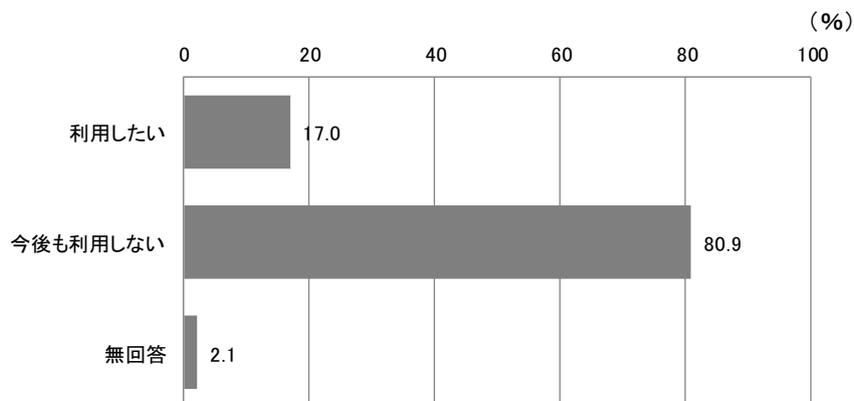
- 「現在就労していないから」が 55.3%と最も高くなっています。また、「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」8.9%、「就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから」が 8.5%となっています。
- 平成 25 年調査と比較すると、「就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから」で 7.3 ポイント、「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」で 3.1 ポイント増加しています。



問 14-5 児童育成クラブの利用意向・日数（単回答、数量回答）

【問 14 で「2. 利用していない」と回答した方限定】

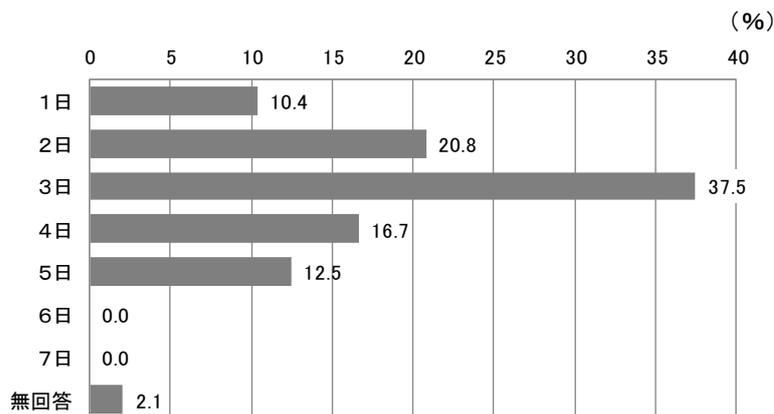
- 「利用したい」が 17.0%、「今後も利用しない」が 80.9%となっています。
- 「利用したい」は、子どもの学年別では“1年生”で、地域別では“中町”で高くなっています。



n=282

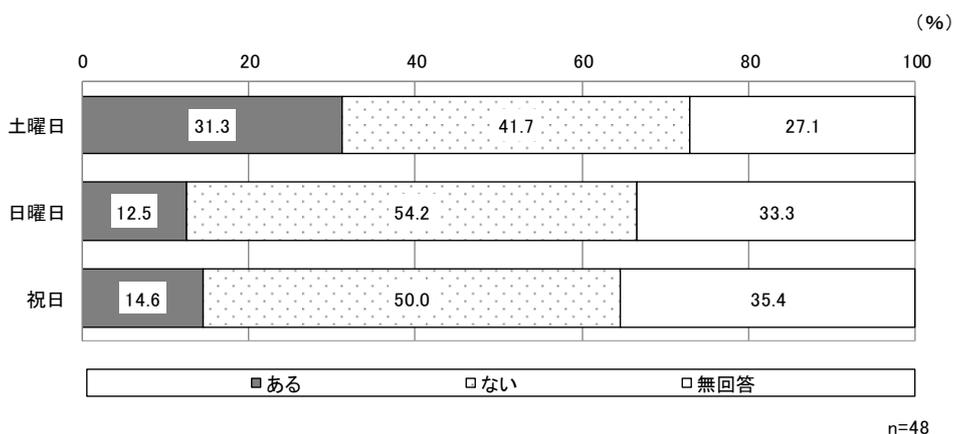
| | | 合計 | 問14-5 児童育成クラブの利用意向 | | |
|--------|-----|--------------|--------------------|-------------|----------|
| | | | 利用したい | 今後も利用しない | 無回答 |
| 全体 | | 282 100.0 | 48 17.0 | 228 80.9 | 6 2.1 |
| 子どもの学年 | 1年生 | 62 100.0 | 19 30.6 | 41 66.1 | 2 3.2 |
| | 2年生 | 61 100.0 | 12 19.7 | 48 78.7 | 1 1.6 |
| | 3年生 | 66 100.0 | 14 21.2 | 49 74.2 | 3 4.5 |
| | 4年生 | 90 100.0 | 3 3.3 | 87 96.7 | 0 0.0 |
| 居住地域 | 元町 | 96 100.0 | 9 9.4 | 85 88.5 | 2 2.1 |
| | 中町 | 96 100.0 | 23 24.0 | 72 75.0 | 1 1.0 |
| | 新町 | 88 100.0 | 16 18.2 | 69 78.4 | 3 3.4 |

- 利用希望日数としては、「3日」が 37.5%と最も高くなっています。



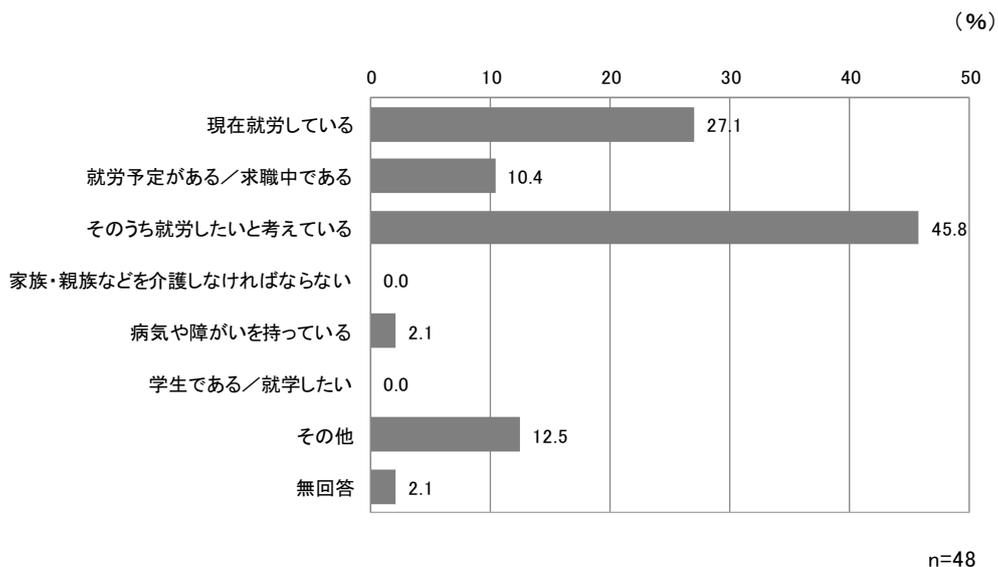
n=48

・土日祝日の利用希望としては、「土曜日」が31.3%と高くなっています。



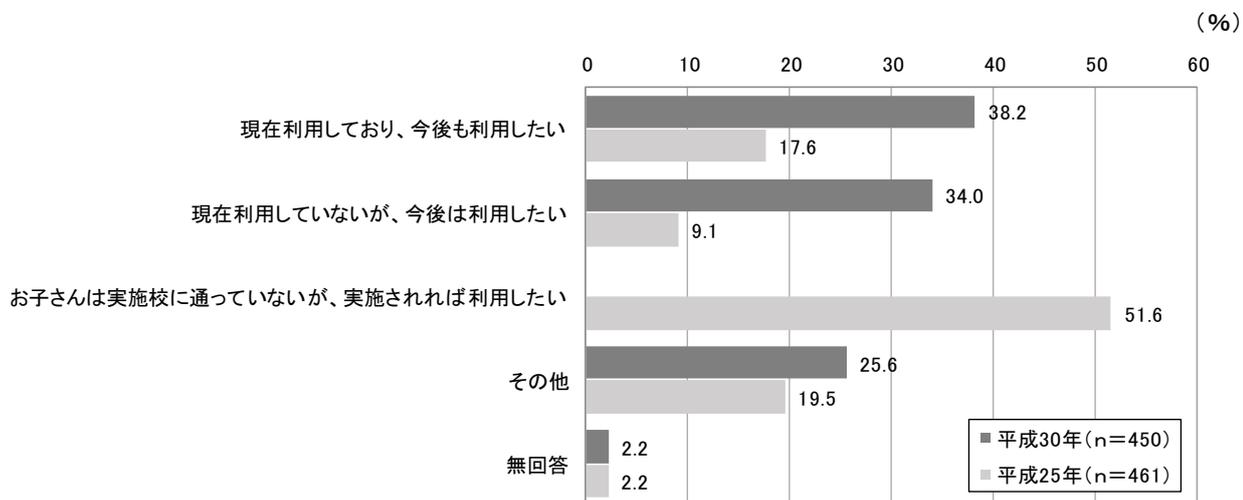
問 14-6 今後児童育成クラブを利用したい理由（単回答）
【問 14-5で「1. 利用したい」と回答した方限定】

・「そのうち就労したいと考えている」が45.8%で最も高く、次いで「現在就労している」が27.1%となっています。



問 15 浦安市の放課後異年齢児交流促進事業の利用意向（単回答）

- ・「現在利用しており、今後も利用したい」が 38.2%、「現在利用していないが、今後は利用したい」が 34.0%となっています。
- ・地域別にみると“新町”で「現在利用していないが、今後は利用したい」が高くなっています。

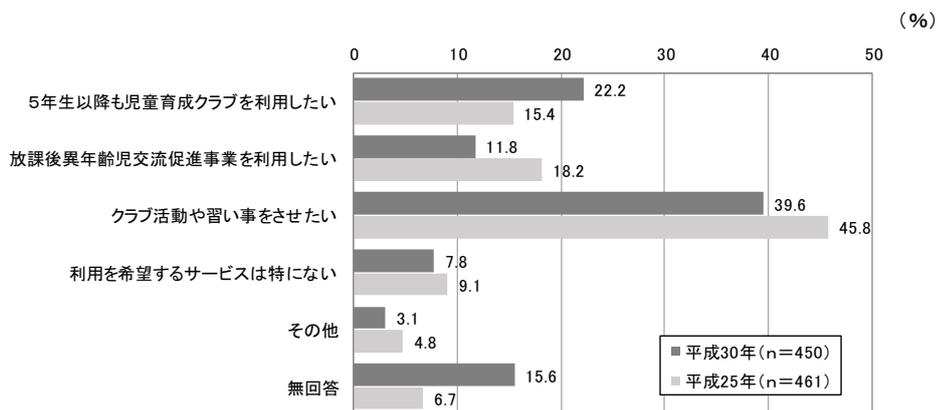


※平成 30 年調査では「お子さんは実施校に通っていないが、実施されれば利用したい」の選択肢無し

| | | 合計 | 問15 浦安市の放課後異年齢児交流促進事業の利用意向 | | | |
|------------------|----|--------------|-----------------------------------|---|-------------|-----------|
| | | | 現在利用 しており、 今後も 利用し たい | 現在利用 してい ないが、 今 後は 利用 したい | その他 | 無回答 |
| 全体 | | 450 100.0 | 172 38.2 | 153 34.0 | 115 25.6 | 10 2.2 |
| 居 住 地 域 | 元町 | 139 100.0 | 44 31.7 | 49 35.3 | 42 30.2 | 4 2.9 |
| | 中町 | 167 100.0 | 72 43.1 | 50 29.9 | 40 24.0 | 5 3.0 |
| | 新町 | 139 100.0 | 55 39.6 | 51 36.7 | 32 23.0 | 1 0.7 |

問 16 小学5年生以降の放課後の過ごし方に望むこと（単回答、数量回答）

- 「クラブ活動や習い事をさせたい」が 39.6%と最も高く、次いで、「5年生以降も児童育成クラブを利用したい」が 22.2%となっています。
- 平成 25 年調査と比較すると、「5年生以降も児童育成クラブを利用したい」が 6.8 ポイント増加しています。
- 「5年生以降も児童育成クラブを利用したい」の割合は、子どもの学年別でみると、「2年生」では 25.9%であるのに対し、「4年生」では 16.1%となっています。



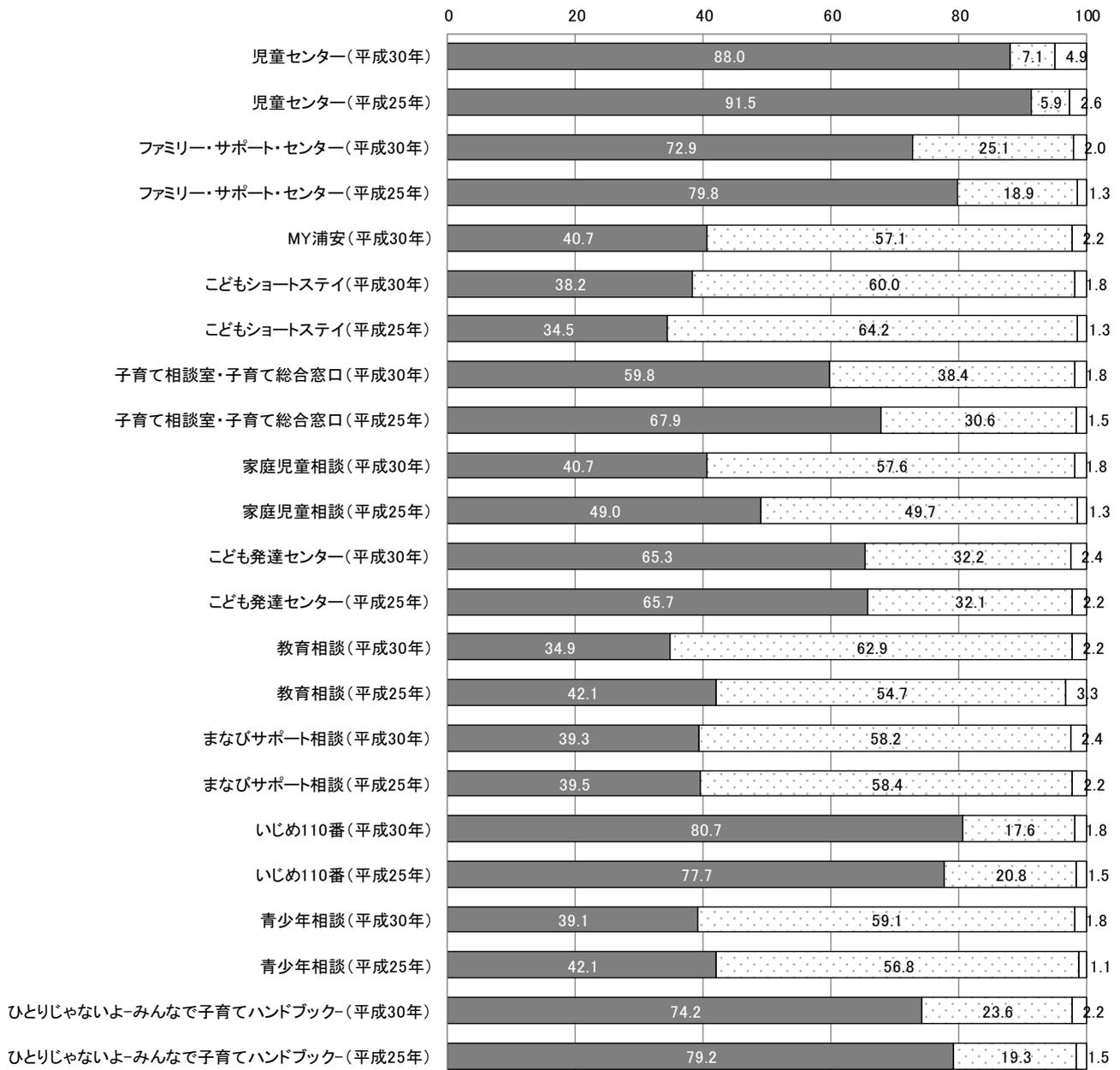
| | | 合計 | 問16 小学5年生以降の放課後の過ごし方に望むこと | | | | | |
|--------|-------|-------|---------------------------|---------------------|----------------|-----------------|------|------|
| | | | 5年生以降も児童育成クラブを利用したい | 放課後異年齢児交流促進事業を利用したい | クラブ活動や習い事をさせたい | 利用を希望するサービスは特にな | その他 | 無回答 |
| 全体 | | 450 | 100 | 53 | 178 | 35 | 14 | 70 |
| | | 100.0 | 22.2 | 11.8 | 39.6 | 7.8 | 3.1 | 15.6 |
| 子どもの学年 | 1年生 | 107 | 23 | 17 | 36 | 5 | 6 | 20 |
| | | 100.0 | 21.5 | 15.9 | 33.6 | 4.7 | 5.6 | 18.7 |
| | 2年生 | 108 | 28 | 6 | 47 | 6 | 1 | 20 |
| | | 100.0 | 25.9 | 5.6 | 43.5 | 5.6 | 0.9 | 18.5 |
| | 3年生 | 118 | 29 | 16 | 49 | 3 | 5 | 16 |
| | 100.0 | 24.6 | 13.6 | 41.5 | 2.5 | 4.2 | 13.6 | |
| 4年生 | 112 | 18 | 14 | 45 | 19 | 2 | 14 | |
| | 100.0 | 16.1 | 12.5 | 40.2 | 17.0 | 1.8 | 12.5 | |

4. 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 17 (A) 地域子育て支援事業の認知度 (単回答)

- 認知度が高い事業は、「児童センター」が 88.0%で最も高く、次いで「いじめ 110 番」が 80.7%、「ひとりじゃないよ-みんなで子育てハンドブック-」が 74.2%となっています。
- 認知度が低い事業は、「教育相談」が 34.9%で最も低く、次いで「こどもショートステイ」が 38.2%となっています。
- 平成 25 年調査と比較すると、「家庭児童相談」で 8.3 ポイント、「子育て相談室・子育て総合窓口」で 8.1 ポイント、「教育相談」で 7.2 ポイント減少しています。

(%)



■ はい □ いいえ □ 無回答

平成30年 (n=450)

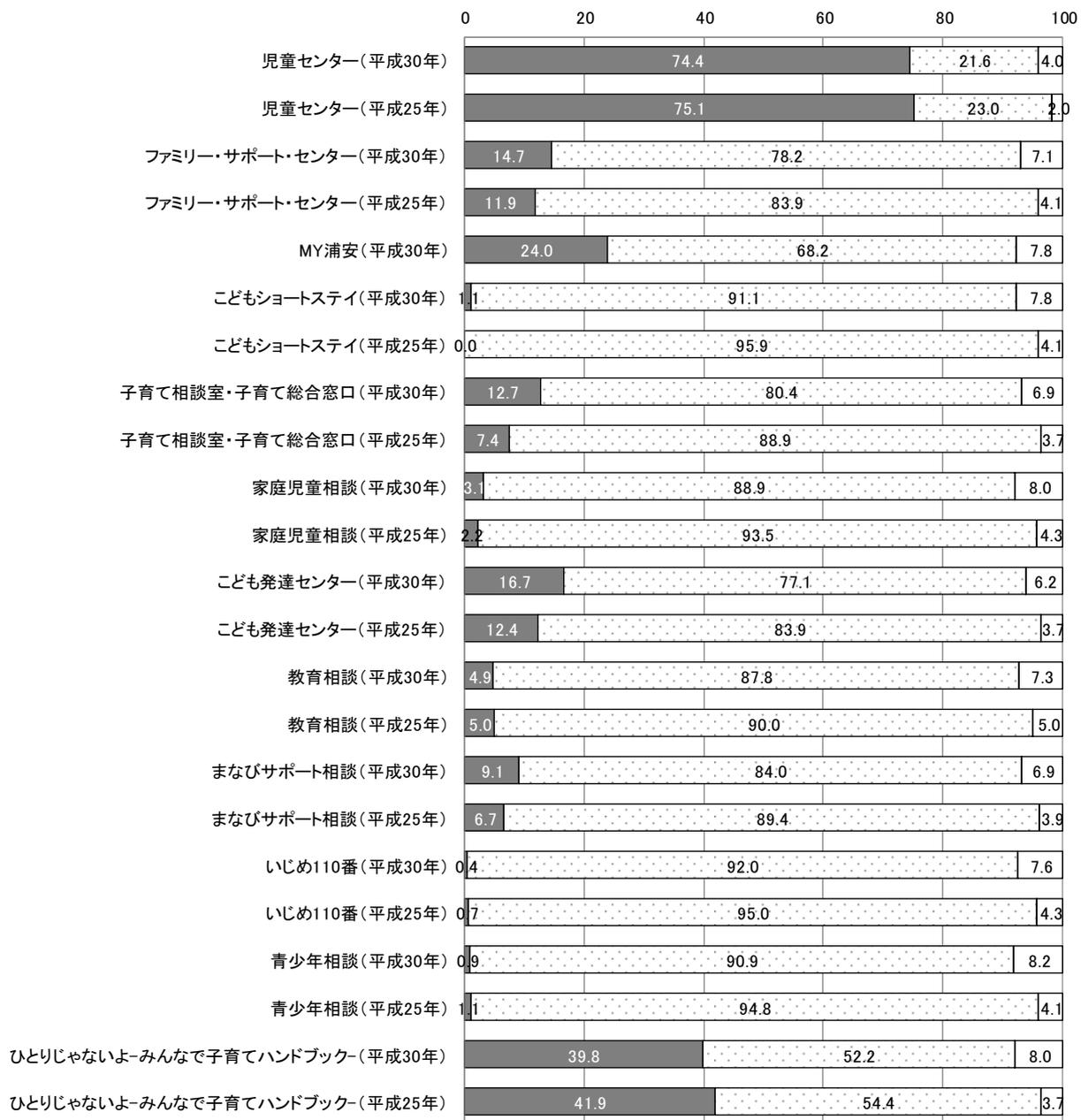
平成25年 (n=461)

※平成 25 年調査では「MY 浦安」の選択肢無し

問 17 (B) 地域子育て支援事業の利用経験 (単回答)

- 利用経験が高い事業は、「児童センター」が 74.4%で最も高く、次いで「ひとりじゃないよ-みんなで子育てハンドブック-」が 39.8%となっています。
- 利用経験が低い事業は、「いじめ 110 番」が 0.4%で最も低く、次いで「青少年相談」が 0.9%となっています。
- 認知度と比較すると、「いじめ 110 番」は 80.3 ポイント、「ファミリー・サポート・センター」は 58.2 ポイント利用経験が少なくなっています。
- 平成 25 年調査と比較すると、「ひとりじゃないよ-みんなで子育てハンドブック-」で 2.1 ポイント、「児童センター」で 0.7 ポイント、「いじめ 110 番」で 0.3 ポイント減少しています。

(%)



■はい □いいえ □無回答

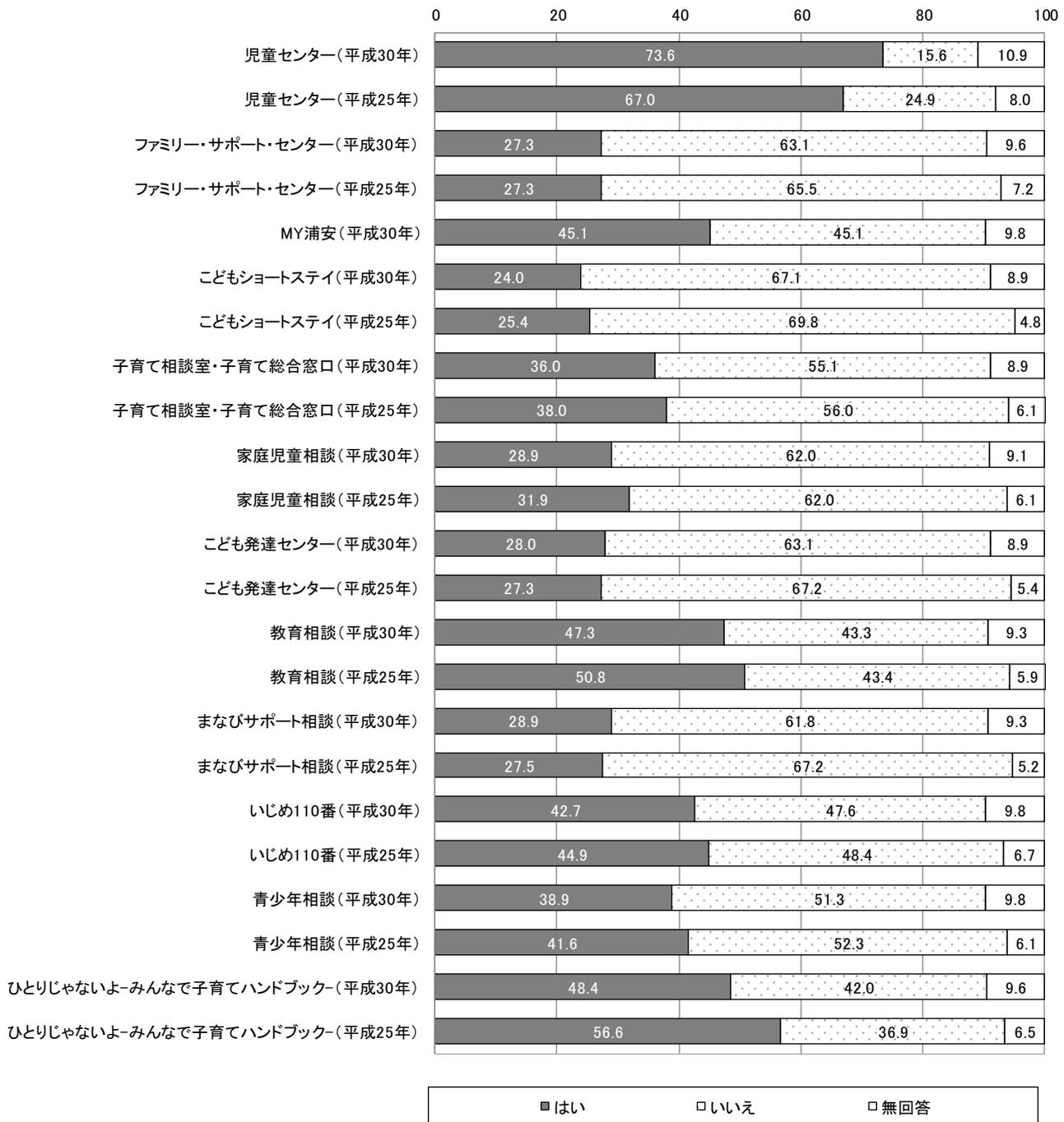
平成30年 (n=450)

平成25年 (n=461)

※平成 25 年調査では「MY 浦安」の選択肢無し

問 17 (C) 地域子育て支援事業の今後の利用意向 (単回答)

- ・利用意向が高い事業は、「児童センター」が 73.6%で最も高く、次いで「ひとりじゃないよ-みんなで子育てハンドブック-」が 48.4%となっています。
- ・利用意向が低い事業は、「こどもショートステイ」が 24.0%で最も低く、次いで「ファミリー・サポート・センター」が 27.3%となっています。
- ・利用経験と比較すると、「教育相談」は 42.4 ポイント、「いじめ 110 番」は 42.2 ポイント利用意向が高くなっています。
- ・平成 25 年調査と比較すると、「ひとりじゃないよ-みんなで子育てハンドブック-」で 8.2 ポイント、「教育相談」で 3.5 ポイント、「家庭児童相談」で 3.0 ポイント減少しています。(%)



平成30年 (n=450)

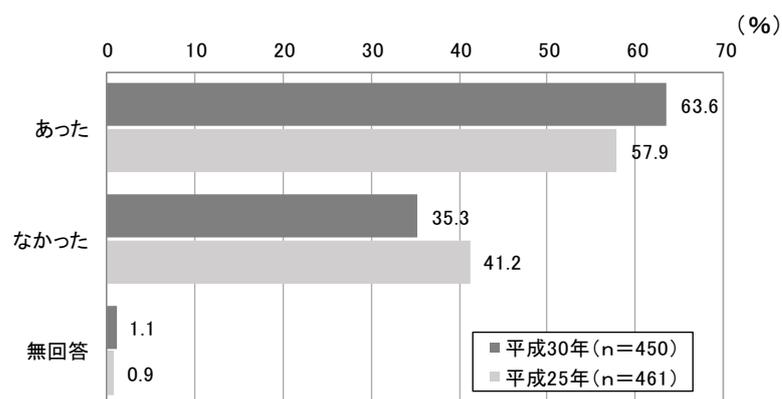
平成25年 (n=461)

※平成 25 年調査では「MY 浦安」の選択肢無し

5. 病気やケガの際の対応について

問 18 この1年間の病気やケガの経験の有無（単回答）

- 「あった」が63.6%、「なかった」が35.3%となっています。
- 子どもの学年別にみると、「あった」は“2年生”の68.5%が最も高くなっています。
- 平成25年調査と比較すると、「あった」は5.7ポイント増加、「なかった」は5.9ポイント減少しています。



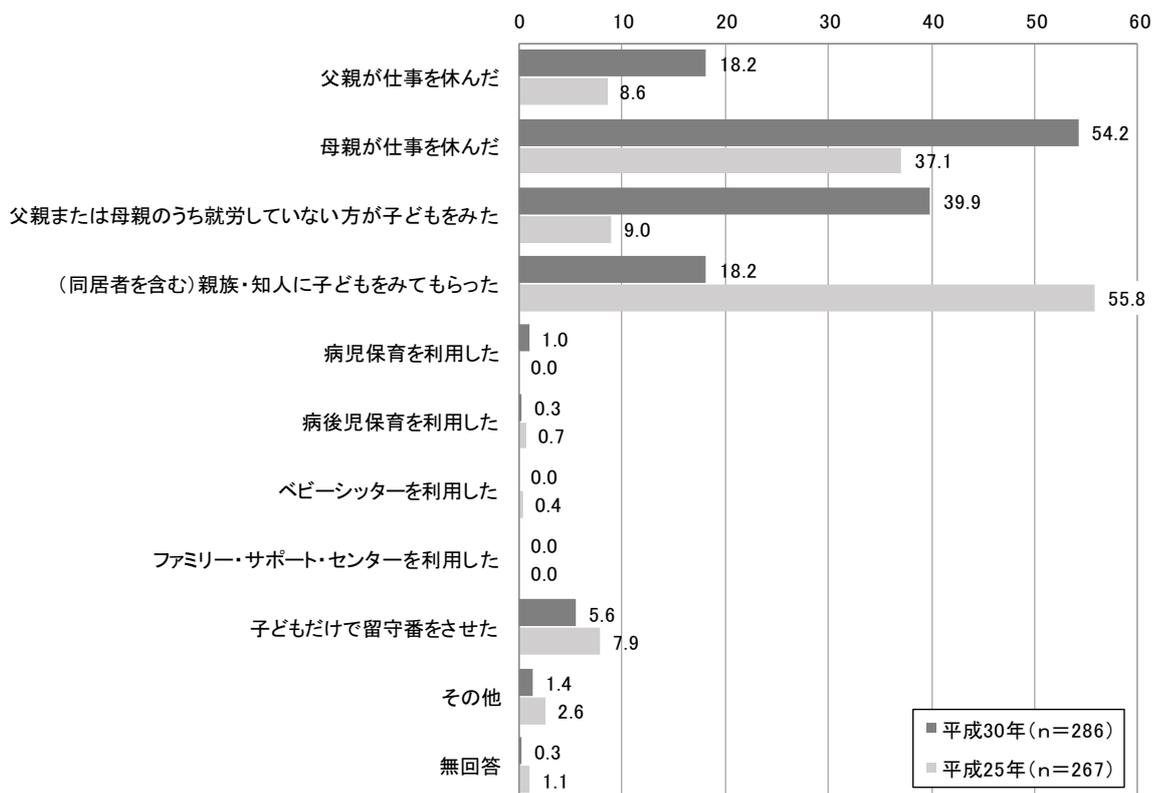
| | | 合計 | 問18 この1年間の病気やケガの経験の有無 | | |
|----------------------------|-----|--------------|-----------------------|-------------|----------|
| | | | あった | なかった | 無回答 |
| 全体 | | 450 100.0 | 286 63.6 | 159 35.3 | 5 1.1 |
| 子 ど も の 学 年 | 1年生 | 107 100.0 | 60 56.1 | 47 43.9 | 0 0.0 |
| | 2年生 | 108 100.0 | 74 68.5 | 33 30.6 | 1 0.9 |
| | 3年生 | 118 100.0 | 79 66.9 | 39 33.1 | 0 0.0 |
| | 4年生 | 112 100.0 | 69 61.6 | 39 34.8 | 4 3.6 |

問 19 病気やケガの場合の対処方法と日数（複数回答、数量回答）

【問 18 で「1. あった」と回答した方限定】

- 「母親が仕事を休んだ」が 54.2% で最も高く、次いで「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が 39.9% となっています。
- 平成 25 年調査と比較すると、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が 30.9 ポイントと最も増加しています。

(%)



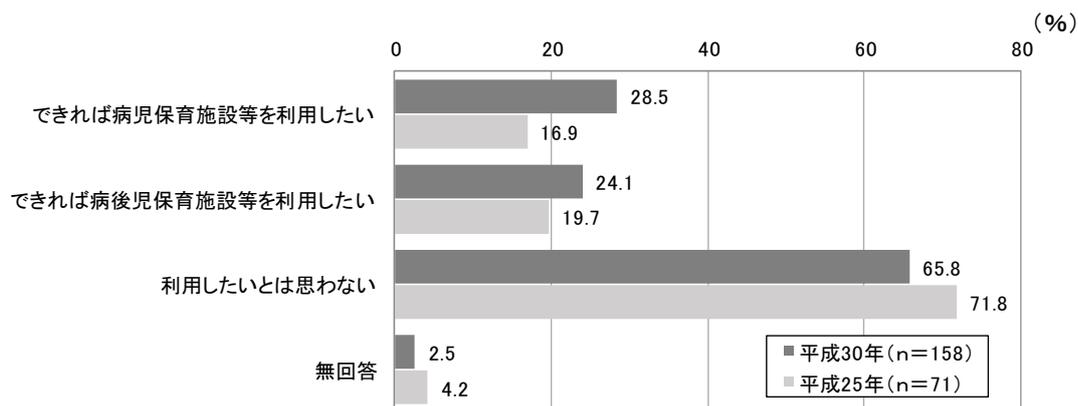
利用日数

| カテゴリー名 | 年間の平均日数 |
|---------------------------|---------|
| 父親が仕事を休んだ | 2.1 |
| 母親が仕事を休んだ | 3.4 |
| 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた | 3.8 |
| 親族・知人に子どもをみてもらった | 2.8 |
| 病児保育を利用した | 2.0 |
| 病後児保育を利用した | 1.0 |
| ベビーシッターを利用した | - |
| ファミリー・サポート・センターを利用した | - |
| 子どもだけで留守番をさせた | 1.4 |
| その他 | 4.0 |

問 19-1 病児・病後児保育の利用希望（複数回答、数量回答）

【問 19 で「1.」「2.」と回答した方限定】

- 「できれば病児保育施設等を利用したい」が 28.5%、「できれば病後児保育施設等を利用したい」が 24.1%、「利用したいとは思わない」が 65.8%となっています。
- 平成 25 年調査と比較すると、「利用したいとは思わない」は 6.0 ポイント減少していますが、「利用したい」はともに増加しています。
- 子どもの学年別にみると、“3年生”で「利用したいとは思わない」の割合も高くなっています。



| | | 合計 | 問19-1 病児・病後児保育の利用希望 | | | |
|--------|-----|--------------|---------------------|--------------------|-------------|----------|
| | | | できれば病児保育施設等を利用したい | できれば病後児保育施設等を利用したい | 利用したいとは思わない | 無回答 |
| 全体 | | 158 100.0 | 45 28.5 | 38 24.1 | 104 65.8 | 4 2.5 |
| 子どもの学年 | 1年生 | 30 100.0 | 8 26.7 | 6 20.0 | 20 66.7 | 1 3.3 |
| | 2年生 | 40 100.0 | 12 30.0 | 9 22.5 | 25 62.5 | 2 5.0 |
| | 3年生 | 51 100.0 | 14 27.5 | 12 23.5 | 35 68.6 | 0 0.0 |
| | 4年生 | 34 100.0 | 11 32.4 | 11 32.4 | 21 61.8 | 1 2.9 |

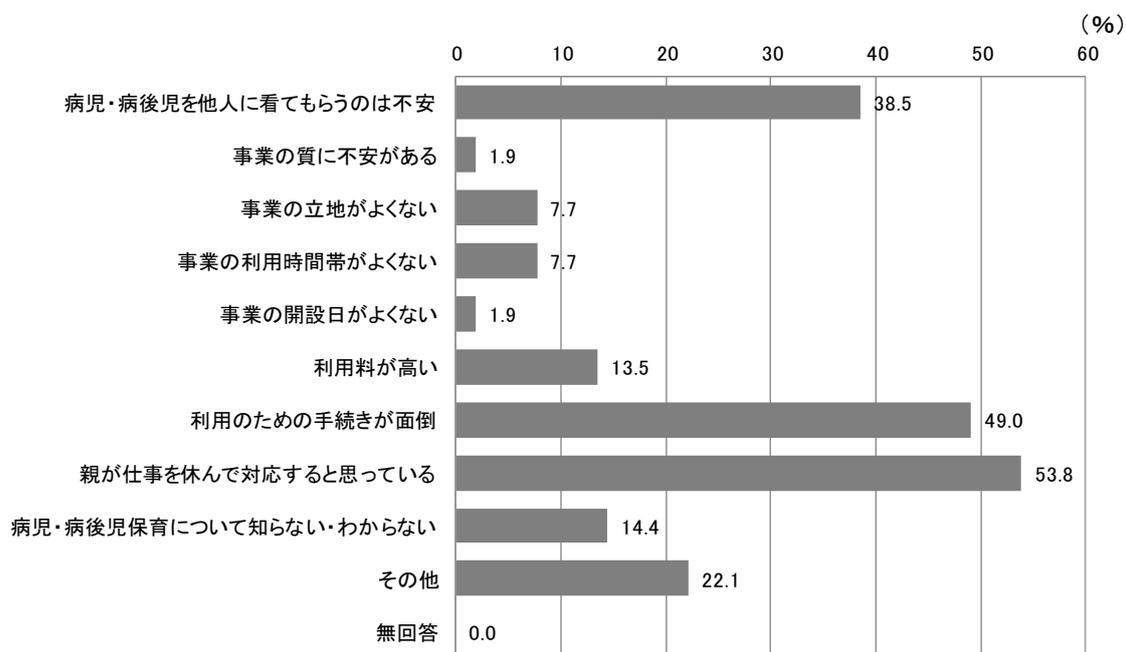
利用日数

| カテゴリ一名 | 年間の平均日数 |
|--------------------|---------|
| できれば病児保育施設等を利用したい | 3.4 |
| できれば病後児保育施設等を利用したい | 3.1 |

問 19-2 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由（複数回答）

【問 19-1 で「3. 利用したいとは思わない」と回答した方限定】

- ・「親が仕事を休んで対応している」と思っているが53.8%で最も高く、次いで「利用のための手続きが面倒」が49.0%、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が38.5%となっています。

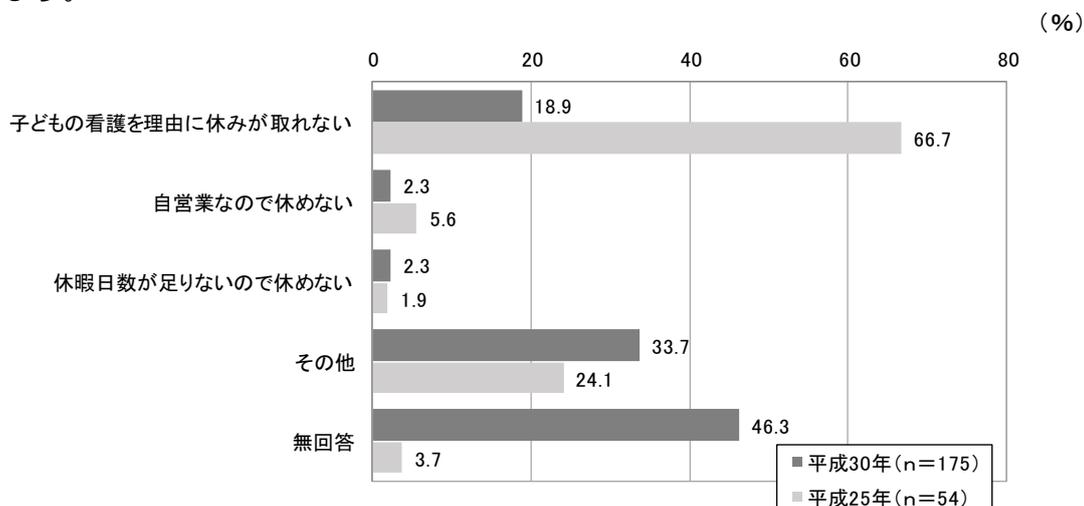


n=104

問 19-3 問 19 の「3.」～「10.」の対応をした理由（複数回答）

【問 19 で「3.」～「10.」と回答した方限定】

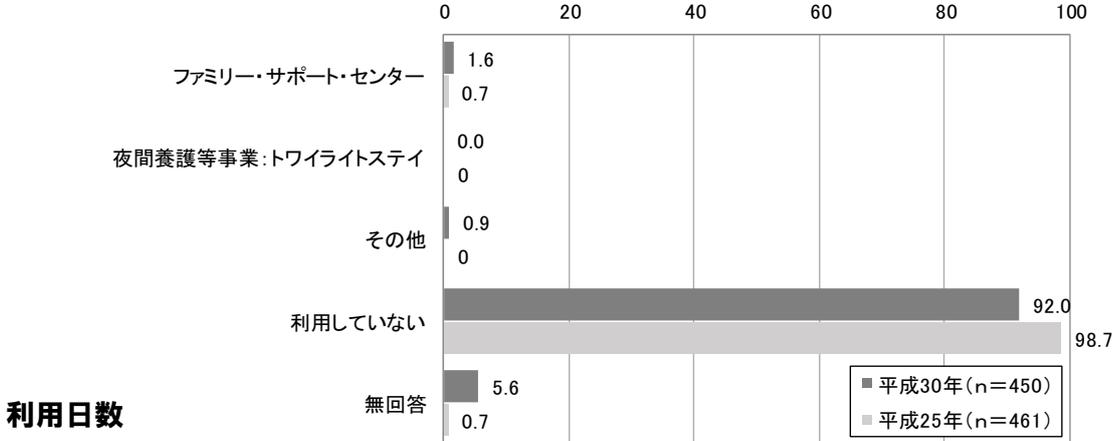
- ・「その他」が33.7%で最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みが取れない」が18.9%となっています。「その他」の内容としては、「就労していない方の親や祖父祖母に看もらった」という回答が多くを占めています。
- ・平成 25 年調査と比較すると、「子どもの看護を理由に休みが取れない」は、47.8 ポイント減少しています。



6. 不定期の子育て支援事業の利用について

問 20 不定期に利用した事業・日数（複数回答、数量回答）

・「利用していない」が92.0%でほとんどを占めています。 (%)



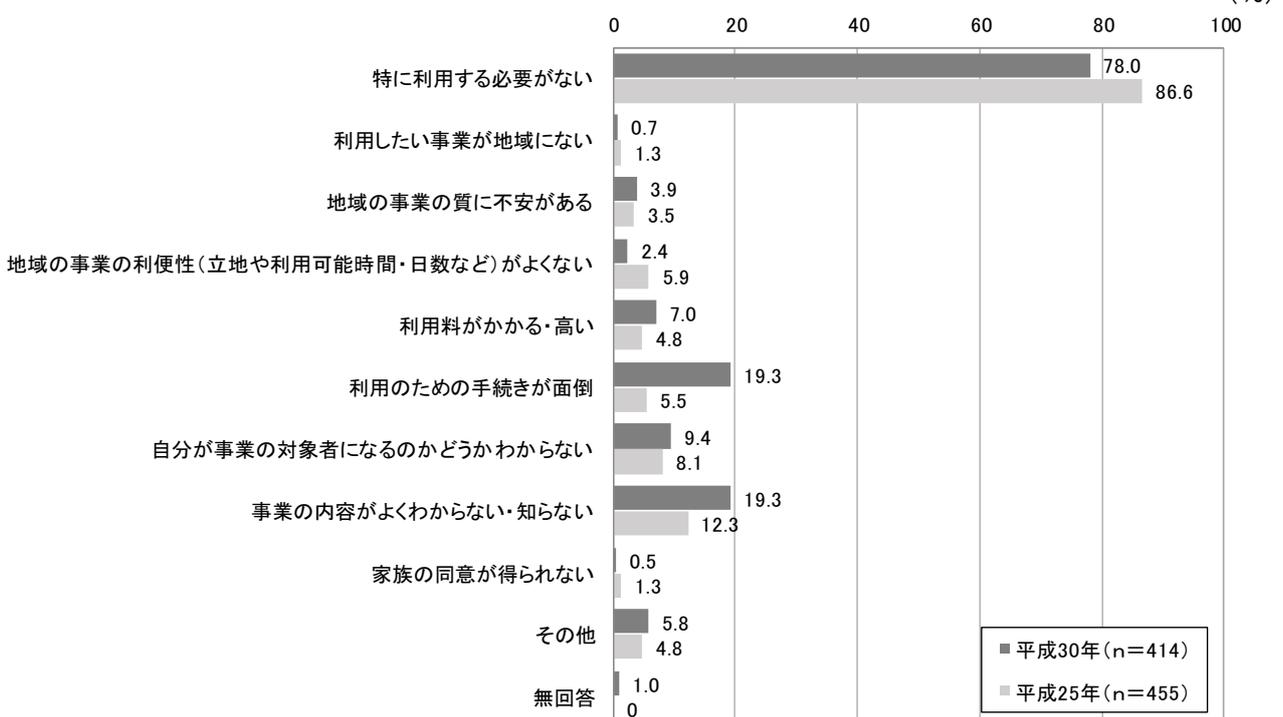
利用日数

| カテゴリー名 | 年間の平均日数 |
|---------------|---------|
| ファミリーサポートセンター | 16.1 |
| トワイライトステイ | - |
| その他 | 13.3 |

問 20-1 不定期で事業を利用していない理由（複数回答）

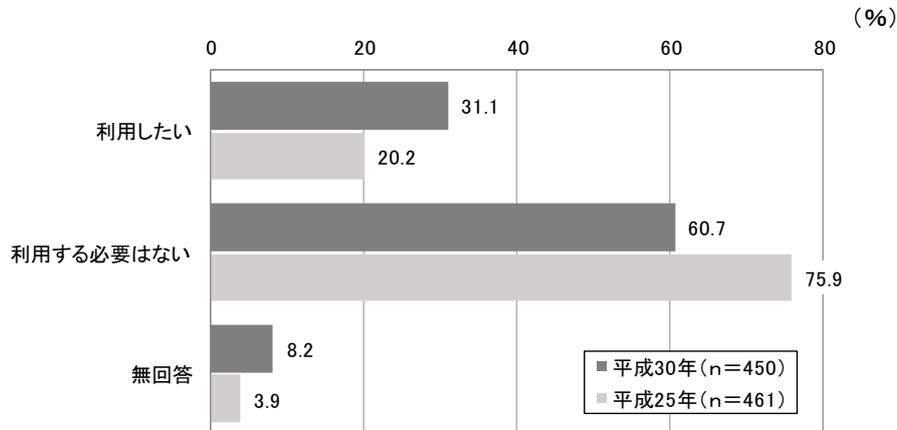
【問 20 で「4. 利用していない」と回答した方限定】

- ・「特に利用する必要がない」が78.0%で最も高く、次いで「利用のための手続きが面倒」と「事業の内容がよくわからない・知らない」が19.3%となっています。
- ・平成25年調査と比較すると、「利用のための手続きが面倒」が13.8ポイント、「事業の内容がよくわからない・知らない」が7.0ポイント増加しています。



問 21① 一時的な預かり事業の利用希望（単回答）

- ・「利用したい」が31.1%、「利用する必要はない」が60.7%となっています。
- ・子どもの学年別では“2年生”で「利用したい」が高くなっています。

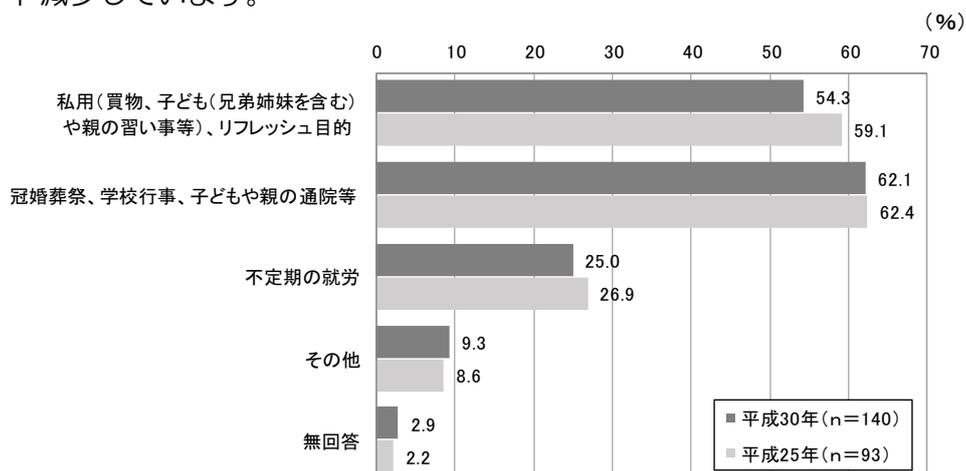


| | 合計 | 問21 ①一時的な預かり事業の利用希望 | | | |
|--------|-------|---------------------|-----------|------|------|
| | | 利用したい | 利用する必要はない | 無回答 | |
| 全体 | 450 | 140 | 273 | 37 | |
| | 100.0 | 31.1 | 60.7 | 8.2 | |
| 子どもの学年 | 1年生 | 107 | 34 | 61 | 12 |
| | | 100.0 | 31.8 | 57.0 | 11.2 |
| | 2年生 | 108 | 39 | 59 | 10 |
| | | 100.0 | 36.1 | 54.6 | 9.3 |
| | 3年生 | 118 | 39 | 69 | 10 |
| | 100.0 | 33.1 | 58.5 | 8.5 | |
| 4年生 | 112 | 27 | 81 | 4 | |
| | 100.0 | 24.1 | 72.3 | 3.6 | |

問 21② 一時的な預かり事業の利用目的・日数（複数回答、数量回答）

【問 21①で「1. 利用したい」と回答した方限定】

- ・「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が62.1%で最も高く、次いで「私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」が54.3%、「不定期の就労」が25.0%となっています。
- ・平成25年調査と比較すると、「私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」が4.8ポイント減少しています。

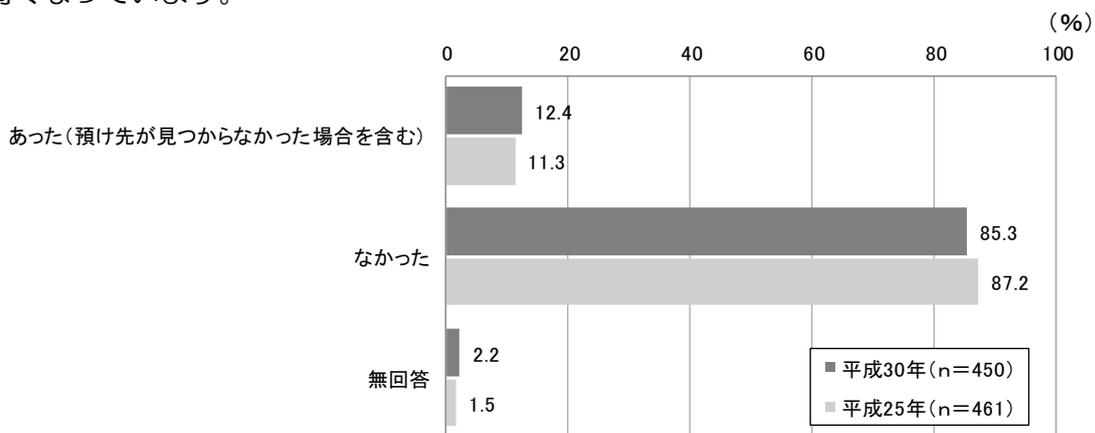


利用日数

| カテゴリー名 | 年間の平均日数 |
|--------------------|---------|
| 私用、リフレッシュ目的 | 11.2 |
| 冠婚葬祭、学校行事、子供や親の通院等 | 6.4 |
| 不定期の就労 | 32.8 |
| その他 | 28.9 |

問 22① この1年間の宿泊を伴う一時預かり等の必要性の有無（単回答）

- ・「あった（預け先が見つからなかった場合を含む）」が12.4%、「なかった」が85.3%となっています。
- ・子どもの学年別にみると、「あった（預け先が見つからなかった場合を含む）」は“4年生”が最も高くなっています。

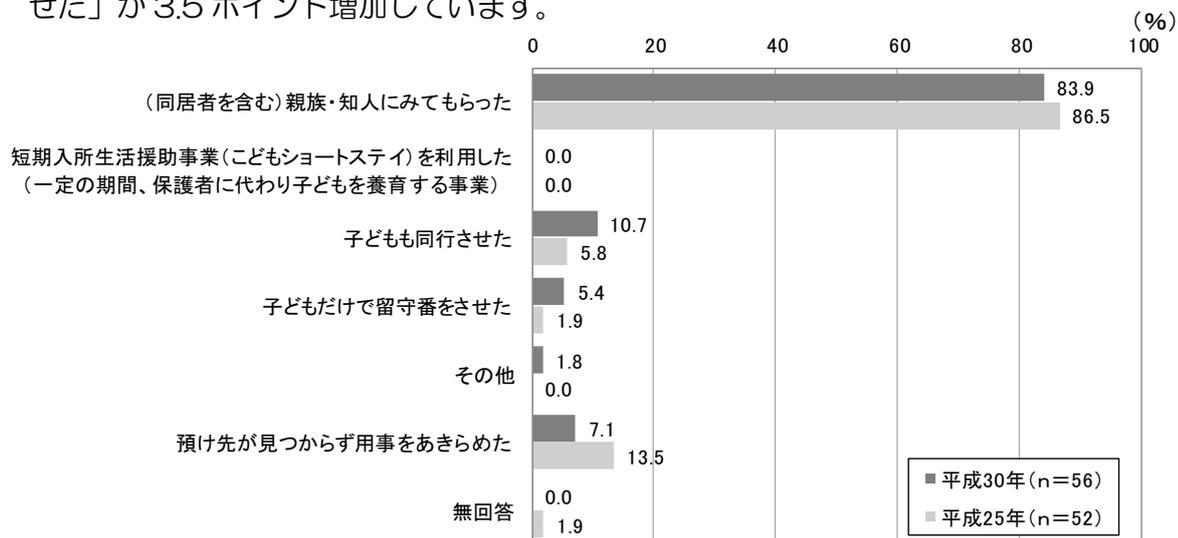


| | | 合計 | 問22 ①この1年間の宿泊を伴う一時預かり等の必要性の有無 | | |
|--------|-----|--------------|-------------------------------|-------------|-----------|
| | | | あった (預け先が見つからなかった場合を含む) | なかった | 無回答 |
| 全体 | | 450 100.0 | 56 12.4 | 384 85.3 | 10 2.2 |
| 子どもの学年 | 1年生 | 107 100.0 | 11 10.3 | 93 86.9 | 3 2.8 |
| | 2年生 | 108 100.0 | 11 10.2 | 92 85.2 | 5 4.6 |
| | 3年生 | 118 100.0 | 17 14.4 | 100 84.7 | 1 0.8 |
| | 4年生 | 112 100.0 | 17 15.2 | 94 83.9 | 1 0.9 |

問 22② 宿泊を伴う一時預かりが必要となった場合の対処方法（複数回答、数量回答）

【問 22①で「1. あった」と回答した方限定】

- ・「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が 83.9%で最も高く、次いで「子どもも同行させた」が 10.7%、「預け先が見つからず用事をあきらめた」が 7.1%となっています。
- ・平成 25 年調査と比較すると、「子どもも同行させた」が 4.9 ポイント、「子どもだけで留守番させた」が 3.5 ポイント増加しています。



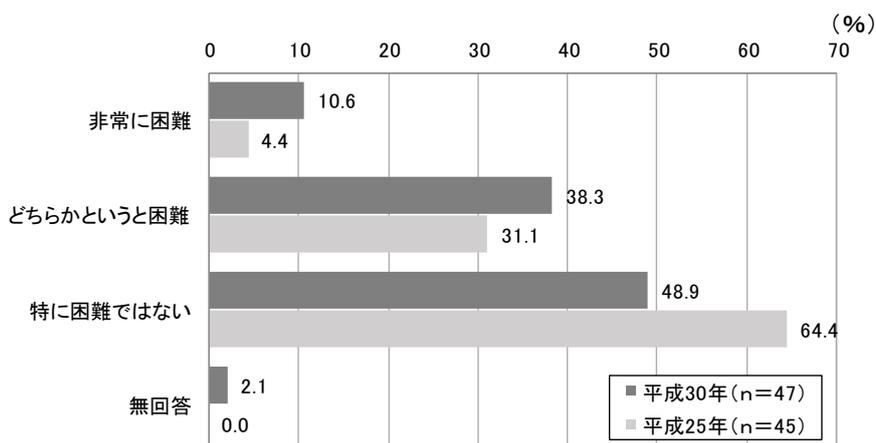
対応日数

| カテゴリ一名 | 年間の平均日数 |
|-------------------|---------|
| 親族・知人にみてもらった | 4.5 |
| 短期入所生活援助事業を利用した | - |
| 子どもも同行させた | 4.8 |
| 子どもだけで留守番をさせた | 5.0 |
| その他 | 0.0 |
| 預け先が見つからず用事をあきらめた | 2.3 |

問 22-1 親族・知人に預かってもらった際の困難度（単回答）

【問 22②で「1. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と回答した方限定】

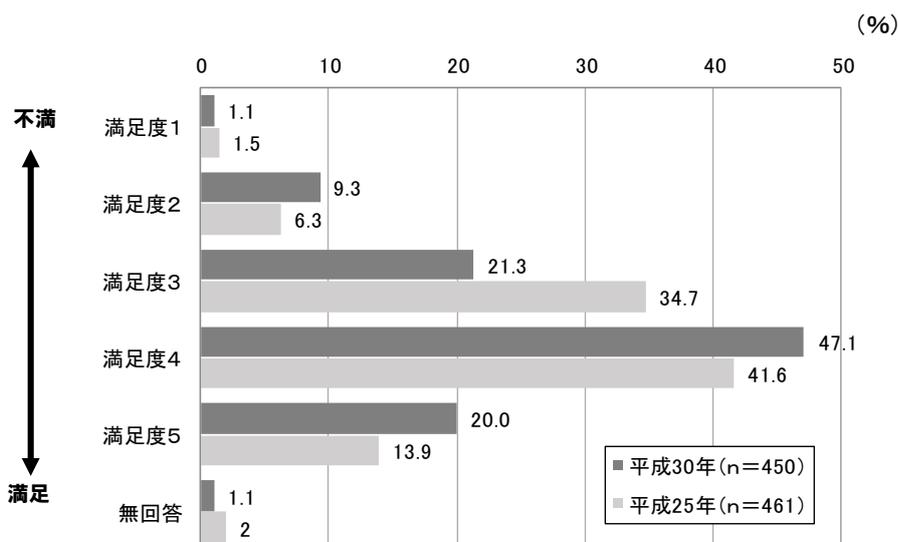
- ・「非常に困難」が 10.6%、「どちらかという困難」が 38.3%で合わせた『困難』は 48.9%となっています。
- ・平成 25 年調査と比較すると、『困難』が 13.4 ポイント増加しています。



7. 子育てに関する意識について

問 23 子育て支援の満足度（単回答）

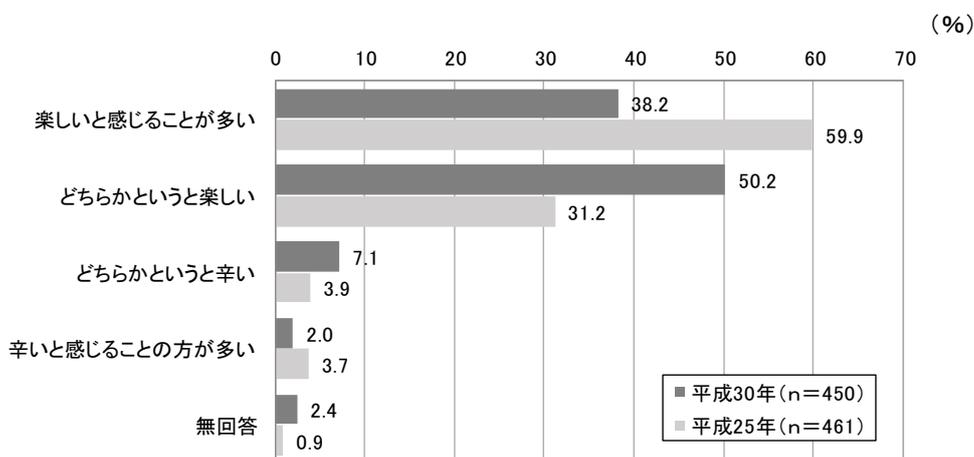
- 満足度を高い方から5段階で表すと、「満足度4」が47.1%で最も高く、次いで「満足度3」が21.3%となっており、全体の平均値が3.72となっています。
- 平成25年調査と比較すると、「満足度5」の割合が6.1ポイント増加し、平均値も3.54から0.18増加しています。
- 子どもの学年別では“3年生”、居住地域別では“中町”で最も高くなっています。



| | | 合計 | 問23 子育て支援の満足度 | | | | | 無回答 |
|--------|-------|-------|---------------|------|------|------|------|-----|
| | | | 満足度1 | 満足度2 | 満足度3 | 満足度4 | 満足度5 | |
| 全体 | | 450 | 5 | 42 | 96 | 212 | 90 | 5 |
| | | 100.0 | 1.1 | 9.3 | 21.3 | 47.1 | 20.0 | 1.1 |
| 子どもの学年 | 1年生 | 107 | 1 | 10 | 21 | 48 | 24 | 3 |
| | | 100.0 | 0.9 | 9.3 | 19.6 | 44.9 | 22.4 | 2.8 |
| | 2年生 | 108 | 1 | 12 | 26 | 48 | 21 | 0 |
| | | 100.0 | 0.9 | 11.1 | 24.1 | 44.4 | 19.4 | 0.0 |
| 3年生 | | 118 | 2 | 8 | 19 | 65 | 22 | 2 |
| | | 100.0 | 1.7 | 6.8 | 16.1 | 55.1 | 18.6 | 1.7 |
| 4年生 | | 112 | 1 | 11 | 29 | 50 | 21 | 0 |
| | | 100.0 | 0.9 | 9.8 | 25.9 | 44.6 | 18.8 | 0.0 |
| 居住地域 | 元町 | 139 | 1 | 14 | 32 | 69 | 22 | 1 |
| | | 100.0 | 0.7 | 10.1 | 23.0 | 49.6 | 15.8 | 0.7 |
| | 中町 | 167 | 2 | 8 | 33 | 84 | 36 | 4 |
| | 100.0 | 1.2 | 4.8 | 19.8 | 50.3 | 21.6 | 2.4 | |
| 新町 | | 139 | 2 | 19 | 31 | 58 | 29 | 0 |
| | | 100.0 | 1.4 | 13.7 | 22.3 | 41.7 | 20.9 | 0.0 |

問 24 子育ての感想（単回答）

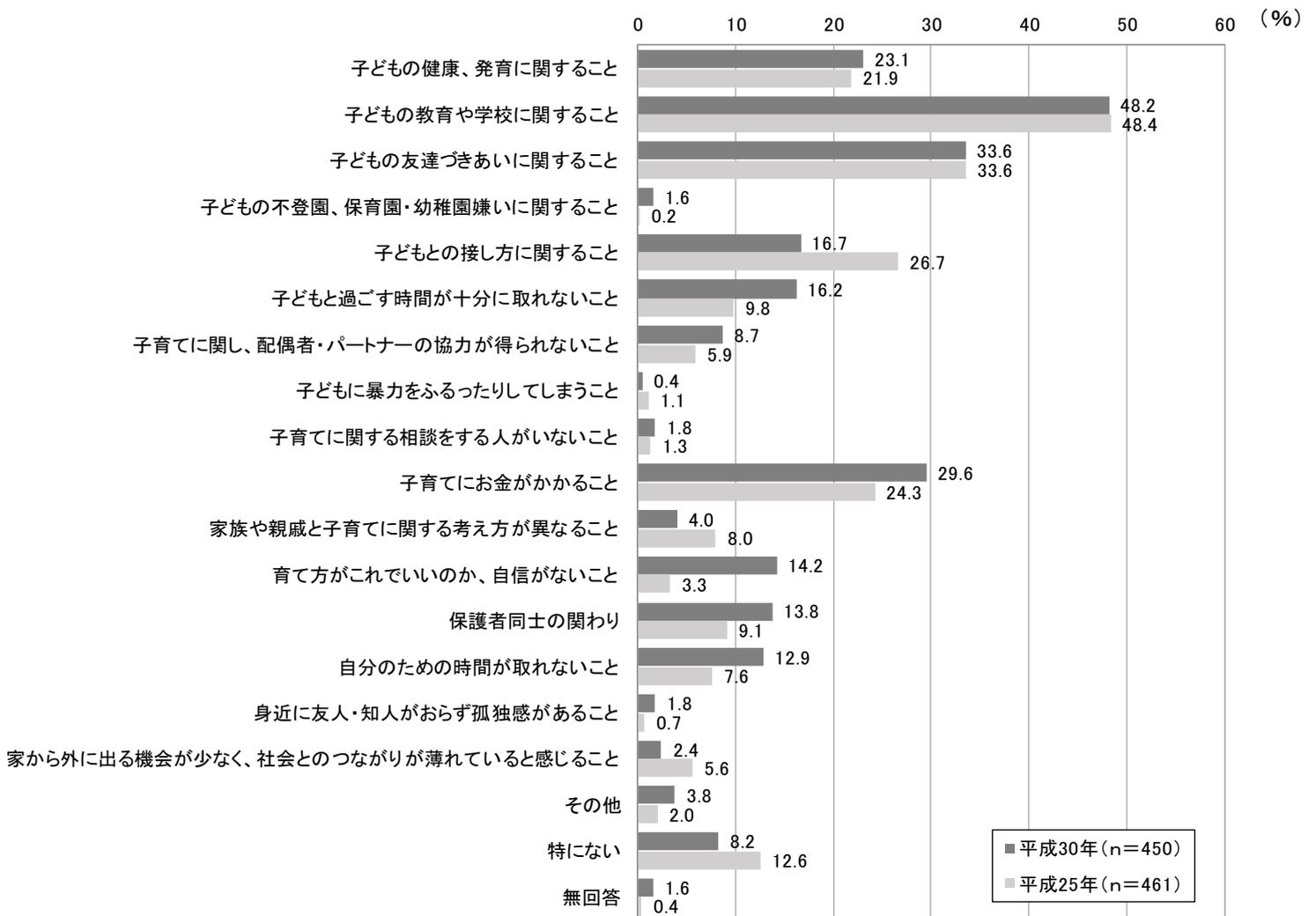
- 「楽しいと感じることが多い」が38.2%、「どちらかという楽しい」が50.2%で合わせた『楽しい』は88.4%となっています。
- 平成25年調査と比較すると、『楽しい』は2.7ポイント減少しています。
- 子どもの学年別にみると、『楽しい』は“2年生”、居住地別では“中町”で高くなっています。



| | 合計 | 問24 子育ての感想 | | | | | |
|--------|--------------|--------------|-------------|------------|-------------|-----------|----------|
| | | 楽しいと感じることが多い | どちらかという楽しい | どちらかという辛い | 辛いと感じることが多い | 無回答 | |
| 全体 | 450 100.0 | 172 38.2 | 226 50.2 | 32 7.1 | 9 2.0 | 11 2.4 | |
| 子どもの学年 | 1年生 | 107 100.0 | 41 38.3 | 55 51.4 | 4 3.7 | 2 1.9 | 5 4.7 |
| | 2年生 | 108 100.0 | 41 38.0 | 63 58.3 | 3 2.8 | 0 0.0 | 1 0.9 |
| | 3年生 | 118 100.0 | 44 37.3 | 59 50.0 | 11 9.3 | 1 0.8 | 3 2.5 |
| | 4年生 | 112 100.0 | 45 40.2 | 46 41.1 | 14 12.5 | 6 5.4 | 1 0.9 |
| 居住地 | 元町 | 139 100.0 | 46 33.1 | 71 51.1 | 13 9.4 | 4 2.9 | 5 3.6 |
| | 中町 | 167 100.0 | 78 46.7 | 77 46.1 | 7 4.2 | 3 1.8 | 2 1.2 |
| | 新町 | 139 100.0 | 46 33.1 | 75 54.0 | 12 8.6 | 2 1.4 | 4 2.9 |

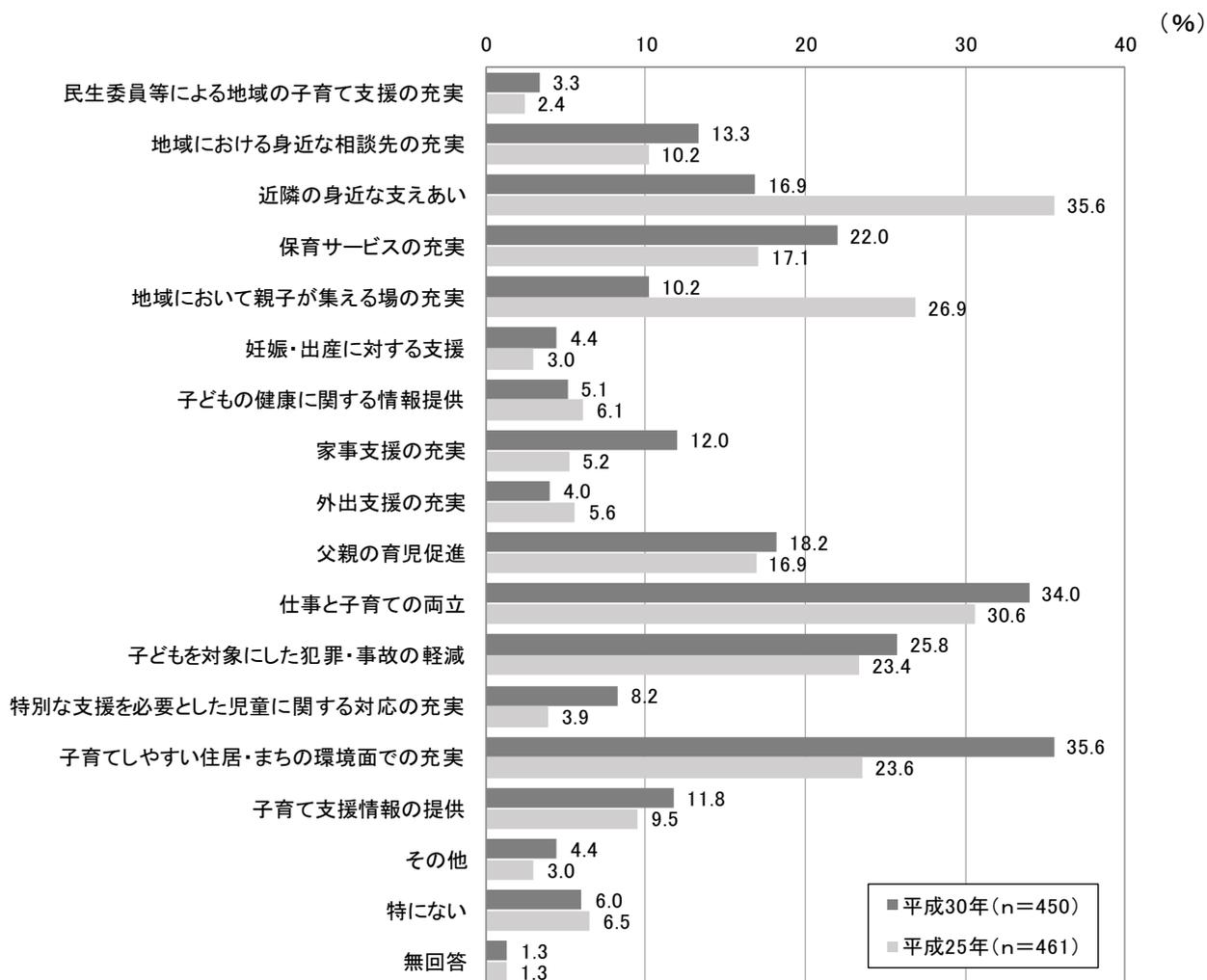
問 25 子育てに関する悩みや困っていること（複数回答）

- 「子どもの教育や学校に関すること」が 48.2%で最も高く、次いで、「子どもの友達づきあいに関すること」が 33.6%、「子育てにお金がかかること」が 29.6%の順となっています。
- 平成 25 年と比較すると、「育て方がこれでいいのか、自信がないこと」が最も多い 10.9 ポイントの増加、「子どもとの接し方に関すること」が 10.0 ポイントの減少となっています。



問 26 子育てに関する悩み等解消のために必要な支援・対策（複数回答）

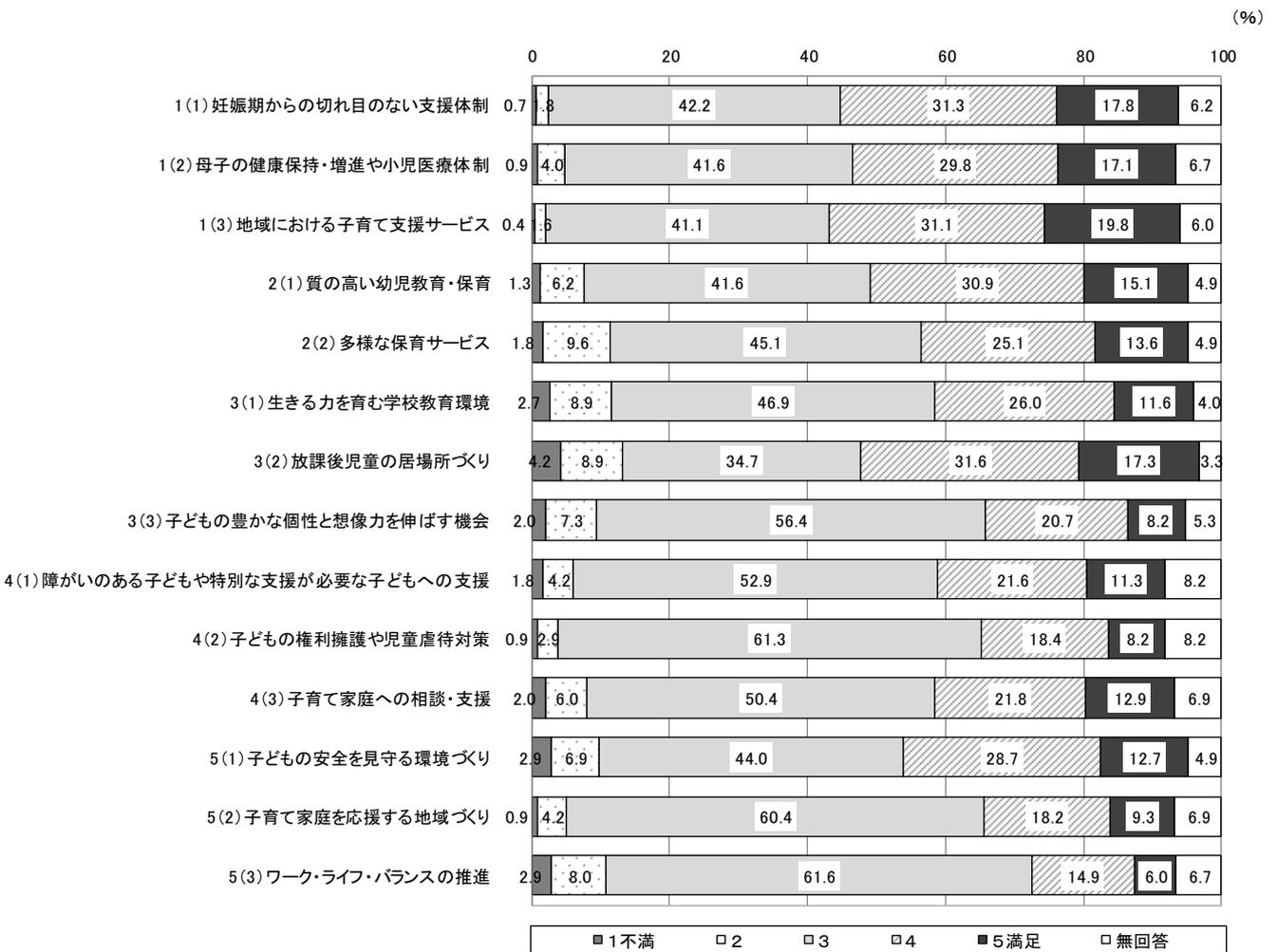
- 「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が35.6%で最も高く、次いで「仕事と子育ての両立」が34.0%、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が25.8%となっています。
- 平成25年と比較すると、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が最も多い12.0ポイントの増加、「近隣の身近な支えあい」が18.7ポイントの減少となっています。



問 27 子育て施策への評価（単回答）

【満足度】

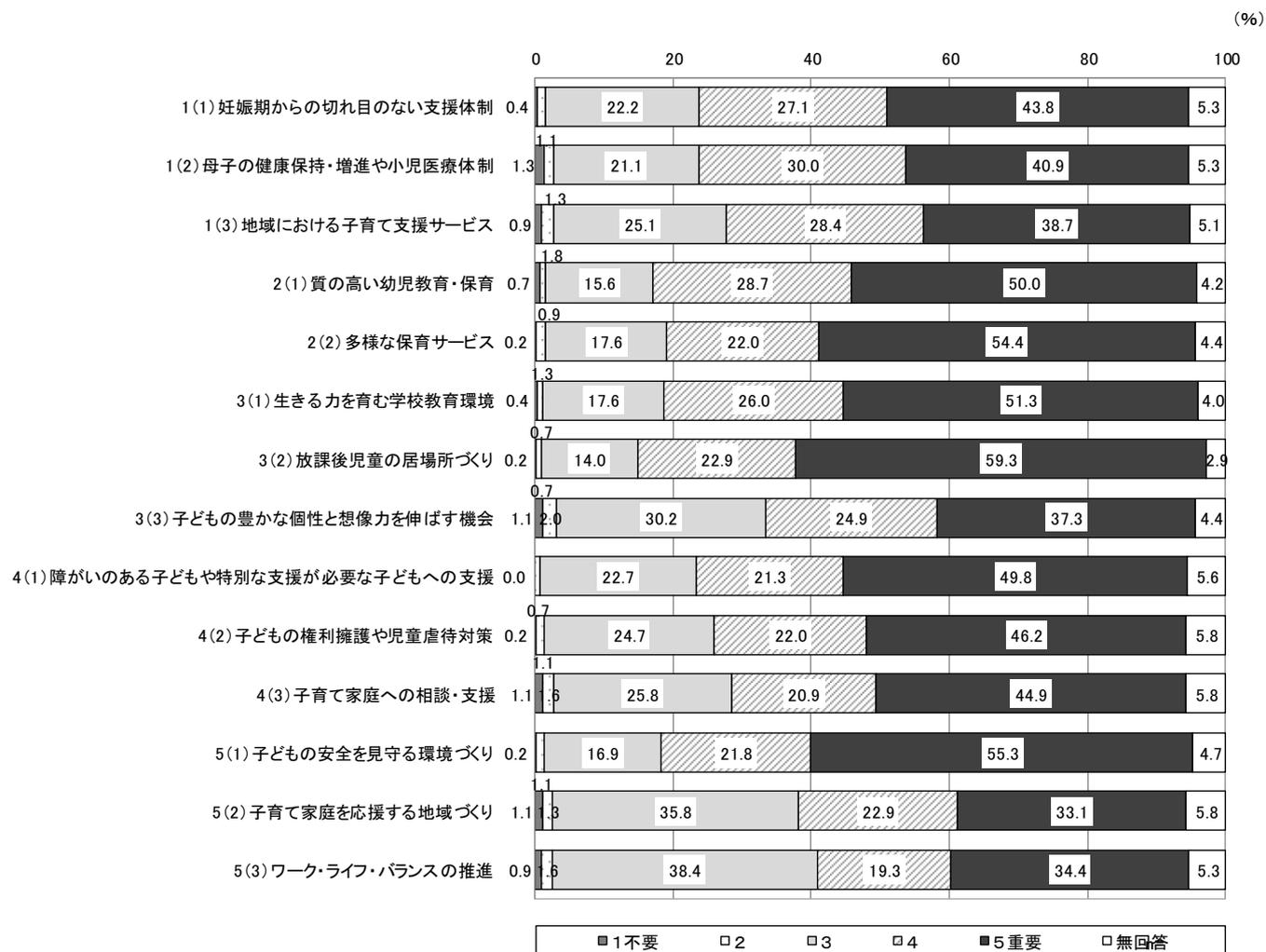
- ・「満足度5」の割合が最も高い施策は「1（3）地域における子育て支援サービス」で、「満足度1」の割合が最も高い施策は「3（2）放課後児童の居場所づくり」です。



n=450

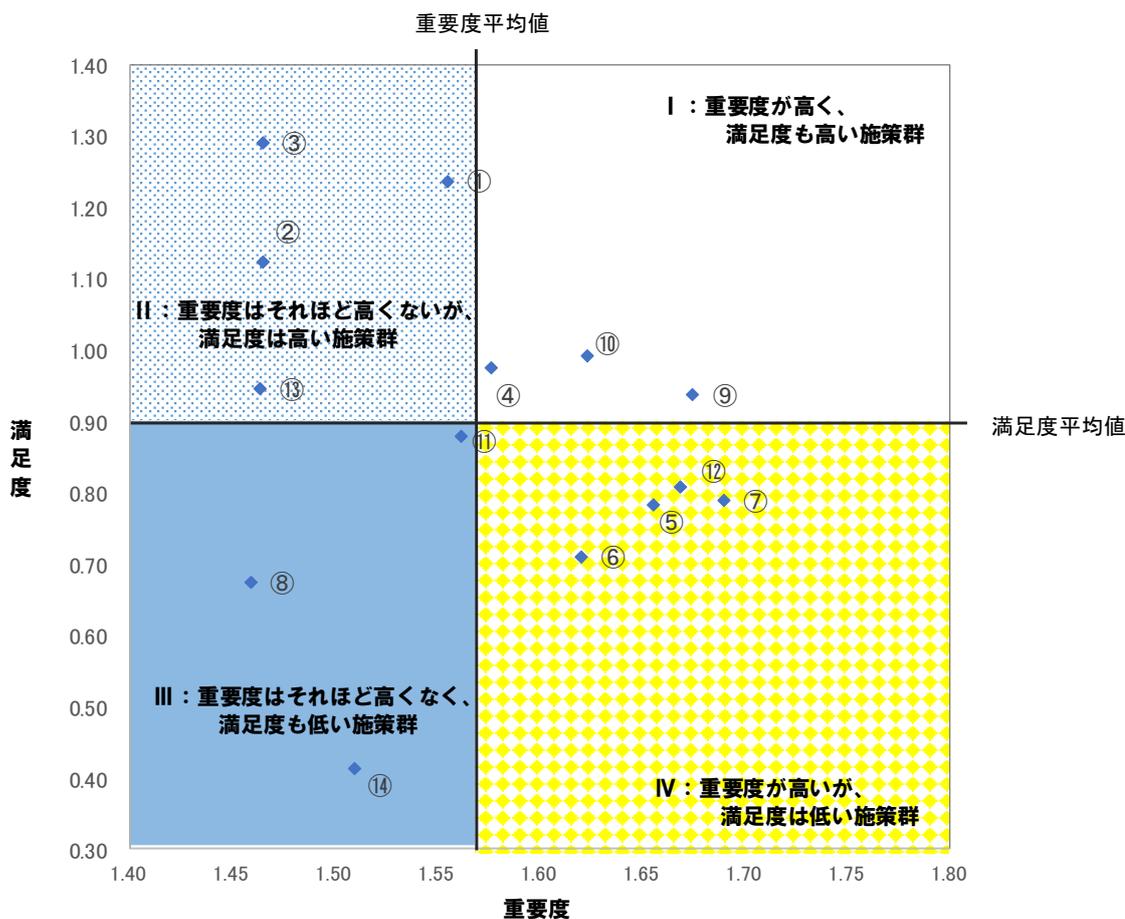
【重要度】

- 「重要度5」の割合が最も高い施策は「3（2）放課後児童の居場所づくり」で、「重要度1」の割合が最も高い施策は「1（2）母子の健康保持・増進や小児医療体制」です。



n=450

- 重要度は高いが、満足度は低い施策は、「2（2）多様な保育サービス」「3（1）生きる力を育む学校教育環境」「3（2）放課後児童の居場所づくり」「5（1）子どもの安全を見守る環境づくり」です。



| | | | |
|---|-----------------------|---|--------------------------------|
| ① | 1（1）妊娠期からの切れ目のない支援体制 | ⑧ | 3（3）子どもの豊かな個性と想像力を伸ばす機会 |
| ② | 1（2）母子の健康保持・増進や小児医療体制 | ⑨ | 4（1）障がいのある子どもや特別な支援が必要な子どもへの支援 |
| ③ | 1（3）地域における子育て支援サービス | ⑩ | 4（2）子どもの権利擁護や児童虐待対策 |
| ④ | 2（1）質の高い幼児教育・保育 | ⑪ | 4（3）子育て家庭への相談・支援 |
| ⑤ | 2（2）多様な保育サービス | ⑫ | 5（1）子どもの安全を見守る環境づくり |
| ⑥ | 3（1）生きる力を育む学校教育環境 | ⑬ | 5（2）子育て家庭を応援する地域づくり |
| ⑦ | 3（2）放課後児童の居場所づくり | ⑭ | 5（3）ワーク・ライフ・バランスの推進 |

評価点数の算出方法

$$\text{満足度} = \frac{(\text{満足} \times 2 \text{点} + \text{やや満足} \times 1 \text{点} + \text{やや不満} \times -1 \text{点} + \text{不満} \times -2 \text{点})}{(\text{満足} + \text{やや満足} + \text{やや不満} + \text{不満}) \text{の回答数}}$$

$$\text{重要度} = \frac{(\text{重要} \times 2 \text{点} + \text{やや重要} \times 1 \text{点} + \text{やや不要} \times -1 \text{点} + \text{不要} \times -2 \text{点})}{(\text{重要} + \text{やや重要} + \text{やや不要} + \text{不要}) \text{の回答数}}$$

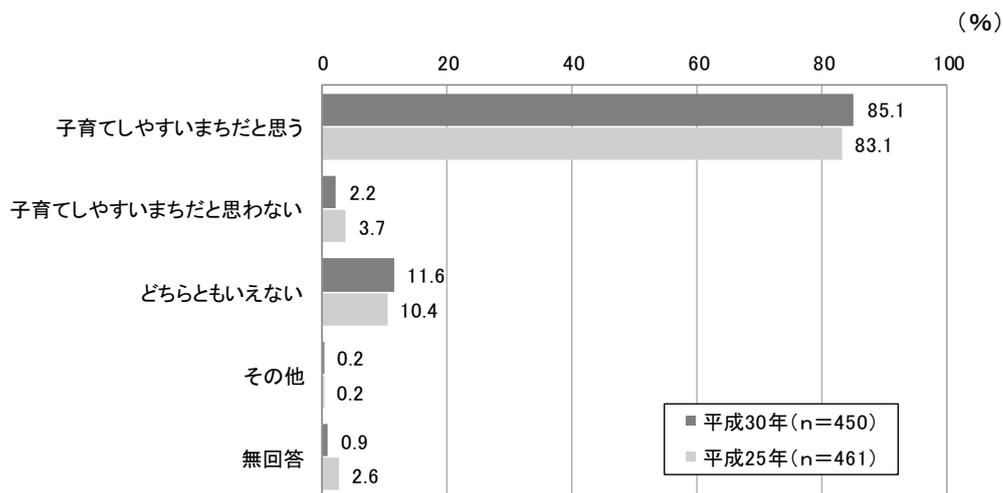
※加重平均にて評価値を算出

- 5. 満足（重要） 2点
- 4. やや満足（重要） 1点
- 3. どちらでも 0点
- 2. やや不満（不要） -1点
- 1. 不満（不要） -2点

※「無回答」を除いて算出している。

問 28 浦安市は子育てしやすいまちか（単回答）

- 「子育てしやすいまちだと思う」が 85.1%、「子育てしやすいまちだと思わない」が 2.2%となっています。
- 平成 25 年調査と比較すると、「子育てしやすいまちだと思う」が 2.0 ポイント増加しています。
- 子どもの学年別にみると、“1 年生”、居住地域別にみると“中町”で「子育てしやすいまちだと思う」が高くなっています。

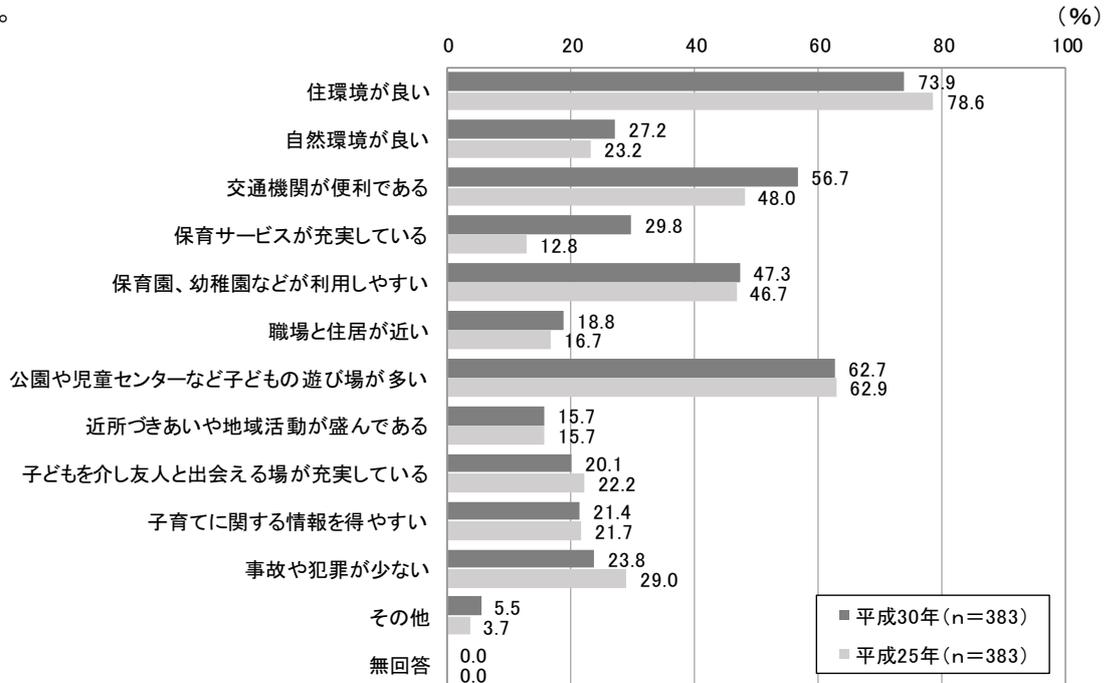


| | 合計 | 問28 浦安市は子育てしやすいまちか | | | | | |
|--------|--------------|--------------------|-----------------|------------|------------|----------|----------|
| | | 子育てしやすいまちだと思う | 子育てしやすいまちだと思わない | どちらともいえない | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 450 100.0 | 383 85.1 | 10 2.2 | 52 11.6 | 1 0.2 | 4 0.9 | |
| 子どもの学年 | 1年生 | 107 100.0 | 96 89.7 | 1 0.9 | 10 9.3 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 2年生 | 108 100.0 | 91 84.3 | 4 3.7 | 11 10.2 | 0 0.0 | 2 1.9 |
| | 3年生 | 118 100.0 | 100 84.7 | 2 1.7 | 15 12.7 | 1 0.8 | 0 0.0 |
| | 4年生 | 112 100.0 | 92 82.1 | 3 2.7 | 15 13.4 | 0 0.0 | 2 1.8 |
| | 元町 | 139 100.0 | 113 81.3 | 1 0.7 | 23 16.5 | 1 0.7 | 1 0.7 |
| 居住地域 | 中町 | 167 100.0 | 152 91.0 | 3 1.8 | 9 5.4 | 0 0.0 | 3 1.8 |
| | 新町 | 139 100.0 | 113 81.3 | 6 4.3 | 20 14.4 | 0 0.0 | 0 0.0 |

問 28-2 浦安市は子育てしやすいまちと思う理由（複数回答）

【問 32 で「1. 子育てしやすいまちだと思う」と回答した方限定】

- ・「住環境が良い」が 73.9%で最も高く、次いで「公園や児童センターなど子どもの遊び場が多い」が 62.7%、「交通機関が便利である」が 56.7%となっています。
- ・居住地域別にみると、「新町」で、「住環境が良い」が最も高くなっています。
- ・平成 25 年調査と比較すると、「保育サービスが充実している」が 17.0 ポイント増加しています。



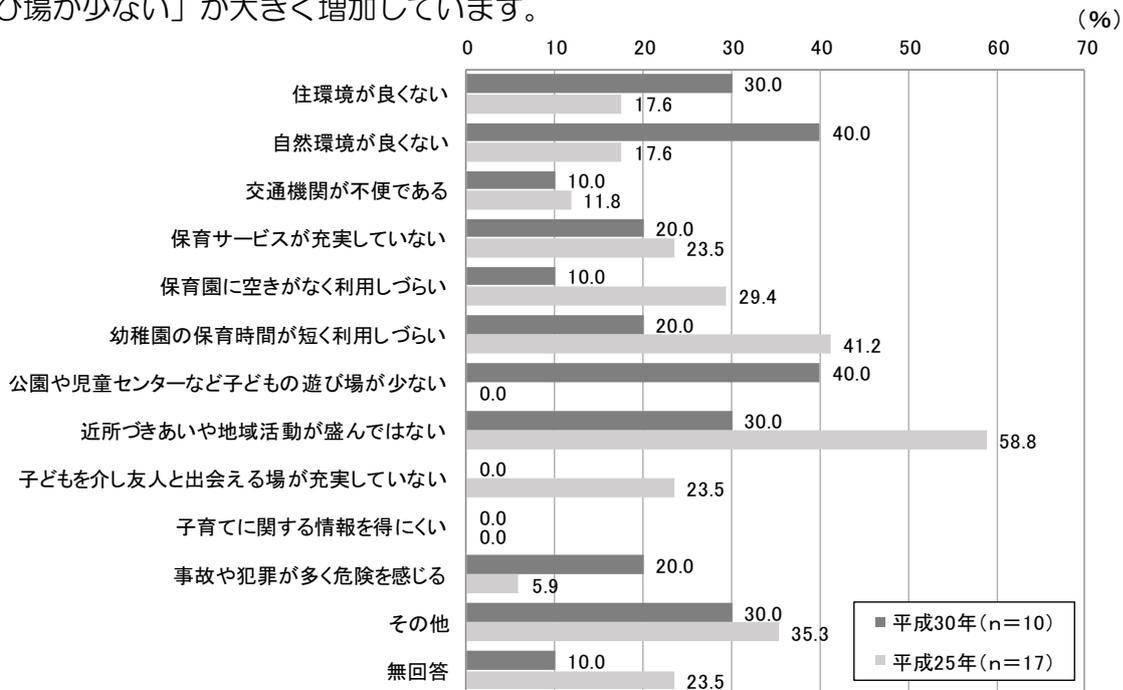
| | 合計 | 問28-1 浦安市は子育てしやすいまちと思う理由 | | | | | | | |
|------|--------------|--------------------------|-------------|-------------|---------------|------------------|------------|-----------------------|------------|
| | | 住環境が良い | 自然環境が良い | 交通機関が便利である | 保育サービスが充実している | 保育園、幼稚園などが利用しやすい | 職場と住居に近い | 公園や児童センターなど子どもの遊び場が多い | |
| 全体 | 383 100.0 | 283 73.9 | 104 27.2 | 217 56.7 | 114 29.8 | 181 47.3 | 72 18.8 | 240 62.7 | |
| 居住地域 | 元町 | 113 100.0 | 61 54.0 | 19 16.8 | 71 62.8 | 30 26.5 | 57 50.4 | 27 23.9 | 55 48.7 |
| | 中町 | 152 100.0 | 122 80.3 | 33 21.7 | 100 65.8 | 48 31.6 | 69 45.4 | 30 19.7 | 98 64.5 |
| | 新町 | 113 100.0 | 95 84.1 | 51 45.1 | 42 37.2 | 33 29.2 | 53 46.9 | 15 13.3 | 84 74.3 |

| | 合計 | 問28-1 浦安市は子育てしやすいまちと思う理由 | | | | | | |
|------|--------------|--------------------------|----------------------|----------------|------------|------------|-----------|----------|
| | | 近所づきあいや地域活動が盛んである | 子どもを介し友人と出会う場が充実している | 子育てに関する情報を得やすい | 事故や犯罪が少ない | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 383 100.0 | 60 15.7 | 77 20.1 | 82 21.4 | 91 23.8 | 21 5.5 | 0 0.0 | |
| 居住地域 | 元町 | 113 100.0 | 14 12.4 | 24 21.2 | 19 16.8 | 12 10.6 | 11 9.7 | 0 0.0 |
| | 中町 | 152 100.0 | 25 16.4 | 28 18.4 | 37 24.3 | 29 19.1 | 9 5.9 | 0 0.0 |
| | 新町 | 113 100.0 | 19 16.8 | 23 20.4 | 23 20.4 | 48 42.5 | 1 0.9 | 0 0.0 |

問 29 浦安市は子育てしやすいまちと思わない理由（複数回答）

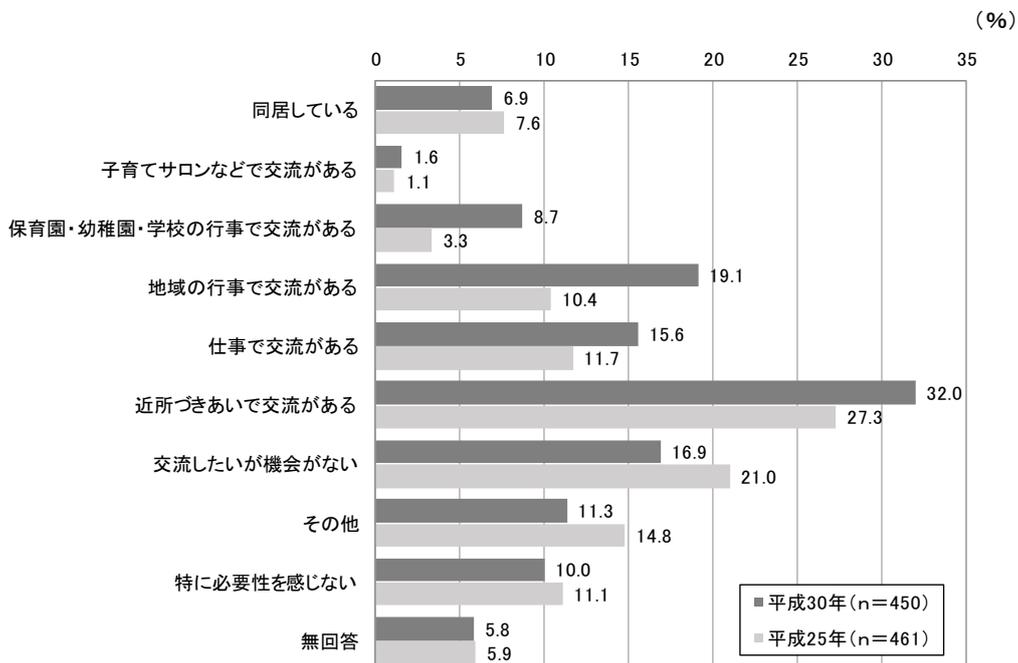
【問 32 で「2. 子育てしやすいまちだと思わない」と回答した方限定】

- ・「自然環境が良くない」と「公園や児童センターなど子どもの遊び場が少ない」が 40.0%と高くなっています。
- ・平成 25 年調査と比較しても、「自然環境が良くない」と「公園や児童センターなど子どもの遊び場が少ない」が大きく増加しています。



問 29 高齢者との交流の有無（複数回答）

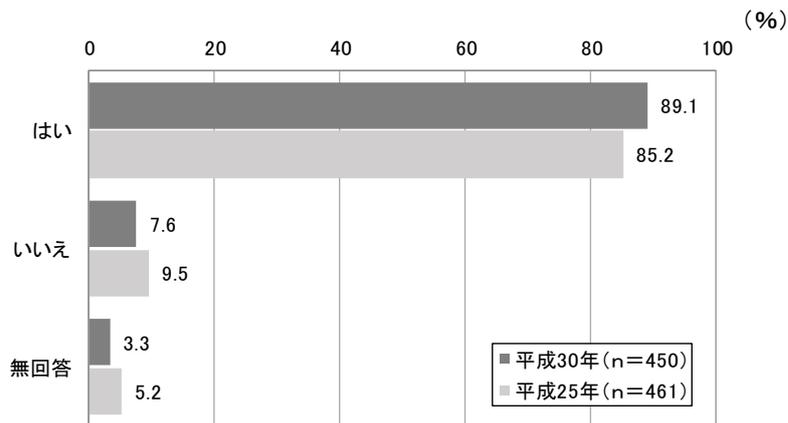
- ・「近所づきあいで交流がある」が 32.0%で最も高く、次いで「地域の行事で交流がある」が 19.1%、「交流したいが機会がない」が 16.9%となっています。
- ・居住地域別にみると、「特に必要性を感じない」は“新町”では最も高くなっています。



| | 合計 | 問29 高齢者との交流の有無 | | | | | | | | | | |
|------|--------------|----------------|----------------|---------------------|-------------|------------|--------------|------------|------------|------------|------------|----------|
| | | 同居している | 子育てサロンなどで交流がある | 保育園・幼稚園・学校の行事で交流がある | 地域の行事で交流がある | 仕事で交流がある | 近所づきあいで交流がある | 交流したい機会がない | その他 | 特に必要性を感じない | 無回答 | |
| 全体 | 450 100.0 | 31 6.9 | 7 1.6 | 39 8.7 | 86 19.1 | 70 15.6 | 144 32.0 | 76 16.9 | 51 11.3 | 45 10.0 | 26 5.8 | |
| 居住地域 | 元町 | 139 100.0 | 12 8.6 | 0 0.0 | 6 4.3 | 22 15.8 | 23 16.5 | 45 32.4 | 23 16.5 | 18 12.9 | 12 8.6 | 9 6.5 |
| | 中町 | 167 100.0 | 13 7.8 | 3 1.8 | 20 12.0 | 45 26.9 | 25 15.0 | 69 41.3 | 22 13.2 | 17 10.2 | 9 5.4 | 9 5.4 |
| | 新町 | 139 100.0 | 4 2.9 | 4 2.9 | 12 8.6 | 18 12.9 | 22 15.8 | 28 20.1 | 31 22.3 | 16 11.5 | 23 16.5 | 8 5.8 |

問 30 高齢者との交流機会が必要と思うか（単回答）

- ・「はい」が89.1%、「いいえ」が7.6%となっています。
- ・平成25年調査と比較すると、「はい」が3.9ポイントの増加となっています。
- ・「はい」は、子どもの学年別にみると“3年生”、居住地域別にみると“中町”で高くなっています。



| | 合計 | 問30 高齢者との交流機会が必要と思うか | | | |
|--------|--------------|----------------------|-------------|------------|----------|
| | | はい | いいえ | 無回答 | |
| 全体 | 450 100.0 | 401 89.1 | 34 7.6 | 15 3.3 | |
| 子どもの学年 | 1年生 | 107 100.0 | 96 89.7 | 6 5.6 | 5 4.7 |
| | 2年生 | 108 100.0 | 93 86.1 | 10 9.3 | 5 4.6 |
| | 3年生 | 118 100.0 | 109 92.4 | 6 5.1 | 3 2.5 |
| | 4年生 | 112 100.0 | 98 87.5 | 12 10.7 | 2 1.8 |
| 居住地域 | 元町 | 139 100.0 | 122 87.8 | 11 7.9 | 6 4.3 |
| | 中町 | 167 100.0 | 151 90.4 | 10 6.0 | 6 3.6 |
| | 新町 | 139 100.0 | 123 88.5 | 13 9.4 | 3 2.2 |

問 31 市の子育て環境に関する意見（自由回答）

- ・自由記述については、162人（36.0%）から267件の意見がありました。意見分類ごとの意見数は以下のとおりです。

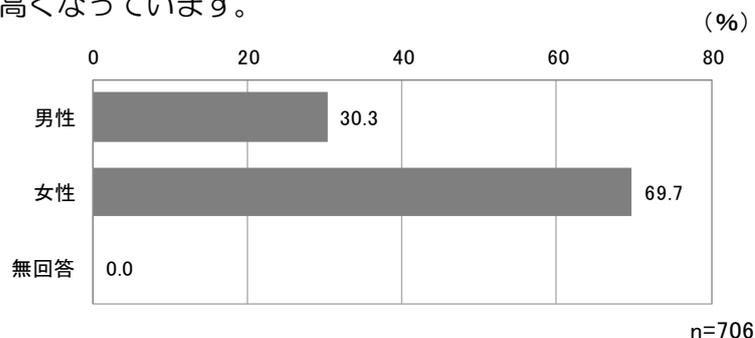
| 意見内容 | 件数 |
|------------------------------------|-----|
| 子育て支援事業・施策（ファミサポ、病児・病後児保育、一時預かり 等） | 41 |
| 公園・遊び場 | 32 |
| 小学校・教育環境 等 | 31 |
| 子育て環境（買物、住宅環境） | 27 |
| 児童育成クラブ | 19 |
| 安全（道路、不審者、治安） | 18 |
| 保育・教育の事業・施設 | 15 |
| 特別な支援（障がい・ひとり親 等） | 12 |
| 経済的支援 | 12 |
| 健康（医療機関・健診等・医療費助成） | 7 |
| 相談・情報 | 5 |
| 児童館 | 3 |
| 放課後子ども教室 | 3 |
| その他 | 42 |
| 計 | 267 |

III 市民調査

1. 回答者のご家族の状況について

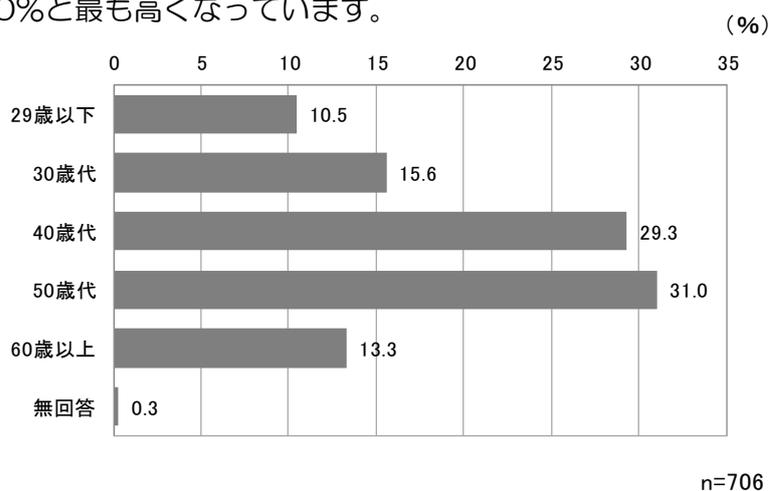
問1 性別（単回答）

・「女性」が69.7%と高くなっています。



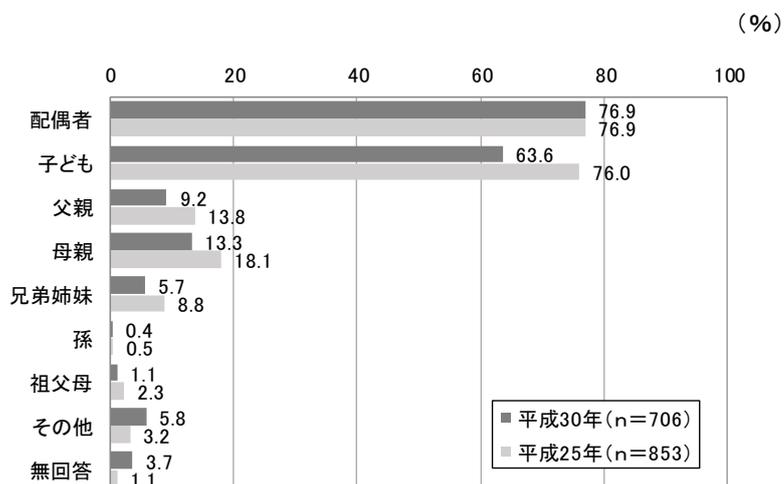
問2 年齢（単回答）

・「50歳代」が31.0%と最も高くなっています。



問3 家族構成（複数回答）

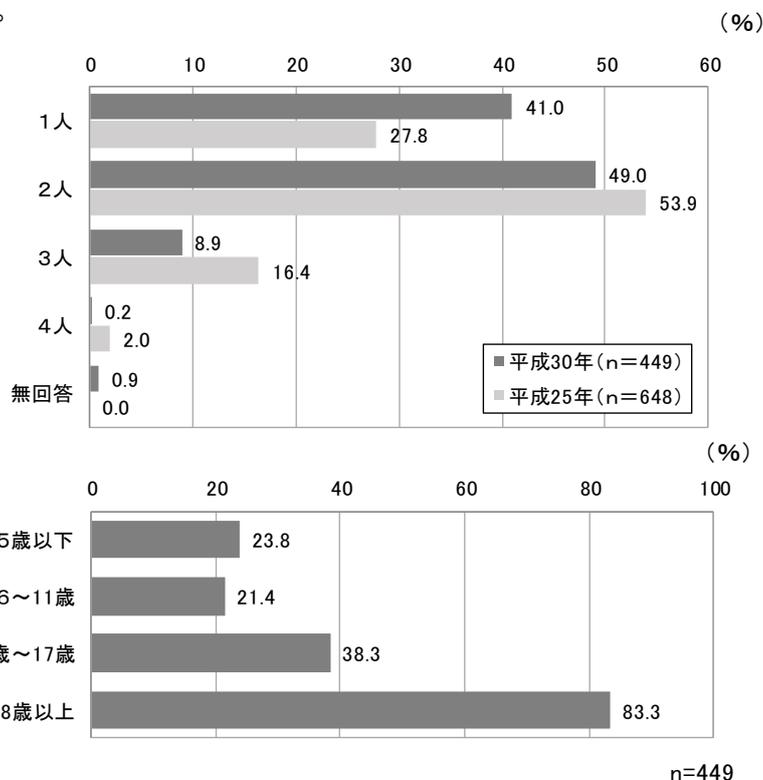
・平成25年調査と比べ、「子ども」の割合が76.0%から63.6%と、12.4ポイント減少しています。



問4 子どもの人数・年齢（数量回答）

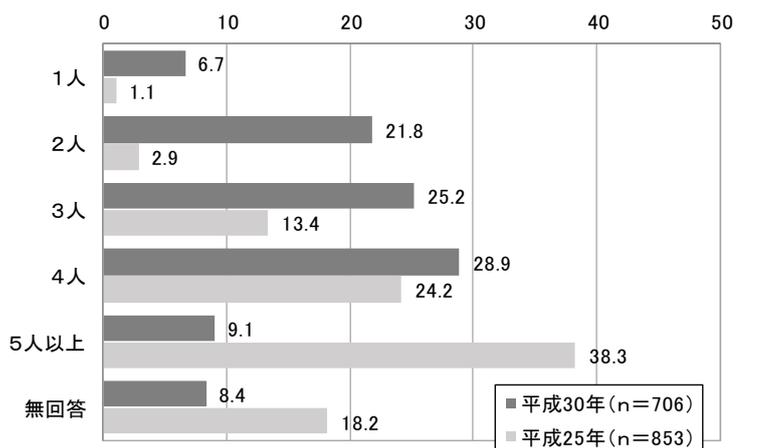
【子どもと同居している方限定】

- 同居している子どもの人数は、「2人」が49.0%と最も高くなっています。
- 平成25年調査と比べ、同居している子どもの人数は、「3人」7.5ポイント減少し、「1人」13.2ポイント増加しています。



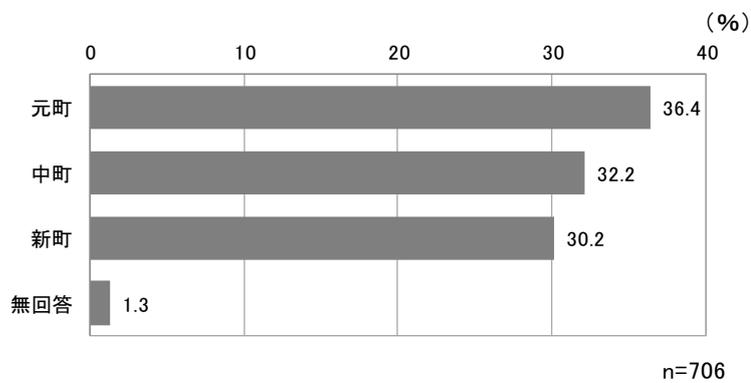
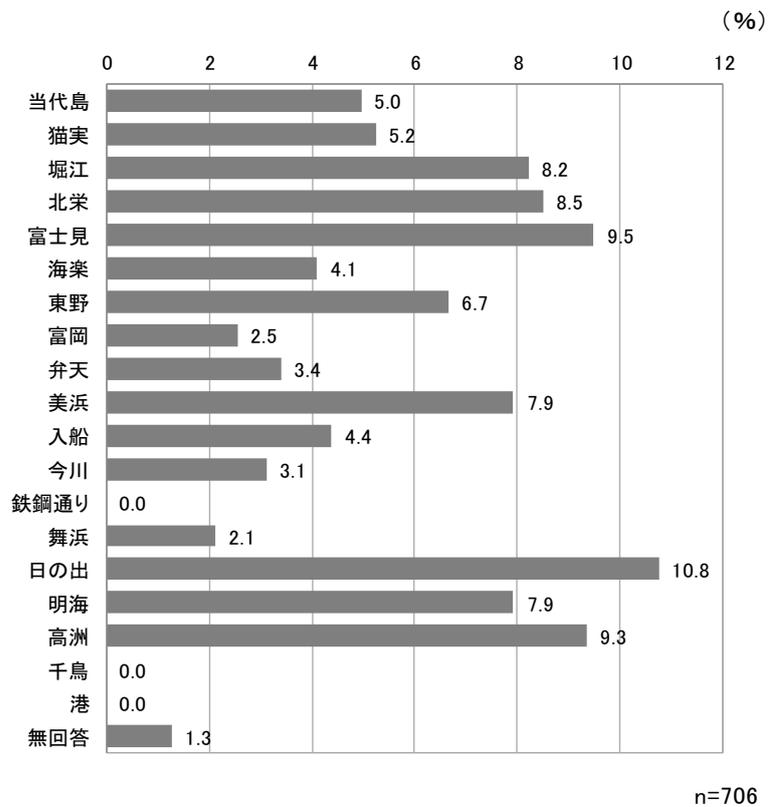
問5 世帯員の人数（数量回答）

- 「4人」が28.9%と最も高くなっています。
- 平成25年調査では、「5人以上」が38.3%と最も高くなっています。



問6① 住まいの地区（単回答）

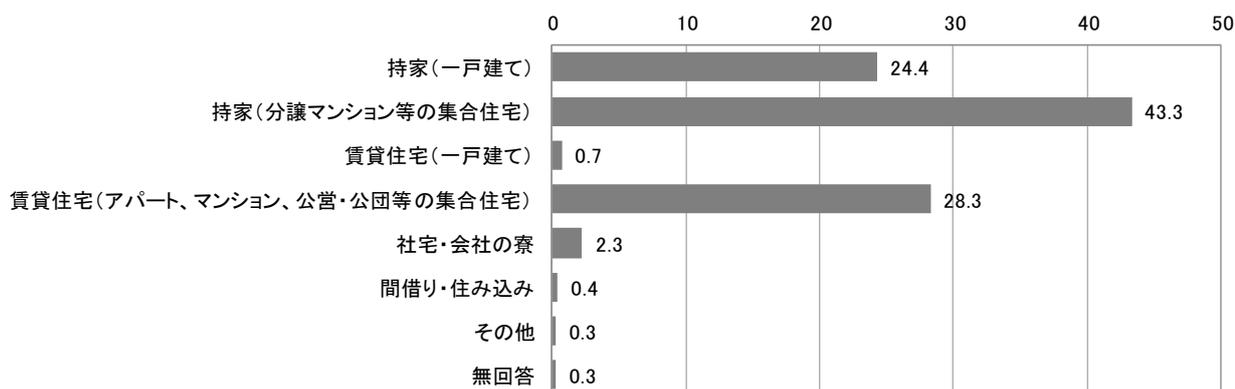
・地区としては「日の出」が10.8%と最も高くなっており、地域としては「元町」が高くなっています。



問6② 住まいの種類（単回答）

- 「持家（分譲マンション等の集合住宅）」が43.3%と最も高くなっています。
- 地域ごとにみると、中町と新町では「持家（分譲マンション等の集合住宅）」が高く、元町では「賃貸住宅（アパート、マンション、公営・公団等の集合住宅）」が高くなっています。
- 結婚の状況ごとにみると、“既婚である”でのみ「持家（分譲マンション等の集合住宅）」が高くなっています。

(%)

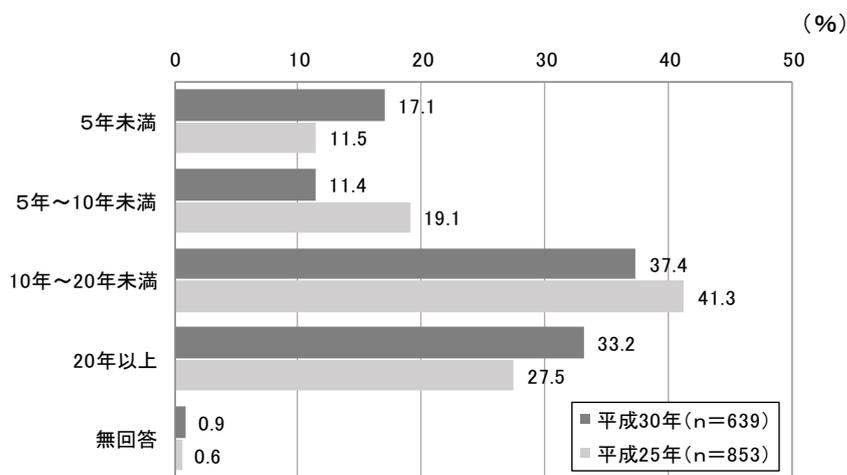
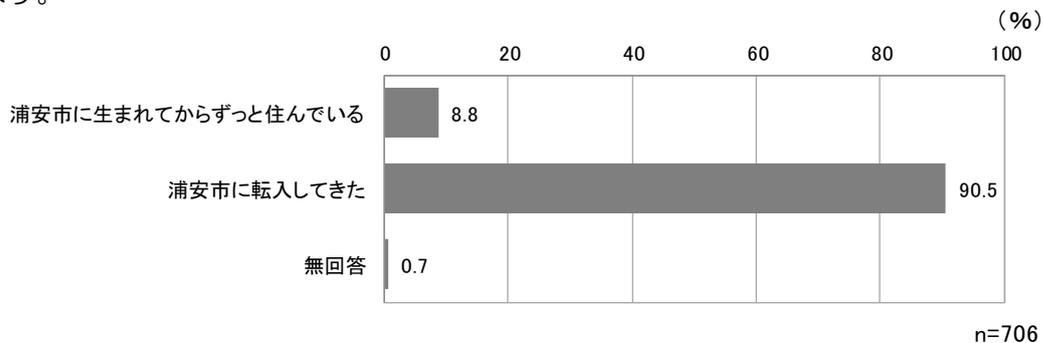


n=706

| | 合計 | 問6② 住まいの種類 | | | | | | | | |
|-------|----------------|------------|-------------------|------------|------------------------------|---------|----------|-----|-----|-----|
| | | 持家(一戸建て) | 持家(分譲マンション等の集合住宅) | 賃貸住宅(一戸建て) | 賃貸住宅(アパート、マンション、公営・公団等の集合住宅) | 社宅・会社の寮 | 間借り・住み込み | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 706 | 172 | 306 | 5 | 200 | 16 | 3 | 2 | 2 | |
| | 100.0 | 24.4 | 43.3 | 0.7 | 28.3 | 2.3 | 0.4 | 0.3 | 0.3 | |
| 居住地域 | 元町 | 257 | 76 | 69 | 1 | 105 | 4 | 0 | 2 | 0 |
| | | 100.0 | 29.6 | 26.8 | 0.4 | 40.9 | 1.6 | 0.0 | 0.8 | 0.0 |
| | 中町 | 227 | 70 | 89 | 3 | 58 | 7 | 0 | 0 | 0 |
| | 100.0 | 30.8 | 39.2 | 1.3 | 25.6 | 3.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 新町 | 213 | 24 | 146 | 1 | 34 | 5 | 2 | 0 | 1 |
| | 100.0 | 11.3 | 68.5 | 0.5 | 16.0 | 2.3 | 0.9 | 0.0 | 0.5 | |
| 結婚の状況 | 未婚である | 114 | 22 | 32 | 1 | 53 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| | | 100.0 | 19.3 | 28.1 | 0.9 | 46.5 | 2.6 | 1.8 | 0.9 | 0.0 |
| | 既婚である | 535 | 137 | 255 | 3 | 125 | 13 | 0 | 1 | 1 |
| | 100.0 | 25.6 | 47.7 | 0.6 | 23.4 | 2.4 | 0.0 | 0.2 | 0.2 | |
| | 結婚したが離別・死別している | 44 | 11 | 13 | 1 | 17 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | 100.0 | 25.0 | 29.5 | 2.3 | 38.6 | 0.0 | 2.3 | 0.0 | 2.3 | |

問6③ 居住歴（単回答）

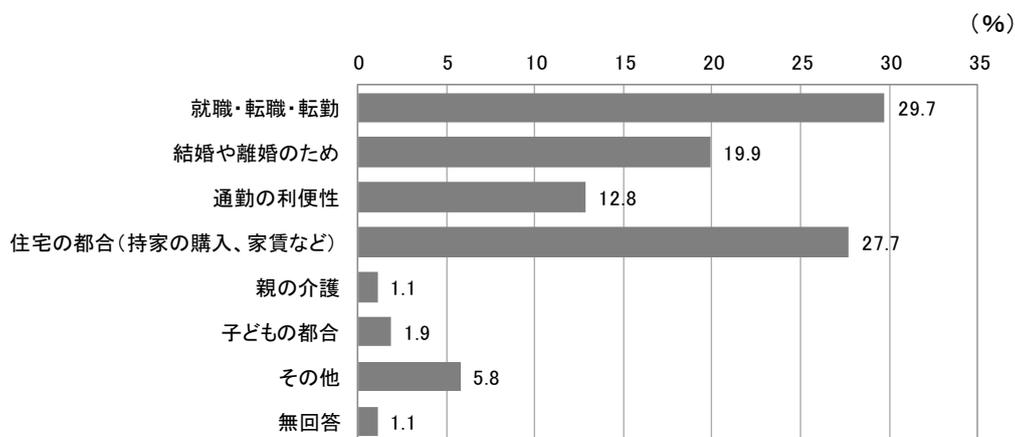
- ・「浦安市に転入してきた」が90.5%と多くを占めています。
- ・居住年数としては、「10年～20年未満」が37.4%と最も高くなっています。
- ・地域ごとにみると、“元町”“中町”“新町”の順で、「浦安市に転入してきた」割合が高くなっています。



| | | 合計 | 問6③ 居住歴 | | |
|-----|----|--------------|--------------------|-------------|----------|
| | | | 浦安市に生まれてからずっと住んでいる | 浦安市に転入してきた | 無回答 |
| 全体 | | 706 100.0 | 62 8.8 | 639 90.5 | 5 0.7 |
| 居住地 | 元町 | 257 100.0 | 38 14.8 | 214 83.3 | 5 1.9 |
| | 中町 | 227 100.0 | 16 7.0 | 211 93.0 | 0 0.0 |
| | 新町 | 213 100.0 | 6 2.8 | 207 97.2 | 0 0.0 |

問6④ 転入の理由（単回答）【問6③で「2. 浦安市に転入してきた」と回答した方限定】

- ・「就職・転職・転勤」を理由に転入した割合が29.7%と最も高くなっています。
- ・年齢別にみると、“50歳代”“60歳以上”では「住宅の都合（持家の購入、家賃など）」を理由に転入している方が多くなっています。

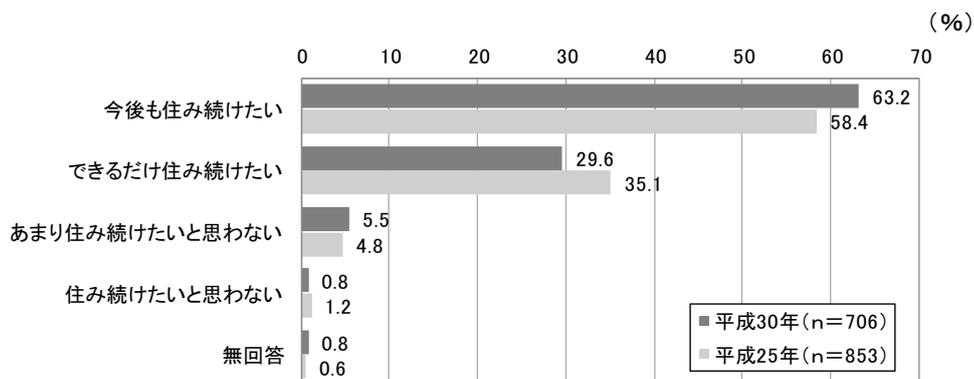


n=639

| | 合計 | 問6④ 転入の理由 | | | | | | | | |
|----------------|--------------|--------------|-------------|-------------|--------------------|-------------|------------|-----------|-----------|----------|
| | | 就職・転職・転勤 | 結婚や離婚のため | 通勤の利便性 | 住宅の都合 (持家の購入、家賃など) | 親の介護 | 子どもの都合 | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 639 100.0 | 190 29.7 | 127 19.9 | 82 12.8 | 177 27.7 | 7 1.1 | 12 1.9 | 37 5.8 | 7 1.1 | |
| 年齢 | 29歳以下 | 60 100.0 | 20 33.3 | 7 11.7 | 8 13.3 | 18 30.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 7 11.7 | 0 0.0 |
| | 30歳代 | 98 100.0 | 36 36.7 | 32 32.7 | 13 13.3 | 12 12.2 | 0 0.0 | 0 0.0 | 5 5.1 | 0 0.0 |
| | 40歳代 | 193 100.0 | 60 31.1 | 40 20.7 | 25 13.0 | 45 23.3 | 2 1.0 | 9 4.7 | 10 5.2 | 2 1.0 |
| | 50歳代 | 200 100.0 | 60 30.0 | 35 17.5 | 25 12.5 | 62 31.0 | 4 2.0 | 0 0.0 | 11 5.5 | 3 1.5 |
| | 60歳以上 | 86 100.0 | 13 15.1 | 12 14.0 | 11 12.8 | 40 46.5 | 1 1.2 | 3 3.5 | 4 4.7 | 2 2.3 |
| | 結婚の状況 | 未婚である | 95 100.0 | 37 38.9 | 2 2.1 | 18 18.9 | 31 32.6 | 0 0.0 | 0 0.0 | 7 7.4 |
| 既婚である | | 493 100.0 | 140 28.4 | 112 22.7 | 59 12.0 | 134 27.2 | 6 1.2 | 10 2.0 | 26 5.3 | 6 1.2 |
| 結婚したが離別・死別している | | 40 100.0 | 9 22.5 | 9 22.5 | 4 10.0 | 10 25.0 | 1 2.5 | 2 5.0 | 4 10.0 | 1 2.5 |

問7 今後も浦安市に住みたいか（単回答）

- 「今後も住みたい」が最も高くなっており、平成25年調査と比べ、4.8ポイント増加しています。
- 年齢別にみると“29歳以下”“50歳代”で、結婚の状況にみると“結婚したが離別・死別している”で「住みたいと思わない」割合が高くなっています。

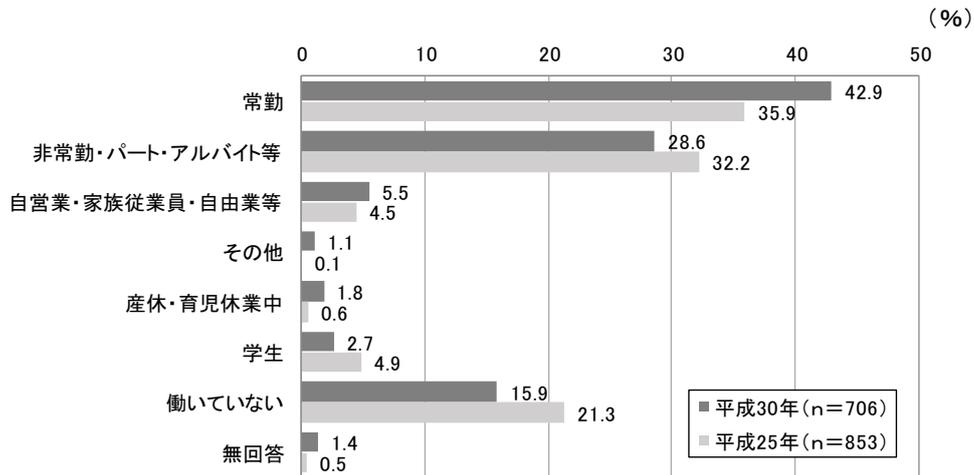


| | | 合計 | 問7 今後も浦安市に住みたいか | | | | |
|------------|--------------------|--------------|-----------------|---------------------|----------------------------|---------------------|----------|
| | | | 今後も住 みたい | できるだ け住み続 けたい | あまり住 み続けた いと思わ ない | 住み続け たいと思 わない | 無回答 |
| 全体 | | 706 100.0 | 446 63.2 | 209 29.6 | 39 5.5 | 6 0.8 | 6 0.8 |
| 年齢 | 29歳以下 | 74 100.0 | 32 43.2 | 28 37.8 | 11 14.9 | 1 1.4 | 2 2.7 |
| | 30歳代 | 110 100.0 | 69 62.7 | 32 29.1 | 6 5.5 | 1 0.9 | 2 1.8 |
| | 40歳代 | 207 100.0 | 140 67.6 | 57 27.5 | 7 3.4 | 1 0.5 | 2 1.0 |
| | 50歳代 | 219 100.0 | 135 61.6 | 70 32.0 | 11 5.0 | 3 1.4 | 0 0.0 |
| | 60歳以上 | 94 100.0 | 68 72.3 | 22 23.4 | 4 4.3 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| 結婚の 状況 | 未婚である | 114 100.0 | 58 50.9 | 43 37.7 | 11 9.6 | 0 0.0 | 2 1.8 |
| | 既婚である | 535 100.0 | 354 66.2 | 145 27.1 | 27 5.0 | 5 0.9 | 4 0.7 |
| | 結婚したが離別・ 死別している | 44 100.0 | 27 61.4 | 15 34.1 | 1 2.3 | 1 2.3 | 0 0.0 |
| 子ども の人数 | 1人 | 184 100.0 | 114 62.0 | 58 31.5 | 9 4.9 | 1 0.5 | 2 1.1 |
| | 2人 | 220 100.0 | 151 68.6 | 57 25.9 | 9 4.1 | 1 0.5 | 2 0.9 |
| | 3人 | 40 100.0 | 26 65.0 | 13 32.5 | 1 2.5 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 4人 | 1 100.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |

2. 回答者の仕事や生活について

問8 現在の就労状況

- 「常勤」が42.9%と最も高くなっており、平成25年調査と比べ、7.0ポイント増加しています。
- 一方「非常勤・パート・アルバイト等」は平成25年調査と比べ、3.6ポイント減少しています。
- “女性”の21.1%、“60歳以上”の28.7%は「働いていない」と回答しています。



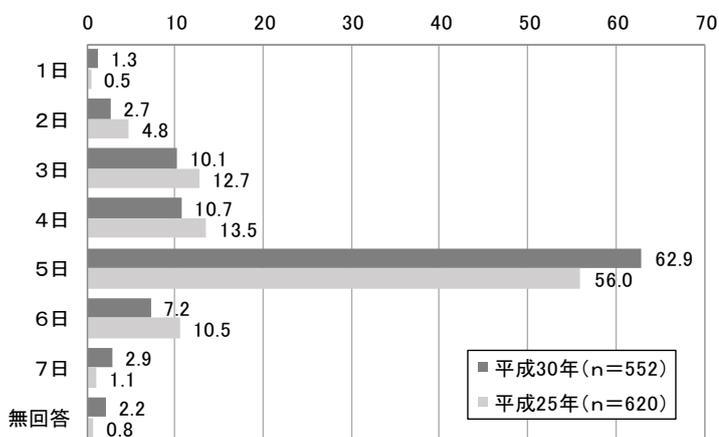
| | | 合計 | 問8 現在の就労状況 | | | | | | | |
|-------|--------------|--------------|--------------|----------------|----------------|------------|-----------|------------|-----------|-------------|
| | | | 常勤 | 非常勤・パート・アルバイト等 | 自営業・家族従業員・自由業等 | その他 | 産休・育児休業中 | 学生 | 働いていない | 無回答 |
| 男性 | 全体 | 214 100.0 | 160 74.8 | 12 5.6 | 17 7.9 | 3 1.4 | 0 0.0 | 12 5.6 | 8 3.7 | 2 0.9 |
| | 29歳以下 | 34 100.0 | 16 47.1 | 4 11.8 | 1 2.9 | 1 2.9 | 0 0.0 | 12 35.3 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 30歳代 | 21 100.0 | 19 90.5 | 1 4.8 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 4.8 | 0 0.0 |
| | 40歳代 | 62 100.0 | 52 83.9 | 5 8.1 | 3 4.8 | 1 1.6 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 1.6 |
| | 50歳代 | 65 100.0 | 55 84.6 | 1 1.5 | 6 9.2 | 1 1.5 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 1.5 | 1 1.5 |
| | 60歳以上 | 32 100.0 | 18 56.3 | 1 3.1 | 7 21.9 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 6 18.8 | 0 0.0 |
| | 女性 | 全体 | 492 100.0 | 143 29.1 | 190 38.6 | 22 4.5 | 5 1.0 | 13 2.6 | 7 1.4 | 104 21.1 |
| 29歳以下 | 40 100.0 | 19 47.5 | 8 20.0 | 0 0.0 | 1 2.5 | 1 2.5 | 1 17.5 | 7 5.0 | 2 5.0 | 2 5.0 |
| 30歳代 | 89 100.0 | 33 37.1 | 18 20.2 | 1 1.1 | 1 1.1 | 10 11.2 | 0 0.0 | 23 25.8 | 3 3.4 | |
| 40歳代 | 145 100.0 | 49 33.8 | 67 46.2 | 5 3.4 | 1 0.7 | 2 1.4 | 0 0.0 | 19 13.1 | 2 1.4 | |
| 50歳代 | 154 100.0 | 35 22.7 | 67 43.5 | 12 7.8 | 1 0.6 | 0 0.0 | 0 0.0 | 38 24.7 | 1 0.6 | |
| 60歳以上 | 62 100.0 | 6 9.7 | 30 48.4 | 4 6.5 | 1 1.6 | 0 0.0 | 0 0.0 | 21 33.9 | 0 0.0 | |

問8-1 就労日数・時間や残業の状況（日数）

【問8で「1.」「2.」「3.」「4.」と回答した方限定】

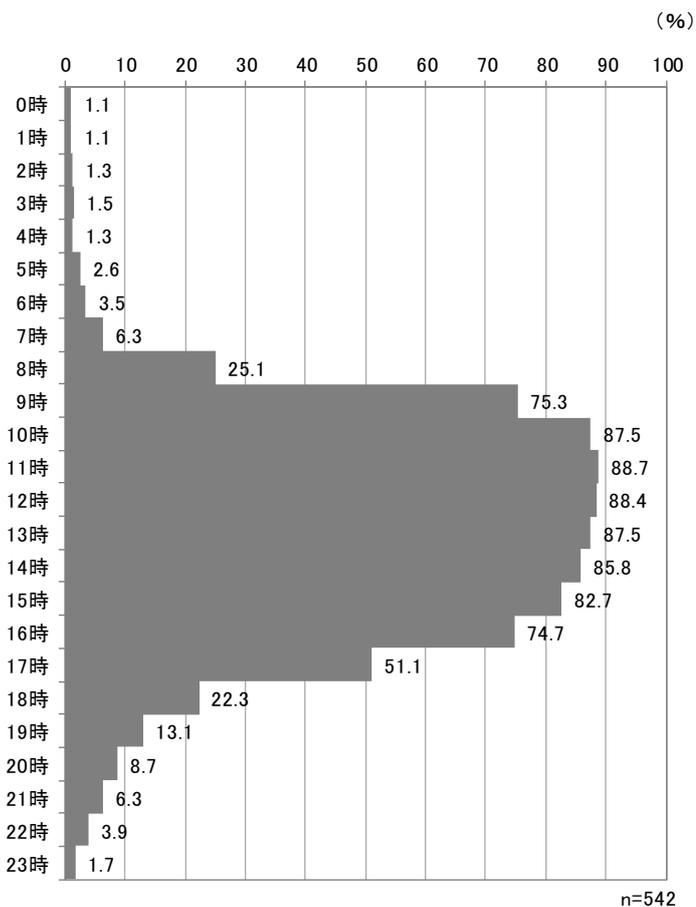
【日数】

- 週に「5日」働いている方が最も高くなっています。 (％)



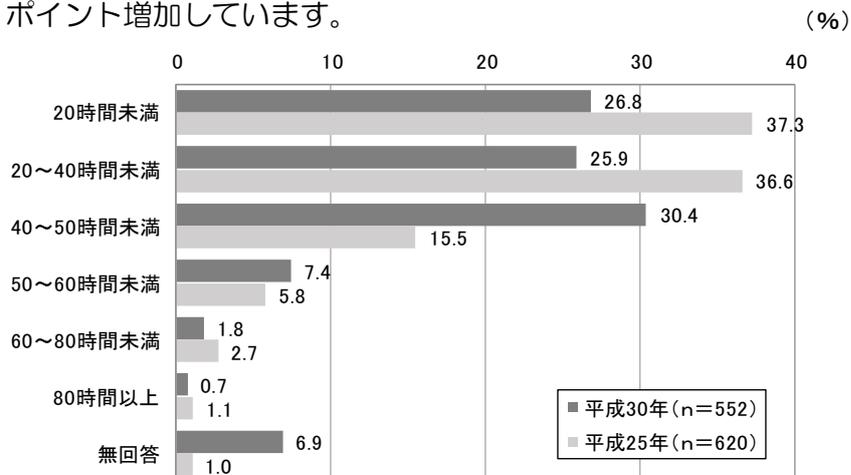
【時間帯】

- 9時から16時は7割以上の方が働いています。



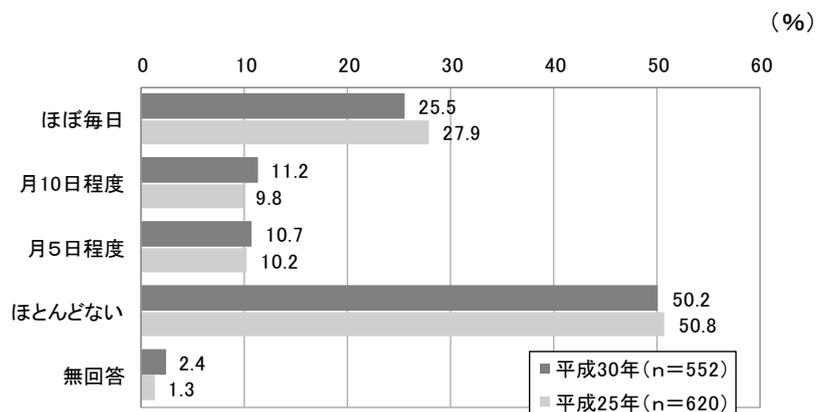
[時間]

- 週の勤務時間としては、「40～50 時間未満」が 30.4%と最も高くなっており、平成 25 年調査と比べ、14.9 ポイント増加しています。



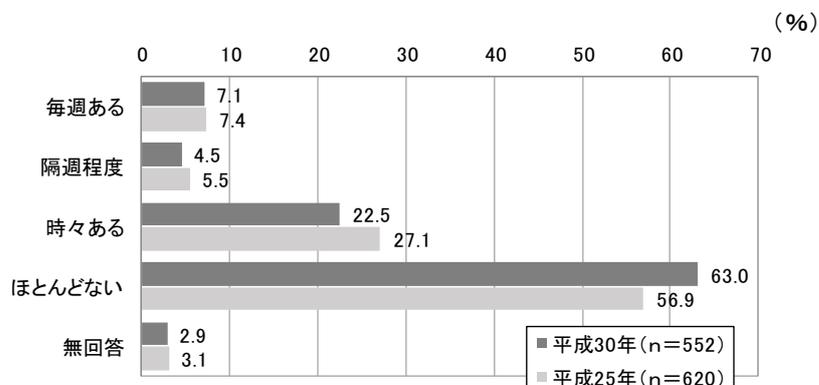
[残業の状況]

- 「ほとんどない」が 50.2%と最も高くなっています。



[休日出勤の状況]

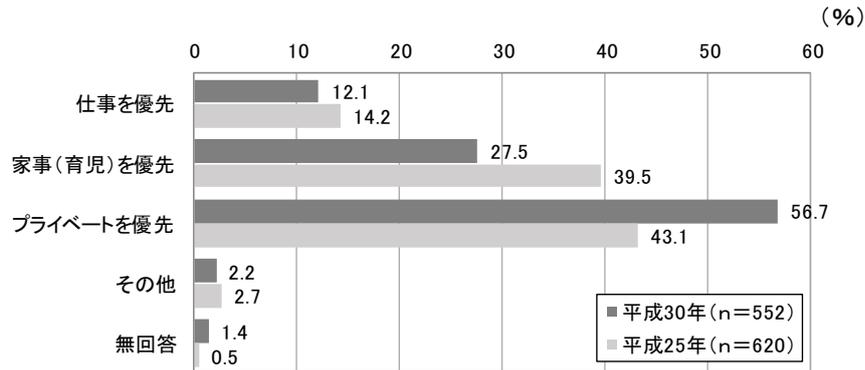
- 「ほとんどない」が 63.0%と最も高くなっています。



問8-2 生活の中での時間の優先度（単回答）

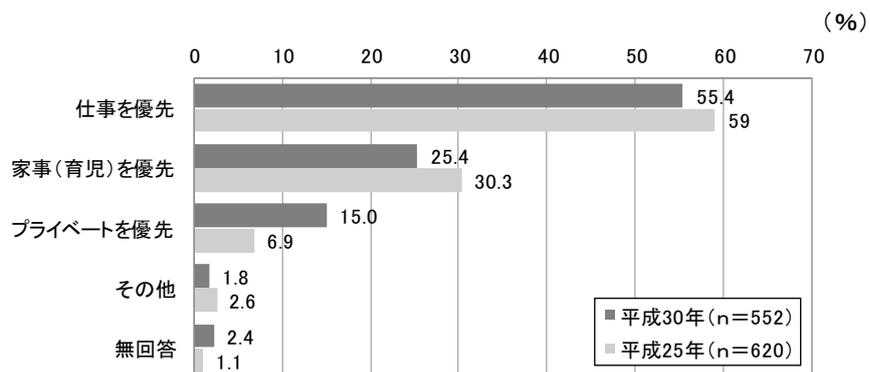
- 希望としては「プライベートを優先」が56.7%と最も高くなっていますが、現実としては「仕事を優先」が55.4%と最も高くなっています。
- 年齢別にみると“29歳以下”で、結婚の状況ごとにみると“未婚である”で「プライベートを優先」を希望する方が7割以上と高くなっています。また、子どもが“3人”“4人”では「家事（育児）を優先」を希望している方が高くなっています。
- 平成25年調査と比較すると、理想・現実ともに「プライベートを優先」が増加しています。

理想



| | | 合計 | 問8-2 ①生活の中での時間の優先度（理想） | | | | |
|--------|----------------|-------|------------------------|-----------|-----------|-----|-----|
| | | | 仕事を優先 | 家事（育児）を優先 | プライベートを優先 | その他 | 無回答 |
| 全体 | | 552 | 67 | 152 | 313 | 12 | 8 |
| | | 100.0 | 12.1 | 27.5 | 56.7 | 2.2 | 1.4 |
| 年齢 | 29歳以下 | 50 | 5 | 8 | 36 | 1 | 0 |
| | | 100.0 | 10.0 | 16.0 | 72.0 | 2.0 | 0.0 |
| | 30歳代 | 73 | 8 | 26 | 37 | 2 | 0 |
| | | 100.0 | 11.0 | 35.6 | 50.7 | 2.7 | 0.0 |
| | 40歳代 | 183 | 7 | 76 | 92 | 3 | 5 |
| | 100.0 | 3.8 | 41.5 | 50.3 | 1.6 | 2.7 | |
| | 50歳代 | 178 | 33 | 34 | 104 | 5 | 2 |
| | 100.0 | 18.5 | 19.1 | 58.4 | 2.8 | 1.1 | |
| | 60歳以上 | 67 | 14 | 7 | 44 | 1 | 1 |
| | 100.0 | 20.9 | 10.4 | 65.7 | 1.5 | 1.5 | |
| 結婚の状況 | 未婚である | 91 | 11 | 6 | 69 | 3 | 2 |
| | | 100.0 | 12.1 | 6.6 | 75.8 | 3.3 | 2.2 |
| | 既婚である | 415 | 46 | 135 | 220 | 9 | 5 |
| | 100.0 | 11.1 | 32.5 | 53.0 | 2.2 | 1.2 | |
| | 結婚したが離別・死別している | 40 | 9 | 10 | 20 | 0 | 1 |
| | 100.0 | 22.5 | 25.0 | 50.0 | 0.0 | 2.5 | |
| 子どもの人数 | 1人 | 137 | 19 | 55 | 62 | 0 | 1 |
| | | 100.0 | 13.9 | 40.1 | 45.3 | 0.0 | 0.7 |
| | 2人 | 181 | 18 | 63 | 95 | 4 | 1 |
| | | 100.0 | 9.9 | 34.8 | 52.5 | 2.2 | 0.6 |
| | 3人 | 28 | 3 | 13 | 9 | 1 | 2 |
| | 100.0 | 10.7 | 46.4 | 32.1 | 3.6 | 7.1 | |
| | 4人 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 100.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |

現実

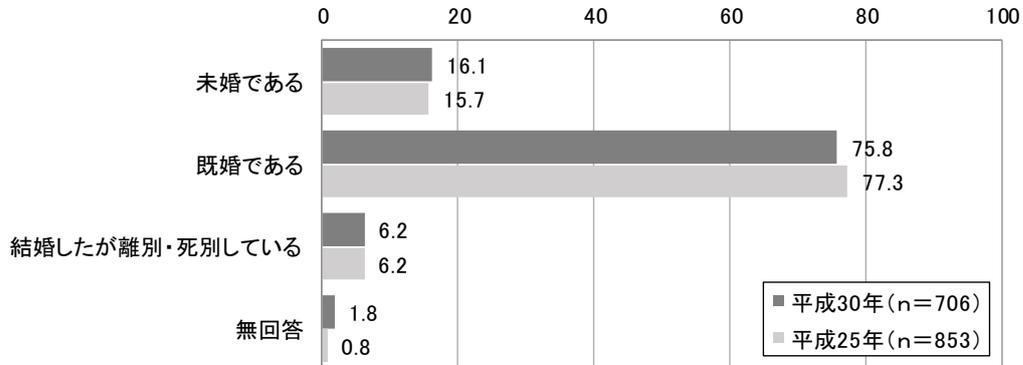


| | 合計 | ②生活の中での時間の優先度 (現実) | | | | | |
|--------|----------------|--------------------|-------------|-------------|------------|-----------|----------|
| | | 仕事を優先 | 家事(育児)を優先 | プライベートを優先 | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 552 100.0 | 306 55.4 | 140 25.4 | 83 15.0 | 10 1.8 | 13 2.4 | |
| 年齢 | 29歳以下 | 50 100.0 | 29 58.0 | 2 4.0 | 17 34.0 | 1 2.0 | 1 2.0 |
| | 30歳代 | 73 100.0 | 40 54.8 | 26 35.6 | 6 8.2 | 1 1.4 | 0 0.0 |
| | 40歳代 | 183 100.0 | 93 50.8 | 60 32.8 | 23 12.6 | 1 0.5 | 6 3.3 |
| | 50歳代 | 178 100.0 | 104 58.4 | 40 22.5 | 25 14.0 | 5 2.8 | 4 2.2 |
| | 60歳以上 | 67 100.0 | 39 58.2 | 12 17.9 | 12 17.9 | 2 3.0 | 2 3.0 |
| 結婚の状況 | 未婚である | 91 100.0 | 59 64.8 | 2 2.2 | 25 27.5 | 2 2.2 | 3 3.3 |
| | 既婚である | 415 100.0 | 220 53.0 | 132 31.8 | 47 11.3 | 7 1.7 | 9 2.2 |
| | 結婚したが離別・死別している | 40 100.0 | 24 60.0 | 5 12.5 | 9 22.5 | 1 2.5 | 1 2.5 |
| 子どもの人数 | 1人 | 137 100.0 | 80 58.4 | 39 28.5 | 15 10.9 | 2 1.5 | 1 0.7 |
| | 2人 | 181 100.0 | 84 46.4 | 72 39.8 | 18 9.9 | 2 1.1 | 5 2.8 |
| | 3人 | 28 100.0 | 11 39.3 | 12 42.9 | 4 14.3 | 0 0.0 | 1 3.6 |
| | 4人 | 1 100.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |

3. 回答者の結婚や子育てなどについて

問9 結婚の状況（単回答）

・「既婚である」が75.8%と最も高くなっています。 (％)

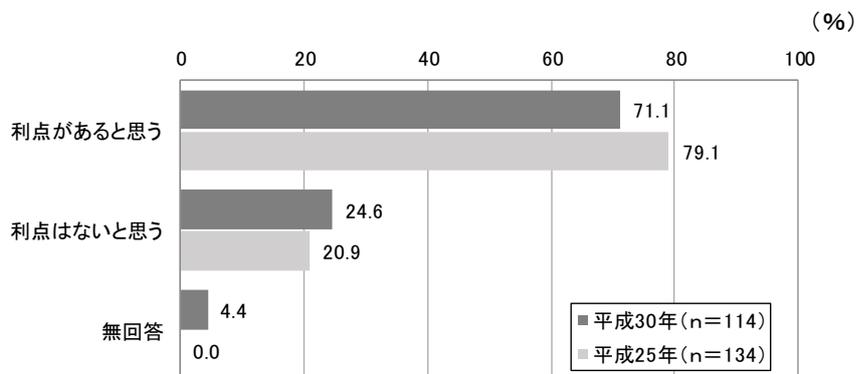


問9-1 結婚することを感じる利点（単回答、複数回答）

【問9で「1. 未婚である」と回答した方限定】

【利点の有無】

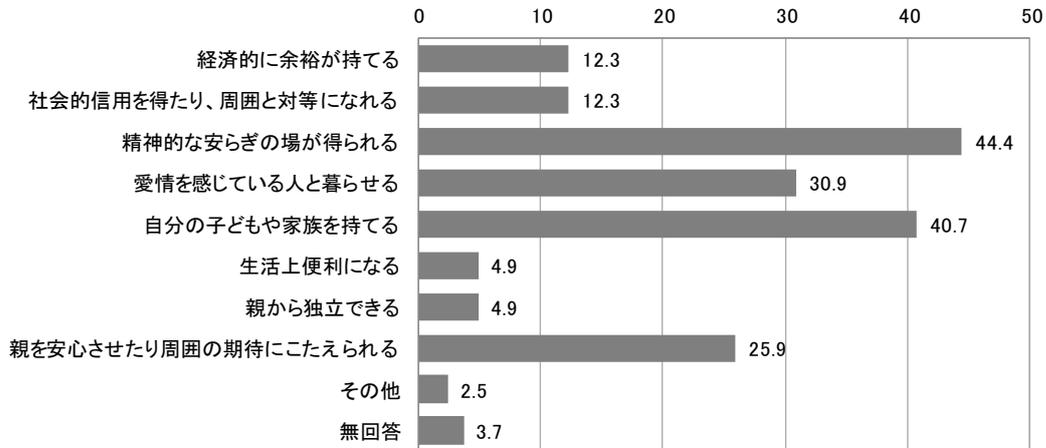
・「利点があると思う」が71.1%と最も高くなっていますが、平成25年調査と比べると8.0ポイント減少しています。



| | | 合計 | 問9-1 結婚することを感じる利点 | | |
|----|-------|--------------|-------------------|------------|-----------|
| | | | 利点があると思う | 利点はないと思う | 無回答 |
| 全体 | | 114 100.0 | 81 71.1 | 28 24.6 | 5 4.4 |
| 性別 | 男性 | 55 100.0 | 39 70.9 | 14 25.5 | 2 3.6 |
| | 女性 | 59 100.0 | 42 71.2 | 14 23.7 | 3 5.1 |
| 年齢 | 29歳以下 | 57 100.0 | 44 77.2 | 13 22.8 | 0 0.0 |
| | 30歳代 | 21 100.0 | 17 81.0 | 4 19.0 | 0 0.0 |
| | 40歳代 | 22 100.0 | 13 59.1 | 6 27.3 | 3 13.6 |
| | 50歳代 | 12 100.0 | 5 41.7 | 5 41.7 | 2 16.7 |
| | 60歳以上 | 2 100.0 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | | | | | |

[理由]

- ・「精神的な安らぎの場が得られる」が44.4%と最も高く、次いで「自分の子どもや家族を持てる」が40.7%と高くなっています。



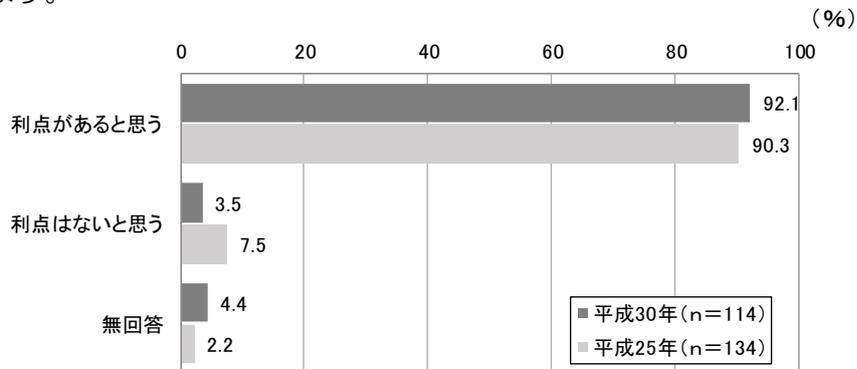
n=81

問9-2 独身生活に感じる利点（単回答、複数回答）

【問9で「1. 未婚である」と回答した方限定】

[利点の有無]

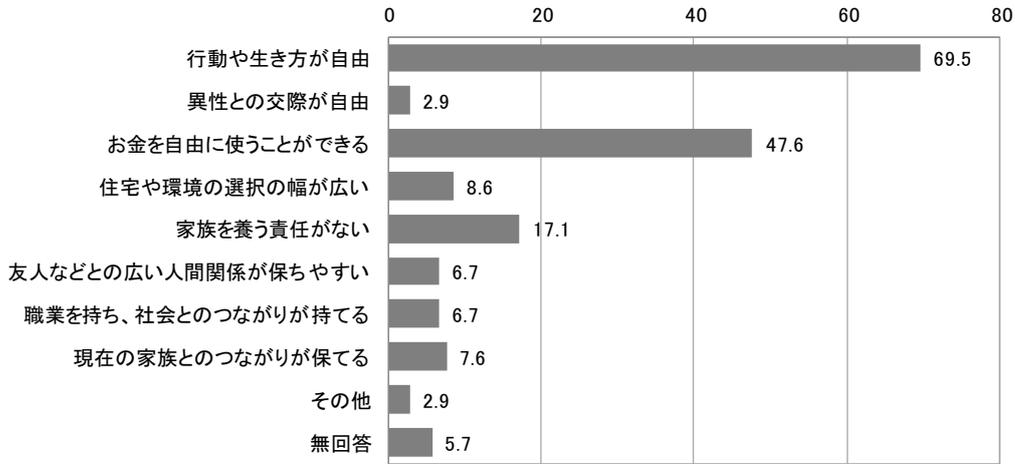
- ・「利点があると思う」が92.1%と最も高くなっており、平成25年調査と比較すると、1.8ポイント増加しています。



| | | 合計 | 問9-2 独身生活に感じる利点 | | |
|----|-------|--------------|-----------------|----------|-----------|
| | | | 利点があると思う | 利点はないと思う | 無回答 |
| 全体 | | 114 100.0 | 105 92.1 | 4 3.5 | 5 4.4 |
| 性別 | 男性 | 55 100.0 | 51 92.7 | 2 3.6 | 2 3.6 |
| | 女性 | 59 100.0 | 54 91.5 | 2 3.4 | 3 5.1 |
| 年齢 | 29歳以下 | 57 100.0 | 54 94.7 | 3 5.3 | 0 0.0 |
| | 30歳代 | 21 100.0 | 21 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 40歳代 | 22 100.0 | 18 81.8 | 1 4.5 | 3 13.6 |
| | 50歳代 | 12 100.0 | 10 83.3 | 0 0.0 | 2 16.7 |
| | 60歳以上 | 2 100.0 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | | | | | |

[理由]

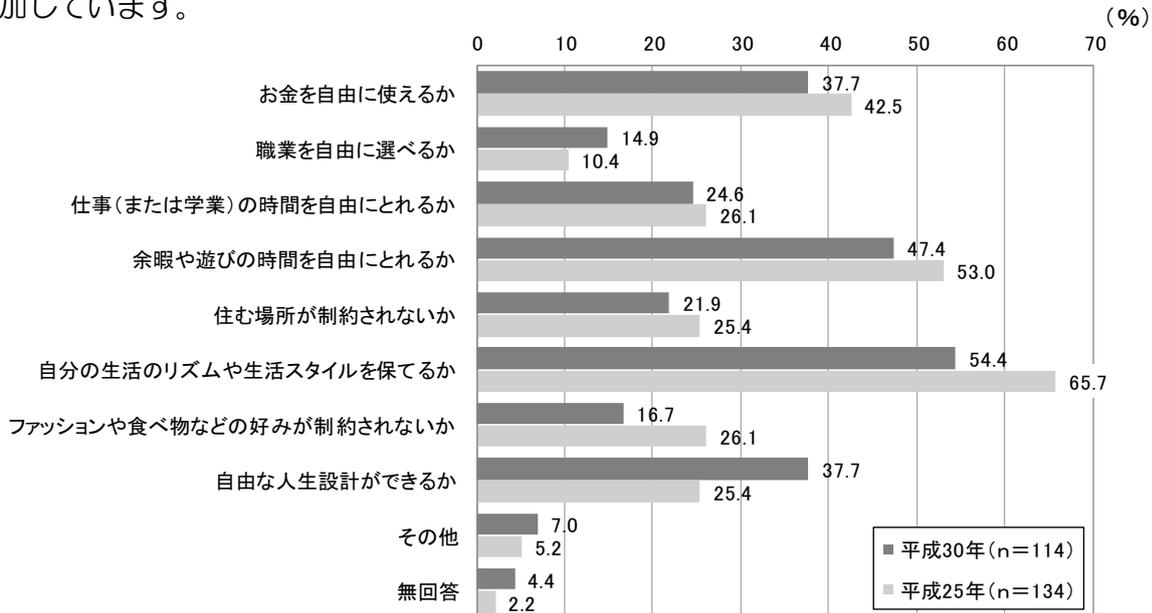
- 「行動や生き方が自由」が69.5%と最も高く、次いで「お金を自由に使うことができる」が47.6%と高くなっています。(%)



n=105

問9-3 結婚を考えるとときに気になること（複数回答）

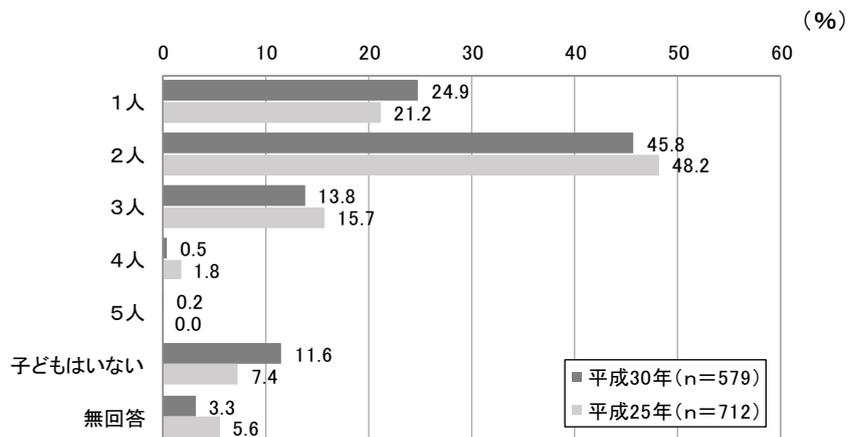
- 「自分の生活のリズムや生活スタイルを保てるか」が54.4%、「余暇や遊びの時間を自由にとれるか」が47.4%、「お金を自由に使えるか」「自由な人生設計ができるか」が37.7%と順に高くなっています。
- 平成25年調査と比較すると、「職業を自由に選べるか」と「自由な人生設計ができるか」が増加しています。



問9-4 子どもの人数（同居以外も含む）（単回答）

【問9で「2.」「3.」と回答した方限定】

- 「2人」が45.8%と最も高くなっています。
- 平成25年調査と比べると、「1人」が3.7ポイント増加し、「3人」が1.9ポイント減少しています。

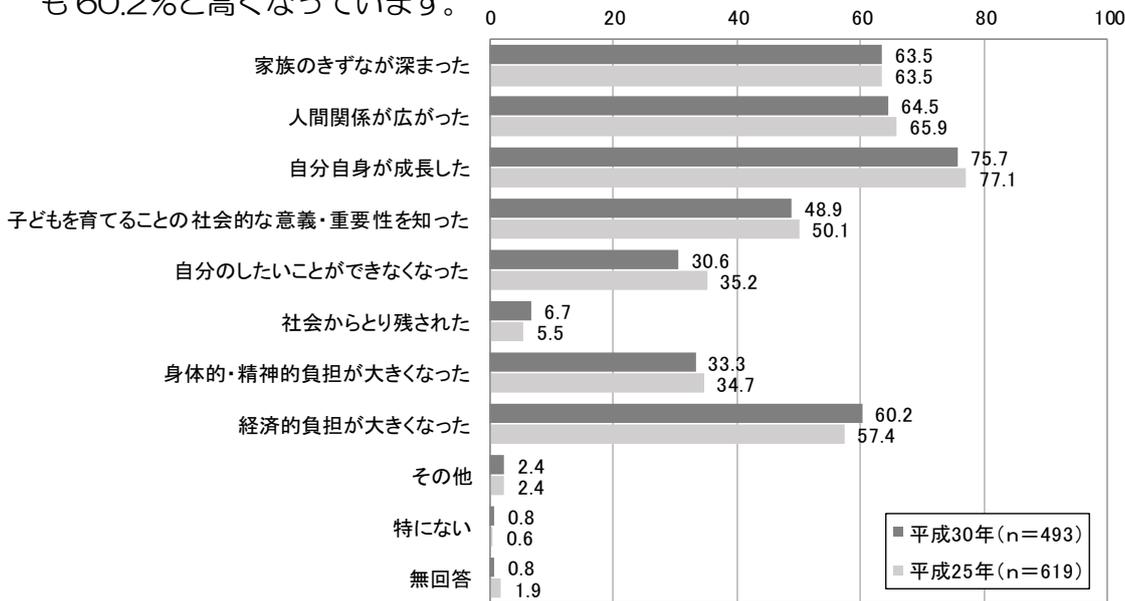


| | 合計 | 問9-4 子どもの人数（同居以外も含む） | | | | | | | |
|-----|-------|----------------------|------|------|------|-----|---------|------|-----|
| | | 1人 | 2人 | 3人 | 4人 | 5人 | 子どもはいない | 無回答 | |
| 全体 | 579 | 144 | 265 | 80 | 3 | 1 | 67 | 19 | |
| | 100.0 | 24.9 | 45.8 | 13.8 | 0.5 | 0.2 | 11.6 | 3.3 | |
| 居住地 | 元町 | 196 | 48 | 77 | 28 | 2 | 0 | 35 | 6 |
| | | 100.0 | 24.5 | 39.3 | 14.3 | 1.0 | 0.0 | 17.9 | 3.1 |
| | 中町 | 189 | 49 | 90 | 27 | 0 | 1 | 15 | 7 |
| | | 100.0 | 25.9 | 47.6 | 14.3 | 0.0 | 0.5 | 7.9 | 3.7 |
| 新町 | 187 | 45 | 96 | 24 | 1 | 0 | 16 | 5 | |
| | 100.0 | 24.1 | 51.3 | 12.8 | 0.5 | 0.0 | 8.6 | 2.7 | |

問9-5 子育てを経験して感じる事（複数回答）

【問9-4でお子さんの人数を回答した方限定】

・「自分自身が成長した」が75.7%と最も高くなっています。また、「経済的負担が大きくなった」も60.2%と高くなっています。

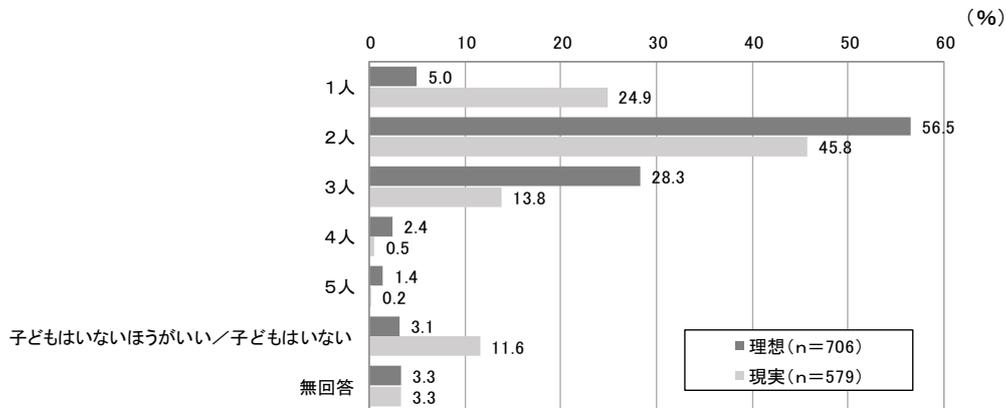


| | 合計 | 問9-5 子育てを経験して感じる事 | | | | | | |
|--------|--------------|-------------------|-------------|-------------|--------------------------|------------------|-------------|-----------|
| | | 家族のきずなが深まった | 人間関係が広がった | 自分自身が成長した | 子どもを育てることの社会的な意義・重要性を知った | 自分のしたいことができなくなった | 社会からとり残された | |
| 全体 | 493 100.0 | 313 63.5 | 318 64.5 | 373 75.7 | 241 48.9 | 151 30.6 | 33 6.7 | |
| 性別 | 男性 | 122 100.0 | 94 77.0 | 50 41.0 | 83 68.0 | 70 57.4 | 37 30.3 | 0 0.0 |
| | 女性 | 371 100.0 | 219 59.0 | 268 72.2 | 290 78.2 | 171 46.1 | 114 30.7 | 33 8.9 |
| 子どもの人数 | 1人 | 171 100.0 | 98 57.3 | 97 56.7 | 122 71.3 | 79 46.2 | 55 32.2 | 15 8.8 |
| | 2人 | 214 100.0 | 144 67.3 | 148 69.2 | 163 76.2 | 103 48.1 | 74 34.6 | 17 7.9 |
| | 3人 | 37 100.0 | 22 59.5 | 31 83.8 | 32 86.5 | 25 67.6 | 11 29.7 | 0 0.0 |
| | 4人 | 1 100.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |

| | 合計 | 問9-5 子育てを経験して感じる事 | | | | | |
|--------|--------------|-------------------|--------------|-------------|-----------|----------|----------|
| | | 身体的・精神的負担が大きくなった | 経済的負担が大きくなった | その他 | 特にない | 無回答 | |
| 全体 | 493 100.0 | 164 33.3 | 297 60.2 | 12 2.4 | 4 0.8 | 4 0.8 | |
| 性別 | 男性 | 122 100.0 | 25 20.5 | 80 65.6 | 1 0.8 | 3 2.5 | 2 1.6 |
| | 女性 | 371 100.0 | 139 37.5 | 217 58.5 | 11 3.0 | 1 0.3 | 2 0.5 |
| 子どもの人数 | 1人 | 171 100.0 | 48 28.1 | 86 50.3 | 8 4.7 | 1 0.6 | 3 1.8 |
| | 2人 | 214 100.0 | 82 38.3 | 144 67.3 | 4 1.9 | 2 0.9 | 1 0.5 |
| | 3人 | 37 100.0 | 16 43.2 | 28 75.7 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 4人 | 1 100.0 | 1 100.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |

問 10 理想とする子どもの人数（単回答）

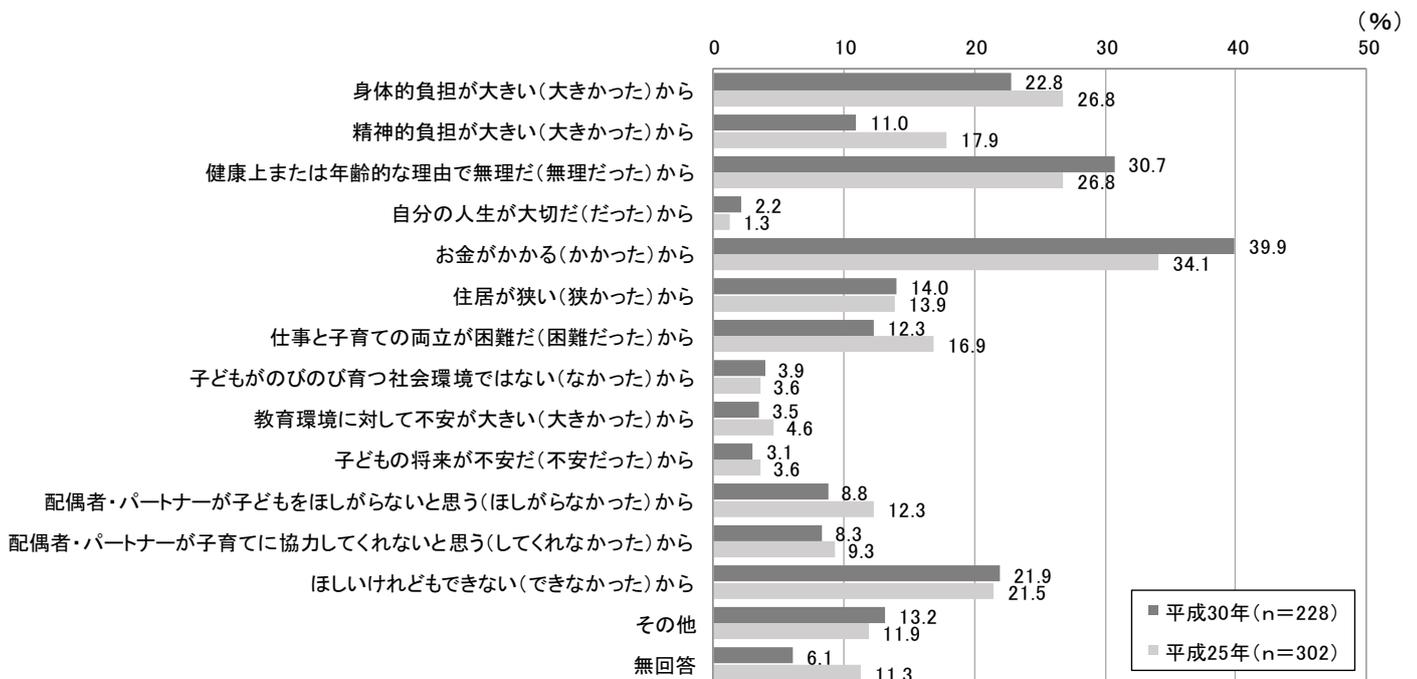
- ・理想と現実ともに「2人」が最も高くなっています。
- ・「1人」は現実が理想と比べ 19.9 ポイント高く、逆に「3人」は理想が現実と比べ 14.5 ポイント高くなっています。



問 11 理想の子どもの人数より、実際の子どもの人数が少ない理由（複数回答）

【問 10 の理想の人数より実際の子どもの人数が少ない方限定】

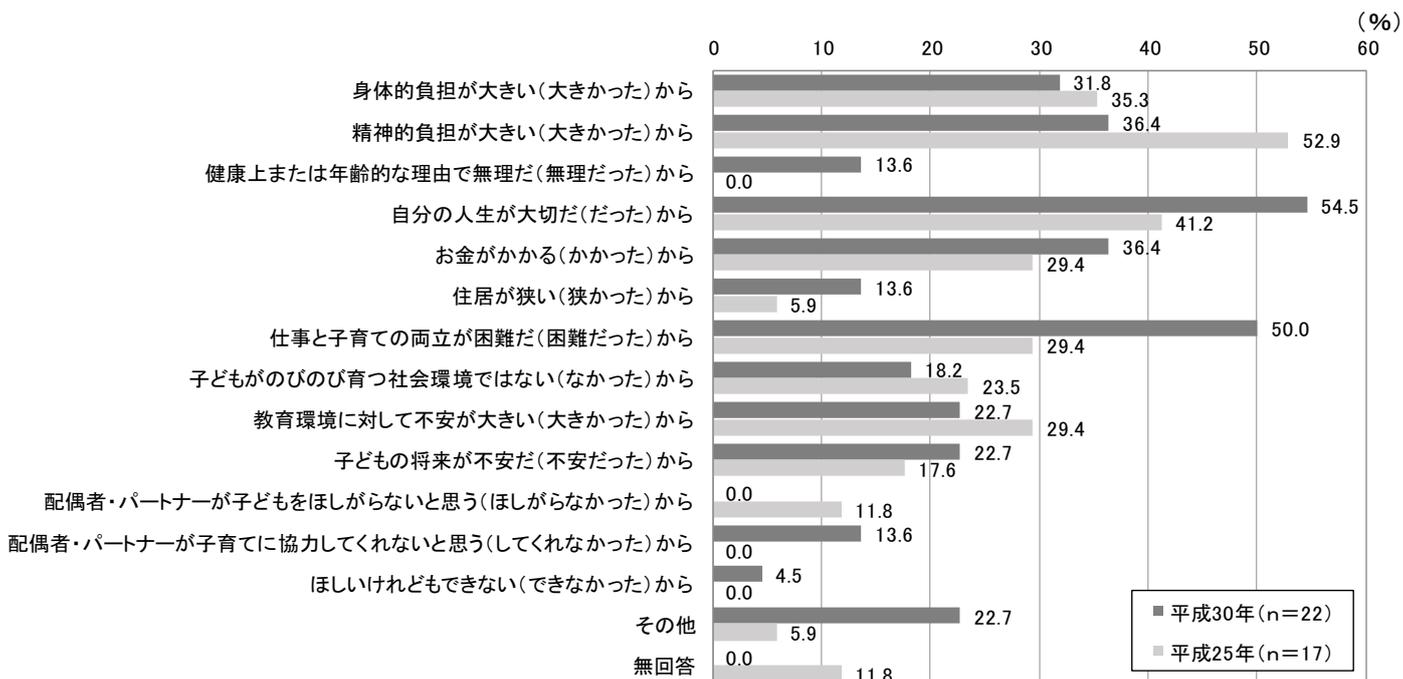
- ・「お金がかかる（かかった）から」が 39.9%と最も高く、次いで「健康上または年齢的な理由で無理だ（無理だった）から」が 30.7%と多くなっています。
- ・平成 25 年調査と比較しても、「お金がかかる（かかった）から」と「健康上または年齢的な理由で無理だ（無理だった）から」が大きく増加しています。



問 12 子どもがいないほうがよい理由（複数回答）

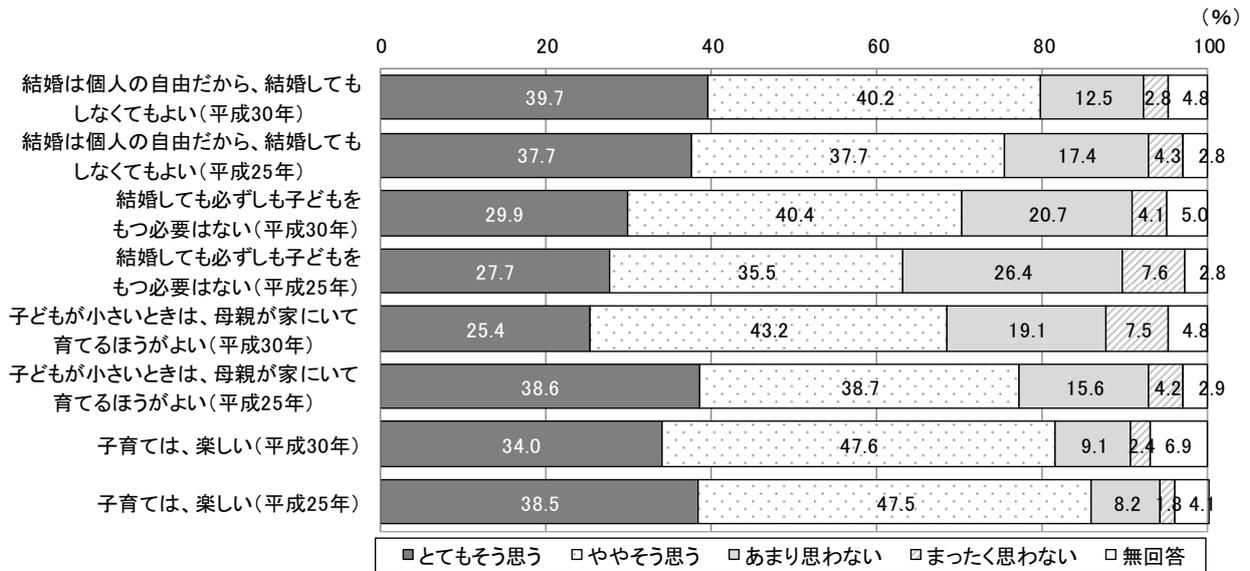
【問 10 で「6. 子どもはいないほうがよい」と回答した方限定】

- 「自分の人生が大切だ（だった）から」が 54.5% と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立が困難だ（困難だった）から」が 50.0% と高くなっています。
- 平成 25 年調査と比較すると、「仕事と子育ての両立が困難だ（困難だった）から」が 20.6 ポイント、「健康上または年齢的な理由で無理だ（無理だった）から」「配偶者・パートナーが子育てに協力してくれないと思う（してくれなかった）から」が 13.6 ポイント増加しています。



問 13 結婚や子育てに関する考え方（単回答）

- 「結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもよい」「結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない」「子育ては、楽しい」に関しては、約3割の方が「とてもそう思う」と回答していますが、子どもが小さいときは、母親が家にいて育てるほうがよいについては「とてもそう思う」が25.4%となっています。
- 平成25年調査と比較すると、子どもが小さいときは、母親が家にいて育てるほうがよいについて「とてもそう思う」が13.2ポイント減少しています。

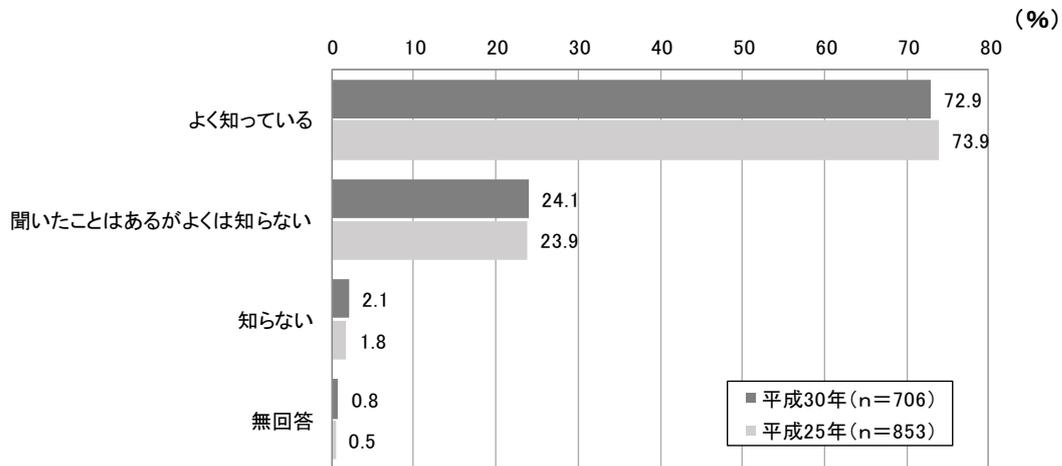


平成30年(n=706)
平成25年(n=853)

4. 少子化などについて

問 14 出生率の低下や子どもの減少についての認知度（単回答）

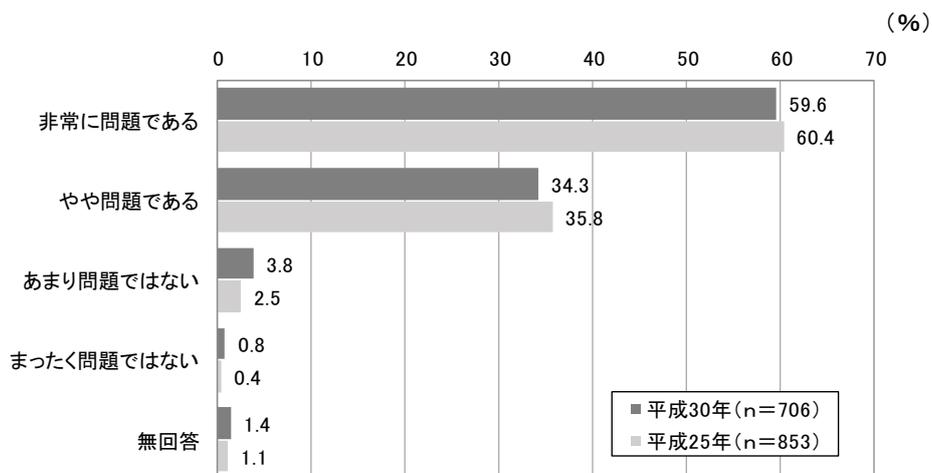
- 「よく知っている」が72.9%と最も高くなっています。
- 年齢が上がるほど、子どもの数が増えるほど、「よく知っている」割合が高くなっています。



| | | 合計 | 問14 出生率の低下や子どもの減少についての認知度 | | | |
|--------|-------|--------------|---------------------------|------------------|-----------|------------|
| | | | よく知っている | 聞いたことはあるがよくは知らない | 知らない | 無回答 |
| 全体 | | 706 100.0 | 515 72.9 | 170 24.1 | 15 2.1 | 6 0.8 |
| 性別 | 男性 | 214 100.0 | 170 79.4 | 35 16.4 | 7 3.3 | 2 0.9 |
| | 女性 | 492 100.0 | 345 70.1 | 135 27.4 | 8 1.6 | 4 0.8 |
| 年齢 | 29歳以下 | 74 100.0 | 43 58.1 | 28 37.8 | 2 2.7 | 1 1.4 |
| | 30歳代 | 110 100.0 | 77 70.0 | 31 28.2 | 1 0.9 | 1 0.9 |
| | 40歳代 | 207 100.0 | 147 71.0 | 55 26.6 | 5 2.4 | 0 0.0 |
| | 50歳代 | 219 100.0 | 170 77.6 | 44 20.1 | 3 1.4 | 2 0.9 |
| | 60歳以上 | 94 100.0 | 76 80.9 | 12 12.8 | 4 4.3 | 2 2.1 |
| 子どもの人数 | 1人 | 184 100.0 | 132 71.7 | 45 24.5 | 4 2.2 | 3 1.6 |
| | 2人 | 220 100.0 | 163 74.1 | 52 23.6 | 4 1.8 | 1 0.5 |
| | 3人 | 40 100.0 | 32 80.0 | 6 15.0 | 1 2.5 | 1 2.5 |
| | 4人 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 100.0 |

問 15 出生率の低下について感じる事（単回答）

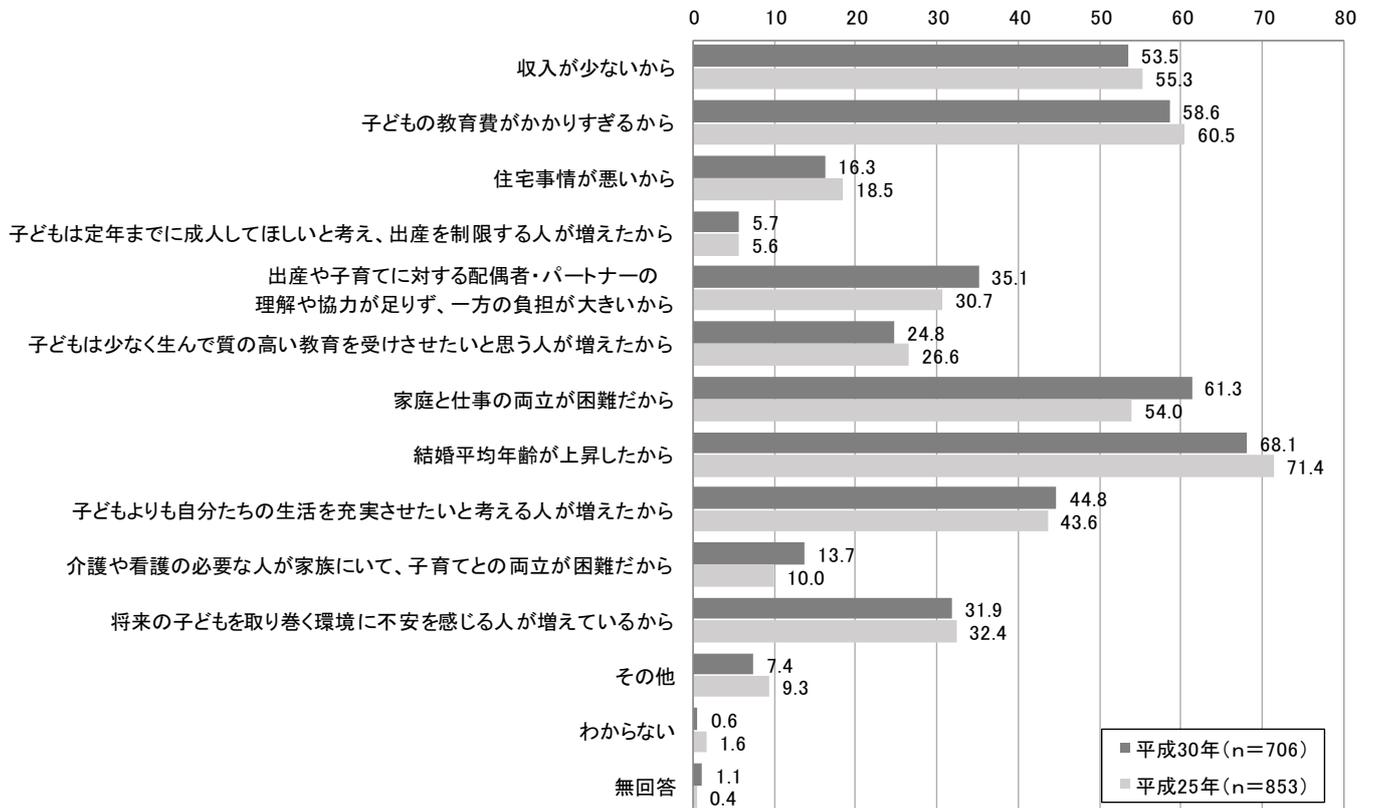
- ・「非常に問題である」が59.6%と最も高くなっています。
- ・“29歳以下”で「非常に問題である」より「やや問題である」が高くなっています。



| | | 合計 | 問15 出生率の低下について感じる事 | | | | |
|--------|-------|--------------|--------------------|-------------|-----------|------------|------------|
| | | | 非常に問題である | やや問題である | あまり問題ではない | まったく問題ではない | 無回答 |
| 全体 | | 706 100.0 | 421 59.6 | 242 34.3 | 27 3.8 | 6 0.8 | 10 1.4 |
| 性別 | 男性 | 214 100.0 | 154 72.0 | 46 21.5 | 8 3.7 | 2 0.9 | 4 1.9 |
| | 女性 | 492 100.0 | 267 54.3 | 196 39.8 | 19 3.9 | 4 0.8 | 6 1.2 |
| 年齢 | 29歳以下 | 74 100.0 | 34 45.9 | 36 48.6 | 2 2.7 | 0 0.0 | 2 2.7 |
| | 30歳代 | 110 100.0 | 57 51.8 | 44 40.0 | 5 4.5 | 3 2.7 | 1 0.9 |
| | 40歳代 | 207 100.0 | 136 65.7 | 66 31.9 | 5 2.4 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 50歳代 | 219 100.0 | 133 60.7 | 68 31.1 | 11 5.0 | 2 0.9 | 5 2.3 |
| | 60歳以上 | 94 100.0 | 59 62.8 | 28 29.8 | 4 4.3 | 1 1.1 | 2 2.1 |
| 子どもの人数 | 1人 | 184 100.0 | 113 61.4 | 56 30.4 | 10 5.4 | 2 1.1 | 3 1.6 |
| | 2人 | 220 100.0 | 140 63.6 | 74 33.6 | 4 1.8 | 1 0.5 | 1 0.5 |
| | 3人 | 40 100.0 | 25 62.5 | 12 30.0 | 1 2.5 | 0 0.0 | 2 5.0 |
| | 4人 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 100.0 |

問 16 出生率低下の理由（複数回答）

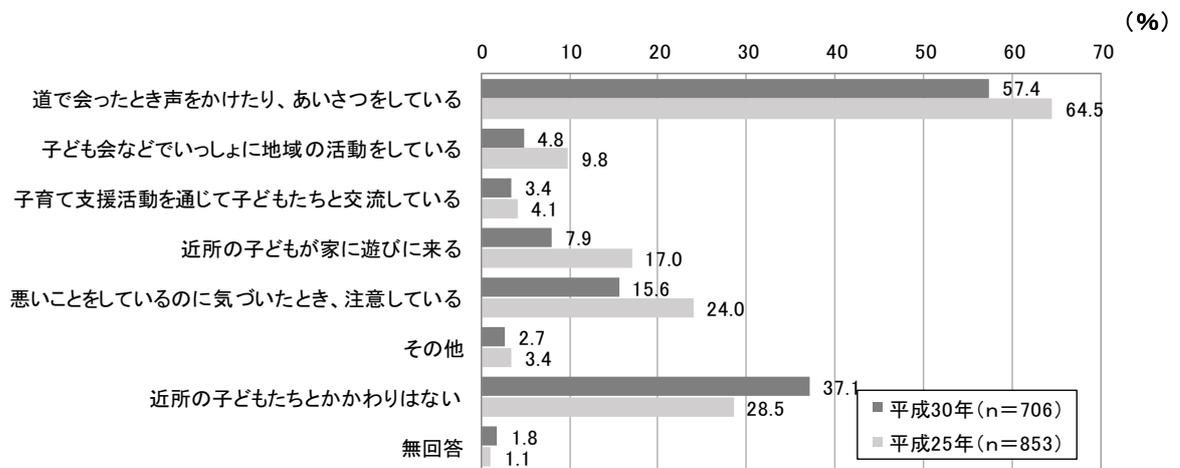
- 「結婚平均年齢が上昇したから」が68.1%、「家庭と仕事の両立が困難だから」が61.3%、「子どもの教育費がかかりすぎるから」が58.6%と順に高くなっています。
- 平成25年調査と比較すると、「家庭と仕事の両立が困難だから」が7.3ポイント、「出産や子育てに対する配偶者・パートナーの理解や協力が足りず、一方の負担が大きいから」4.4ポイント増加しています。



5. 子どもや子育てなどについて

問 17 近所の子どもたちとの接し方（複数回答）

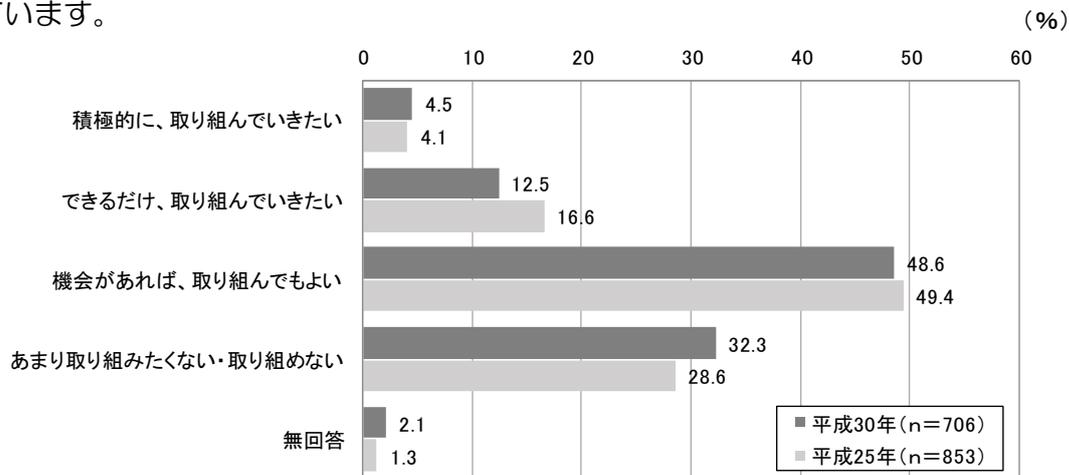
- 「道で会ったとき声をかけたり、あいさつをしている」が最も高くなっていますが、平成 25 年調査と比べると、7.1 ポイント減少しています。
- 「近所の子どもたちとかかわりはない」は 37.1%で、平成 25 年調査と比べて 8.6%増加しています。
- 性別で見ると“男性”で、年齢別にみると“29 歳以下”“30 歳代”で、結婚の状況ごとに見ると“未婚である”で「近所の子どもたちとかかわりはない」が高くなっています。



| | | 合計 | 問17 近所の子どもたちとの接し方 | | | | | | | 無回答 |
|------------|--------------------|--------------|-----------------------------|------------------------|-------------------------|----------------|--------------------------|------------|------------------|-----------|
| | | | 道で会ったとき声をかけた り、あいさつをしている | 子ども会などでいっしょに地域の活動をしている | 子育て支援活動を通じて子どもたちと交流している | 近所の子どもが家に遊びに来る | 悪いことをしているのに気づいたとき、注意している | その他 | 近所の子どもたちとかかわりはない | |
| 全体 | | 706 100.0 | 405 57.4 | 34 4.8 | 24 3.4 | 56 7.9 | 110 15.6 | 19 2.7 | 262 37.1 | 13 1.8 |
| 性別 | 男性 | 214 100.0 | 93 43.5 | 10 4.7 | 3 1.4 | 11 5.1 | 22 10.3 | 5 2.3 | 105 49.1 | 6 2.8 |
| | 女性 | 492 100.0 | 312 63.4 | 24 4.9 | 21 4.3 | 45 9.1 | 88 17.9 | 14 2.8 | 157 31.9 | 7 1.4 |
| 年齢 | 29歳以下 | 74 100.0 | 22 29.7 | 1 1.4 | 1 1.4 | 1 1.4 | 2 2.7 | 2 2.7 | 49 66.2 | 1 1.4 |
| | 30歳代 | 110 100.0 | 48 43.6 | 5 4.5 | 5 4.5 | 11 10.0 | 12 10.9 | 7 6.4 | 53 48.2 | 4 3.6 |
| | 40歳代 | 207 100.0 | 132 63.8 | 17 8.2 | 8 3.9 | 33 15.9 | 38 18.4 | 5 2.4 | 67 32.4 | 2 1.0 |
| | 50歳代 | 219 100.0 | 147 67.1 | 8 3.7 | 8 3.7 | 9 4.1 | 39 17.8 | 4 1.8 | 65 29.7 | 1 0.5 |
| | 60歳以上 | 94 100.0 | 54 57.4 | 3 3.2 | 2 2.1 | 2 2.1 | 19 20.2 | 1 1.1 | 28 29.8 | 5 5.3 |
| 居住地 域 | 元町 | 257 100.0 | 122 47.5 | 10 3.9 | 8 3.1 | 21 8.2 | 29 11.3 | 7 2.7 | 117 45.5 | 8 3.1 |
| | 中町 | 227 100.0 | 134 59.0 | 15 6.6 | 12 5.3 | 19 8.4 | 39 17.2 | 8 3.5 | 78 34.4 | 2 0.9 |
| | 新町 | 213 100.0 | 145 68.1 | 9 4.2 | 4 1.9 | 15 7.0 | 41 19.2 | 4 1.9 | 62 29.1 | 3 1.4 |
| 結婚の 状況 | 未婚である | 114 100.0 | 30 26.3 | 1 0.9 | 2 1.8 | 1 0.9 | 5 4.4 | 3 2.6 | 76 66.7 | 4 3.5 |
| | 既婚である | 535 100.0 | 346 64.7 | 33 6.2 | 22 4.1 | 50 9.3 | 95 17.8 | 15 2.8 | 163 30.5 | 8 1.5 |
| | 結婚したが離別・ 死別している | 44 100.0 | 23 52.3 | 0 0.0 | 0 0.0 | 3 6.8 | 8 18.2 | 1 2.3 | 17 38.6 | 1 2.3 |
| 子ども の人数 | 1人 | 184 100.0 | 115 62.5 | 10 5.4 | 4 2.2 | 16 8.7 | 23 12.5 | 9 4.9 | 59 32.1 | 3 1.6 |
| | 2人 | 220 100.0 | 154 70.0 | 17 7.7 | 11 5.0 | 30 13.6 | 49 22.3 | 4 1.8 | 56 25.5 | 1 0.5 |
| | 3人 | 40 100.0 | 34 85.0 | 6 15.0 | 4 10.0 | 8 20.0 | 11 27.5 | 1 2.5 | 2 5.0 | 1 2.5 |
| | 4人 | 1 100.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |

問 18 子どもや子育て家庭に対する活動への参加意向（単回答）

- ・「機会があれば、取り組んでもよい」が最も高くなっています。
- ・“未婚である”では「あまり取り組みたくない・取り組めない」が高くなっています。
- ・平成 25 年調査と比較すると、「あまり取り組みたくない・取り組めない」が 3.7 ポイント増加しています。

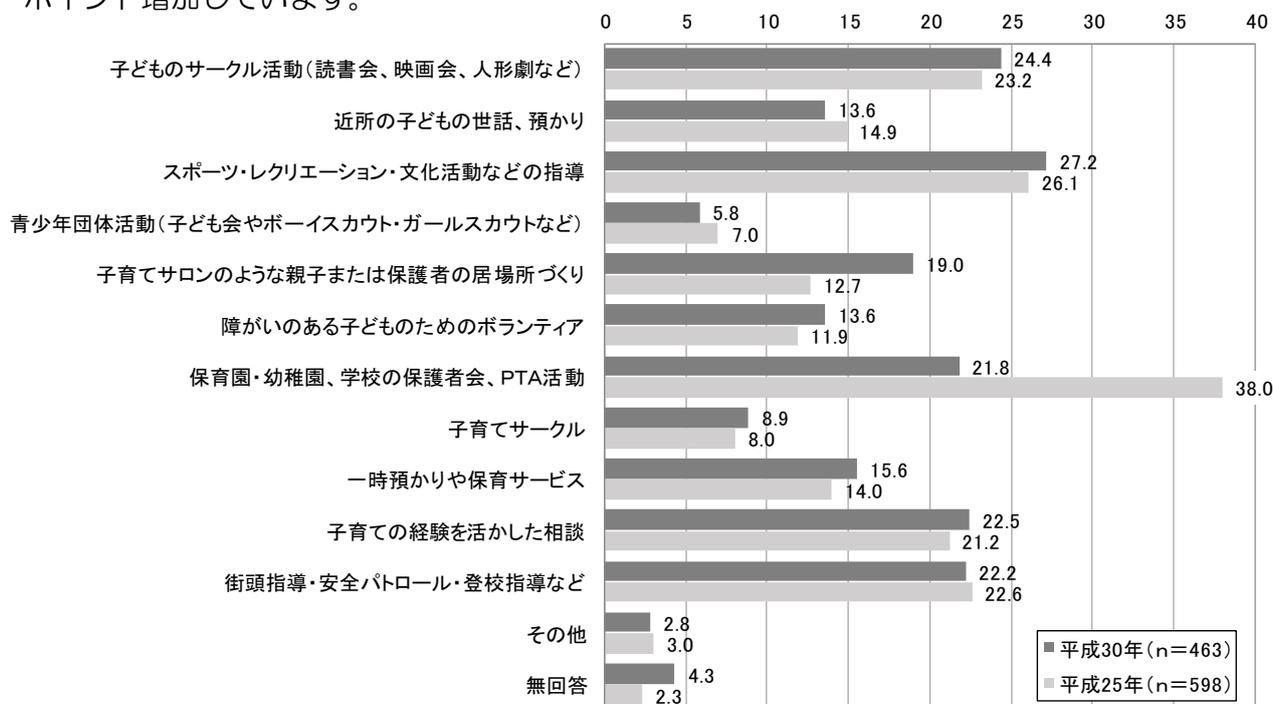


| | | 合計 | 問18 子どもや子育て家庭に対する活動への参加意向 | | | | |
|-------|----------------|--------------|---------------------------|-----------------|-----------------|--------------------|------------|
| | | | 積極的に、取り組んでいきたい | できるだけ、取り組んでいきたい | 機会があれば、取り組んでもよい | あまり取り組みたくない・取り組めない | 無回答 |
| 全体 | | 706 100.0 | 32 4.5 | 88 12.5 | 343 48.6 | 228 32.3 | 15 2.1 |
| 年齢 | 29歳以下 | 74 100.0 | 6 8.1 | 10 13.5 | 33 44.6 | 24 32.4 | 1 1.4 |
| | 30歳代 | 110 100.0 | 6 5.5 | 25 22.7 | 52 47.3 | 25 22.7 | 2 1.8 |
| | 40歳代 | 207 100.0 | 14 6.8 | 24 11.6 | 89 43.0 | 77 37.2 | 3 1.4 |
| | 50歳代 | 219 100.0 | 5 2.3 | 18 8.2 | 117 53.4 | 72 32.9 | 7 3.2 |
| | 60歳以上 | 94 100.0 | 1 1.1 | 11 11.7 | 50 53.2 | 30 31.9 | 2 2.1 |
| | 居住地域 | 元町 | 257 100.0 | 14 5.4 | 32 12.5 | 119 46.3 | 85 33.1 |
| 中町 | | 227 100.0 | 15 6.6 | 31 13.7 | 107 47.1 | 68 30.0 | 6 2.6 |
| 新町 | | 213 100.0 | 3 1.4 | 23 10.8 | 112 52.6 | 73 34.3 | 2 0.9 |
| 結婚の状況 | 未婚である | 114 100.0 | 5 4.4 | 13 11.4 | 43 37.7 | 50 43.9 | 3 2.6 |
| | 既婚である | 535 100.0 | 26 4.9 | 69 12.9 | 274 51.2 | 156 29.2 | 10 1.9 |
| | 結婚したが離別・死別している | 44 100.0 | 1 2.3 | 3 6.8 | 23 52.3 | 17 38.6 | 0 0.0 |

問 18-1 参加したい子どもや子育て家庭に対する活動（複数回答）

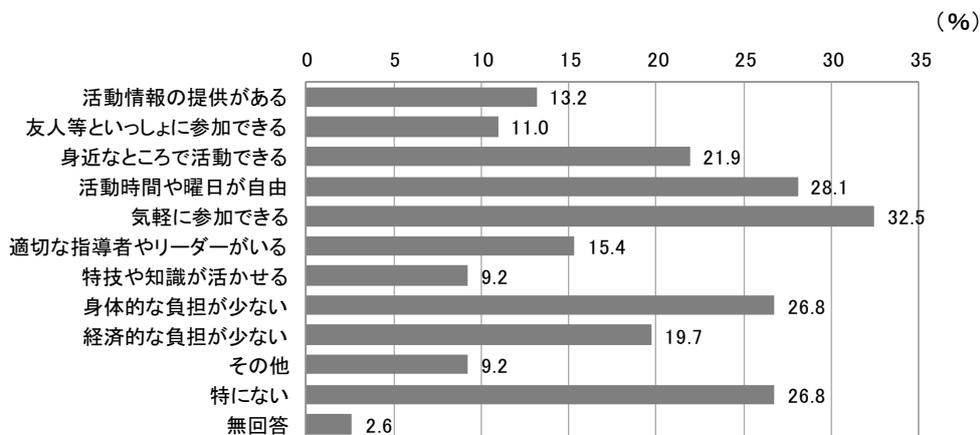
【問 18 で「1.」「2.」「3.」と回答した方限定】

- ・「スポーツ・レクリエーション・文化活動などの指導」が27.2%と最も高く、次いで「子どものサークル活動（読書会、映画会、人形劇など）」が24.4%と高くなっています。
- ・平成25年調査と比較すると、「子育てサロンのような親子または保護者の居場所づくり」が6.3ポイント増加しています。



問 18-2 子どもや子育て家庭に対する活動に参加しやすくなるために必要なこと（複数回答） 【問 18 で「4. あまり取り組みたくない・取り組めない」と回答した方限定】

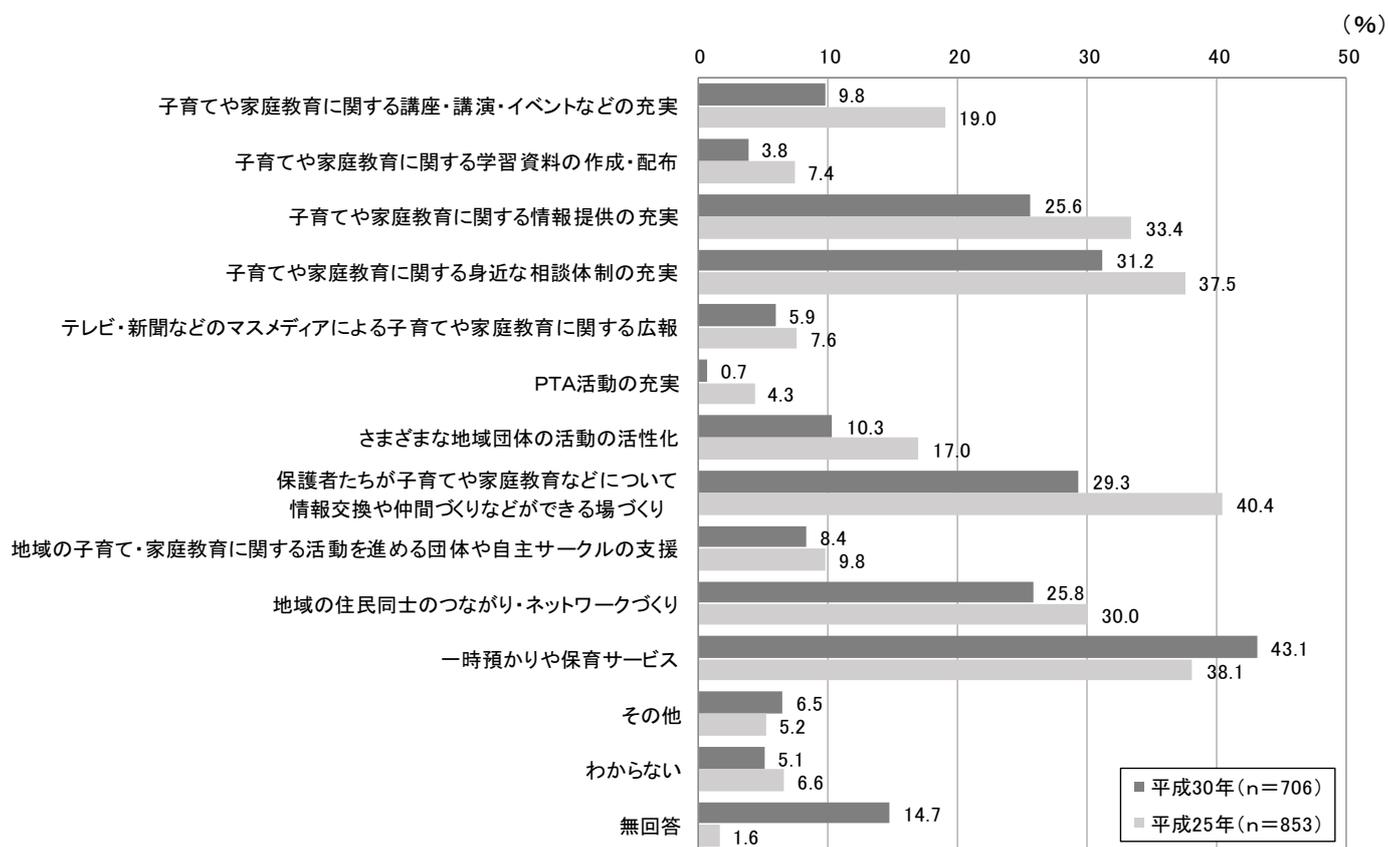
- ・「気軽に参加できる」が32.5%、「活動時間や曜日が自由」が28.1%、「身体的な負担が少ない」が26.8%と順に高くなっています。



n=228

問 19 子育てや家庭教育の支援のために、必要だと思うこと（複数回答）

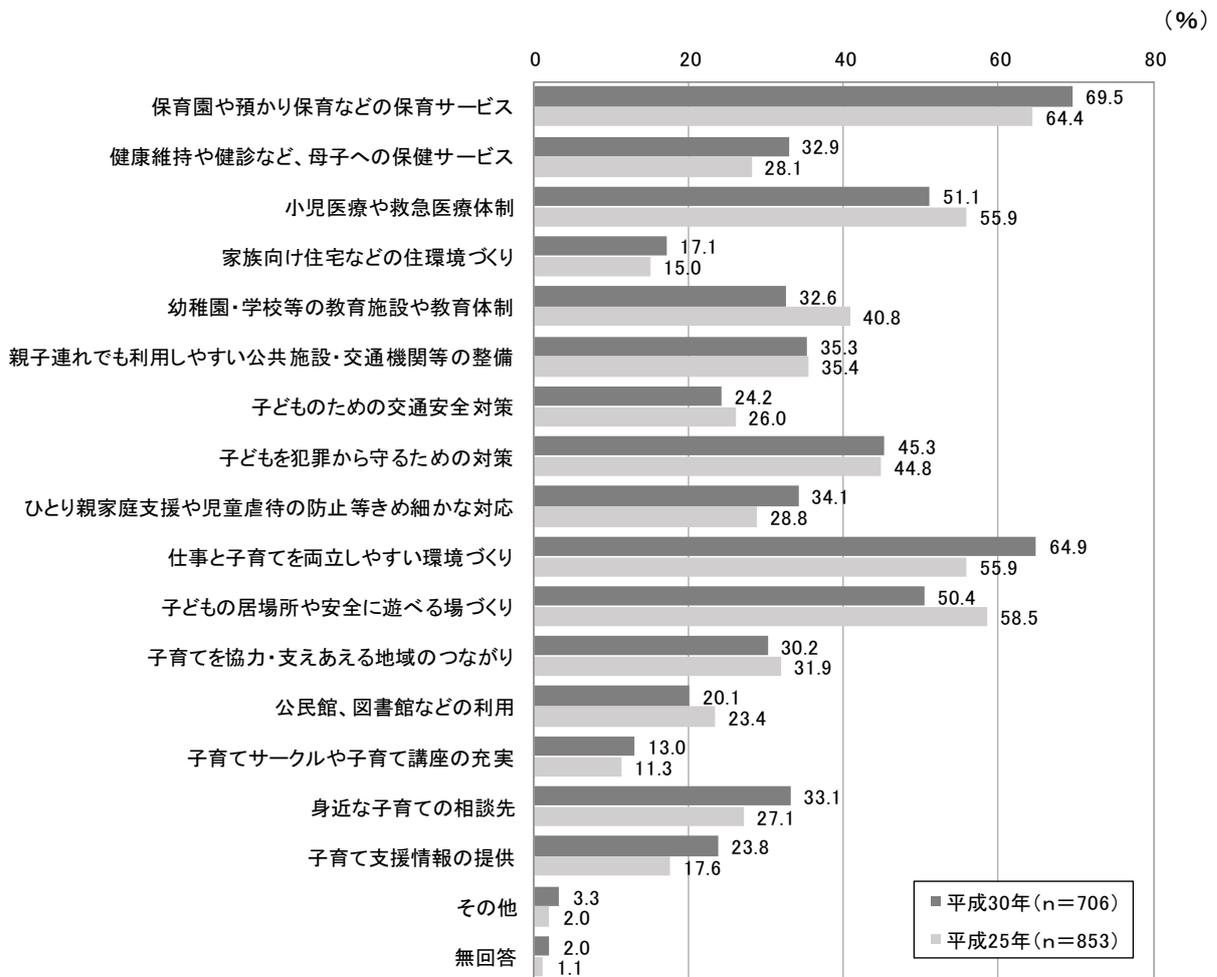
- 「一時預かりや保育サービス」が43.1%、「子育てや家庭教育に関する身近な相談体制の充実」が31.2%、「保護者たちが子育てや家庭教育などについて情報交換や仲間づくりなどができる場づくり」が29.3%と順に高くなっています。
- 平成25年調査と比較すると、「一時預かりや保育サービス」が5.0ポイント増加しています。



6. 子育て環境などについて

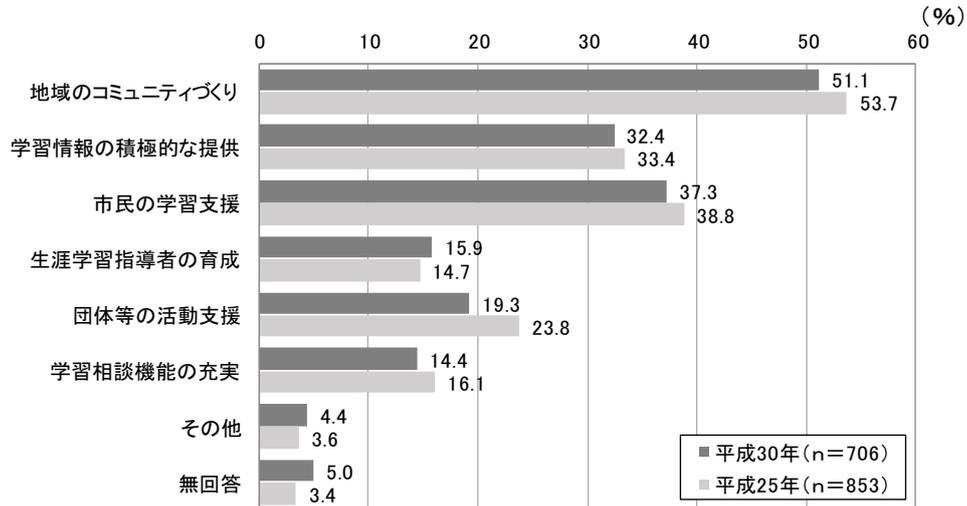
問 20 安心した子育て環境づくりのために充実していくべきこと（複数回答）

・「保育園や預かり保育などの保育サービス」が 69.5%、「仕事と子育てを両立しやすい環境づくり」が 64.9%と高くなっており、どちらも平成 25 年調査と比べ増加しています。特に「仕事と子育てを両立しやすい環境づくり」は 9.0 ポイント増加しています。



問 21 公民館などの生涯学習施設に求めること（複数回答）

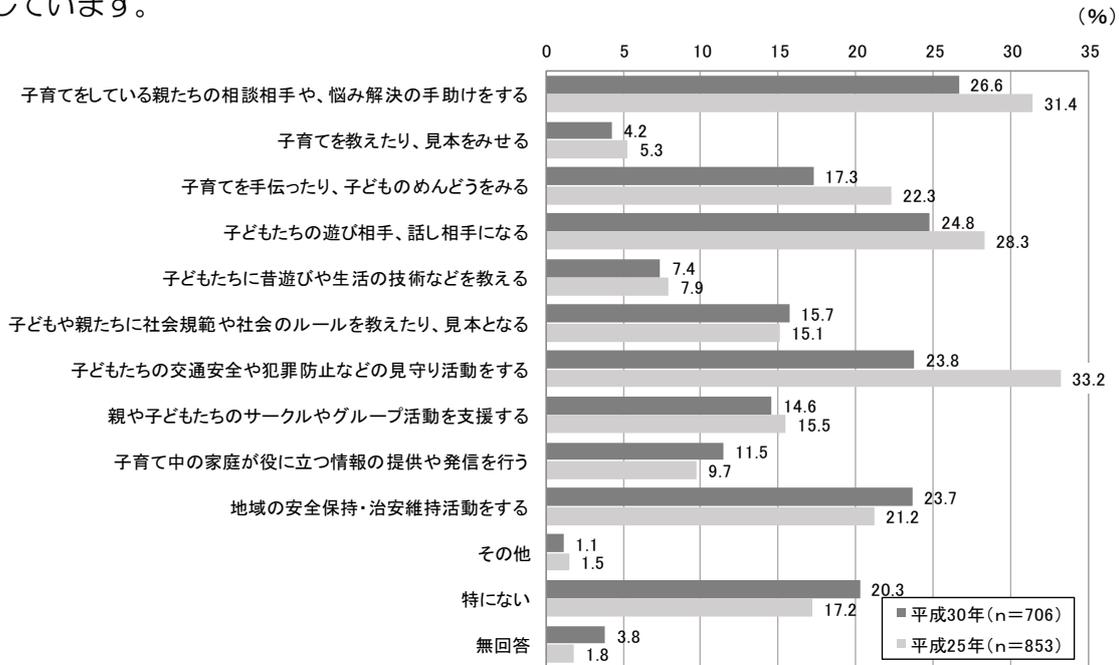
- 「地域のコミュニティづくり」が最も高くなっており、特に“新町”では6割近い方が「地域のコミュニティづくり」と回答しています。
- 平成 25 年調査と比較すると、「生涯学習指導者の育成」が 1.2 ポイント増加しています。



| | | 合計 | 問21 公民館などの生涯学習施設に求めること | | | | | | | |
|-----|----|--------------|------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|
| | | | 地域のコミュニティづくり | 学習情報の積極的な提供 | 市民の学習支援 | 生涯学習指導者の育成 | 団体等の活動支援 | 学習相談機能の充実 | その他 | 無回答 |
| 全体 | | 706 100.0 | 361 51.1 | 229 32.4 | 263 37.3 | 112 15.9 | 136 19.3 | 102 14.4 | 31 4.4 | 35 5.0 |
| 居住地 | 元町 | 257 100.0 | 120 46.7 | 91 35.4 | 94 36.6 | 40 15.6 | 49 19.1 | 42 16.3 | 8 3.1 | 18 7.0 |
| | 中町 | 227 100.0 | 111 48.9 | 69 30.4 | 82 36.1 | 33 14.5 | 42 18.5 | 35 15.4 | 14 6.2 | 9 4.0 |
| | 新町 | 213 100.0 | 126 59.2 | 68 31.9 | 86 40.4 | 37 17.4 | 42 19.7 | 24 11.3 | 9 4.2 | 7 3.3 |

問 22 「子育てしやすいまち」「子どもたちが健やかに育つまち」になるために、身近でできること（複数回答）

- ・「子育てをしている親たちの相談相手や、悩み解決の手助けをする」「子どもたちの遊び相手、話し相手になる」「子どもたちの交通安全や犯罪防止などの見守り活動をする」「地域の安全保持・治安維持活動をする」が高く、2割以上の方が回答しています。
- ・平成 25 年調査と比較すると、「地域の安全保持・治安維持活動をする」が 2.5 ポイントと最も増加しています。

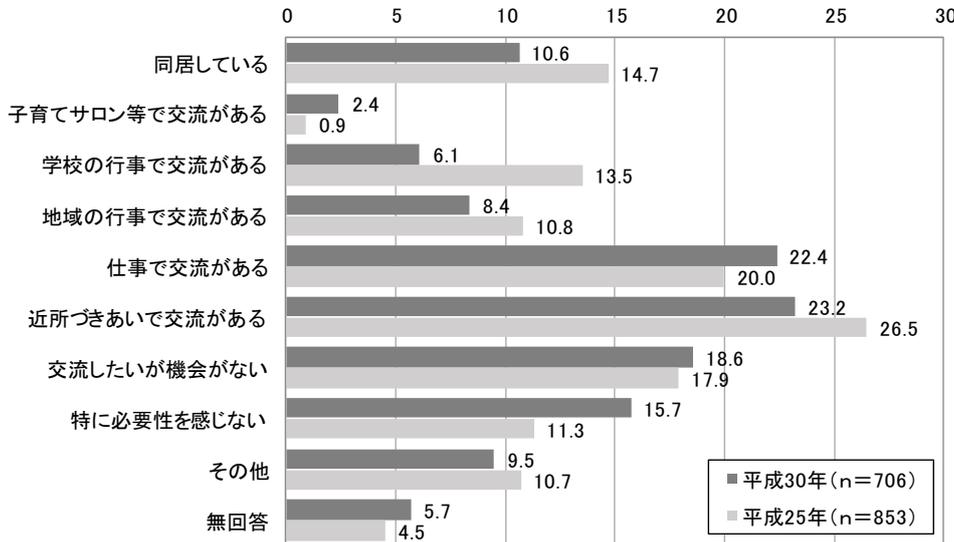


| | 合計 | 問22 「子育てしやすいまち」「子どもたちが健やかに育つまち」になるために、身近でできること | | | | | | | |
|------|--------------|--|-----------------|-----------------------|--------------------|-----------------------|--------------------------------|----------------------------|------------|
| | | 子育てをしている親たちの相談相手や、悩み解決の手助けをする | 子育てを教えたり、見本をみせる | 子育てを手伝ったり、子どものめんどうをみる | 子どもたちの遊び相手、話し相手になる | 子どもたちに昔遊びや生活の技術などを教える | 子どもや親たちに社会規範や社会のルールを教えたり、見本となる | 子どもたちの交通安全や犯罪防止などの見守り活動をする | |
| 全体 | 706 100.0 | 188 26.6 | 30 4.2 | 122 17.3 | 175 24.8 | 52 7.4 | 111 15.7 | 168 23.8 | |
| 居住地域 | 元町 | 257 100.0 | 72 28.0 | 10 3.9 | 47 18.3 | 78 30.4 | 21 8.2 | 42 16.3 | 61 23.7 |
| | 中町 | 227 100.0 | 59 26.0 | 12 5.3 | 45 19.8 | 55 24.2 | 21 9.3 | 39 17.2 | 55 24.2 |
| | 新町 | 213 100.0 | 55 25.8 | 8 3.8 | 30 14.1 | 41 19.2 | 9 4.2 | 28 13.1 | 49 23.0 |

| | 合計 | 問22 「子育てしやすいまち」「子どもたちが健やかに育つまち」になるために、身近でできること | | | | | | |
|------|--------------|--|-------------------------|-------------------|------------|-------------|------------|-----------|
| | | 親や子どもたちのサークルやグループ活動を支援する | 子育て中の家庭が役に立つ情報の提供や発信を行う | 地域の安全保持・治安維持活動をする | その他 | 特にない | 無回答 | |
| 全体 | 706 100.0 | 103 14.6 | 81 11.5 | 167 23.7 | 8 1.1 | 143 20.3 | 27 3.8 | |
| 居住地域 | 元町 | 257 100.0 | 37 14.4 | 35 13.6 | 58 22.6 | 1 0.4 | 52 20.2 | 4 1.6 |
| | 中町 | 227 100.0 | 34 15.0 | 20 8.8 | 52 22.9 | 3 1.3 | 43 18.9 | 13 5.7 |
| | 新町 | 213 100.0 | 32 15.0 | 26 12.2 | 54 25.4 | 4 1.9 | 44 20.7 | 10 4.7 |

問 23 高齢者との交流の有無（複数回答）

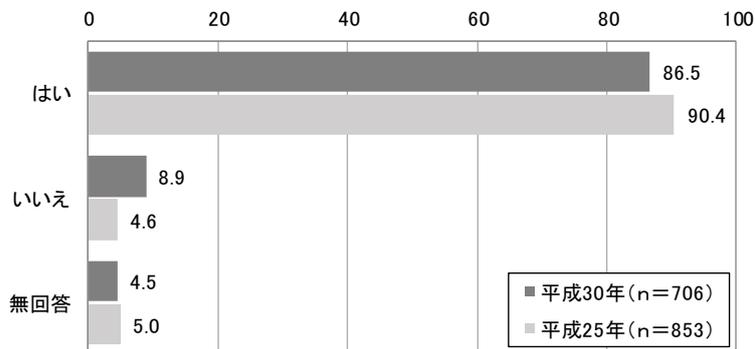
- ・「近所づきあいで交流がある」が23.2%と最も高く、次いで「仕事で交流がある」が22.4%と高くなっています。
- ・「近所づきあいで交流がある」と回答する割合は、どの地域においても2割以上の回答がありました。



| | 合計 | 問23 高齢者との交流の有無 | | | | | | | | | | |
|-----|--------------|----------------|---------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|------------|------------|-----------|
| | | 同居している | 子育てサロン等で交流がある | 学校の行事で交流がある | 地域の行事で交流がある | 仕事で交流がある | 近所づきあいで交流がある | 交流したいが機会がない | 特に必要性を感じない | その他 | 無回答 | |
| 全体 | 706 100.0 | 75 10.6 | 17 2.4 | 43 6.1 | 59 8.4 | 158 22.4 | 164 23.2 | 131 18.6 | 111 15.7 | 67 9.5 | 40 5.7 | |
| 居住地 | 元町 | 257 100.0 | 29 11.3 | 9 3.5 | 10 3.9 | 15 5.8 | 58 22.6 | 54 21.0 | 57 22.2 | 45 17.5 | 15 5.8 | 13 5.1 |
| | 中町 | 227 100.0 | 29 12.8 | 5 2.2 | 17 7.5 | 19 8.4 | 60 26.4 | 57 25.1 | 33 14.5 | 30 13.2 | 31 13.7 | 12 5.3 |
| | 新町 | 213 100.0 | 16 7.5 | 2 0.9 | 16 7.5 | 23 10.8 | 38 17.8 | 52 24.4 | 40 18.8 | 34 16.0 | 20 9.4 | 14 6.6 |

問 24 高齢者との交流機会が必要と思うか（単回答）

- ・「はい」が86.5%と多くを占めています。



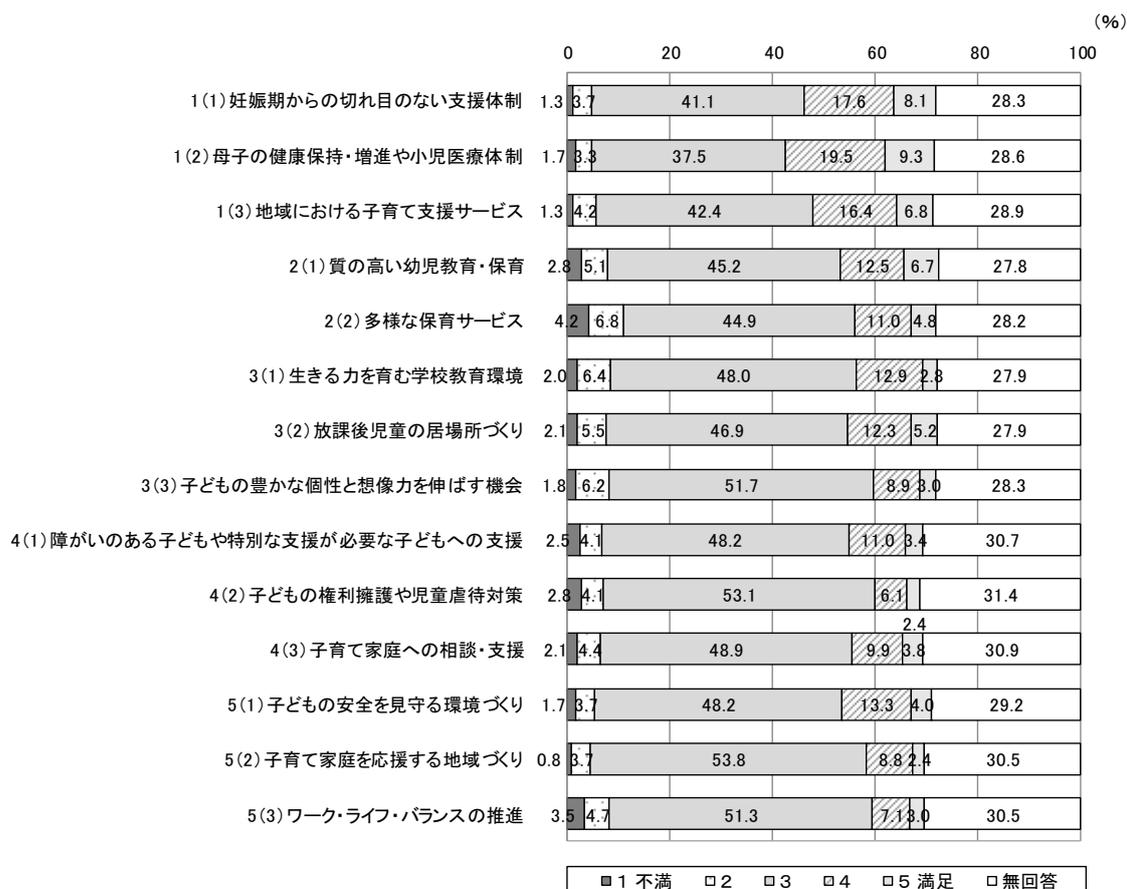
| | 合計 | 問24 高齢者との交流機会が必要と思うか | | | |
|-----|--------------|----------------------|-------------|-----------|-----------|
| | | はい | いいえ | 無回答 | |
| 全体 | 706 100.0 | 611 86.5 | 63 8.9 | 32 4.5 | |
| 居住地 | 元町 | 257 100.0 | 221 86.0 | 23 8.9 | 13 5.1 |
| | 中町 | 227 100.0 | 198 87.2 | 20 8.8 | 9 4.0 |
| | 新町 | 213 100.0 | 185 86.9 | 19 8.9 | 9 4.2 |

7. 浦安市子育て支援総合計画について

問 25 子育て施策への評価（単回答）

【満足度】

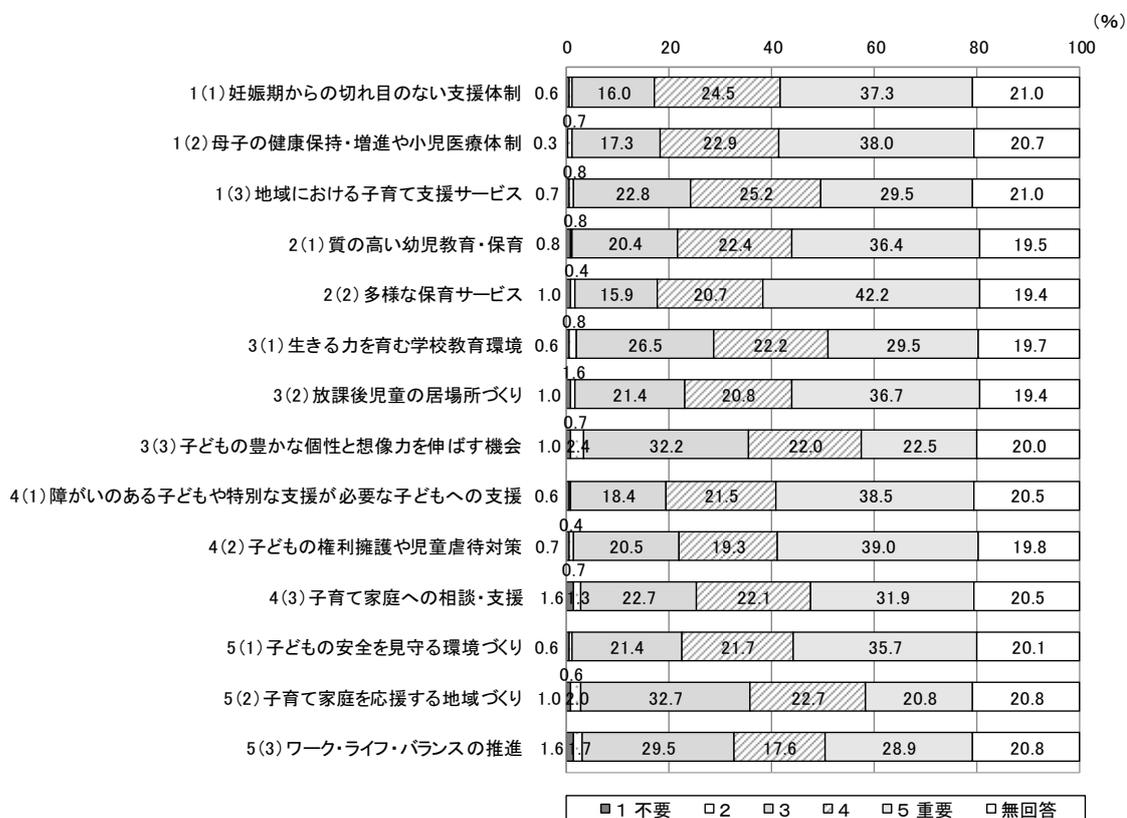
・「満足度5」の割合が最も高い施策は「1（2）母子の健康保持・増進や小児医療体制」で、「満足度1」の割合が最も高い施策は「2（2）多様な保育サービス」です。



n=706

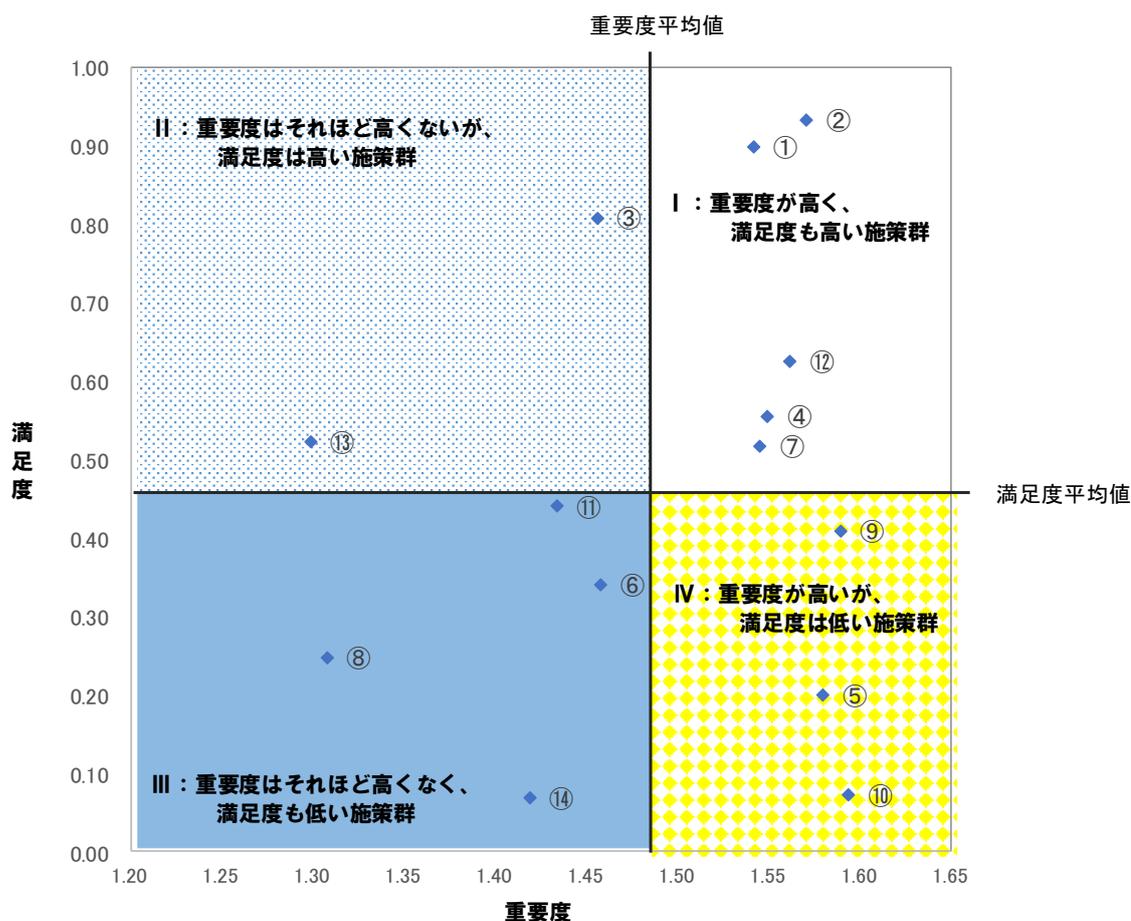
【重要度】

- ・「重要度5」の割合が最も高い施策は「2（2）多様な保育サービス」で、「重要度1」の割合が最も高い施策は「4（3）子育て家庭への相談・支援」と「5（3）ワーク・ライフ・バランスの推進」です。



n=706

- 重要度は高いが、満足度は低い施策は、「2 (2) 多様な保育サービス」「4 (1) 障がいのある子どもや特別な支援が必要な子どもへの支援」「4 (2) 子どもの権利擁護や児童虐待対策」です。



| | | | |
|---|-------------------------|---|----------------------------------|
| ① | 1 (1) 妊娠期からの切れ目のない支援体制 | ⑧ | 3 (3) 子どもの豊かな個性と想像力を伸ばす機会 |
| ② | 1 (2) 母子の健康保持・増進や小児医療体制 | ⑨ | 4 (1) 障がいのある子どもや特別な支援が必要な子どもへの支援 |
| ③ | 1 (3) 地域における子育て支援サービス | ⑩ | 4 (2) 子どもの権利擁護や児童虐待対策 |
| ④ | 2 (1) 質の高い幼児教育・保育 | ⑪ | 4 (3) 子育て家庭への相談・支援 |
| ⑤ | 2 (2) 多様な保育サービス | ⑫ | 5 (1) 子どもの安全を見守る環境づくり |
| ⑥ | 3 (1) 生きる力を育む学校教育環境 | ⑬ | 5 (2) 子育て家庭を応援する地域づくり |
| ⑦ | 3 (2) 放課後児童の居場所づくり | ⑭ | 5 (3) ワーク・ライフ・バランスの推進 |

評価点数の算出方法

$$\text{満足度} = \frac{(\text{満足} \times 2 \text{点} + \text{やや満足} \times 1 \text{点} + \text{やや不満} \times -1 \text{点} + \text{不満} \times -2 \text{点})}{(\text{満足} + \text{やや満足} + \text{やや不満} + \text{不満}) \text{の回答数}}$$

$$\text{重要度} = \frac{(\text{重要} \times 2 \text{点} + \text{やや重要} \times 1 \text{点} + \text{やや不要} \times -1 \text{点} + \text{不要} \times -2 \text{点})}{(\text{重要} + \text{やや重要} + \text{やや不要} + \text{不要}) \text{の回答数}}$$

※加重平均にて評価値を算出

| | |
|--------------|-----|
| 5. 満足 (重要) | 2点 |
| 4. やや満足 (重要) | 1点 |
| 3. どちらでも | 0点 |
| 2. やや不満 (不要) | -1点 |
| 1. 不満 (不要) | -2点 |

※「無回答」を除いて算出している。

問 26 市の子育て施策に関する意見（自由回答）

- ・自由記述については、301人（42.6%）から301件の意見がありました。意見分類ごとの意見数は以下のとおりです。

| 意見内容 | 件数 |
|------------------------------------|-----|
| 子育て環境（買い物、住宅環境） | 36 |
| 子育て支援事業・施策（ファミサポ、病児・病後児保育、一時預かり 等） | 32 |
| 公園・遊び場 | 30 |
| 小学校・教育環境 等 | 26 |
| 保育・教育の事業・施設 | 24 |
| 経済的支援 | 22 |
| 安全（道路、不審者、治安） | 18 |
| 相談・情報 | 14 |
| 特別な支援（障がい・ひとり親等） | 10 |
| 健康（医療機関、健診、医療費助成 等） | 5 |
| 児童育成クラブ | 2 |
| その他 | 82 |
| 計 | 301 |

第3章 グループヒアリング結果

〈質問内容〉

- 問1 浦安市の子育ての環境や支援への満足度はどのくらいですか。（不満1点～満足5点の5段階評価）
- 問2 浦安市の子育て支援を充実させていくために必要だと思われる支援などがございましたらお聞かせください。
- 問3 子育てされているご経験の中で感じていることがありましたら、ご意見をお聞かせください。
- 問4 市の、広報うらやすやホームページ、子育てハンドブックなどの情報媒体を利用されていますか。また、情報媒体を利用のしやすさ、どんな情報がほしいかもお聞かせください。

〈ヒアリング対象者〉

I 主催事業「ふたごちゃん、みつごちゃん集まれ」参加者のヒアリング

日 時：11月7日（水）10：30～11：00

実施場所：集合事務所 3階 子育て支援センター

参加者：主催事業参加者 10組（妊婦含む）

事務局：浦安市こども課 2名、業務委託業者（株）ぎょうせい 2名

問1 浦安市の子育ての環境や支援への満足度

○参加者全員が4点という評価となった。

問2 浦安市の子育て支援を充実させていくために必要だと思われる支援

- 市役所1階にある授乳室は入口の幅が狭く、ふたご用のベビーカーでは入れない。また、トイレの外にベビーカーを置いてトイレに入るのも、荷物等があるので不安である。
- 市内の歩道はガタついており、ベビーカーでの移動がしづらい。また、元町は歩道が狭くベビーカーを押して歩いていると、対向者とすれ違うことができない。
- 歩道と車道の境界ブロックの段差に悩まされている。段差をなくすなどの改善が必要である。
- 公園等で遊ぶ際に、小学生がボール遊びをしている横で小さい子を遊ばせるのは不安である。年齢ごとに遊ばせる場所を分ける等の対処をしてほしい。
- 保育園へ入園する際の保育認定の点数として、ふたごやみつごを優遇するようお願いしたい。
- 講座やイベントの開催時間としては、父親の休暇が取得しやすい午後の方が参加しやすい。また、講座やイベントに参加する際、多胎児割引のような制度があると助かる。

問3 子育てされているご経験の中で感じていること

- エンゼルヘルパー利用の際、1回2時間までというのは短い。家に訪問して1日保育してくれるような制度がほしい。
- エンゼルヘルパーをもっと利用しやすくしてほしい。インターネットを用いた予約や空き状況の確認、保育年齢の引き上げ等の実施を希望する。

○自らが楽しむ各種事業やイベントへの参加は選択して参加をするため問題ないが、予防接種を受ける際は、どのような種類の定期予防接種があり、いつ受けたらいいかなどが不明なため、不安である。

○2回目のケアプラン作成時のプレゼントが、以前と比べて削減されている。

○ママ友会で友人ができたのでよかった。しかし、それ以外の近所づきあいは全くない。

○市内の路線バスは、双子のベビーカーとなると乗せづらい。また、バスの中で子どもが泣いてしまうと周囲に迷惑をかけるので、子連れ専用バスがあると助かる。また、東京メトロの車両のようなベビーカーや車いすのスペースは、とても助かっている。

問4 広報うらやすやホームページ、子育てハンドブックなどの情報媒体の利用について

○子育ては手がかかるため、色々な情報を見ている時間がない。子育てというキーワードでまとまった周知があると便利だと思う。

○MY 浦安は活用している。ルネサンス（公民館情報誌）の情報量と周知回数をもっと増やしてもらいたい。

II-1 主催事業「ほのほのタイム（1回目）」参加者のヒアリング

日 時：11月22日（木）10：00～12：00

実施場所：日の出公民館 2階 和室

参加者：主催事業参加者 16組

事務局：浦安市こども課 1名、業務委託業者（株）ぎょうせい 1名

問1 浦安市の子育ての環境や支援への満足度

○参加者16名中、15名が4点、1名が5点という評価となった。

問3 子育てされているご経験の中で感じていること

○浦安のイベントやサービス等の情報を地区ごと及び対象年齢ごとに示してほしい。

○浦安のイベント情報一覧の部分に予約の必要不要を記載してほしい。また、何日前までの予約なのか等も書いてあると助かる。

○浦安市は子育てに関するイベントがたくさんあって良いと思うが、多すぎてわからなくなることもある、一覧で確認できるようなものがあると便利だと思う。

○『ルネサンス』等の情報誌に掲載している情報を、MY 浦安の方にも載せてほしい。

○子ども連れでも利用可能なお店の情報誌があると良い。浦安市で子どもと一緒にランチできるお店が少ない（特に日の出地区）ので、マップのようなものがあると出かけしやすい。座敷あり・ベビーカー入店可等の情報が載っていると選びやすい。

○おさんぽバスで市役所に行こうとすると、一度駅まで出てからバスの乗り換えをしなくてはならないので、ぐるっとまわるようなルートにしてほしい。

○ベビーカーでバスを利用するときは、多少待ってもノンステップバスを待つようにしている。ノンステップバスがもっと増えると子育て中の保護者は助かる。

- 浦安市内の商業施設のトイレが狭く、ベビーカーで入れないので困る。また、小さい子用のトイレが少なく、子どもを抱えながら普通のトイレを使用したりしている。多目的トイレ等の整備をしてもらいたい。
- 男子トイレにもおむつ交換台があるとよい。
- 浦安駅の周辺は道が狭く、整備もあまりされていないので、子どもと駅の方に出かけるときは注意している。
- ほのぼのタイムのような、小さい子（1歳以下）向けのイベントがもっと増えるとよい。
- 下の子のイベント参加の際に、上の子（2～3歳）を預かってもらえたら助かる。また可能であれば、そのイベント会場（またはその近く）で預かってほしい、別で預かり先を探してイベントに参加するとなると大変。
- イベントの予約締切が早い。また、予約の手続きが大変。
- すまいるルームの予約が前日受付なので、予約するのが難しい。予約の方法を変えてほしい。
- 民間の幼児用施設のような幼児専用施設があるといい。
- こども図書館が早くほしい。
- 各種幼児のサロン等に行っているが、決まった曜日しか行けない。また、雨の日に遊べる場所がない。
- エンゼルヘルパーはなかなか利用しづらい。予約もすぐにうまってしまう。
- 浦安市は道路もきれいでベビーカーも通りやすい。また、自転車と歩行者が別の道も多く、安心して散歩できる。とてもよい環境だと思う。
- 保育認定の点数化の平等化を推進してほしい。

II-2 主催事業「ほのぼのタイム（2回目）」参加者のヒアリング

日 時：12月3日（月）10：00～12：00

実施場所：堀江公民館 2階 和室

参加者：主催事業参加者 14組

事務局：浦安市こども課 1名、業務委託業者（株）ぎょうせい 1名

問1 浦安市の子育ての環境や支援への満足度

- 参加者13名中、3名が3点、9名が4点、1名が5点という評価となった。

問3 子育てされているご経験の中で感じていること

- 2ヵ月まではエンゼルヘルパー制度があり、4ヵ月以降は預かり保育に預けることができるが、その間の期間における、サービス等の制度が抜けている。まだまだ支援が必要な時期なので、支援やサポートの充実をお願いしたい。
- エンゼルヘルパー利用の際に、予約がいっぱいと断られることがある。場所や職員等の充実を求めます。
- ファミリー・サポート・センターの説明を聞きに行くのが大変。申し込み等の制度の簡略化をしてほしい。また、別のイベントと日程がかぶっており、参加者が少ない中での開催は勿体ない。

- おさんぽバスを利用する際にベビーカーでは利用しにくく、混んでいるとベビーカーで乗れないときもあるので、それを見込んで抱っこ紐で出かけるという選択肢になってしまう。行動範囲が広がるよう、ベビーカーが乗せやすい環境整備をお願いしたい。
- 市役所の駐車場が立体駐車場になったので、高さ制限があり車が停められないことがある。以前のように青空駐車場もあるととても助かる。
- 新浦安駅周辺は駐車場が少なく、不便である。
- 出かける際に様々な選択肢を選べる（車でもバスでも歩きでも出かけられる）ようなお出かけのしやすさが向上するとよい。
- 子どもの月齢が高くなると、子どもの生活リズムの時間が変わってくるため、午後のイベントがあると助かる。
- 市内にはレンガを組んだ道路やガタついている道路が多く、ベビーカーで移動しにくいいため、改善してもらいたい。
- 自転車も歩道を走ることがあるため、ベルで鳴らされ、ベビーカーを押していても恐縮してしまう。子連れでも歩道を安心して歩ける対策があるとありがたい。
- 離乳食をあげながらでも参加できるイベントがあると良い。
- 兄弟がいる場合、上の子を預けないと各種イベントに参加できないことがある。イベント会場で上の子を預かってもらえると助かる。
- 浦安市から配布される冊子が、子どもの数だけ増えていくので、欲しい人にだけ渡す方式にしてほしい。
- 冊子よりネットやサイトの方で情報を得ることの方が多。サイトを用いた情報提供を充実してほしい。
- 情報提供として、紙媒体でもらうよりもスマホで見られるようにしてほしい。
- ママ同士で交流できる場所が限られており、ランチをする場所もあまりない。個人宅に集まっているが、片付け等も大変であり、交流スペースを設けてもらいたい。
- 浦安市内の授乳スペースやおむつ替えスペースが地図上でわかり、今いる位置から近い場所で検索できるようなアプリのようなものがあると良い。
- 子育ての各種情報提供がもう少し早く周知してもらえると助かる。イベントの情報をもらった段階で、各種イベントはすでに終わってしまっていることがある。
- 保育所を増やしてほしい。
- MY 浦安は、月齢ごとの子どものイベントがわかりづらい。月齢ごとに検索できると助かる
- 授乳室のあるところには、給湯器を設置してもらいたい。
- 6か月以降の子どもを連れた親子の居場所少ないため、居場所を増やしてほしい。
- 浦安市においては手厚く支援して頂いていると思う。
- 浦安市でなければ、今の子を産むことはできなかったかもしれないので、浦安市は子ども子育てに関して充実していると思う。

III-1 主催事業「こども発達センター」通園者のヒアリング

日 時：1月30日（木）10：30～12：00

実施場所：浦安市総合福祉センター 1階 こども発達センター

参加者：こども発達支援センター通園者 3名

事務局：浦安市こども課 1名、業務委託業者（株）ぎょうせい 1名

浦安市の子育て支援に対する意見

※このヒアリングでは設問を設けず個々に参加者の生のご意見を伺いました。

- 浦安市は進学時、できる限り保護者や子どもの要望を聞いてもらえるという印象があるが、実際どのような制度ですすめてもらえるのか、わからないことも多く不安もある。
- 一時預かりの予約が取りにくく、空きがないことが多い。特に産前産後。ポピンズができたので少しでも緩和されることを期待する。
- 舞浜地区は公民館等の公共施設があまりなく、子育てサロンも遠い。また、保育園もない。舞浜地区も二世帯同居等子どもが増えている印象があるので、子育て施設の整備をお願いしたい。
- 自宅から近い場所の保育園では人手不足が要因で受け入れてもらえず、こども園に預けるとなったが、こども園の方が料金としては割高。仕方ないことだが、そういった差があるのはどうかと思う。
- こども園に入園する際に、保育園とは違う施設であり、対応等も異なると説明された。また、同じ幼稚園や保育園でも園によって対応の手厚さ等に違いがみられる。市としてそういった部分は統一していったらいいものか。預け先に対応や指導に関して意見は言いにくいので。
- 預け先でのボランティアや委員会等への参加が仕事の関係でできないと、申し訳ない気持ちがありながら預けないといけないのは少し苦痛である。
- 小学校に入るための情報を提供いただくタイミングとして、年長になってからでは少し遅い気がする。早めの情報提示をお願いしたい。
- 浦安市の中学校としては、特別支援学級が全校に整備されているが、小学校はない学校もある（舞浜地区等）。整備をすすめてほしいと思う。
- 市川市の支援学校に今後通う予定ではあるが、支援学校が浦安市にできると嬉しい。今後できる予定はあるかわからないが、検討してほしい。
- 他市の小学校に通うことも検討しているが、兄弟と行事がかぶったり、送迎の問題があったりと、難しい部分も多い。
- 「にじいろ」に通う保護者の方は情報を得る機会が多く、スタッフの方も声かけしてくれるが、個別で通われている方は、情報として得る機会が少ないのではないかと思う。幅広い方への情報提供をお願いしたい。
- 今は発達センターに相談させてもらっているが、子どもが小学生になった時の相談先はどうしたらいいのかわからない不安な部分がある。
- 子どもが小学生になった際の療育としては、どこにお願いしたらいいのかわからない。小学生になってからも個別療育できる施設はあるのか。
- 自分は週に数日働いているが、保育認定のための点数（指数）が足りなかった。現実として、フルタイムで働くか保育園に入らないかの2択になることが多い。保護者の働き方に合わせて保育園や預かり保育等が利用できたらいいと思う。

- 働きたいけど働けない保護者は、多いと思う。働くための支援をしてほしい。
- 保護者同士が交流する機会がもっと増えると良いと思う。
- 父親のトレーニング、父親への講習等をもっと充実させた方が良いのではないか。子育てへの意識を変えることの重要性を、母親から伝えるのは難しいと思う。
- 浦安市の「父子手帳」はいい試みだと思うが、自分の家庭では、あまり活用されていない印象。「父子手帳」を活用して、もっと父親がかかわることのできるイベントを開催するなどしてはどうか。
- 1歳6ヶ月健診の時に、「かおテレビ」が導入されており、以前からあればな、という思いもある。また、希望する方のみが対象ということで、全数に健診することも検討してほしい。
- 健診において、子どもの発達について不安なことはないか医師や看護師の方から聞いてほしい。自分から言えない保護者もいると思う。
- 児童精神科医が少ないので病院の予約が取りにくい。病院選びも大変なので、病院について聞いた際も、病院一覧のリストを渡されるだけで、紹介等はしてもらえない。
- 「にじいろ」に入りたいから、浦安市に引っ越してきたという方の話も聞く。環境としては恵まれている方かと思う。
- 浦安市は進学時、できる限り保護者や子どもの要望を聞いてもらえるという印象がある。
- 金銭面の援助をいただきありがたい。
- 公園等の遊べる場所が充実していると思う。また、各施設での駐車場も完備しているところが多く、助かっている。
- 「ウェルカム！ベイビークラス」で保護者の交流ができたのは良かった。今も交流が続いており、良いきっかけだったと思う。
- 健康センターでの相談事業において、相談にのってもらえたのはありがたかった。話を聞いてもらい、発達センターへ繋いでもらったのも良かった。
- 情報提供の機会としては、多い方であると思う。自分で情報を得ようとしていると、しっかりと情報が入ってくる印象がある。
- 放課後等デイサービスや日中デイサービスで送迎していただけるのは、大変助かっている。

III-2 主催事業「こども発達センター」通園者（重症心身障害児）のヒアリング

日 時：2月4日（月）10：30～11：30

実施場所：浦安市総合福祉センター 1階 こども発達センター

参加者：こども発達支援センター通園者 2名

事務局：浦安市こども課 1名、業務委託業者（株）ぎょうせい 1名

浦安市の子育て支援に対する意見

※このヒアリングでは設問を設けず個々に参加者の生のご意見を伺いました。

- 重症心身障害児や医療ケアが必要な障害児に対する支援・行政としての対応が足りていないように感じる。
- 浦安市は発達障害への支援は手厚い印象があるが、重症心身障害児等への支援はあまりない。

- 一時預かりや短期入所といった部分が、浦安市では不足している。他の市で預かりをお願いしたとしても、空きがないと断られることも多い。
- ファミリー・サポート・センターの助け合いも、医療ケアが必要となると、利用できないという現状である。
- 保護者が病院にかかるときに預けられず、子どもも一緒に連れていくとなると、ベビーカーで入れる病院を探さなくてはいけないし、風邪等の感染のリスクもあるので、一時預かりの充実をお願いしたい。
- つきっきりの看護が主なので、睡眠時間がとれないことが多い。短い時間でも預かってもらえると助かる。
- 発達センターにおいても、お泊まり保育の際は看護師がいけないので、浦安市では受け入れてもらえず、今は千葉市に行っている。
- 重症心身障害児等の児童が通学する際、医療ケアを受けながら学校で過ごすための設備が整っておらず、特別支援学級には通えず、市川市の特別支援学校へ通学するしか選択肢がない。
- 特別支援学校への通学には、車で片道1時間半程度かかるが、医療ケアが必要な児童が通学バスで通うための設備はない。医療ケアを受けられる通学バスの運用をお願いしたい。
- 保育認定の点数で、障害児枠みたいなものがない。
- 重症心身障害児や医療ケアが必要な児童の保護者同士で交流できる機会がほしい。共通の悩みをもつ保護者で集まって、話をする機会がほしい。
- 保護者の交流を開催する際は、重症心身障害児や医療ケアが必要な児童の参加があることを事前に周知することも必要だと思う。
- 保護者交流の場としての「ひよこの会」は、3歳未満の児童しか参加できないので、その後も交流できる場があると良い。
- 看護師が2名体制になると、子どもだけで発達センター通所ができるようになる。配置の検討もお願いしたい。
- 母子分離を実施するためには、医療ケアや看護師の確保が必要。そういった整備ができていないと、通園や通所もできない。
- 他の子どもと一緒に遊んで、ふれあいがあることが良い刺激になっている。一番の希望は、そういった機会を今後も続けていくことである。

IV 子育てケアマネジャーのヒアリング

日 時：12月13日(木) 12月14日(金) 12月17日(月) 1月15日(金) 1月21日(木)
1月22日(火) 計6日

実施場所：浦安市役所2階総合窓口、健康センター応援ルーム、集合事業所総合相談室

参加者：各16名

事務局：浦安市こども課1名

問1 浦安市の子育ての環境や支援への満足度

子育てケアマネジャー16名、全6回実施のうち、5段階評価で5点が1名、4点が13名、

2点が1名という結果となった。

改善がみられる部分について

- 幼児が無料で自由に参加できる場所が各地区に充実している。また、行政が場所の提供をしているという安心感がある。
- 以前は、児童センター内の一部にしか乳児の遊び場がなかったが、整備されたことで、子育てしやすい環境となった。
- 浦安市は子育て支援が手厚いから転入してきた、という話を聞く。環境としては、全国的にみるといいと思う。
- 母親のリフレッシュにつながる一時保育は預けやすい環境にあり、充実している。

改善を必要としている部分について

- 浦安市は保育園の待機児数が多く、保育園が不足している。また、育休明けに、保育園に預けて働きたい人にとっての環境が整備されていない。
- 3年保育に入園できず困っている保護者がいる。入園できない3歳児が孤立してしまうので、年少全員が保育園に入れるような制度があるといい。
- 少数の入園できない子の孤立・孤独の対応として、子育てケアマネジャーが、保護者へ対して、地域に向くような一押しも必要だと感じている。
- 母親学級は大切である。
- 近隣市では、駅と保育園間を送迎するサービスがある。子育て中の親子に対して保護者が喜び制度を実行してもらいたい。
- 東京と比べると都道府県としての差はあるが、浦安市は助成制度に恵まれている。経済面での問題も大切だが、「産みやすい環境」はお金だけで解決できないところもある。産んで、育てることに明るい未来を持たないのが今の時代だから、いくら制度があっても難しいと感じている。

問2 浦安市の子育て支援を充実させていくために必要だと思われる支援

環境整備について

- 浦安市は、専業主婦にとっては育てやすい街ではあるが、保育園が不足しているのが現状である。保育園の待機児童対策が重要と感じている。
- 公立幼稚園の多さはありがたいが、保育園の整備が不足しており、地域格差がある。
- バスの送迎がある保育園や公立幼稚園を保育園にする等の環境整備をしてもらいたい。
- 母親にとって就労するためには、保育園への入園が第一である。保育園と介護施設等の一体型の施設など、浦安市内での工夫が必要だと感じている。
- 生後6か月までは「ほのぼのタイム」があるが、6か月以降幼稚園入園までの間のお子さんを抱える母親の行き場が少ない。
- こどもショートステイが近場にあるといい。

保護者への支援体制について

- 保育ママや保育ママ補助者が少ない。以前、市の支援があったが、個人事業主になったら関与がな

くなった。保育待機者を減らす方向であるならば、市の支援と併せ、保育ママの育成を求める。

○核家族が多い中、子育てケアマネジャーとして、孤立している人に手を差し伸べたい。産前産後など出向く活動、エンゼルヘルパーの充実、拡大を求む。養成講座卒業生がエンゼルヘルパーにつながるとういだろう。

相談・情報発信について

○各駅前に相談場所があると便利だと感じている。

○相談するまでに至らなくても、パンフレットがみられる空間があるといい。すこやか広場でチラシを置いたらどうか。

○子育ての情報ステーションがあるといい。こども図書館にその一角ができるとういだろう。

○相談先や遊び場はあるが、幼稚園入園の手続き等の情報が伝わりにくい。(ケアプラン作成時、保育園への入園情報はある)

○浦安市は子育ての環境が手厚く整っているのに、情報を発信できていない。ホームページでまめに情報を発信してもらいたい。

子育てケアマネジャー、保育士等の支援する側の意見について

○保育士の確保、保育士の働きやすい環境を整えてほしい。

○子育てをしている人は、支援をする立場としての貴重な情報を持っている人である。幅広い経験をしてきた人は、経験に合わせたノウハウを持っている人だから、助言や支援する人材になれる。

○子育て支援の幅は広がったが、子育てしつつ、仕事をしたいと思った時に支援者資格をいかせるところに結びついていない。

○相談内容によって、各種制度を相談者へ案内するが、実際にサービスや制度を使っているのかわからない。どんなサービスが良かったか、何が悪かったかフィードバックする機会があるといい。

○子育ての情報を調べて行動できる人は問題ないが、アドバイスのまま行動する人が心配である。

○子育て中の方が中心となり、自らが率先してやれるような仕組みや、その人たちの情報を発信できるような制度があるとういだろう。自主的にサークルを立ち上げると、その後のつながりにもなり、居場所が増えるだろう。

子育て支援の年齢層の拡大について

○子育てだけではなく、思春期、青年期等すべてのこどもを対象にした支援があるとういだろう。

○「子ども」をひとくくりにし、子どものためのステーションがあるといい。

その他

○子どもを育てるのは親の責任であるので、子どもを看てもらうために預けることも親の責任であることを学べる機会があるとういだろう。

○保護者の満足は100%にはならないが、浦安市は、保護者の目線になり、様々な相談にのってもらえている。

問3 子育てされているご経験の中で感じていること

支援体制について

- エンゼルヘルパーの拡充が必要だろう。
- 産前産後の支援に保護者は喜んでいるが、体調不良等で本当に困ったときに役立つ制度がない。
- 実家が近くなくても安心して暮らせる制度がほしい。
- 子どもは、何人もの人と関わり、かわいがってもらうことが必要である。支援者と親子が出逢える場を整備してもらえるといいだろう。
- 授乳室が市内にもっと必要である。
- 困りごとに対して、一対一で直接話せる環境は必要である。ケアプラン作成等で子育てケアマネジャーの存在を覚えてもらい、子育てで困ったときに存在を思い出してもらえたら、安心感につながると思う。
- 働く保護者が増加しているため、就労している母親の支援をする制度があるといいだろう。
- 子育て中の母親は、自分の時間やほっとできる場所がほしいと思っている。一人になること、子どもと過ごすこと等、価値観は人それぞれだが、公民館の託児付事業を増やしてもらいたい。
- 母親のニーズが多様化している。画一的な行政のサービスだけでは対応できない時代だと感じている。
- 相談業務とするよりも、「コンシェルジュ」と変えることで、市の制度の入り口として、わかりやすいかと思う。
- 障がいのある子を抱えている母親を支援できる制度やサービスがあるといい。
- 孤独を感じている母親をサポートできる制度が必要である。浦安市で残酷なニュースがないことを願っている。
- 外出できない人、時間に余裕がない人など、要支援家庭にどのように関わっていくか、支援全般の在り方について、見直す必要があると思う。

支援される側の対応について

- 保護者自身でサービスを選別していく等の、情報収集力や自己判断力も必要だと感じている。
- 母親にサービスや制度を選択する力があればいいが、サービスが多様化しているため、何が正解かわからない人が増えてきた。

その他

- 子育てケアマネジャーが支援する保護者の年齢層の幅が広がり、妊婦から青少年までとなっている。子育てケアマネジャーの制度立ち上げ当時と対象者変わってきているため、市の支援があると助かる。

問4 広報うらやすやホームページ、子育てハンドブックなどの情報媒体の利用について

内容について

- 掲載している地図は地区ごとにあるとありがたい。
- ホームページ上で、保育園の更新状況が確認できるとありがたい。
- 子育てハンドブックには担当課表記に課名があっても、電話番号が表記されていなく、連絡先がわからない。係名を入れるか、電話番号を入れる等、表記の工夫をしてもらいたい。

その他

- 各種サービスを利用できる人へのアナウンスと、利用できない人への配慮をどうしたらいいか、周知の方法で難しい部分がある。
- 相手に伝えるためには活用するが、子育てハンドブックやホームページがもっと使いやすく、便利になるといい。

※ひとり親のヒアリングについては、事業への参加者がいなかったため中止となりました。

資料編

1. 就学前児童保護者調査票

就学前児童の保護者様

浦安市子ども・子育て支援総合計画に関する基礎調査

<調査ご協力をお願い>

皆様には日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
平成24年8月、国では「子ども・子育て支援法」をはじめとする子ども・子育て関連3法が成立し、質の高い幼児期の学校教育、保育の総合的な提供や地域の子ども・子育て支援を充実することを目的とした「子ども・子育て支援新制度」が平成27年4月からスタートしました。

浦安市では、平成26年度に「子ども・子育て支援法第61条」の規定に基づいて「浦安市子ども・子育て支援総合計画」を策定し、計画の中間年度である平成29年度に計画の一部見直しを行いました。今回、次期浦安市子ども・子育て支援総合計画（2020年度～2024年度）の策定にあたり、市民の皆様にお子さんの教育・保育事業の利用状況や子育てに関する生活実態についてご要望・ご意見などを把握するため、「浦安市子ども・子育て支援総合計画に関する基礎調査」を実施することになりました。

この調査は、住民基本台帳の中から就学前のお子さんを選別して1,200人抽出し、その保護者の方にご協力を願います。

ご回答いただいた調査内容は、市の計画の検討にのみ利用させていただきます。回答者個人が特定されたり個々の回答内容が他に漏れたり他の目的に利用されたりすることは一切ありません。つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

平成30年12月

浦安市長 内田 悦嗣

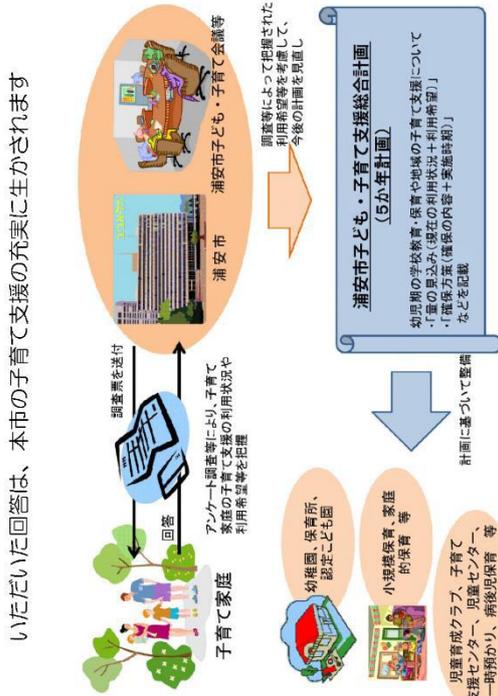
○ 調査票記入にあたってのお願い ○

1. 調査票は、死名のお子さんの保護者の方が記入するようお願いいたします。
2. 質問の中には、一部の方のみにおたずねするものがありますので、矢印や説明に注意してください。
3. 回答には、選択肢の番号に○印をつけていただく場合と、数字を記入していただく場合があります。数字は、回答欄に枠（□）がある場合には枠に一字を記入してください。また、「その他」を選択した場合は（ ）に、具体的な内容を記入してください。
4. 無記名のアンケートですので、住所、氏名を記入する必要はありません。返信用封筒にも記載しないようお願いいたします。
5. ご記入いただきましたら、調査票を同封の返信用封筒に入れ、そのまま切手を貼らずに郵便ポストに投函してください。

平成30年12月28日(金) までにご返函くださるようお願いいたします。

6. この調査について、ご不明な点やご質問がございましたら、下記へお問合せください。

【お問合せ先】 浦安市 健康子ども部課 健康子ども課 健康子ども事業係
TEL 047-712-6419 FAX 047-304-1505
Email kodomo@city.urayasu.lg.jp



このアンケート調査の集計結果は、浦安市子ども・子育て会議に諮り、浦安市子ども・子育て支援総合計画（2020年度～2024年度）を策定するために活用します。アンケート調査の集計結果及び計画見直しの経過は、市のホームページなどでお知らせしていきます。

（用語の定義）

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

- ・幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）

※ ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、将来の施設や事業の具体的な利用可否を確認、決定するものではありません。今後、ご利用の際には、利用時の状況に合わせた施設や事業の希望に変更していただいております。あくまで、現在の利用希望を伺うものです。

浦安市子ども・子育て支援事業計画に関する基礎調査【就学前児童保護者】

1. あて名のお子さんご家族の状況などについてうかがいます。

問1 お住まいについてうかがいます。

①お住まいの地区はどちらですか。(あてはまる番号1つに○をつけ、()内に丁目の数字を記入)

- | | | |
|--------------|----------------|---------------|
| 1. 当代島 (丁目) | 8. 高岡 (丁目) | 15. 日の出 (丁目) |
| 2. 船美 (丁目) | 9. 赤天 (丁目) | 16. 明海 (丁目) |
| 3. 蛸江 (丁目) | 10. 美浜 (丁目) | 17. 高洲 (丁目) |
| 4. 北栄 (丁目) | 11. 入船 (丁目) | 18. 千鳥 (丁目) |
| 5. 富士見 (丁目) | 12. 今川 (丁目) | 19. 港 (丁目) |
| 6. 苅草 (丁目) | 13. 秋潮通り (丁目) | |
| 7. 東野 (丁目) | 14. 舞浜 (丁目) | |

②現在のお住まいは次のどれですか。(1つに○)

- | | |
|----------------------------------|-------------|
| 1. 持家 (一戸建て) | 5. 社宅・会社の寮 |
| 2. 持家 (分譲マンション等の集合住宅) | 6. 間借り・住み込み |
| 3. 賃貸住宅 (一戸建て) | 7. その他 () |
| 4. 賃貸住宅 (アパート、マンション、公営・民間等の集合住宅) | |

③ご家族の浦安市の居住歴をお答えください。(1つに○) 記入してきた方は()の①～④も教えてください。

※「2. 浦安市に転入してきた」には、生まれが浦安市で、転出したがそのあと浦安市へ転入してきて再び住むようになった場合を含む。

- | | | | |
|-------------------------|------------|-------------|---------|
| 1. 浦安市に転入してきてから () 年未満 | ② 5年～10年未満 | ③ 10年～20年未満 | ④ 20年以上 |
| (転入してから) | | | |

■問1③で「2. 浦安市に転入してきた」を選ばれた方についてうかがいます。

④転入された主な理由は、何ですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1. 就職・転職・転勤 | 5. 親の介護 |
| 2. 結婚や離婚のため | 6. 子どもの都合 |
| 3. 通勤の利便性 | 7. その他 () |
| 4. 住宅の都合 (持家の購入、家賃など) | |

問2 あて名のお子さん(以下、「お子さん」といいます。)の生年月をお答えください。(1つに○)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 平成29年4月2日～平成30年4月1日 | 4. 平成26年4月2日～平成27年4月1日 |
| 2. 平成28年4月2日～平成29年4月1日 | 5. 平成25年4月2日～平成26年4月1日 |
| 3. 平成27年4月2日～平成28年4月1日 | 6. 平成24年4月2日～平成25年4月1日 |

問3 あて名のお子さんを含めたお子さんの人数を、ご記入ください。(口内に人数を記入)

おたさんの数 人

問4 一緒にお住まいで、生計を共にしているご家族(世帯員)は、あなたを含めて全部で何人ですか。人数をご記入ください。(口内に人数を記入)

(あなたを含めた) 世帯員の人数 人

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 父親 | 2. 母親 | 3. その他 () |
|-------|-------|------------|

問6 この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者がいない |
|-----------|------------|

問7 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。あて名のお子さんから見た関係でお答えください。(1つに○)

- | | | |
|--------------|---------|------------|
| 1. 父母とも同じぐらい | 3. 主に父親 | 5. その他 () |
| 2. 主に母親 | 4. 主に祖父 | |

問8 あなたの世帯全体の昨年1年間の年収(税込)はおおよそいくらですか。(1つに○)

※収入には、雇用収入(パート、アルバイトを含む)、非雇用収入(住居費等)、不動産収入、利子・配当金、個人年金、生活保護、仕送りや元金出庫からの蓄財を含みます。

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 100万円未満 | 6. 500万円以上750万円未満 |
| 2. 100万円以上150万円未満 | 7. 750万円以上1,000万円未満 |
| 3. 150万円以上200万円未満 | 8. 1,000万円以上2,000万円未満 |
| 4. 200万円以上250万円未満 | 9. 2,000万円以上 |
| 5. 250万円以上300万円未満 | 10. わからない |

問9 お子さんのご両親の現在の就労状況は次のどのどれですか。また、1年後はどのようにお考えですか(変更のない方も)お答えください。(それぞれあてはまるもの1つに○)

(1) 母親

| 就労状況 | 現在 | 1年後 |
|----------------------|----|-----|
| フルタイム就労(青休・介護休業中も含む) | 1 | 1 |
| パートタイム就労 | 2 | 2 |
| (青休・介護休業中も含む) | 3 | 3 |
| 就労していない | 4 | 4 |
| 就労していない | 5 | 5 |

(2) 父親

| 就労状況 | 現在 | 1年後 |
|----------------------|----|-----|
| フルタイム就労(青休・介護休業中も含む) | 1 | 1 |
| パートタイム就労 | 2 | 2 |
| (青休・介護休業中も含む) | 3 | 3 |
| 就労していない | 4 | 4 |
| 就労していない | 5 | 5 |

問 10 日頃、お子さんをみてもらえる親族、友人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日常的に親族（祖父母等）にみてもらえる
2. 緊急時や用事がある際には親族（祖父母等）にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時や用事がある際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問 11 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる人(場所)は、誰(どこ)ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者
2. 実母
3. 実父
4. 義父母
5. 子どもを介した友人
6. 「5」以外の友人
7. 近所の人
8. 子育て支援施設(助産子育て支援拠点、児
童センター等)・NPO
9. 保健所
10. 保育士・幼稚園教諭
11. 民生委員・児童委員
12. 病院の医師・看護師・助産師
13. 自治体の子育て関連担当窓口
14. 市の保健師・助産師
15. 市の子育てケアマネジャー
16. 公民館
17. 相談できる人(場所)はない
18. その他()

2. あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用についてうかがいます。

※「定期的な教育・保育事業」の定義

| 「定期的な教育・保育事業」の種類 | |
|---|--|
| 1. 幼稚園 通常の範囲時間の利用 | 7. 認可保育所 認可外保育施設のうち、自治体が認証した施設 |
| 2. 幼稚園預かり保育 通常の範囲時間を延長して預かる事業のうち 定期的な利用のみ | 8. 備前保育所 認可保育所以外の認可外保育施設 |
| 3. 認可保育園 国が定める最低基準に適合した施設で総道府 県等の認可を受けた定員20人以上のもの | 9. 居宅訪問型保育 ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭 で保育する事業 |
| 4. 託児子ども園 保育施設と幼稚園の機能を併せ持つ施設 | 10. 小規模な保育施設 国が定める最低基準に適合した施設で中町村の 認可を受けた定員おおむね6～19人もの |
| 5. 保育ママ(家庭的保育) 保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育す る事業 | 11. ファミリー・サポート・センター 研修を受けた地域住民が子どもを預かる事業 |
| 6. 事業所内保育施設 企業が主に従業員用に運営する施設 | 12. その他 定期的な一時保育などを含む、教育・保育事業 (※カーン活動や習い事は含まれません) |

※市内で実施していないサービスを含む

問 12 あて名のお子さんは現在、「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。(1つに○)

1. 利用している ⇒ 問 12-1へ
2. 利用していない ⇒ 問 12-4へ

■問12で「1. 利用している」を選択した方はこちらが適用です。

問 12-1 あて名のお子さんは、平日、どのような教育・保育の事業を利用していますか、年間を通じ「定期的」に利用している事業と利用日数・利用時間・利用場所をご記入ください。
(利用している事業は、上記「定期的な教育・保育事業」の定義の「1～12の事業の中からあてはまる番号を記入」)

※時期は、9時30分～18時00分(例)のように24時間制で30分単位にてお答えください。

| (1) 定期利用してい る事業の番号 | (2) 現在の利用状況 | (3) 利用場所 |
|---------------------------|-----------------------|----------------|
| 1週あたり 1日あたり | 日 時間 (時 分 ~ 時 分) | 1. 市内 2. 市外 |
| ※複数ある場合 1週あたり 1日あたり | 日 時間 (時 分 ~ 時 分) | 1. 市内 2. 市外 |
| ※複数ある場合 1週あたり 1日あたり | 日 時間 (時 分 ~ 時 分) | 1. 市内 2. 市外 |

■問12で「1. 利用している」を選ばれた方にはうかがいます。
問12-2 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由をお答えください。
 (あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している
3. 子育て(教育を含む)をしている方が就労予定である/求職中である
4. 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て(教育を含む)をしている方が病気や障がいがある
6. 子育て(教育を含む)をしている方が学生である
7. その他()

■問12-1で「1. 幼稚園」を選ばれた方にはうかがいます。
問12-3 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。(1つに○)
 ※時間は、9時30分～18時00分(例)のように24時間制で30分単位にてお答えください。

1. 利用する必要はない
 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
 3. 休みの期間中、数日利用したい
- 利用したい時間帯をお答えください
 () 時 分～ () 時 分まで

■問12で「2. 利用していない理由」を選ばれた方にはうかがいます。
問12-4 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 利用する必要がない(子どもの教育や発達のため子どもの母親か父親が就労していない等の理由)
2. 子どもの親族(祖父母等)が見ている
3. 近所の人や父母の友人・知人が見ている
4. 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他()

問13 教育・保育の事業を選ぶうえで重視する条件をお答えください。(3つまで選んで○)

1. 保育時間が利用希望に合う
2. 駅からの距離が近い
3. 自宅からの距離が近い
4. 幼児期に必要な教育が適正に行われている
5. 教育・保育の特色や方針が希望に合う(親の負担が軽い)
6. 教員・保育士の質が高い
7. 施設や設備が充実している
8. 認可されている施設である
9. 保育料が適切である
10. 親が運営・行事に因る機会が少ない
11. その他()

幼児教育の無償化について(国の方針)
 2019(平成31年)10月から、3歳から5歳までの子ども及び0歳から2歳までの住民税非課税世帯の幼稚園、保育所、認定こども園等の利用料の無償化の実施が検討されています。
詳細な内容は最終ページの「幼児教育の無償化の具体的なイメージ」を参照ください。

■現在、定期的な教育・保育事業を利用されていない方にうかがいます。
問14 幼児教育・保育の無償化が実施される場合、就労して保育所等を利用したいですか。
 (1つに○、該当する口に数字を記入)

1. すぐにも就労して利用したい
2. 子どもが()歳になったら就労して利用したい
3. 利用したくない
4. その他()

問15 現在の利用状況にかかわらず、幼児教育・保育の無償化が(1)実施されない場合と(2)実施される場合のあて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業を下の①欄に希望願にお答えください。また、(2)それぞれの②希望日数・時間や、③利用場所もお答えください。
 (1～12の事業の番号と希望の日数・時間の数字を記入し、それぞれの利用場所1つに○)

※時間は、9時30分～18時00分(例)のように24時間制で30分単位にてお答えください。

1. 幼稚園
2. 幼稚園預かり保育
3. 認可保育所
4. 認定こども園
5. 保育ママ(家庭的保育)
6. 事業所内保育施設
7. 認証保育所
8. 簡易保育所
9. 居宅訪問型保育
10. 小規模な保育施設
11. ファミリー・サポート・センター
12. その他

| (1) 無償化が実施されない場合 | | (2) 無償化が実施される場合 | | |
|------------------|----------------|-----------------|----------------|----------------|
| ①定期利用したい事業の番号 | ②希望日数・時間 | ①定期利用したい事業の番号 | ②希望日数・時間 | ③利用場所 |
| 第1希望 | 1週あたり 1日あたり | 第1希望 | 1週あたり 1日あたり | 1. 市内 2. 市外 |
| 第2希望 | 1週あたり 1日あたり | 第2希望 | 1週あたり 1日あたり | 1. 市内 2. 市外 |
| 第3希望 | 1週あたり 1日あたり | 第3希望 | 1週あたり 1日あたり | 1. 市内 2. 市外 |

問15-1 平日に定期的に幼稚園や保育所などの教育・保育サービス希望するのは、どのような理由ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの教育や発達を第一に考えているため
2. 子育て中の保護者が現在就労している
3. 子育て中の保護者が就労予定がある/求職中である
4. 子育て中の保護者が家族・親族などを介護している
5. 子育て中の保護者が病気や障がいがある
6. 子育て中の保護者が学生である
7. その他()

問 15-2 現在の理想としている子どもの人数と、幼児教育の無償化が実施され、経済的負担が減少した場合の理想としているお子さんの人数についてうかがいます。(1)、(2)のそれぞれの口に入人数を記入)

(1) 現在 (無償化前) [] 人 (2) 無償化後 [] 人

3. あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況等についてうかがいます。

問 16 あて名のお子さんは、現在、「子育て支援センター」や「つどいの広場」、「児童センター」など親子が集まって過こしたり、相談したり、情報提供を受けたりする場を利用していますか。次の①~③の場所等の A) 認知状況、B) 利用状況、C) 今後の利用希望についてお答えください。(それぞれ1つに○をし、現在の利用回数と利用希望回数を()内に記入)

Table with 3 columns: 交流する場, A) 認知状況, B) 利用状況, C) 今後の利用希望. Rows include ①子育て支援センター, ②つどいの広場, ③児童センター.

※ 1. 浦安市子育て支援センター及び地域子育て支援センター(西川保育園、船園の児童保育園、平塚保育園、田安駅前保育園、入船北保育園、しらかべ保育園、ボウンスナ、サリ、スク、カ、新浦安、愛知地区保育園)

問16で B)「2、以前は利用していた」または「3、利用したことはない」、C)「2、利用希望はない」に○をつけた方におうかがいします。

問 16-1 利用していない、または今後利用希望はない主な理由は何ですか。(1つだけ○)

- 1. 利用の必要がない
2. サービスの質に不安がある
3. 自分がサービスの対象者になるのかわからない
4. 時間がない
5. サービスの利用方法がわからない
6. このようサービスがあるのを知らなかった
7. 立地、開始時間、日数等の利便性が悪く利用しづらい
8. その他 (具体的に)
9. 特に理由はない

問 17 下記の事業等を知っているか、これまでに利用したことのあるもの、今後利用したいと思うものがありますか。事業の分野ごとに、A~Cについてお答えください。

(①~⑩の事業ごとに、それぞれあてはまるものに○) ※ 今後の利用希望については、対象年齢のお子さんがいない場合も、いると仮定してお答えください。

Table with 4 columns: 知っている, A, B, C. Rows include ①子育てケアプラン, ②子育て相談窓口, ③ほのぼののタイム, ④エンゼルヘルプサービス, ⑤子育てすこやか広場, ⑥発達障害相談, ⑦家庭児童相談, ⑧ひとりじゃないよ, ⑨MY浦安, ⑩産前・産後サポート事業, ⑪産後ケア事業, ⑫理由を問わない短時間の一時預かり事業, ⑬こども発達センター.

4. あて名のお子さんの病氣やケガの際の保育等についてうかがいます。

問18 この1年間に、お子さんが病氣やケガで定期的な教育・保育事業(4ページの定数参照)が利用できなかったことはありますか。(1つに○)

1. あった 2. なかった → 問19へ

■問18で「1. あった」を選ばれた方にかかいます。

問18-1 この1年間に、お子さんが病氣やケガで定期的な教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法と、日数をお答えください。(あてはまるものすべてに○をし、口内に日数を記入)

※単日程度の対応の場合も1日ずつカウントしてください。

| 対処方法 | 日数 |
|---------------------------------|---------------------------|
| 1. 父親が仕事を休んだ | 日 程度 <input type="text"/> |
| 2. 母親が仕事を休んだ | 日 程度 <input type="text"/> |
| 3. 父親または母親のうち勤務していない方が子どもをみた | 日 程度 <input type="text"/> |
| 4. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった | 日 程度 <input type="text"/> |
| 5. 病児保育を利用した※ | 日 程度 <input type="text"/> |
| 6. 病後児保育を利用した (保育園で実施する事業を含む) ※ | 日 程度 <input type="text"/> |
| 7. ベビーシッターを利用した | 日 程度 <input type="text"/> |
| 8. ファミリー・サポーター・センターを利用した | 日 程度 <input type="text"/> |
| 9. 子どもだけで留守番させた | 日 程度 <input type="text"/> |
| 10. その他 () | 日 程度 <input type="text"/> |

※「病児保育」…児童が年中または病氣の回復期にあつて集団保育が困難な期間に、保育者・医療機関に付設された専用スペースなどにおいて保育及び看護ケアを行うサービスです。
 ※「病後児保育」…児童が病氣の回復期にあつて集団保育が困難な期間に、保育者・医療機関に付設された専用スペースなどにおいて保育を行うサービスです。

■問18-1で「1. 父親が仕事を休んだ」「2. 母親が仕事を休んだ」を選ばれた方にかかいます。

問18-2 その際、病児・病後児のための事業等を利用したいと思いませんか。(あてはまるものすべてに○をし、口内に日数を記入)

※病児・病後児保育の利用には、一定の利用料がかかります。

1. できれば病児保育施設等を利用したい 日 → 問18-3へ

2. できれば病後児保育施設等を利用したい 日 → 問18-3へ

3. 利用したいとは思わない → 問18-4へ

■問18-2で「1. できれば病児保育施設等を利用したい」「2. できれば病後児保育施設等を利用したい」を選ばれた方にかかいます。

問18-3 お子さんを預ける際、どのような事業形態が望ましいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 他の施設(例:幼稚園・保育園等)に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で開催する事業(例:ファミリー・サポーター・センター等)
4. 自宅へ病児・病後児に安心してきてくれる人材を派遣する事業
5. その他 ()

■問18-2で「3. 利用したいとは思わない」を選ばれた方にかかいます。

問18-4 「利用したいと思わない」理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 病児・病後児を他人に看ってもらうのが不安
2. 親が仕事を休んで対応すると思っていない
3. 事業の質に不安がある
4. 事業の利用時間がよくない
5. 事業の開催日がよくない
6. 利用料が高い
7. 利用のための手続きが面倒
8. 病児・病後児保育について知らない・わからない
9. その他 ()
10. その他 ()

■問18-1で「3. 1」～「10. 3」を選ばれた方にかかいます。

問18-5 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの看護を理由に休みが取れない
2. 自然業なので休めない
3. 休暇日数が足りない
4. その他 ()

5. あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりの利用についてうかがいます。

問19 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(あてはまるものすべてに○をし、口内に日数を記入)

| 利用している事業 | 日数(年間) |
|---|------------------------|
| 1. 一時預かり (理由を問わずに保育室などで一時的に子どもを保育する事業) | <input type="text"/> 日 |
| 2. 幼稚園、保育園、認定こども園の預かり保育 (不定期に利用する場合のみ) | <input type="text"/> 日 |
| 3. ファミリー・サポーター・センター (研修を受けた地域住民が子どもを預かる事業) | <input type="text"/> 日 |
| 4. 夜間看護等事業; トワイライトステイ (休E・夜間に一時的に子どもを保育する事業) | <input type="text"/> 日 |
| 5. ベビーシッター | <input type="text"/> 日 |
| 6. その他 () | <input type="text"/> 日 |
| 7. 利用していない | → 問19-1 |

■問19で「7. 利用していない」を選ばれた方にかかります。
問19-1 現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

| | |
|-----------------------------------|-----------------------|
| 1. 特に利用する必要がない | 6. 利用のための手続きが面倒 |
| 2. 利用しない事業が地域にない | 7. 自分が事業の対象者になるのかわからぬ |
| 3. 地域の事業の質に不安がある | 8. 事業の内容がよくわからない・知らない |
| 4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない | 9. 家族の同意が得られない |
| 5. 利用料が高かすぎる・高い | 10. その他（ ） |

問20 あて名のお子さんについて、私用、親の選抜、不定期の就労等を目的とした、一時的な預かり事業の利用希望についてうかがいます。

① 今後、利用したいですか。(1つに○)
 ■①で「1. 利用したい」を選ばれた方にかかります。
 ② 利用したい事業を選んでください。(あてはまるものすべてに○)
 ③ 利用目的別に利用希望日数をお答えください。(目的別に日数を口内に記入)
※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

| | | |
|---|--------------|-------|
| 1. 利用したい | 2. 利用する必要はない | ⇒問21へ |
| ①利用希望 | | |
| ②利用したい事業 | | |
| 1. 一時預かり (理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業) 2. 幼稚園、保育園、認定こども園の預かり保育 (不登届に利用する場合のみ) 3. ファミリー・サポーター・センター (研修を受けた地域住民が子どもを預かる事業) 4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ (休日・夜間に一時的に子どもを保育する事業) 5. ベビーシッター 6. その他 () | | |

| | | |
|---|--|---------|
| ③利用目的 | | 日数 (年間) |
| 1. 私用 (買物、子ども (兄弟姉妹を含む) や親の習い事等)、リフレッシュ目的 | | □ □ □ □ |
| 2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども (兄弟姉妹を含む) や親の通院等 | | □ □ □ □ |
| 3. 不登届の就労 | | □ □ □ □ |
| 4. その他 () | | □ □ □ □ |

問21 宿泊を伴う一時預かりについてうかがいます。
 ① この1年間に、冠婚葬祭、保護者・家族の病気などにより、お子さんを泊りがけで家族以外に預けてもらわなければならないことはないですか。(1つに○)
 ② あった場合は、対応方法とその日数をお答えください。
 (あてはまるものすべてに○。日数:対応方法別の日数を口内に記入)

| | | |
|--|---------|-----------|
| ①預けの経緯 | | 宿泊日数 (年間) |
| 1. あった。預け先が見つからなかった場合を含む | 2. なかった | ⇒問22へ |
| ②対応方法 | | |
| 1. (同居者を含む) 親族・知人に見てもらった | | □ □ □ □ |
| 2. 子育て短期支援事業 (こどもショートステイ) を利用した (一定の期間、保護者に代わり子どもを養育する事業) | | □ □ □ □ |
| 3. 2. 以外の保育事業 (認可外保育施設、ファミリー・サポーター・センター、ベビーシッター等) を利用した | | □ □ □ □ |
| 4. 子どもも同行させた | | □ □ □ □ |
| 5. 子どもだけで留守番をさせた | | □ □ □ □ |
| 6. その他 () | | □ □ □ □ |
| 7. 預け先が見つからず用事をあきらめた | | □ □ □ □ |

■問21の②対応方法で「1. (同居者を含む) 親族・知人に見てもらった」を選ばれた方にかかります。
問21-1 その場合の困難さほどの程度でしたか。(1つに○)

| | | |
|----------|--------------|-------------|
| 1. 非常に困難 | 2. どちらかという困難 | 3. 特に困難ではない |
|----------|--------------|-------------|

6. あて名のお子さんが来年小学校に入学する方に、お子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

※お子さんが来年小学校に入学する年齢でない方は、問 23へ

問 22 あて名のお子さんが、(1)小学校低学年(1～3年生)と(2)小学校高学年(4～6年生)のそれぞれの時期に、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所でご過ごさたいと思えますか。(あてはまるものすべてに○をし、それぞれ希望する週当たり日数を数字で記入)

※「児童育成クラブ」は、利用を希望する時にも数字で記入ください。時間は(例)18時から24時間制で記入ください。

| | (1) 小学校低学年 | (2) 小学校高学年 |
|--------------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1. 自宅 | 週 日くらい | 週 日くらい |
| 2. 祖父祖母や友人、知人宅 | 週 日くらい | 週 日くらい |
| 3. 習い事 (ピアノ、歌謡、サッカー、クラブ、学習塾など) | 週 日くらい | 週 日くらい |
| 4. 児童センター | 週 日くらい | 週 日くらい |
| 5. 放課後 異年齢交流活動推進事業 ※1 | 週 日くらい | 週 日くらい |
| 6. 児童育成クラブ ※2 | 週 日くらい → 下校時から [] 時まで | 週 日くらい → 下校時から [] 時まで |
| 7. ファミリー・サポート・センター | 週 日くらい | 週 日くらい |
| 8. 公民館、公園など | 週 日くらい | 週 日くらい |
| 9. その他 () | 週 日くらい | 週 日くらい |

※1 「放課後異年齢交流活動推進事業」…進学した子ども達の通い慣れた学文施設等を活用して、異年齢児間の遊びを通じた交流を促進し、子どもの自主性、社会性を養うことを目的とし、児童の安全・安心な遊び場を提供するものです。

※2 「児童育成クラブ」…保護者が送迎等に協力しない場合などに、支援員の見守りのもと、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、入会条件があります。また、一斉の割合がかかります。

7. 育児休業や短時間勤務制度など職場の孤立支援制度についてうかがいます。

問 23 お子さんが生まれた時の両親の育児休業の取得状況をお答えください。

(取得の有無：Tに○、取得していない理由：口内に選択肢の番号を記入)

| | |
|--------|--|
| (1) 母親 | <p>1. 働いていなかった</p> <p>2. 取得した (取得中である)</p> <p>3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください。あてはまるものすべて)</p> |
| (2) 父親 | <p>1. 働いていなかった</p> <p>2. 取得した (取得中である)</p> <p>3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください。あてはまるものすべて)</p> |

【育児休業を取得していない理由】

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事に忙しかつた
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育園などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、親族(祖父母等)にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めなかった)
11. 職場に育児休業の取得要件を満たさなかった
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. 自営業のため
16. その他 ()

■問23-3で母親・父親のいずれか、もしくは両方で「2. 取得した(取得中である)」を選ばれた方になります。

問23-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(それぞれ1つに○)

| | | | |
|---------|-----------------|--------|--------|
| 職場復帰の状況 | | (1) 母親 | (2) 父親 |
| 1. | 育児休業取得後、職場に復帰した | | |
| 2. | 現在も育児休業中である | | |
| 3. | 育児休業中に退職した | | |

■問23-1で母親・父親のいずれか、もしくは両方で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方になります。

問23-2 育児休業から職場に復帰したタイミングはいつですか。(それぞれ1つに○)

※年度初めの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場面などもあり、「1.」にあてはまります。また、年度初めの入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「1.」を選択してください。

| | | | |
|---------|----------------------|--------|--------|
| 職場復帰の時期 | | (1) 母親 | (2) 父親 |
| 1. | 年度初めの入園に合わせたタイミングだった | | |
| 2. | それ以外だった | | |

■問23-1で母親・父親のいずれか、もしくは両方で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方になります。

問23-3 育児休業から「突如」にお子さんが何歳何ヶ月の時に職場復帰しましたが、また、お子さんが3歳になるまで育児休業を取得できると仮定した場合、何歳何ヶ月まで取り戻すつもりですか。(口内に年齢を記入)

| | | | |
|--------|-------|--------|-------|
| (1) 母親 | | (2) 父親 | |
| 実際 | 歳 月 月 | 実際 | 歳 月 月 |
| 希望 | 歳 月 月 | 希望 | 歳 月 月 |

■問23-3で母親・父親のいずれか、もしくは両方で実際の復帰と希望が異なる方になります。

問23-4 希望の時期に職場復帰できなかった理由をお答えください。

(それぞれあてはまるものすべてに○)

| | | |
|----------------|-----------------------|--------|
| ①希望より「早く」復帰した方 | (1) 母親 | (2) 父親 |
| 1. | 希望する保育所等に入らなかったため | |
| 2. | 配偶者や家族の希望があったため | |
| 3. | 経済的な理由で早く復帰する必要があったため | |
| 4. | 人事異動や業務の節目の時期に合わせたため | |
| 5. | その他 (母親:) (父親:) | |

②希望より「遅く」復帰した方

| | |
|--------|------------------------|
| (1) 母親 | (2) 父親 |
| 1. | 希望する保育所等に入らなかったため |
| 2. | 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. | 配偶者や家族の希望があったため |
| 4. | 職場の受け入れ準備が整っていなかったため |
| 5. | 子どもをみてくれる人がいなかったため |
| 6. | その他 (母親:) (父親:) |

■問23-1で母親・父親のいずれか、もしくは両方で「2. 現在も育児休業中である」を選択した方で、お子さんが1歳未満の方になります。

問23-5 お子さんが1歳になった時に必ずお子さんを預けられる施設等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。(それぞれ1つに○)

| | | | |
|-----------|-------------------|--------|--------|
| 育児休業の取得期間 | | (1) 母親 | (2) 父親 |
| 1. | 1歳になるまで育児休業を取得したい | | |
| 2. | 1歳になる前に復帰したい | | |

8. 子育てについていかがですか。

■問24・問25は、お子さんのお母さんにかかっています。

問24 妊娠中に、次のストレスを感じることはありましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 妊娠経過
2. 産後の育児
3. 胎児の発育
4. 産後の育児
5. 胎児の発育
6. 胎児の発育
7. 胎児の発育
8. 胎児の発育
9. 産後の育児
10. 産後の育児
11. 産後の育児
12. 産後の育児
13. 産後の育児
14. 産後の育児
15. 産後の育児

問25 産後の母親の身体面、精神面の体調はいかがでしたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 体調は良かった
2. 体調は良かった
3. 体調は良かった
4. 体調は良かった
5. 体調は良かった
6. 気分が落ち込んだ
7. 産後の回復が遅かった
8. 日中が寝てしまった
9. 育児を投げ出すようになった
10. その他 ()

■すべての方にかかっています。

問26 産後の育児に関して困ることや辛いことがありましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 物になかった
2. 寝ること
3. 食事のこと
4. 夜泣きのこと
5. 育児に慣れないこと
6. 上の子どものこと
7. 家事のこと
8. 家事・育児の協力者がいないこと
9. 自分の体調が悪く自分の思うような育児ができていなかったこと
10. 経済的負担
11. その他 ()

問27 浦安市の子育ての環境や支援への満足度をお答えください。(1つに○)



就学前児童保護者用

問 28 現在の子育て環境等をみたとときに、「浦安市子ども子育て支援総合計画」における次の施策の推進状況の満足度、また、今後取り組む上で、それぞれの施策の重要性を選んでください。また、そう考える理由をお書きください。
(満足度・重要性について、それぞれあてはまる番号1つに○をし、理由を記入)

| | 基本施策 | 評価 | | | | | 満足度、重要性を そう考える理由 |
|---|---|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|---------------------|
| | | 満足度 | 不満 | 重要 | 不要 | 重要性 | |
| 1 | 安小1と安大南とららな保育園づくり | 満足度 1 2 3 4 5 | 不満 1 2 3 4 5 | 重要 1 2 3 4 5 | 不要 1 2 3 4 5 | 重要性 1 2 3 4 5 | |
| | (1) 妊娠前からの切れ目のない支援体制について 育児相談、子育て支援センターの充実など | 満足度 | 不満 | 重要 | 不要 | 重要性 | |
| | | 今後の満足度 | 今後の不満 | 今後の重要 | 今後の不要 | 今後の重要性 | |
| | | 満足度 | 不満 | 重要 | 不要 | 重要性 | |
| | (2) 母子の働き続け・増進や小児医療体制について 産前・産後サポート事業、乳児医療生戸訪問など | 満足度 | 不満 | 重要 | 不要 | 重要性 | |
| | | 今後の満足度 | 今後の不満 | 今後の重要 | 今後の不要 | 今後の重要性 | |
| | | 満足度 | 不満 | 重要 | 不要 | 重要性 | |
| | (3) 地域における子育て支援サービスについて 保育園園開放、子育てサロンなど | 満足度 | 不満 | 重要 | 不要 | 重要性 | |
| | | 今後の満足度 | 今後の不満 | 今後の重要 | 今後の不要 | 今後の重要性 | |
| | | 満足度 | 不満 | 重要 | 不要 | 重要性 | |
| | (1) 質の高い幼児教育・保育について 認可子ども園・認可外保育の整備、保育士待遇改善の支援など | 満足度 | 不満 | 重要 | 不要 | 重要性 | |
| | | 今後の満足度 | 今後の不満 | 今後の重要 | 今後の不要 | 今後の重要性 | |
| | | 満足度 | 不満 | 重要 | 不要 | 重要性 | |
| | (2) 多様な保育サービスについて 一時期かり・前後保育・延長保育・休日保育の充実など | 満足度 | 不満 | 重要 | 不要 | 重要性 | |
| | | 今後の満足度 | 今後の不満 | 今後の重要 | 今後の不要 | 今後の重要性 | |
| | | 満足度 | 不満 | 重要 | 不要 | 重要性 | |
| | (1) 生き生きと育む学校教育環境について 学校正副課の推進、小人数教育の推進など | 満足度 | 不満 | 重要 | 不要 | 重要性 | |
| | | 今後の満足度 | 今後の不満 | 今後の重要 | 今後の不要 | 今後の重要性 | |
| | | 満足度 | 不満 | 重要 | 不要 | 重要性 | |
| | (2) 放課後児童の居場所づくりについて 児童育成クラブの整備・充実、児童センターの充実など | 満足度 | 不満 | 重要 | 不要 | 重要性 | |
| | | 今後の満足度 | 今後の不満 | 今後の重要 | 今後の不要 | 今後の重要性 | |
| | | 満足度 | 不満 | 重要 | 不要 | 重要性 | |
| | (3) 子ども豊かな個性と想像力を伸ばす機会について フクスタ・トキ業、うちやすなども本学など | 満足度 | 不満 | 重要 | 不要 | 重要性 | |
| | | 今後の満足度 | 今後の不満 | 今後の重要 | 今後の不要 | 今後の重要性 | |
| | | 満足度 | 不満 | 重要 | 不要 | 重要性 | |

就学前児童保護者用

| | 基本施策 | 評価 | | | | | 満足度、重要性を そう考える理由 |
|---|---|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|---------------------|
| | | 満足度 | 不満 | 重要 | 不要 | 重要性 | |
| 4 | (1) 障がいのある子どもや特別な支援が必要な子どもへの支援について 個別支援センター、特別支援教室の推進など (2) 子どもへの権利擁護や児童虐待対策について DV対策推進、児童虐待を早期発見するための啓発活動など (3) 子育て家庭への相談・支援について 多子世帯の保育料等の軽減支援、奨学支援金支給など | 満足度 1 2 3 4 5 | 不満 1 2 3 4 5 | 重要 1 2 3 4 5 | 不要 1 2 3 4 5 | 重要性 1 2 3 4 5 | |
| | (1) 子どもの安全を見守る環境づくりについて 認可保育園・認定こども園・私立保育園の整備など (2) 子育て家庭を応援する環境づくりについて 子育て支援センター・ファミリーサポート・児童相談所など (3) ワーク・ライフ・バランスの推進について 男女平等な待遇等の意識啓発など | 満足度 | 不満 | 重要 | 不要 | 重要性 | |
| | | 今後の満足度 | 今後の不満 | 今後の重要 | 今後の不要 | 今後の重要性 | |
| | | 満足度 | 不満 | 重要 | 不要 | 重要性 | |
| | (1) 子どもの安全を見守る環境づくりについて 認可保育園・認定こども園・私立保育園の整備など (2) 子育て家庭を応援する環境づくりについて 子育て支援センター・ファミリーサポート・児童相談所など (3) ワーク・ライフ・バランスの推進について 男女平等な待遇等の意識啓発など | 満足度 | 不満 | 重要 | 不要 | 重要性 | |
| | | 今後の満足度 | 今後の不満 | 今後の重要 | 今後の不要 | 今後の重要性 | |
| | | 満足度 | 不満 | 重要 | 不要 | 重要性 | |

問 29 あなたは子育てについてどのように感じますか。(1つに○)

- 1. 楽しいと感じることが多い
- 2. どちらかかという楽しい
- 3. どちらかかという辛い
- 4. 辛いと感じることが多い

問 30 子育ての中で、日頃悩んでいることや困っていることはどのようなことですか。(3つまで選んで○)

- 1. 子どもの健康、発育に関すること
- 2. 子どもの教育や学校に関すること
- 3. 子どもの友達つきあいにすること
- 4. 子どもの不登園、保育園・幼稚園離れに関すること
- 5. 子どもの接し方に関すること
- 6. 子どもと過ごす時間が十分に取れないこと
- 7. 子育てに関し、配偶者・パートナーの協力が得られないこと
- 8. 子どもに暴力をふるったりしてしまふこと
- 9. 子育てに関する相談をする人がいないこと
- 10. 子育てにお金がかかふこと
- 11. 家族や親戚と子育てに関する考え方が異なること
- 12. 育て方がこれだといひのか、自信がないこと
- 13. 保護者同士の関わり
- 14. 自分のための時間が取れないこと
- 15. 身近に友人・知人がおらず孤独感があること
- 16. 家から外に出る機会が少なく、社会とのつながりが薄れていると感じること
- 17. その他 ()
- 18. 特になし

問 31 子育てのささや不安感を解消するために、どのような支援・対策が必要だと思いますか。(3つまで選んで○)

- 1. 民生委員等による郵便の子育て支援の充実
- 2. 地域における身近な相談先の充実
- 3. 近隣の身近な支えあい
- 4. 保育サービスの充実
- 5. 地域において親子が集える場の充実
- 6. 妊娠・出産に対する支援
- 7. 子どもの健康に関する情報提供
- 8. 家事支援の充実
- 9. 外出支援の充実
- 10. 父親の育児促進
- 11. 仕事と子育ての両立
- 12. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
- 13. 特別な支援を必要とした児童に関する対応の充実
- 14. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
- 15. 子育て支援情報の提供
- 16. その他 ()
- 17. 特になし

問 32 浦安市は、子育てがしやすいと思いますか。(1つに○)

- 1. 子育てしやすいと思います ⇒ 問 32-1へ
- 2. 子育てしやすいと思いますが思わない ⇒ 問 32-2へ
- 3. どちらとも思わない
- 4. その他 () → 問 33へ

■問32で「1. 子育てしやすいと思います」と思われたい方向にうかがいます。

問 32-1 「子育てしやすいと思います」と思われる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 住環境が良い
- 2. 自然環境が良い
- 3. 交通機関が便利である
- 4. 保育サービスが充実している
- 5. 保育園、幼稚園などが利用しやすい
- 6. 職場と住居が近い
- 7. 公園や児童センターなど子どもの遊び場が多い
- 8. 近所つきあいや地域活動が盛んである
- 9. 子どもを介し友人と出会う場が充実している
- 10. 子育てに関する情報を得やすい
- 11. 事故や犯罪が少ない
- 12. その他 ()

■問32で「2. 子育てしやすいとは思わない」と思われたい方向にうかがいます。

問 32-2 「子育てしやすいとは思わない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 住環境が良くない
- 2. 自然環境が良くない
- 3. 交通機関が不便である
- 4. 保育サービスが充実していない
- 5. 保育園に空きがなく利用しづらい
- 6. 幼稚園の保育時間が短く利用しづらい
- 7. 公園や児童センターなど子どもの遊び場が少ない
- 8. 近所つきあいや地域活動が盛んでない
- 9. 子どもを介し友人と出会う場が充実していない
- 10. 子育てに関する情報を得にくい
- 11. 事故や犯罪が多く危険を感じる
- 12. その他 ()

問 33 あなたは、65歳以上の高齢者の方との交流の機会がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 同居している
- 2. 子育てでサロなど交流がある
- 3. 保育園・幼稚園・学校の行事で交流がある
- 4. 地域の行事で交流がある
- 5. 仕事で交流がある
- 6. 近所つきあいで交流がある
- 7. 交流したい機会がない
- 8. その他 ()
- 9. 特に必要性を感じない

問 34 あて名のお子さんには、高齢者の方との交流の機会があるとよいと思いますか。(1つに○)

- 1. はい
 - 2. いいえ
- (その理由:)

問 35 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由に記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

2. 就学児童保護者調査票

就学児童（小学1～4年生）の保護者様

浦安市子ども・子育て支援総合計画に関する基礎調査

< 調査ご協力をお願い >

皆様には日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
平成24年8月、国では「子ども・子育て支援法」をはじめとする子ども・子育て関連3法が成立し、質の高い幼児期の学校教育、保育の総合的な提供や地域の子ども・子育て支援を充実することを目的とした「子ども・子育て支援新制度」が平成27年4月からスタートしました。

浦安市では、平成26年度に「子ども・子育て支援法第61条」の規定に基づいて「浦安市子ども・子育て支援総合計画」を策定し、計画の中間年度である平成29年度に計画の一部見直しを行いました。今回、次期浦安市子ども・子育て支援総合計画（2020年度～2024年度）の策定にあたり、市民の皆様にお子さんの教育・保育事業の利用状況や子育てに関する生活実態についてご要望・ご意見などを把握するため、「浦安市子ども・子育て支援総合計画に関する基礎調査」を実施することになりました。

この調査は、住民基本台帳の中から小学1年生から4年生のお子さんをお子さんを無作為に800人抽出し、その保護者の方にご協力をお願いするものです。

ご回答いただいた調査内容は、市の計画の検討にのみ利用させていただきます。回答者個人が特定されたり個々の回答内容が他に漏れたり他の目的に利用されたりすることは一切ありません。つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

平成30年12月

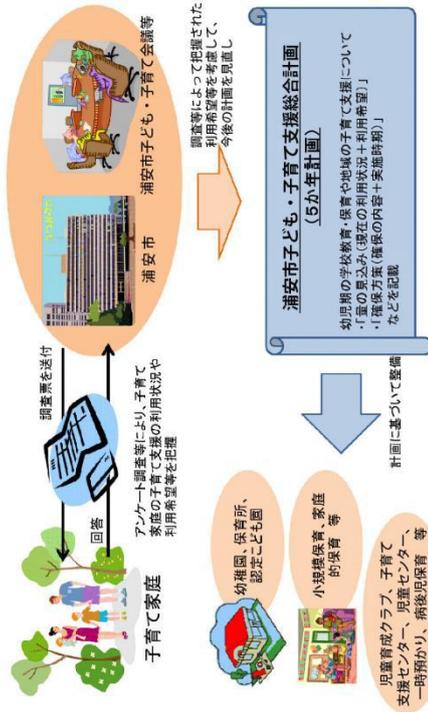
浦安市長 内田 悦嗣

○ 調査票記入にあたってのお願い ○

1. 調査票は、宛名のお子さんの保護者の方が記入するようお願いいたします。
 2. 質問の中には、一部の方のみにおたずねするものがありますので、矢印や説明に注意してください。
 3. 回答には、選択肢の番号に○印をつけていただく場合と、数字を記入していただく場合があります。数字は、回答欄に枠（□）がある場合には一枠に一字を記入してください。また、「その他」を選択した場合は（ ）に、具体的な内容を記入してください。
 4. 無記名のアンケートですので、住所、氏名を記入する必要はありません。返信用封筒にも記載しないようお願いいたします。
 5. ご記入いただきましたら、調査票を同封の返信用封筒に入れ、そのまま切手を貼らずに郵便ポストに投函してください。
- 平成30年12月26日(水)** までにご投函くださるようお願いいたします。

【お問い合わせ先】 浦安市 健康こども部課 こども事業係
TEL 047-712-6419 FAX 047-304-1505
Email kcdlomo@city.urayasu.lg.jp

いただいた回答は、本市の子育て支援の充実に生かされます



このアンケート調査の集計結果は、浦安市子ども・子育て会議に諮り、浦安市子ども・子育て支援総合計画（2020年度～2024年度）を策定するために活用します。アンケート調査の集計結果及び計画見直しの経過は、市のホームページなどでお知らせしていきます。

※ ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、将来の施設や事業の具体的な利用の可否を判断・決定するものではありません。今後、ご利用の際には、利用時の状況に応じた施設や事業の希望に変更していただいていた構いません。あくまで、現在の利用希望を伺うものです。

浦安市子ども・子育て支援事業計画に関する基礎調査【小学生児童保護者】

1. あて名のお子さんご家族の状況などについてうかがいます。

問1 お住まいについてうかがいます。

①お住まいの地区はどちらですか。(あてはまる番号1つに○をつけ、()内に丁目の数字を記入)

- 1. 当沢島 (丁目) 8. 音岡 (丁目) 15. 日の出 (丁目)
- 2. 猫美 (丁目) 9. 弁天 (丁目) 16. 明海 (丁目)
- 3. 堀江 (丁目) 10. 美浜 (丁目) 17. 高洲 (丁目)
- 4. 北栄 (丁目) 11. 入船 (丁目) 18. 千鳥
- 5. 富士見 (丁目) 12. 今川 (丁目) 19. 港
- 6. 海菜 (丁目) 13. 秋潮通り (丁目)
- 7. 東野 (丁目) 14. 舞浜 (丁目)

②現在のお住まいは次のどれですか。(1つに○)

- 1. 特家 (戸建)
- 2. 特家 (公譲マンション等の集合住宅)
- 3. 賃貸住宅 (一戸建)
- 4. 賃貸住宅 (アパルト、マンション、公営・公団等の集合住宅)
- 5. 社宅・会社の寮
- 6. 間借り・住み込み
- 7. その他 ()

③ご家族の浦安市の居住歴をお答えください。(1つに○) 転入してきた方は()の①～④も教えてください。

※「2. 浦安市に転入してきた」には、生まれ育ちが浦安市で、転出したがそのあと浦安市へ転入してきて再び住むようになった場合を含む。

- 1. 浦安市に生まれてからずっと住んでいる
- 2. 浦安市に転入してきた (転入してから：① 5年未満 ② 5年～10年未満 ③ 10年～20年未満 ④ 20年以上) ⇒ ④

■問1③で「2. 浦安市に転入してきた」を返された方にうかがいます。

④転入された主な理由は、何ですか。(1つに○)

- 1. 就職・転職・転勤
- 2. 結婚や離婚のため
- 3. 通勤の利便性
- 4. 住老の都合 (特家の購入、家賃など)
- 5. 親の介護
- 6. 子どもの都合
- 7. その他 ()

問2 あて名のお子さんは何年生ですか。(1つに○)

- 1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生 4. 4年生

問3 あて名のお子さんを含めたお子さんの人数を、ご記入ください。(口内に人数を記入)

お子さんの数 人

問4 一緒にお住まいで、生計を共にしているご家族(世帯員)は、あなたを含めて全部で何人ですか。人数をご記入ください。(口内に人数を記入)

(あなたを含めた)世帯員の人数 人

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんから見た関係をお答えください。(1つに○)

- 1. 父親 2. 母親 3. その他 ()

問6 この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

- 1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問7 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。あて名のお子さんから見ればお答えください。(1つに○)

- 1. 父母とも同じくらい 3. 主に父親 5. その他 ()
- 2. 主に母親 4. 主に祖父

問8 あなたの世帯全体の昨年1年間の年収(税込)はおおよそいくらですか。(1つに○)

※収入には、証券収入(バート、アルパイトを含む)、事業収入(巨額収入、不動産収入、利子・配当金、個人年金、生活保護、世帯や配偶者からの養育費を含みます。)

- 1. 100万円未満 6. 500万円以上750万円未満
- 2. 100万円以上150万円未満 7. 750万円以上1,000万円未満
- 3. 150万円以上200万円未満 8. 1,000万円以上2,000万円未満
- 4. 200万円以上250万円未満 9. 2,000万円以上
- 5. 250万円以上300万円未満 10. わからない

問9 お子さんのご両親の現在の就業状況は次のどのどれですか。また、1年後はどのようにお考えですか(変更のない方も)お答えください。(それぞれあてはまるもの1つに○)

※ひとり親家庭の方は、父親または母親の該当する欄についてご記入ください。

(1) 母親

| 就業状況 | 現在 | 1年後 |
|---------------------------------|----|-----|
| フルタイム就労(青休・介護休業中も含む) | 1 | 1 |
| パートタイム就労(就業時間：月当たり120時間以上) | 2 | 2 |
| 青休・介護休業(就業時間：月当たり64時間以上120時間未満) | 3 | 3 |
| 中も含む) | 4 | 4 |
| 就業していない | 5 | 5 |

(2) 父親

| 就業状況 | 現在 | 1年後 |
|---------------------------------|----|-----|
| フルタイム就労(青休・介護休業中も含む) | 1 | 1 |
| パートタイム就労(就業時間：月当たり120時間以上) | 2 | 2 |
| 青休・介護休業(就業時間：月当たり64時間以上120時間未満) | 3 | 3 |
| 中も含む) | 4 | 4 |
| 就業していない | 5 | 5 |

問10 日頃、お子さんをみてもらえる親族、友人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日常的に親族(祖父母等)にみてもらえる
2. 緊急時や用事がある際には親族(祖父母等)にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時や用事がある際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問11 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる人(場所)は、誰(どこ)ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者
2. 支母
3. 実父
4. 養父母
5. 子どもを介した友人
6. 「5」以外の友人
7. 近所の人
8. 子育て支援施設(地域子育て支援拠点、児童センター等)、NPO
9. 保健所
10. 小学校教諭
11. 民生委員・児童委員
12. 病院の医師・看護師・助産師
13. 自治体の子育て関連担当窓口
14. 市の保健師・助産師
15. 市の子育てケアマネジャー
16. 公民館
17. 相談できる人(場所)はない
18. その他()

2. あて名のお子さんの放課後や土曜日の過ごし方についてうかがいます。

問12 お子さんは、放課後や土曜日を主にどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 友達と過ごす
2. 保護者や親族(祖父母等)と過ごす
3. 一人(または兄弟のみ)で過ごす
4. 習い事や学習塾に行く
5. 児童育成クラブ(学童クラブ)で過ごす ※1
6. 放課後異年齢交流推進事業(子ども教室)で過ごす ※2
7. 児童センター等の児童施設で過ごす
8. 公民館、図書館、体育館などで過ごす
9. ファミリー・サポート・センターを利用する
10. その他()

※1 児童育成クラブ、児童センターが児童が親学業により長期空室にない場合に、実施員の見守りのもと、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、入会条件があります。

※2 「放課後異年齢交流推進事業」…就学した子ども達の通い慣れた学校や教室等を利用して、異年齢間交流の遊びを通して交流を促進し、子どもの自主性、社会性等を養うことを目的とし、児童の安全、安心な遊び場を確保するものです。

問13 お子さんが放課後や土曜日を過ごすときに必要な場所・施設はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもが自由に、安全に遊べる広場や公園
2. 子どもが自由に遊べる屋内の施設(児童センターや青少年館、放課後異年齢交流推進事業(子ども教室))
3. 保護者に代わって子どもの支援をする施設(児童育成クラブ)
4. 塾や習い事の場合
5. 自宅で過ごしているので塾や、施設は特に必要ない
6. その他()

3. 児童育成クラブの利用状況についてうかがいます。

問14 あて名のお子さんについて、現在、児童育成クラブを利用していますか。(1つに○)

1. 利用している
2. 利用していない → 問14-4へ

問14-4 「1. 利用している」を選ばれた方にうかがいます。

問14-1 あて名のお子さんについて、児童育成クラブの利用日数はどれくらいですか。また、土曜日の利用についてもお答えください。(1つに○)

- 週 日くらい → うち土曜日の利用: 1. ある 2. ない

問14-2 児童育成クラブを利用されている理由についてうかがいます。(1つに○)

- お子さんの身の回りの世話を主にしている方が
1. 現在就労している
 2. 求職中である(離職してから2か月以内)
 3. 家族・親族などを介護しなければならぬ
 4. 病气や障がいを持っている
 5. 学生である
 6. その他()

問14-3 現在通っている児童育成クラブに対してどのように感じていますか。(それぞれ1つに○)

| | 1 | 2 | 3 | 4 |
|---------------------------|---|---|---|---|
| 大変満足: ほぼ満足: やや不満: 大変不満 | | | | |
| ①自宅から近いなどの通いやすさ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ②施設や設備 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③支援・指導内容 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④利用できる曜日や時間帯 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤安全・衛生面の対策 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑥支援員の人員体制や専門性・人柄 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑦保護者とのコミュニケーションや要領・苦情への対応 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑧保護者が負担する金額 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑨～⑩全体的な満足度 | 1 | 2 | 3 | 4 |

■問14で「2. 利用していない」を選択した場合、利用したい理由についてお答えください。(1つに○)
問14-4 児童育成クラブを利用されていない理由についてお答えください。(1つに○)
 お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労していないから
 2. 就労しているが、児童育成クラブを知らなかったから
 3. 就労しているが、児童育成クラブに等しくないから
 4. 就労しているが、児童育成クラブの開始時間が遅いから
 5. 就労しているが、利用料がかかるから
 6. 就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから
 7. 就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから
 8. 就労しているが、他の施設に預けているから
 9. その他 ()

■問14-5 あて名のお子さんについて、今後、児童育成クラブを利用したいとお考えですか。(1つに○)
 また、利用希望がある方は特日内に日数を記入し、土・日曜日、祝日の利用希望についてお答えください。(それぞれ1つに○)

1. 利用したい → 週 日くらい
 → うち土曜日の利用希望: 1. ある 2. ない
 → うち日曜日の利用希望: 1. ある 2. ない
 → うち祝日の利用希望: 1. ある 2. ない
 2. 今後もしない

■問14-5で「1. 利用したい」を選ばれた方にお答えください。
問14-6 今後児童育成クラブを利用したい理由はどのようなことですか。(1つに○)
 お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している
 2. 就労予定がある／求職中である
 3. そのうち就労したいと考えている
 4. 家族・親族などを介護しなければならぬ
 5. 病気や障がいを持っている
 6. 学生である／就学したい
 7. その他 ()

■あて名のお子さんの放課後の過ごし方について、すべての方に希望をうかがいます。
問15 浦安市では、放課後異年齢交流促進事業を実施していますが、その利用意向をうかがいます。(1つに○)

1. 現在利用しており、今後も利用したい
 2. 現在利用していないが、今後は利用したい ()
 3. その他

■あて名のお子さんの小学6年生以降の放課後の過ごし方についてどのようなことを望みますか。(1つに○)なお、「1. 5年生以降も放課後児童クラブを利用したい」を選ばれた方は、特日内に何年生まで利用したいかご記入ください。

1. 5年生以降も児童育成クラブを利用したい → 小学 年生まで利用したい
 2. 放課後異年齢交流促進事業を利用したい
 3. クラブ活動や習い事をさせたい
 4. 利用を希望するサービスは特になし
 5. その他 ()

4. 地域の子育て支援事業の利用状況等についてお答えください。

問17 下記の事業等を知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものがありますか。事業の分野ごとに、A～Cについてお答えください。
 (それぞれあてはまるものに○)

※今後の利用希望については、お歳年齢のお子さんがいない場合も、いると仮定してお答えください。

| | A | | B | | C | |
|--|-------|-------|----------------|-------|-------|---------|
| | 知っている | 知っている | これまでに利用したことがある | 知っている | 知っている | 今後利用したい |
| ①児童センター (健全な遊びを提供する施設) | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ②ファミリー・サポート・センター (習熟を受けた地域公民館が子どもを預かる事業) | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ③MY浦安 (市内の子育て支援情報を提供するウェブサイト) | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ④こどもショートステイ (発達障害の併発、出席、不正登校等で一時的にお子さんの養育が困難になった際に宿舎にお子さんを預けられる) | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑤子育て相談室・子育て総合窓口 (子育ての様々な相談に、市の子育てケアマネジャーが相談を受けるもの) | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑥愛護児童相談 (子どもを育てていくうえで様々な悩みや心配事について家庭相談員が相談を受けるもの) | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑦こども発達センター (保育士・心理士・児童福祉士・理学療法士・言語聴覚士が、お子さんの心身の発達上での様々な悩みや心配事の相談・相談を行う) | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑧教育相談 (小・中学生の学習・進路・問題行動など学校生活に関する悩み・中学生の学習・進路・コミュニケーションが気になる子どもの進学・進学などの相談) | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑨まなびサポート相談 (発達・学習・コミュニケーションが気になる子どもの進学・進学などの相談) | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑩いじめ110番 (小・中学生のいじめ予防とその防止及びいじめ問題の早期対応を図るため、電話による相談を受けるもの) | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑪青少年相談 (青少年の問題行動や学校問題、家庭・自分自身のことなど青少年に関する様々な相談を受けるもの) | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑫ひとりじやないよ -みんなで子育てハンドブック- (中で実行している子育てに関する行動情報を掲載した冊子) | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 |

5. あて名のお子さんの病氣やケガの際の看護についてうかがいます。

問 18 この1年間に、お子さんが病氣やケガで学校を欠席したことはありますか。(1つに○)

1. あった 2. なかった ⇒ 問 20へ

■問18で「1. あった」を選ばれた方に向かいます。

問 19 この1年間に、お子さんが病氣やケガで看護できなかった場合の対処方法と、日数をお答えください。

(あてはまるものすべてに○をし、口内に日数を記入)

※平日程度の場合も1日とカウントしてください。

| 対処方法 | 日 数 |
|---------------------------------|--------------------------|
| 1. 父親が仕事を休んだ | 日程度 <input type="text"/> |
| 2. 母親が仕事を休んだ | 日程度 <input type="text"/> |
| 3. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた | 日程度 <input type="text"/> |
| 4. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった | 日程度 <input type="text"/> |
| 5. 病児保育を利用した※ | 日程度 <input type="text"/> |
| 6. 病後児保育を利用した (保育園で実施する事業を含む) ※ | 日程度 <input type="text"/> |
| 7. ベビーシッターを利用した | 日程度 <input type="text"/> |
| 8. ファミリー・サポート・センターを利用した | 日程度 <input type="text"/> |
| 9. 了もただで留守番をさせた | 日程度 <input type="text"/> |
| 10. その他 () | 日程度 <input type="text"/> |

※「病児保育」…児童が病中または病気の回復期にあつて集団保育が困難な期間に、保育所・区草機
関に依頼された専用スペースなどにおいて保育及び看護ケアを行う保育サービスです。

※「病後児保育」…児童が病気の回復期にあつて集団保育が困難な期間に、保育所・区草機関に付設
された専用スペースなどにおいて保育を行うサービスです。

■問19で「1. 父親が仕事を休んだ」「2. 母親が仕事を休んだ」を選ばれた方に向かいます。

問 19-1 その際、病児・病後児のための事業等を利用したいと思いましたが。

(あてはまるものすべてに○をし、口内に日数を記入)

※この病児・病後児保育の利用には、一定の利用例がかり、入園申請が必要となります。

1. できれば病児保育施設等を利用したい 日 ⇒ 問 20へ

2. できれば病後児保育施設等を利用したい 日 ⇒ 問 20へ

3. 利用したいとは思わない ⇒ 問 19-2へ

■問19-1で「3. 利用したいとは思わない」を選ばれた方に向かいます。

問 19-2 「利用したいと思わない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 病児・病後児を他人に育てもらうのは不安
2. 事業の質に不安がある
3. 事業の立地がよくない
4. 事業の利用時間帯がよくない
5. 事業の間隔日がよくない
6. 利用料が高い
7. 利用のための手続きが面倒
8. 親が仕事を休んで対応すると知っている
9. 病児・病後児保育について知らない・わからない
10. その他 ()

■問19で「3.」～「10.」を選ばれた方に向かいます。

問 19-3 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの看護を理由に休みが取れない
2. 日営業なので休めない
3. 休暇日数が足りない
4. その他 ()

6. すべての方に、あて名のお子さんの不規則な預かり事業の利用についてうかがいます。

問 20 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病氣のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不規則に利用している事業はありますか

(あてはまるものすべてに○をし、口内に日数を記入)

| 利用している事業 | 日数 (年間) |
|--|--------------------------------|
| 1. ファミリー・サポート・センター (伊後を受けた地域住民が子どもを預かる事業) | <input type="text"/> 日 |
| 2. 夜間看護等事業；トワイライトステイ (休E・夜間に一時的に子どもを保育する事業) | <input type="text"/> 日 ⇒ 問 21へ |
| 3. その他 | <input type="text"/> 日 |
| 4. 利用していない | ⇒ 問 20-1へ |

■問20で「4. 利用していない」を選ばれた方に向かいます。

問 20-1 現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域がない
3. 地域の実情に不安がある
4. 地域の事業の利便性 (立地や利用可能時間・日数など) がよくない
5. 利用料が高くなる・高い
6. 利用のための手続きが面倒
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 事業の内容がよくわからない・知らない
9. 家族の同意が得られない
10. その他 ()

問 21 あて名のお子さんについて、私用、親の滞院、不定期の勤務等を目的とした、一時的な預かり事業の利用希望についてうかがいます。

① 今後、利用したいですか。(1つに○)

■①で「1. 利用したい」を選んだ方にうかがいます。

② 利用目的別に利用希望日数をお答えください。(目的別に日数を口内に記入)

※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。可封している利用料の資料を参考にご覧ください。

① 利用希望

1. 利用したい 2. 利用する必要はない → 問 22へ

| ③利用目的 | 日数(年間) |
|--|------------------------|
| 1. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的 | <input type="text"/> 日 |
| 2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の滞院等 | <input type="text"/> 日 |
| 3. 不定期の就労 | <input type="text"/> 日 |
| 4. その他() | <input type="text"/> 日 |

問 22 宿泊を伴う一時預かりについてうかがいます。

① この1年間に、冠婚葬祭、保護者・家族の病気などにより、お子さんを泊りがけで家族以外にのみでもらわなければならないことはありませんか。(1つに○)

② あった場合は、対処方法とその日数をお答えください。

(あてはまるものすべてに○、日数：対処方法別の日数を口内に記入)

① 預けの経緯

1. あった(預け先が思いつかなかった場合を含む) 2. なかった → 問 23へ

| ②対処方法 | 宿泊日数(年間) |
|---|------------------------|
| 1. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった | <input type="text"/> 泊 |
| 2. 短期入所生活援助事業(子どもショートステイ)を利用した(一定の期間、保護者に代わり子どもを養育する事業) | <input type="text"/> 泊 |
| 3. 子どもも同行させた | <input type="text"/> 泊 |
| 4. 子どもだけで留守番をさせた | <input type="text"/> 泊 |
| 5. その他() | <input type="text"/> 泊 |
| 6. 預け先が風つからず用事をあそらめた | <input type="text"/> 泊 |

■問22の②対処方法で「1. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」を選ばれた方にうかがいます。

問 22-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。(1つに○)

1. 非常に困難 2. どちらかというと困難 3. 特に困難ではない

7. すべての方に、子育てについてうかがいます。

問 23 浦安市の子育ての環境や支援への満足度をお答えください。(1つに○)

満足度が低い ← 2 3 4 5 → 満足度が高い

問 24 あなたは子育てについてどのように感じますか。(1つに○)

1. 楽しいと感じることが多い 3. どちらかというとき辛い

2. どちらかというとき楽しい 4. 辛いと感じることが多い

問 25 子育ての中で、日頃悩んでいることや困っていることほどどのようなことですか。(9つまで選んで○)

- 子どもの健康、養育に関すること
- 子どもの教育や学校に関すること
- 子どもの友達つきあひに関する事
- 子どもの不登園、保育所・幼稚園・幼保連携に関する事
- 子どもとの様式に関する事
- 子どもと過ごす時間が十分に取れないこと
- 子育てに際して、配偶者・パートナーの協力が得られないこと
- 子どもに暴力をふるったりしてしまっていること
- 子育てに関する相談をする人がいないこと
- 子育てでお金がかかること
- 家族や親戚と子育てに関する考え方が異なること
- 育て方がこれでもいいのか、自信がないこと
- 保護者同士の関わり
- 自分のための時間が取れないこと
- 身近に友人・知人がおらず孤独感があること
- 家から外に出る機会が少なく、社会とのつながりが薄れていると感じること
- その他()
- 特になし

問 26 子育てのささや不安感を解消するために、どのような支援・対策が必要だと感じますか。(3つまで選んで○)

- 民生委員等による地域の子育て支援の充実
- 地域における身近な相談者の充実
- 近隣の身近な支えあひ
- 保育サービスの充実
- 地域において親子が集える場の充実
- 地域・出身に対する支援
- 子どもの健康に関する情報提供
- 家事支援の充実
- 外住支援の充実
- 父親の育児促進
- 仕事と子育ての両立
- 子どもを対象とした犯罪・事故の軽減
- 特別な支援を必要とした児童に関する対応の充実
- 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
- 子育て支援情報の提供
- その他()
- 特になし

就学児童保護者用

問 27 現在の子育て環境等をみたときに、「浦安市子ども・子育て支援総合計画」における次の施策の推進状況の満足度、また、今後取り組む上で、それぞれの施策の重要性を選んでください。また、その考える理由をお書きください。
(満足度・重要性について、それぞれあてはまる番号1つに○をし、理由を記入)

| | 基本施策 | 評価 | | 満足度、重要性を そう考える理由 |
|---|--|---|--|---------------------|
| | | 満足度 | 重要性 | |
| 1 | (1) 妊娠前から切れ目のない支援体制について 要する児童、子育て支援センターの充実など (2) 母子の健康保持・増進や小児医療機関について 産前・産後ケア事業、乳児健診金戸訪問など (3) 地域における子育て支援サービスについて 保育園延長開放、子育てサロンなど (4) 質の高い幼児教育・保育について 認定こども園・認可保育園の整備、保育士待遇改善等の支援など (5) 多様な保育サービスについて 一時預かり・病後児保育、延長保育、休日保育の充実など | 満足度 1 2 3 4 5 今後の重要性 1 2 3 4 5 | 不満足 1 2 3 4 5 不要 1 2 3 4 5 今後の重要性 1 2 3 4 5 | |
| 2 | 幼児期の読み・書きの普及 | 満足度 1 2 3 4 5 今後の重要性 1 2 3 4 5 | 不満足 1 2 3 4 5 不要 1 2 3 4 5 今後の重要性 1 2 3 4 5 | |
| 3 | 水世代を担う子どもたちの教育や成長の支援 | 満足度 1 2 3 4 5 今後の重要性 1 2 3 4 5 | 不満足 1 2 3 4 5 不要 1 2 3 4 5 今後の重要性 1 2 3 4 5 | |

就学児童保護者用

| | 基本施策 | 評価 | | 満足度、重要性を そう考える理由 |
|---|---|---|--|---------------------|
| | | 満足度 | 重要性 | |
| 1 | (1) 障がいのある子どもや特別な支援が必要な子どもへの支援について こども発達センター、特別支援教育の推進など (2) 子どもへの権利擁護や児童虐待対策について DV対策推進、児童虐待を早期発見するための啓発活動など (3) 子育て家庭への相談・支援について 母子世帯の居場所等の相談支援、奨学生奨学金など (4) 子どもへの安全を見守る環境づくりについて 防犯ボランティア、防犯訓練など (5) ワーク・ライフ・バランスの推進について 男女平等意識等の意識啓発など | 満足度 1 2 3 4 5 今後の重要性 1 2 3 4 5 | 不満足 1 2 3 4 5 不要 1 2 3 4 5 今後の重要性 1 2 3 4 5 | |
| 2 | 子育てしやすいまちだと思いませんか。(1つに○) | 満足度 1 2 3 4 5 今後の重要性 1 2 3 4 5 | 不満足 1 2 3 4 5 不要 1 2 3 4 5 今後の重要性 1 2 3 4 5 | |

問 28 浦安市は、子育てしやすいまちだと思いませんか。(1つに○)

1. 子育てしやすいまちだと思える
⇒ 問 28-1へ
2. 子育てしやすいまちだと思わない
⇒ 問 28-2へ
3. どちらともいえない
⇒ 問 29へ
4. その他 ()

問 28で「1. 子育てしやすいまちだと思える」を選ばれた方にお知らせ

問 28-1 「子育てしやすいまちだと思いませんか。(あてはまるものすべてに○)

1. 住環境が良い
2. 自然環境が良い
3. 交通機関が便利である
4. 保育サービスが充実している
5. 保育園、幼稚園などが利用しやすい
6. 職場と住居が近い
7. 公園や児童遊園地など子どもの遊び場が多い
8. 近所づきまいや地域活動が盛んである
9. 子どもを介し友人と出会う機会が充実している
10. 子育てに関する情報が得やすい
11. 事故や犯罪が少ない
12. その他 ()

■問28で「2. 子育てしやすいまちだと思わない」を選ばれた方にうかがいます。

問 28-2 「子育てしやすいまちだと思わない」理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 1. 住環境が良くない | 7. 公園や児童センターなど子どもの遊び場が少ない |
| 2. 自然環境が良くない | 8. 近所づきあいや地域活動が盛んではない |
| 3. 交通機関が不便である | 9. 子どもを介し友人と出会う場が充実していない |
| 4. 保育サービスが充実していない | 10. 子育てに関する情報を得にくい |
| 5. 保育園に空きがなく利用しづらい | 11. 事故や犯罪が多く危険を感じる |
| 6. 保育園の保育時間が短く利用しづらい | 12. その他 () |

問 29 あなたは、65 歳以上の高齢者の方との交流の機会がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 同居している | 6. 近所づきあいで交流がある |
| 2. 子育てサロンなどで交流がある | 7. 交流したい機会がない |
| 3. 保育園・幼稚園・学校の行事で交流がある | 8. その他 () |
| 4. 地域の行事で交流がある | 9. 特に必要性を感じない |
| 5. 仕事で交流がある | |

問 30 あて名のお子さんには、高齢者の方との交流の機会があるよと思いますか。(1つに○)

- | | |
|--------|-----------|
| 1. はい | } (その理由：) |
| 2. いいえ | |

問 31 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

| |
|--|
| <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> |
|--|

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

3. 市民アンケート

市民の皆様

浦安市子ども・子育て支援総合計画に関する基礎調査

<調査ご協力をお願い>

皆様には日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
平成24年8月、国では「子ども・子育て支援法」をはじめとする子ども・子育て関連3法が成立し、質の高い幼児期の学校教育、保育の総合的な提供や地域の子ども・子育て支援を充実することを目的とした「子ども・子育て支援新制度」が平成27年4月からスタートしました。

浦安市では、平成26年度に「子ども・子育て支援法第61条」の規定に基づいて「浦安市子ども・子育て支援総合計画」を策定し、計画の中間年度である平成29年度に計画の一部見直しを行いました。今回、次期浦安市子ども・子育て支援総合計画（2020年度～2024年度）の策定にあたり、市民の皆様にお子さんの教育・保育事業の利用状況や子育てに関する生活実態についてご要望・ご意見などを把握するため、「浦安市子ども・子育て支援総合計画に関する基礎調査」を実施することになりました。

この調査は、住民基本台帳の中から18歳以上の方を無作為に2,000人抽出し、ご協力をお願いするものです。

ご回答いただいた調査内容は、市の計画の検討にのみ利用させていただきます。回答者個人が特定されたり固々の回答内容が他に漏れたり他の目的に利用されたりすることは一切ありません。つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが調査の趣意をご理解いただき、ご協力をお願いします。

平成30年12月

浦安市長 内田 悦嗣

○ 調査票記入にあたってのお願い ○

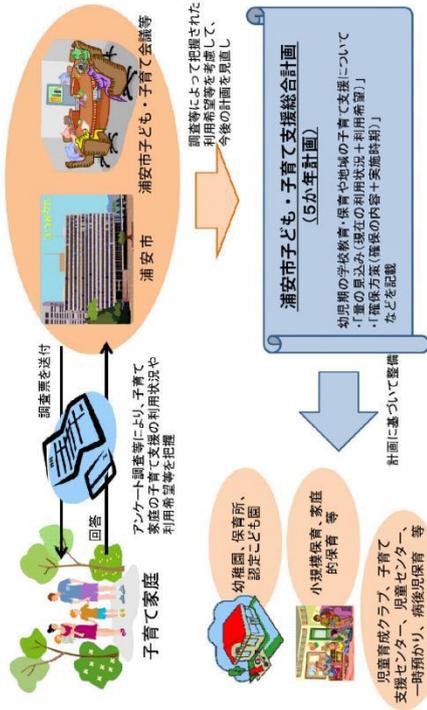
1. 調査票は、宛名のお子さんの保護者の方が記入するようお願いいたします。
2. 質問の中には、一部の方のみにおかずおぼろげなものがありますので、失印や説明に注意してください。
3. 回答には、選択肢の番号に○印をつけていただく場合と、数字を記入していただく場合があります。数字は、回答欄に枠（□）がある場合には一律に一字を記入してください。また、「その他」を選択した場合は（ ）に、具体的な内容を記入してください。
4. 無記名のアンケートですので、住所、氏名を記入する必要はありません。返信用封筒にも記載しないようお願いいたします。
5. ご記入いただきましたら、調査票を同封の返信用封筒に入れ、そのまま切手を貼らずに郵便ポストに投函してください。

平成30年12月26日(水)までにご返函くださるようお願いいたします。

6. この調査について、ご不明な点やご質問がございましたら、下記へお問合せください。

【お問合せ先】 浦安市 健康こども部こども課 こども事業係
TEL 047-712-6419 FAX 047-304-1505
Email kodomo@city.urayasu.lg.jp

いただいた回答は、本市の子育て支援の充実に生かされます



このアンケート調査の集計結果は、浦安市子ども・子育て会議に諮り、浦安市子ども・子育て支援総合計画（2020年度～2024年度）を策定するために活用します。アンケート調査の集計結果及び計画見直しの経過は、市のホームページなどでお知らせしていきます。

※ ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、将来の施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。今後、ご利用の際は、利用時の状況に応じた施設や事業の希望に変更していただいていたください。あくまで、現在の利用希望を伺うものです。

浦安市子ども・子育て支援事業計画に関する基礎調査【市民】

1. あなたご家族の状況などについてうかがいます。

問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

1. 男性 2. 女性

問2 あなたは、現在、何歳ですか。(1つに○)

1. 29歳以下 4. 50歳代 5. 60歳以上 2. 30歳代 3. 40歳代

問3 現在、あなたと1つ以上同居しているご家族はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

※単身赴任者により、一時的に別居している方も、同居家族としてお答えください。

1. 配偶者 2. 子ども 3. 父親 4. 母親 5. 兄弟姉妹 6. 孫 7. 祖父母 8. その他 ()

問4 お子さんと同居している方いらっしゃいます。同居されている方にお子さんの人数と現在の年齢をご記入ください。()内に数字を記入)

人数 ()人 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

問5 現在、1つ以上同居しているご家族は、全部で何人ですか。()内に数字を記入)

※単身赴任者により、一時的に別居している方も、同居家族としてお答えください。

()人

問6 お住まいについてうかがいます。

①お住まいの地区はどちらですか。(あてはまる番号1つに○をつけ、()内に丁目の数字を記入)

1. 当代島 (丁目) 8. 富岡 (丁目) 15. 日の出 (丁目) 2. 菊水 (丁目) 9. 弁天 (丁目) 16. 明勝 (丁目) 3. 堀江 (丁目) 10. 美浜 (丁目) 17. 高洲 (丁目) 4. 北栄 (丁目) 11. 入船 (丁目) 18. 千鳥 5. 富士見 (丁目) 12. 今川 (丁目) 19. 港 6. 海楽 (丁目) 13. 鉄鋼通り (丁目) 7. 東野 (丁目) 14. 雑兵 (丁目)

②現在のお住まいは次のどれですか。(1つに○)

1. 持家 (一戸建て) 5. 社宅・会社の寮 2. 持家 (分譲マンション等の集合住宅) 6. 間借り・住み込み 3. 賃貸住宅 (一戸建て) 7. その他 () 4. 賃貸住宅 (アパート、マンション、公営・民間等の集合住宅)

③ご家族の浦安市の居住歴をお答えください。(1つに○)転入してきた方は()の①~④も教えてください。

※「2. 浦安市に転入してきた」には、乍まの着は浦安市で、転入したのがそのあと浦安市へ転入してきて再び住むようになった場合を含む。

1. 浦安市に生まれてからずっと住んでいる 2. 浦安市に転入してきた (転入してから: ① 5年未満 ② 5年~10年未満 ③ 10年~20年未満 ④ 20年以上) ④ハ

問6④で「2. 浦安市に転入してきた」を調べた方にうかがいます。

④転入された主な理由は、何ですか。(1つに○)

1. 結婚・転職・転勤 5. 親の介護 2. 結婚や離婚のため 6. 子どもの都合 3. 通勤の利便性 7. その他 () 4. 住居の都合 (持家の購入、家賃など)

問7 あなたは、今後も浦安市に住み続けたいと思いませんか。(1つに○)

1. 今後も住み続けたい 3. あまり住み続けたいと思わない 2. できるだけ住み続けたい 4. 住み続けたいと思わない

2. あなたの仕事や生活などについてうかがいます。(1つに○)

問8 あなたは、現在働いていますか。(1つに○)

| | |
|---|-----------------------------------|
| 1. 常勤 2. 非常勤・パート・アルバイト等 3. 自営業・家族従業員・自由業等 4. その他 () | 5. 産休・育児休業中 6. 学生 7. 働いていない |
|---|-----------------------------------|

問8で「1. 常勤」「2. 非常勤・パート・アルバイト等」「3. 自営業・家族従業員・自由業等」「4. その他」に○をつけたい方がいます。

問8-1 あなたが働いているおおよその日数・時間や残業の状況をお答えください。

(() 内に数字を記入、「残業の状況」「休日出勤の状況」はそれぞれ1つに○)

| | |
|----------|--|
| 働いている日数 | () 日 ※ 1週間の合計就業日数 |
| 働いている時間帯 | () 時～() 時 ※ 9時～18時(例)のように、24時間間でご記入ください。 ※ 時刻が定まっていない場合は、比較的多い時間を記入ください。 |
| 働いている時間 | () 時間 ※ 1週間の合計就業時間 |
| 残業の状況 | 1. はび毎日 2. 月10日程度 3. 月5日程度 4. ほとんどない |
| 休日出勤の状況 | 1. 毎週ある 2. 隔週程度 3. 時々ある 4. ほとんどない |

問8-2 あなたの生活の中で、「仕事時間」「家事(育児)」「プライベート」「希望」の優先順位についてうかがいます。「希望」「残業」についてお答えください。(それぞれ1つに○)

| | |
|--|--|
| 希望 | 現実 |
| 1. 仕事を優先 2. 家事(育児)を優先 3. プライベートを優先 4. その他 () | 1. 仕事を優先 2. 家事(育児)を優先 3. プライベートを優先 4. その他 () |

3. あなたの結婚や子育てなどについてうかがいます。

問9 あなたは、結婚(事実婚を含む)をしていますか。(1つに○)

| | |
|---|-------|
| 1. 未婚である 2. 既婚である 3. 結婚したが離別・別居している | 問9-4へ |
|---|-------|

問9で「1. 未婚である」に○をつけた方にうかがいます。

問9-1 今のあなたにとって、結婚することには何か利点があると思いますか。左下の枠のあてはまる番号に○をつけてください。また、「1. 利点があると思う」に○をつけた方は右側の枠の中から具体的な利点を2つまで選んで番号に○をつけてください。

【どちらかの番号に○】

| | |
|------------------|---|
| 今のあなたにとって結婚することは | 【2つまで選んで○】 |
| 1. 利点があると思う | 具体的には 1. 経済的に余裕が持てる 2. 社会的信用を得たり、周囲と対等になれる 3. 精神的な安らぎの場が得られる 4. 愛情を感じている人と暮らせる 5. 自分子どもや家族を持つ 6. 生活上便利になる 7. 親から親立できる 8. 親を安心させたり周囲の期待にこたえられる 9. その他 () |
| 2. 利点はないと思う | |

問9-2 今のあなたにとって、独身生活には結婚生活にない利点があると思いますか。左下の枠のあてはまる番号に○をつけてください。また、「1. 利点があると思う」に○をつけた方は右側の枠の中から具体的な利点を2つまで選んで番号に○をつけてください。

【どちらかの番号に○】

| | |
|----------------|---|
| 今のあなたにとって独身生活は | 【2つまで選んで○】 |
| 1. 利点があると思う | 具体的には 1. 行動や生き方が自由 2. 異性との交際が自由 3. お金を自由に使うことができる 4. 住居や環境の選択の幅が広い 5. 家族を養う責任がない 6. 友人などとの広い人間関係が保ちやすい 7. 職業を持ち、社会とのつながりが持てる 8. 現在の家族とのつながりが保てる 9. その他 () |
| 2. 利点はないと思う | |

問9-3 あなたが結婚することを考えたとき、次の中ではどのようなことが気になるですか。(1つに○)

(あてはまるものすべてに○)

| | | |
|---------------------------|---------|-----------------|
| 1. お金を自由に使えるか | 4. 4人 | 6. 子どもはいない |
| 2. 職業を自由に選べるか | 5. 5人以上 | 7. 子どもはいないほうがいい |
| 3. 仕事(または学業)の時間を自由にとれるか | | |
| 4. 余暇や遊びの時間を自由にとれるか | | |
| 5. 住む場所が制約されないか | | |
| 6. 自分の生活のリズムや生活スタイルを保てるか | | |
| 7. ファッションや食べ物などの好み制約されないか | | |
| 8. 自由な人生設計ができるか | | |
| 9. その他 () | | |

問9-4 あなたには、お子さんがいますか。(1つに○)

| | | |
|-------|---------|-----------------|
| 1. 1人 | 4. 4人 | 6. 子どもはいない |
| 2. 2人 | 5. 5人以上 | 7. 子どもはいないほうがいい |
| 3. 3人 | | |

→問10へ

問9-5 子育てを振り返って、あなたは次のようなことを感じることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

| | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1. 家族のきずなが深まった | 6. 社会からとり残された |
| 2. 人間関係が広がった | 7. 身体的・精神的負担が大きくなった |
| 3. 自分自身が成長した | 8. 経済的負担が大きくなった |
| 4. 子どもを育てることの社会的な意義・重要性を知った | 9. その他 () |
| 5. 自分のしたいことができなくなった | 10. 特になし |

問10はすべての方にうかがいます。

問10 あなたにとって、理想とする(理想と考えていた)お子さんは、何人ですか。(1つに○)

| | | |
|-------|---------|-----------------|
| 1. 1人 | 4. 4人 | 6. 子どもはいないほうがいい |
| 2. 2人 | 5. 5人以上 | 7. 子どもはいないほうがいい |
| 3. 3人 | | |

問12へ

問11は、問10の理想とするお子さんの人数より実際のお子さんの人数が少ない(少なかった)方についてうかがいます。

問11 理想とするお子さんの人数より、実際のお子さんの人数が少ない(少なかった)理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

| | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 1. 身体的負担が大きかったから | 11. 両親・パートナーが子育てに協力してくれなかったから |
| 2. 精神的負担が大きかったから | 12. 両親・パートナーが子育てに協力してくれなかったから |
| 3. 健康上または年齢的な理由で無理だったから | 13. ほかにいなくてもいい(できなかった)から |
| 4. 自分の人生が大切だったから | 14. その他 () |
| 5. お金がかかる(かかった)から | |
| 6. 住居が狭い(狭かった)から | |
| 7. 仕事と子育ての両立が困難だったから | |
| 8. 子どもがのびのび育つ社会環境ではない(なかった)から | |
| 9. 教育費に対して不安が大きかったから | |
| 10. 子どもの将来が不安だ(不安だった)から | |

問12 「6. 子どもはいないほうがいい」に○をつけた方にうかがいます。

問12 お子さんがないほうがいい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

| | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 1. 身体的負担が大きかったから | 11. 両親・パートナーが子育てに協力してくれなかったから |
| 2. 精神的負担が大きかったから | 12. 両親・パートナーが子育てに協力してくれなかったから |
| 3. 健康上または年齢的な理由で無理だったから | 13. ほかにいなくてもいい(できなかった)から |
| 4. 自分の人生が大切だったから | 14. その他 () |
| 5. お金がかかる(かかった)から | |
| 6. 住居が狭い(狭かった)から | |
| 7. 仕事と子育ての両立が困難だったから | |
| 8. 子どもがのびのび育つ社会環境ではない(なかった)から | |
| 9. 教育費に対して不安が大きかったから | |
| 10. 子どもの将来が不安だ(不安だった)から | |

問 13 結婚や子育てに関する考え方①～④について、あなたはどのように感じていますか。

| | (それぞれ1つに○) | | | |
|------------------------------|------------------|-----------------|------------------|-------------------|
| | 1 とても そう思う | 2 やや そう思う | 3 あまり 思わない | 4 まったく 思わない |
| ①結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもよい | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ②結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③子どもが小さいときは、母親が家について育てるほうがよい | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④子育ては、楽しい | 1 | 2 | 3 | 4 |

4. 少子化などについてうかがいます。

問 14 現在、出生率が低下し、子どもの数が減少してきていますが、あなたはこのことを知っていますか。(1つに○)

出生率【合計特殊出生率】
ひとり女性の一生の間に生かす子どもの平均数のことです。正東には「合計特殊出生率」といいます。一般的に出生可能な年齢とされる15～49歳までの女性の年齢別人口や生んだ子どもの数等をもとに算出されます。この値が2.07を下回ると、将来的に総人口は減少するといわれています。平成29年の全国値は1.43、浦安市は1.12となっています。

- 1. よく知っている
- 2. 聞いたことはあるがよくは知らない
- 3. 知らない

問 15 現在、出生率が低下していることについて、どう思いますか。(1つに○)

- 1. 非常に問題である
- 2. やや問題である
- 3. あまり問題ではない
- 4. まったく問題ではない

問 16 あなたは、出生率が低下している理由は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 収入が少ないから
- 2. 子どもの教育費がかかりすぎるから
- 3. 仕事事情が悪いから
- 4. 1子どもは近年までに成人してほしいと考え、出産を制限する人が増えたから
- 5. 出産や子育てに対する配偶者・パートナーの理解や協力が足りず、一方の負担が大きいから
- 6. 子どもは少なく生んで質の高い教育を受けさせたいと思える人が増えたから
- 7. 家庭と仕事の両立が困難だから
- 8. 結婚平均年齢が上昇したから
- 9. 1子どもよりも自分たちの生活を充実させたいと考え、人が増えたから
- 10. 介護や看護の必要の人が家族にいて、子育てとの両立が困難だから
- 11. 将来の子どもを取り巻く環境に不安を感じている人が増えているから
- 12. その他 ()
- 13. わからない

5. 子どもや子育てなどについてうかがいます。

問 17 あなたは、ふだん、近所の子どもたちどどのように接していますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 道で会ったとき声をかけたり、あいさつをしたり
- 2. 子ども会などでいっしょに地域の活動をしている
- 3. 子育て支援活動を通じて子どもたちと交流している
- 4. 近所の子どもが家に遊びに来る
- 5. 悪いことをしているの気づいたとき、注意している
- 6. その他 ()
- 7. 近所の子どもたちとかかわりはない

問 18 あなたは、今後子どもたちや子育て家庭に対する活動に参加したいと思えますか。(1つに○)

- 1. 積極的に、取り組んでいきたい
 - 2. できるだけ、取り組んでいきたい
 - 3. 機会があれば、取り組んでほしい
 - 4. あまり取り組みたくない・取り組めない
- 問 18-2へ

問 18-2 「1. 積極的に、取り組んでいきたい」「2. できるだけ、取り組んでいきたい」「3. 機会があれば、取り組んでほしい」に○を付けた方にうかがいます。

問 18-1 どのような子どもたちや子育て家庭に対する活動に参加したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 子どものサークル活動(讀書会、映画会、人形劇など)
- 2. 近所の子どもの世話、預かり
- 3. スポーツ・レクリエーション・文化活動などの指導
- 4. 青少年団休活動(子ども会やボーイスカウト・ガールスカウトなど)
- 5. 子育てサロンの子どもの読み聞かせまたは保護者の居場所づくり
- 6. 障がいのある子どもたちのためのボランティア
- 7. 保育園・幼稚園、学校の保護者会、PTA活動
- 8. 子育てサークル
- 9. 一時預かりや保育サービス
- 10. 子育ての経験を活かした相談
- 11. 御前指導・安全パトロール・登校指導など
- 12. その他 ()

■問18で「4. あまり取り組みたくない・取組めない」に○をつけた方にうかがいます。

問18-2 どのようなことが整っていれば、子どもたちや子育て家庭に対する活動に参加しやすと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 活動情報の掲載がある
2. 友人等といっしょに参加できる
3. 身近なところや活動できる
4. 活動時間が曜日が自由
5. 気軽に参加できる
6. 適切な指導者やリーダーがいる
7. 特技や知識が活かせる
8. 身体的な負担が少ない
9. 経済的な負担が少ない
10. その他 ()
11. 特にない

問19 あなたは、子育てや家庭教育の支援のために、何が必要だと思いますか、あなたの考えに近いものを選んでください。(3つに○)

1. 子育てや家庭教育に関する講座・講演・イベントなどの充実
2. 子育てや家庭教育に関する学習資料の作成・配布
3. 子育てや家庭教育に関する情報提供の充実
4. 子育てや家庭教育に関する身近な相談体制の充実
5. テレビ・新聞などのマスメディアによる子育てや家庭教育に関する広報
6. PTA活動の充実
7. さまざまな地域団体の活動の活性化
8. 保護者たちが子育てや家庭教育などについて情報交換や仲間づくりなどができる場づくり
9. 地域の子育て・家庭教育に関する活動を進める団体や月1サークルの支援
10. 地域の住民同士のつながり・ネットワーキングづくり
11. 時間的・経済的負担の軽減
12. その他 ()
13. わからない

6. 子育て環境などについてうかがいます。

問20 安心して子育てができ、子どもたちがのびのびと育つことのできる環境づくりのために、ぜひ充実していってほしいと思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 保育園や預かり保育などの保育サービス
2. 健康維持や健康診断など、母子への健康サービス
3. 小児医療や救急医療体制
4. 家族向け住宅など、子育てにやさしい環境づくり
5. 幼稚園・学校等の教育施設や教育体制
6. 親子連れでも利用しやすい公民館・図書館などの利用
7. 子どもたちのための交通安全対策
8. 子どもを犯罪から守るための対策
9. ひとり親家庭支援や児童虐待の防止等きめ細かな対応
10. 仕事と子育てを両立しやすい環境づくり
11. 子どもの居場所や安全に遊べる場づくり
12. 子育てを協力・支えあえる地域のつながり
13. 公民館、図書館などの利用
14. 子育てサークルや子育て講座の充実
15. 身近な子育ての相談先
16. 子育て支援情報の提供
17. その他 ()

問21 あなたが公民館などの生涯学習施設に求めることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 地域のコミュニケーションづくり
2. 学習情報の積極的な提供
3. 市民の学習支援
4. 生涯学習指導者の育成
5. 市民等の活動支援
6. 学習相談機能の充実
7. その他 ()

※「生涯学習施設」…文化、スポーツ、青少年施設で生涯学習活動が展開されている施設のことです。(例：公民館、図書館、郷土博物館など)

問22 「子育てしやすいまち」「子どもたちが健やかに育つまち」になるために、あなたが身近でできることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子育てをしている親たちの相談相手や、悩み解決の手助けをする
2. 子育てを教えたり、見本をみせる
3. 子育てを手伝ったり、子どものめんどうをみる
4. 子どもたちの遊び相手、話し相手になる
5. 子どもたちに遊びや生活の技術などを教える
6. 子どもや親たちに社会参加や社会のルールを教えたり、見本となる
7. 子どもや親たちの交通安全や犯罪防止などの見守り活動をする
8. 親や子どもたちのサークルやグループ活動を支援する
9. 子育て中の家庭が役に立つ情報の提供や発信を行う
10. 地域の安全保持・治安維持活動をする
11. その他 ()
12. 特にない

問23 あなたは、高齢者(概ね65歳以上)の方や子どもなど世代間で交流する機会をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 同居している
2. 子育てでサロンの等で交流がある
3. 学校の行事で交流がある
4. 地域の行事で交流がある
5. 仕事で交流がある
6. 近所づきあいで交流がある
7. 交流したい機会がない
8. 特に必要性を感じない
9. その他 ()

問24 子どもには、高齢者(概ね65歳以上)の方との交流の機会があるとしたいと思いますか。(1つに○)

1. はい
 2. いいえ
- (その理由:)

7. 浦安市子育て支援総合計画についてうかがいます。

問 25 現在の子育て環境等をみると、「浦安市子ども子育て支援総合計画」における次の施策の推進状況の満足度、また、今後取り組む上で、それぞれの施策の重要性を選んでください。また、その考えを理由をお書きください。

Table with 4 columns: 基本施策, 評価 (満足度, 今後の重要性), 満足度・重要性をそう考える理由. Rows include: (1) 妊娠前から切れ目のない支援体制について, (2) 母子の健康保持・増進や小児医療体制について, (3) 地域における子育て支援サービスについて, (1) 質の高い幼児教育・保育について, (2) 多様な保育サービスについて, (1) 生きる力を育む学校教育推進について, (2) 放課後児童の居場所づくりについて, (3) 子ども豊かな豊かな個性と想像力を伸ばす機会について

Table with 4 columns: 基本施策, 評価 (満足度, 今後の重要性), 満足度・重要性をそう考える理由. Rows include: (1) 障がいのある子どもや特別な支援が必要な子どもへの支援について, (2) 子どもの権利擁護や児童虐待対策について, (3) 子育て家庭への相談・支援について, (1) 子どもの安全を見守る働きについて, (2) 子育て家庭を応援する働きについて, (3) ワーク・ライフ・バランスの推進について

問 26 浦安市において、子どもたちが健やかに、のびのびと育っていくための施策について、ご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

Blank area for writing responses to Question 26.

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

浦安市子ども・子育て支援総合計画に関する基礎調査報告書

平成31年3月
(令和元年7月修正版)

発行 浦安市

編集 浦安市健康こども部 こども課

〒279-8501 浦安市猫実一丁目1番1号

☎047(351)1111(代表)